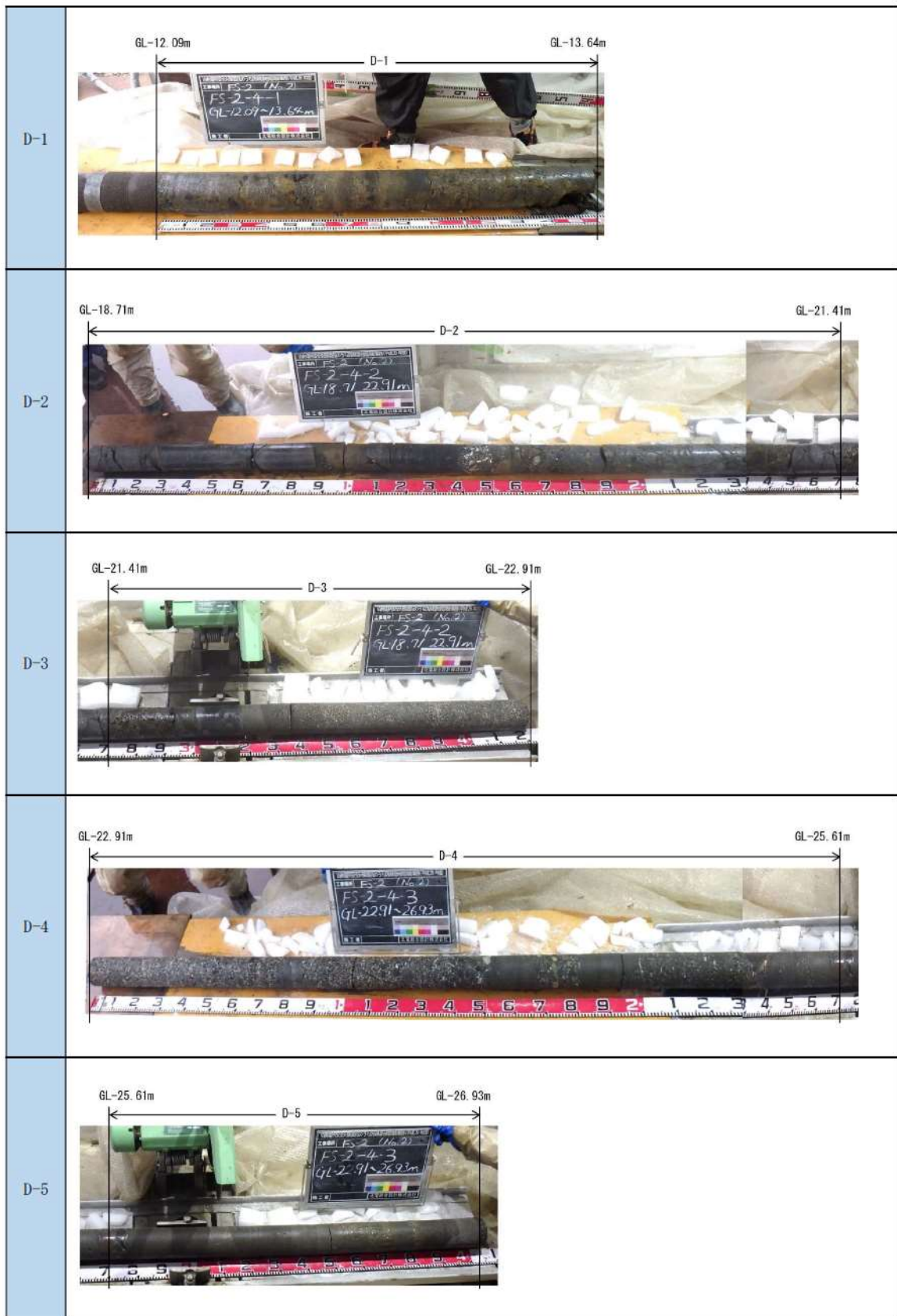


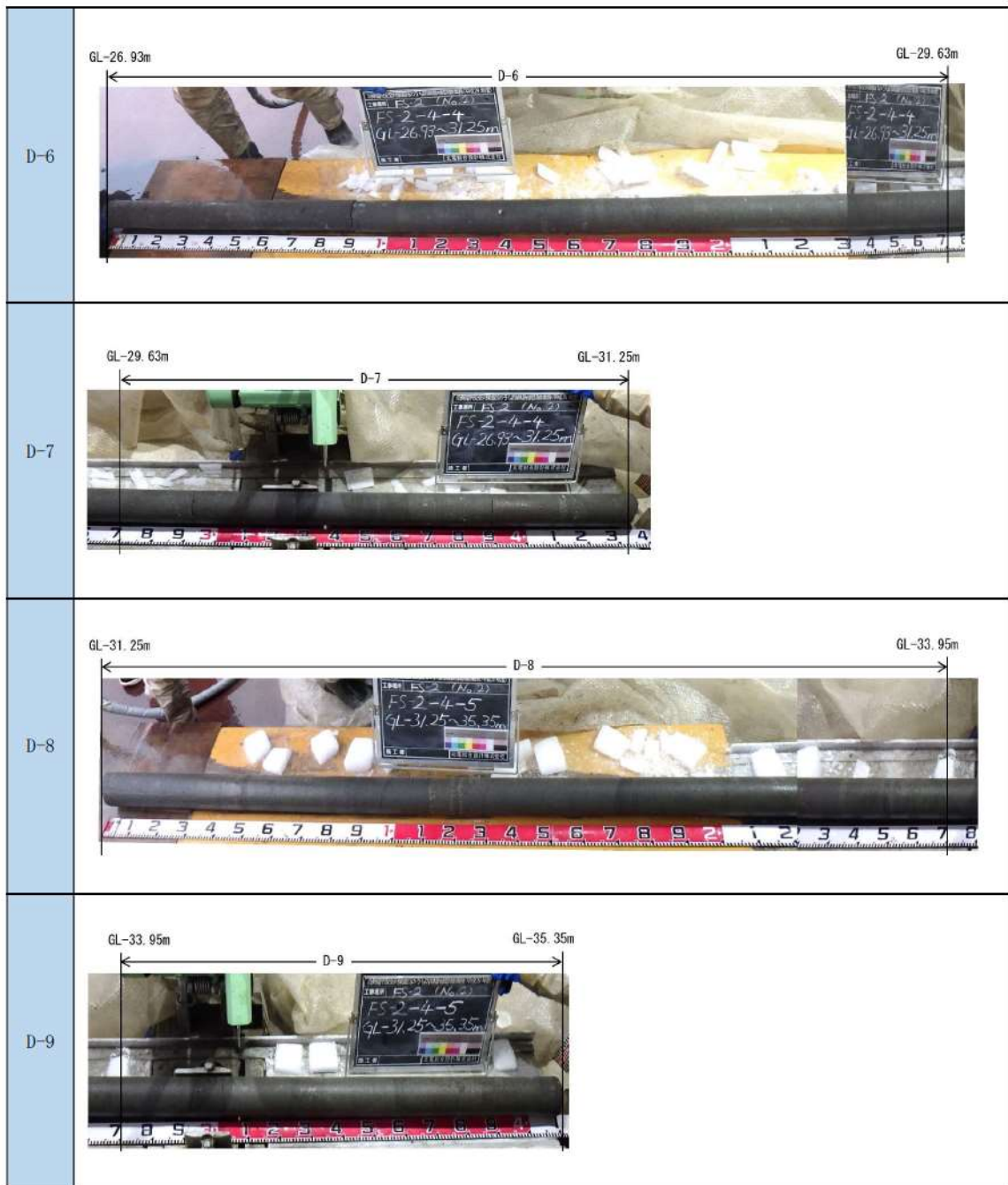
添付 1-40 図(7/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



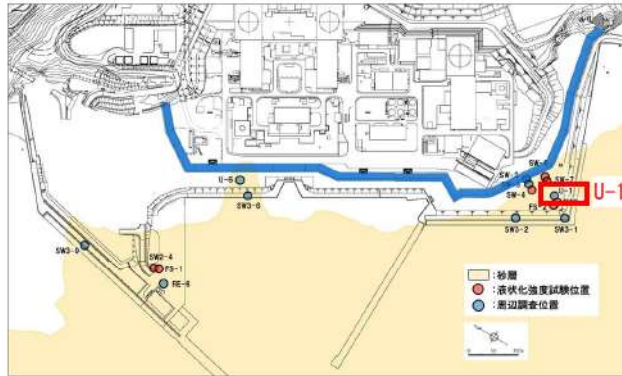
添付 1-40 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



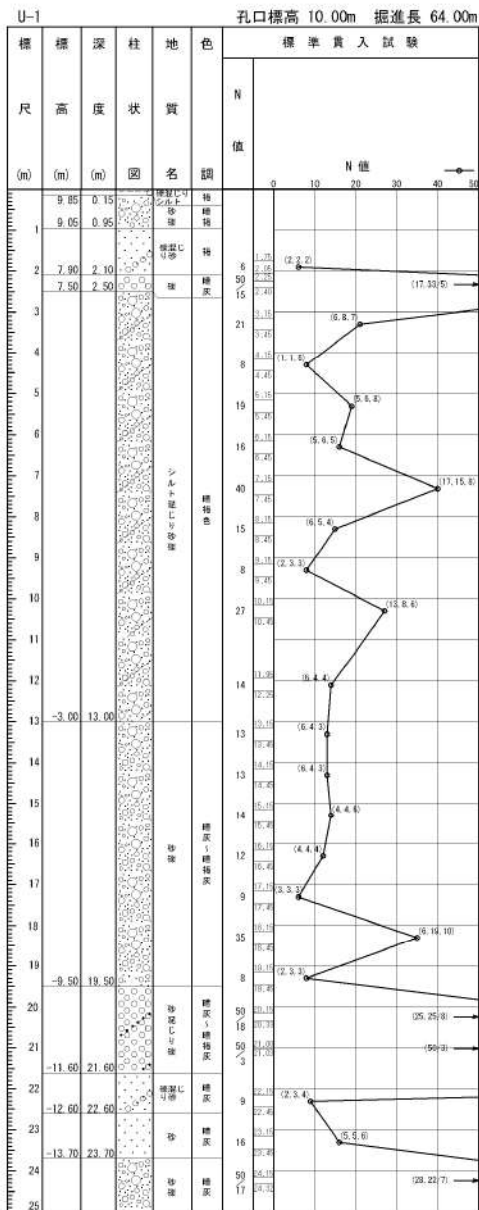
添付 1-40 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



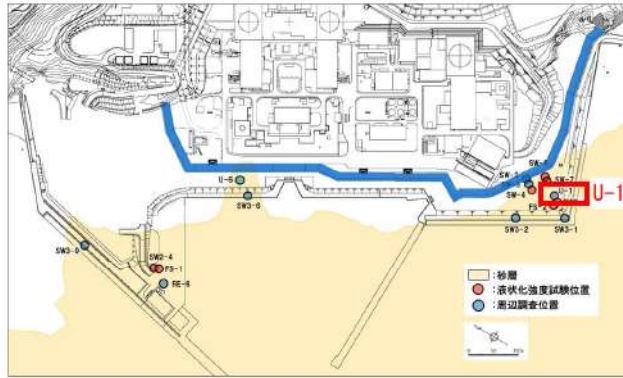
添付 1-40 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



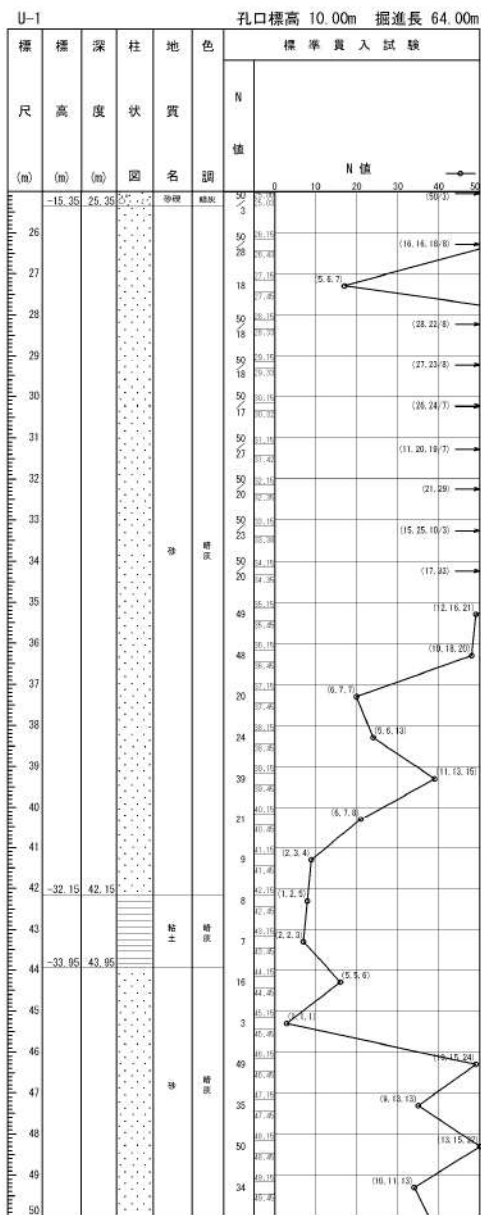
ボーリング平面位置図



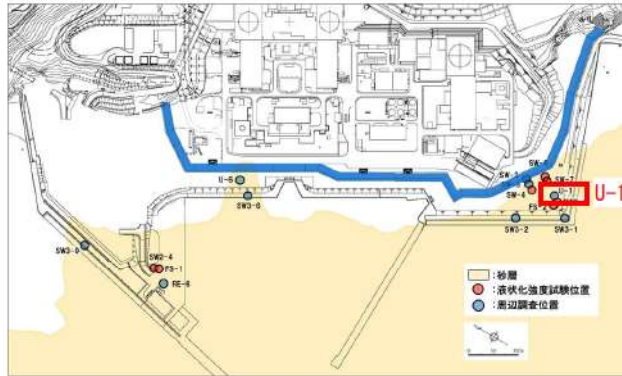
添付 1-41 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



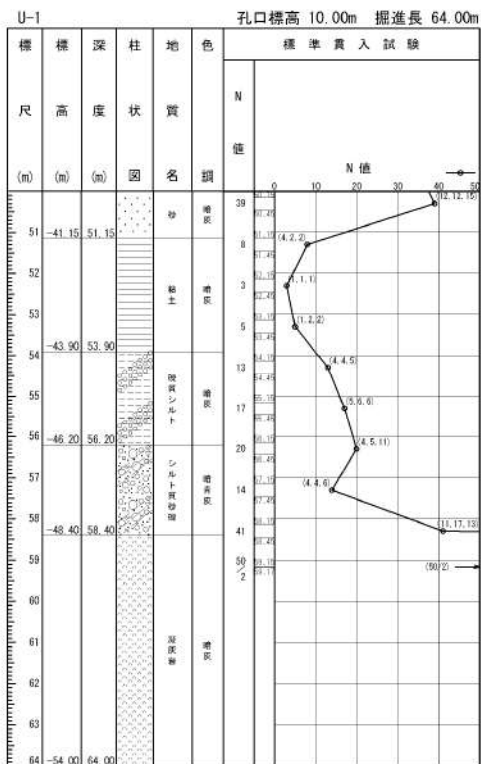
ボーリング平面位置図



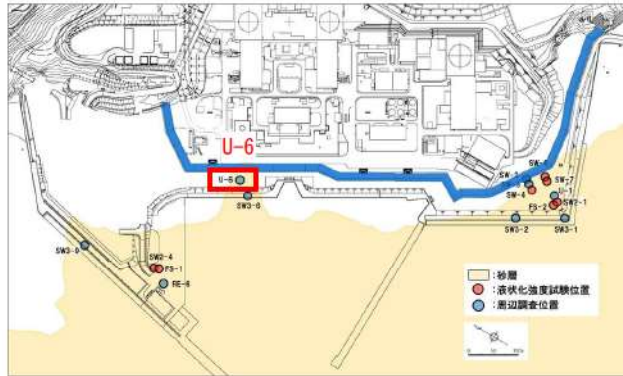
添付 1-41 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



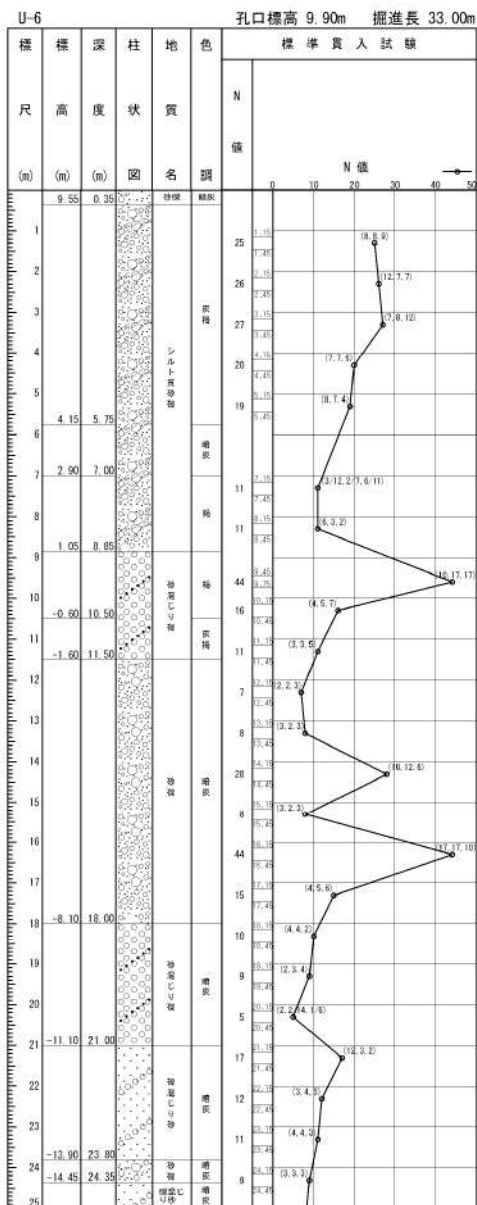
ボーリング平面位置図



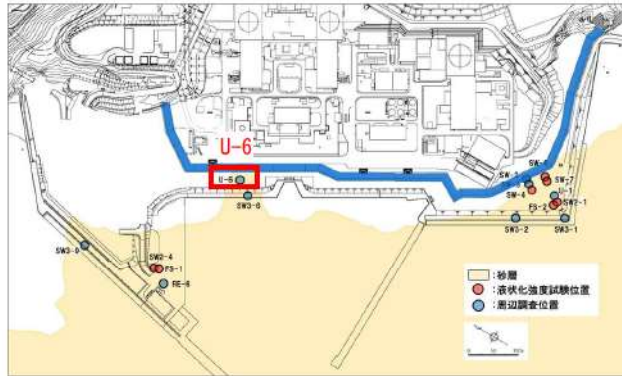
添付 1-41 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



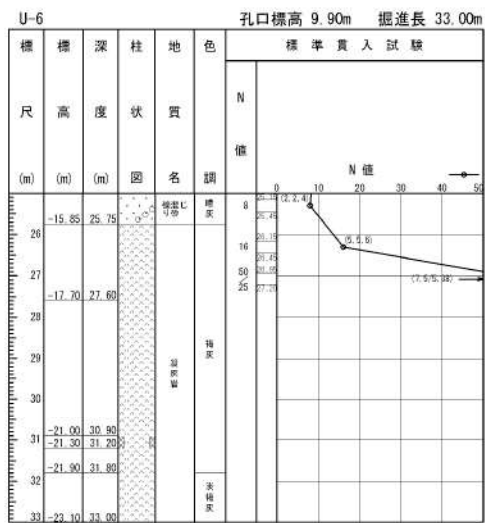
ボーリング平面位置図



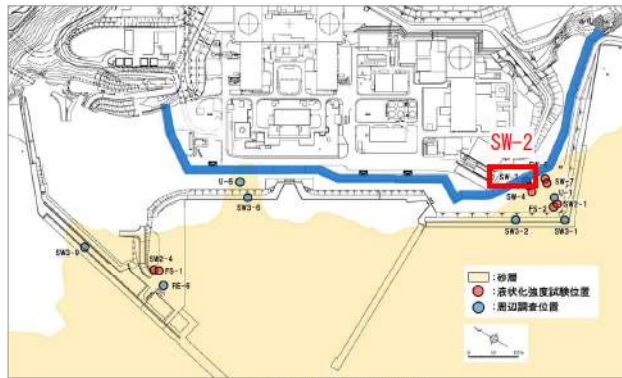
添付 1-42 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (U-6)



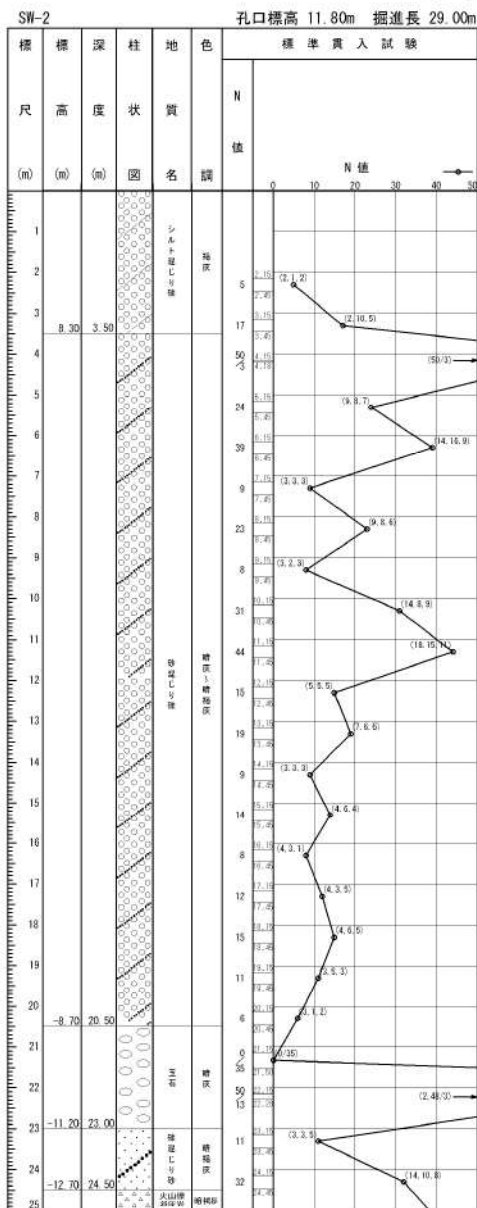
ボーリング平面位置図



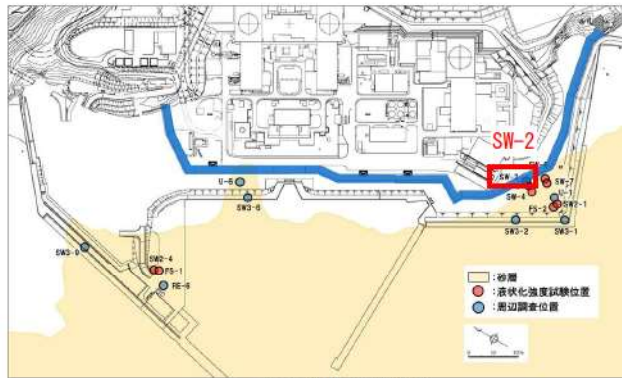
添付 1-42 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (U-6)



ボーリング平面位置図



添付 1-43 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



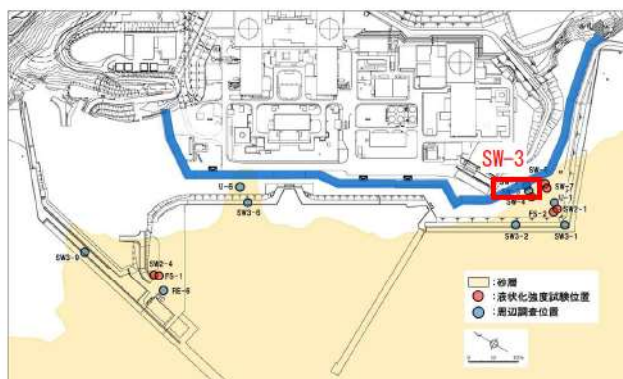
ボーリング平面位置図

SW-2 孔口標高 11.80m 掘進長 29.00m

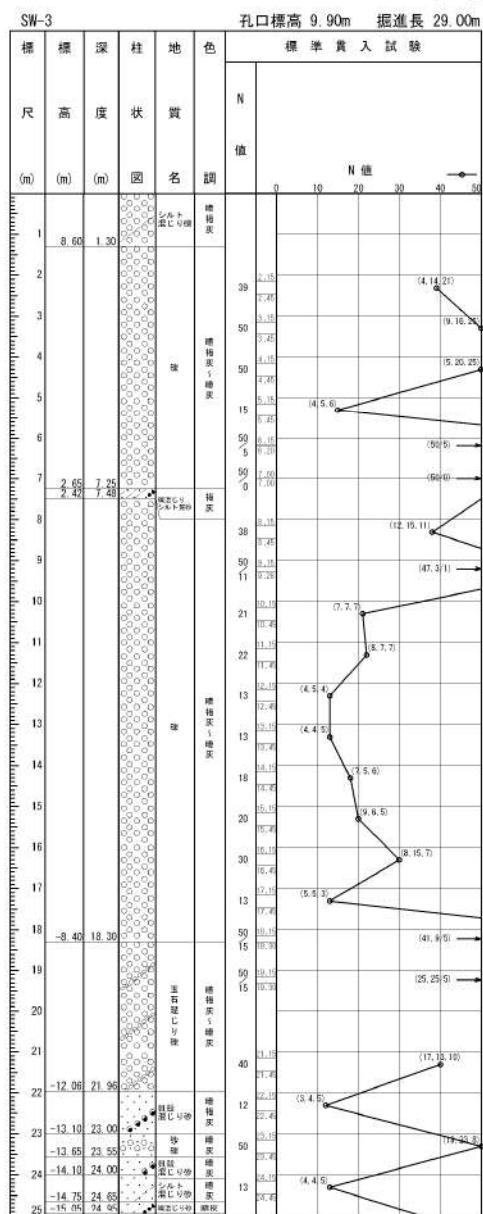
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質	色	標準貫入試験	
						N値	備考
	-13.70	25.50	火山凝灰岩質 砂1層	砂	黄褐色	41	0
26		50				10	
27		59				20	
28		68				30	
29	-17.20	29.00				40	



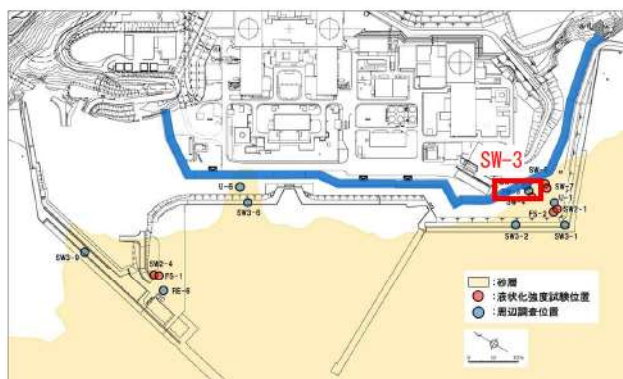
添付 1-43 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



ボーリング平面位置図



添付 1-44 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-3)



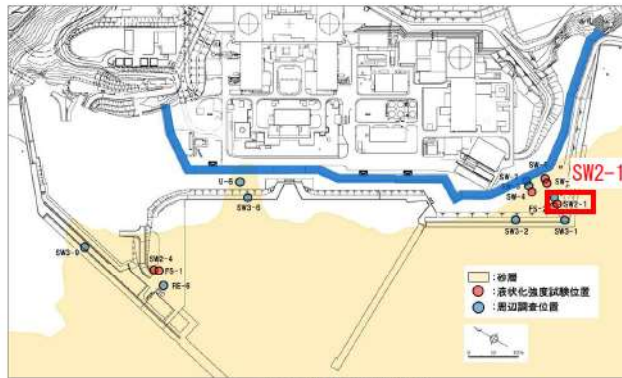
ボーリング平面位置図

SW-3 孔口標高 9.90m 掘進長 29.00m

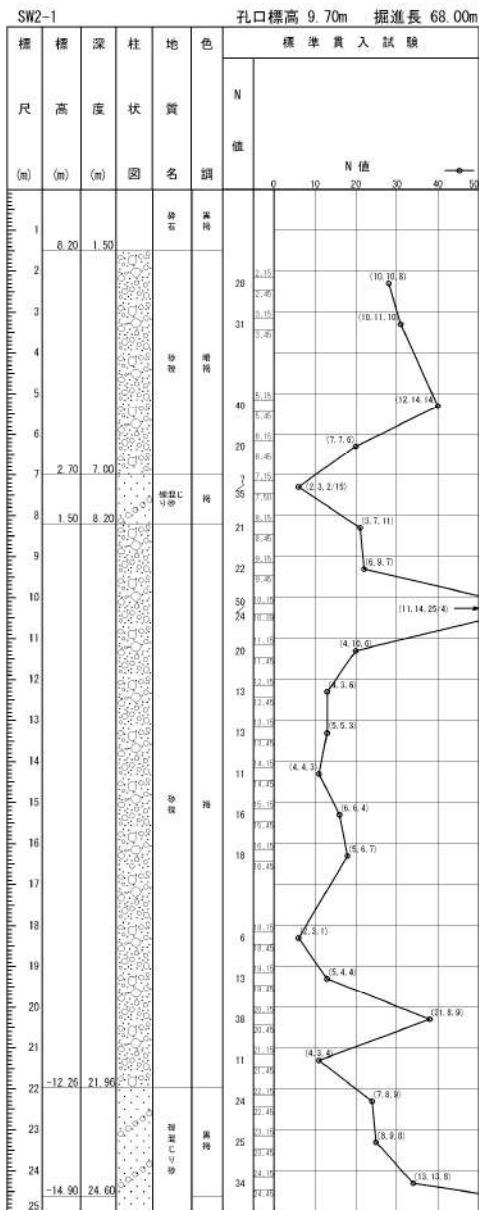
標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状	地質	色調	標準貫入試験		
						N 値	N 値	
						45	37.4	
26	-16.65	26.55	青灰色硬火山灰凝灰岩	粗灰				
27								
28	-18.19	28.00						
29	-19.10	29.00						



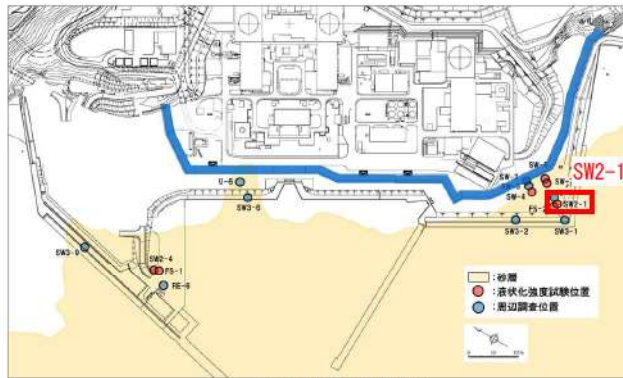
添付 1-44 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-3)



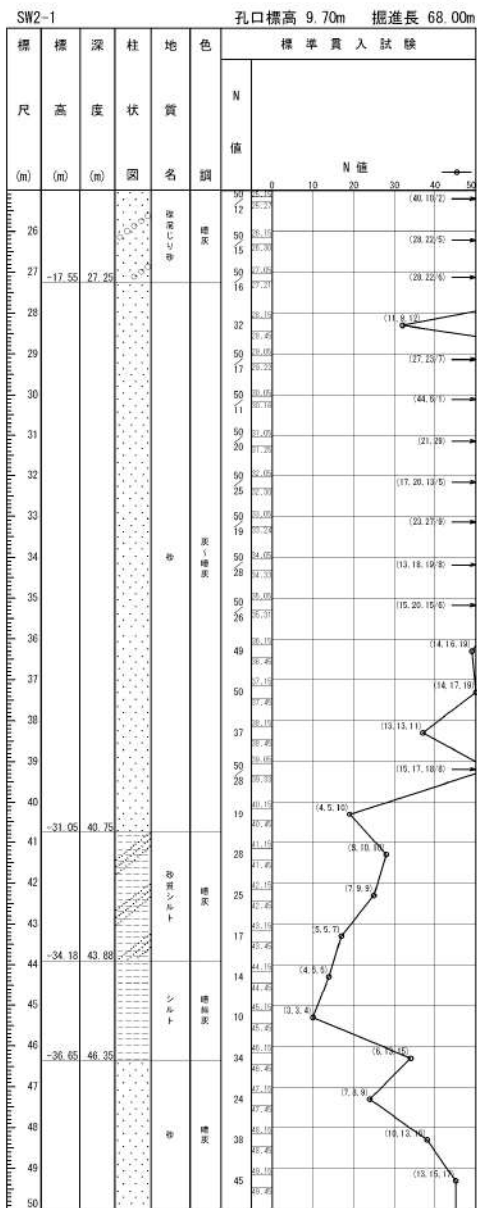
ボーリング平面位置図



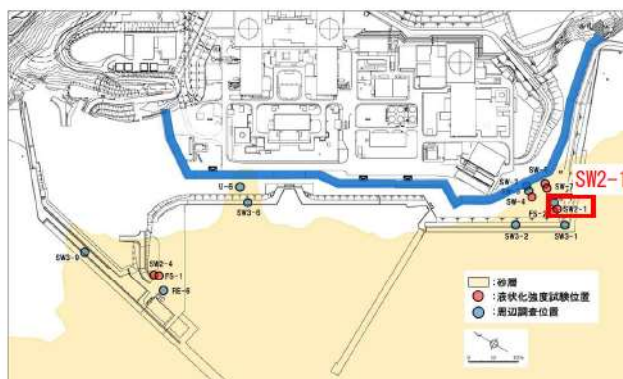
添付 1-45 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



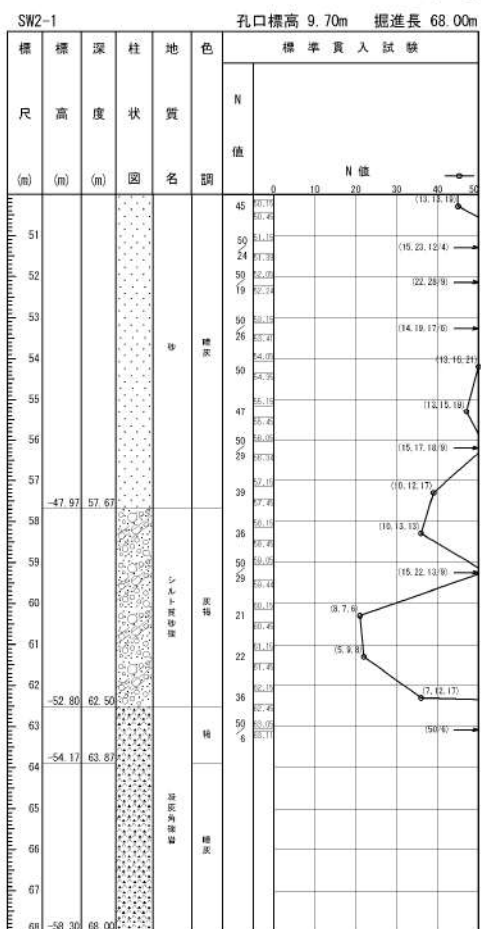
ボーリング平面位置図



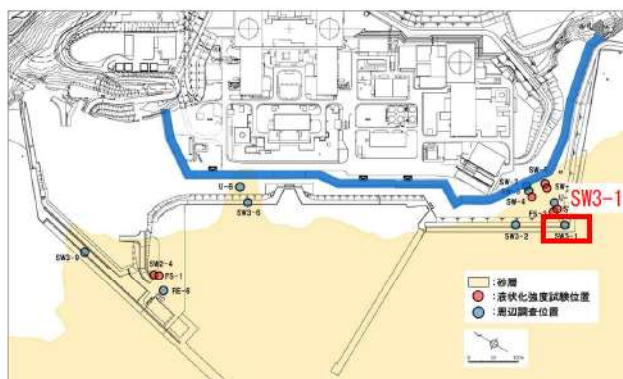
添付 1-45 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



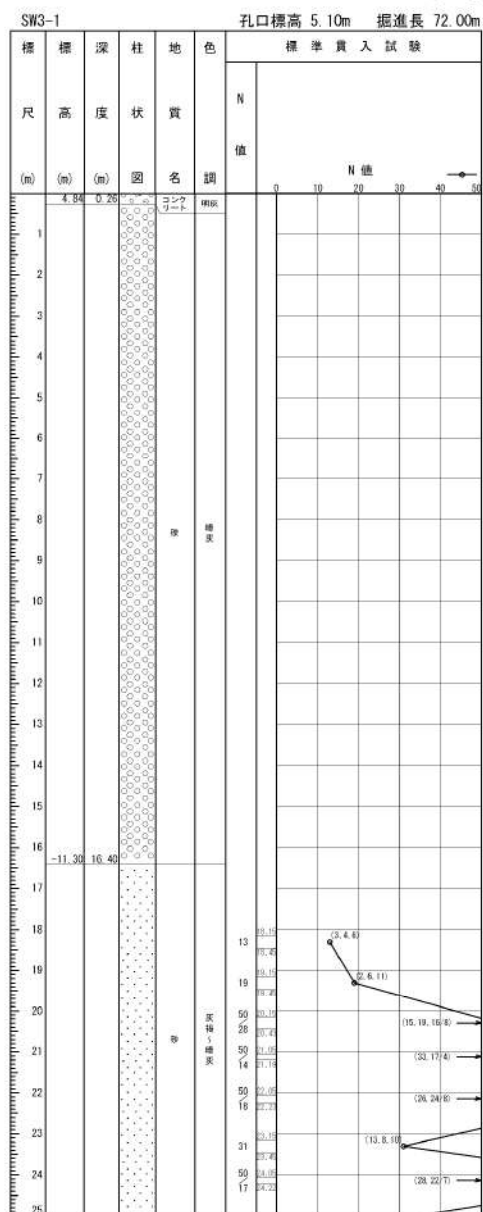
ボーリング平面位置図



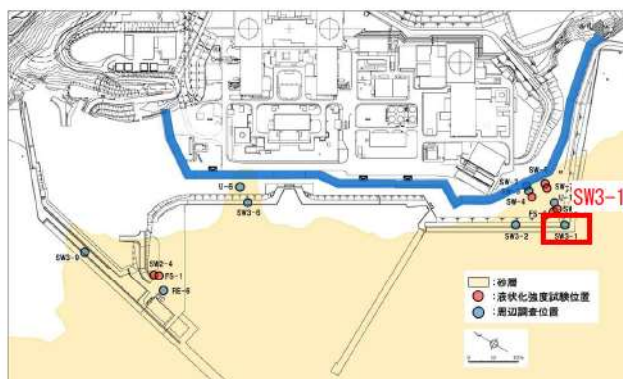
添付 1-45 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



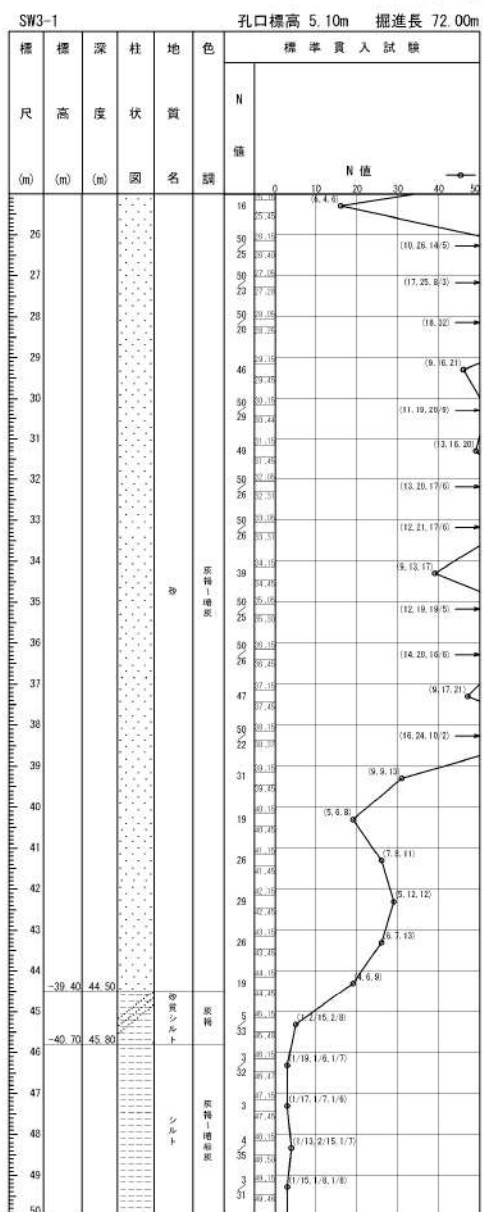
ボーリング平面位置図



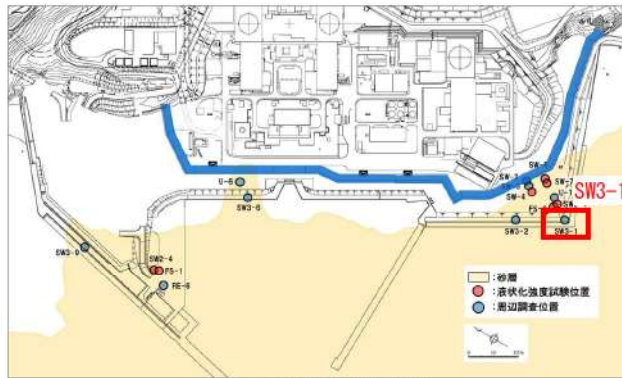
添付 1-46 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



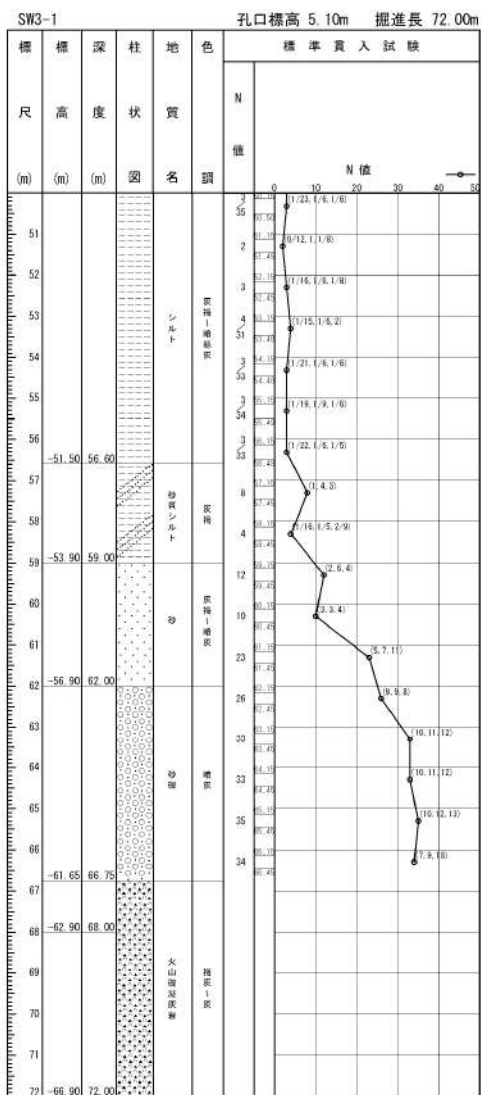
ボーリング平面位置図



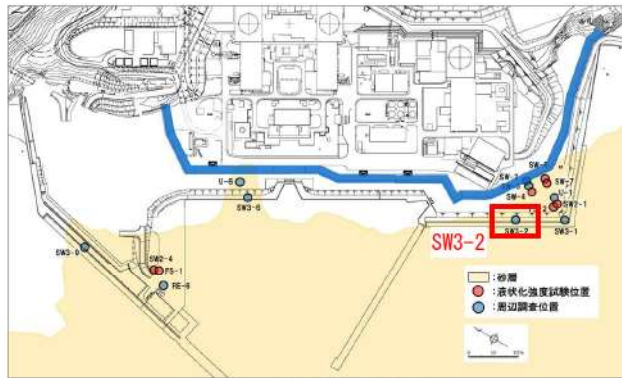
添付 1-46 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



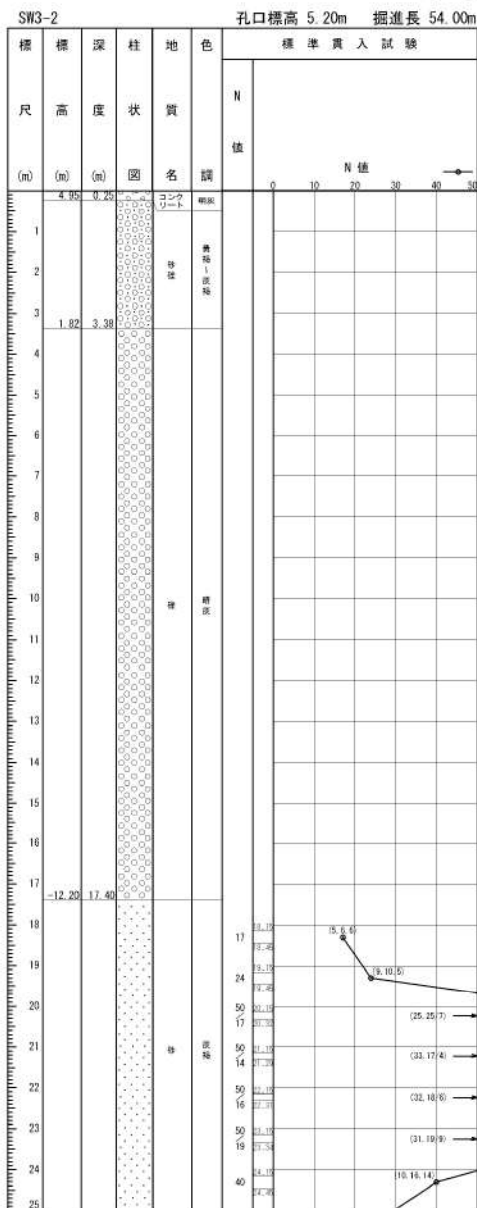
ボーリング平面位置図



添付 1-46 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



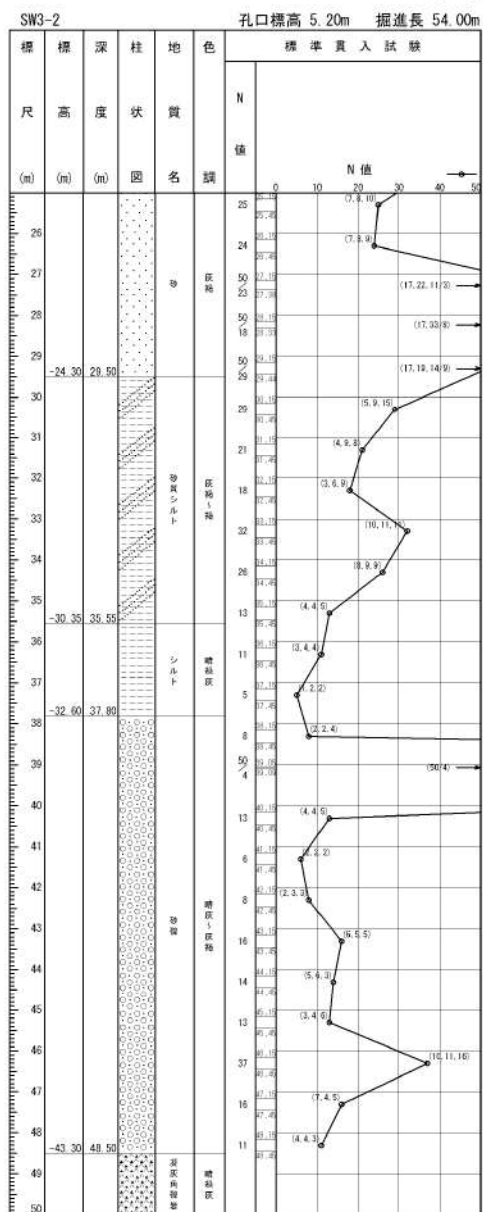
ボーリング平面位置図



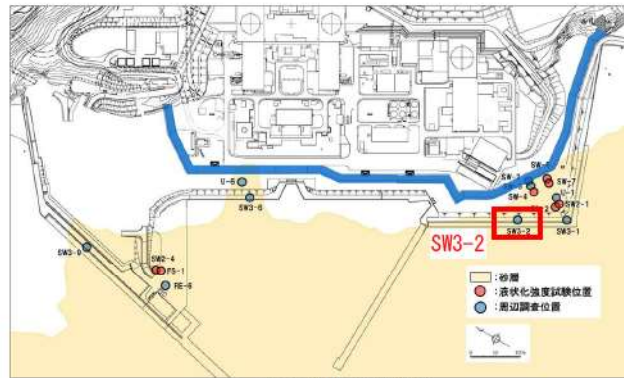
添付 1-47 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



ボーリング平面位置図



添付 1-47 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



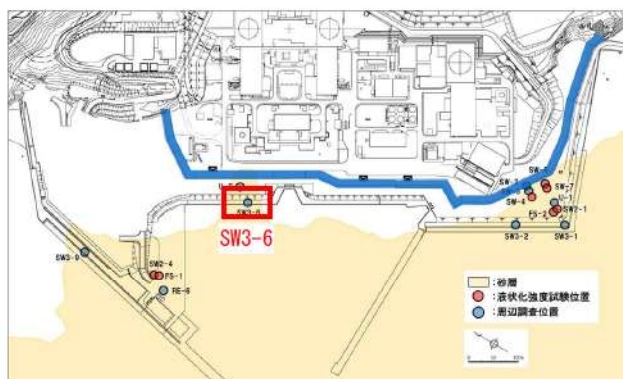
ボーリング平面位置図

SW3-2 孔口標高 5.20m 掘進長 54.00m

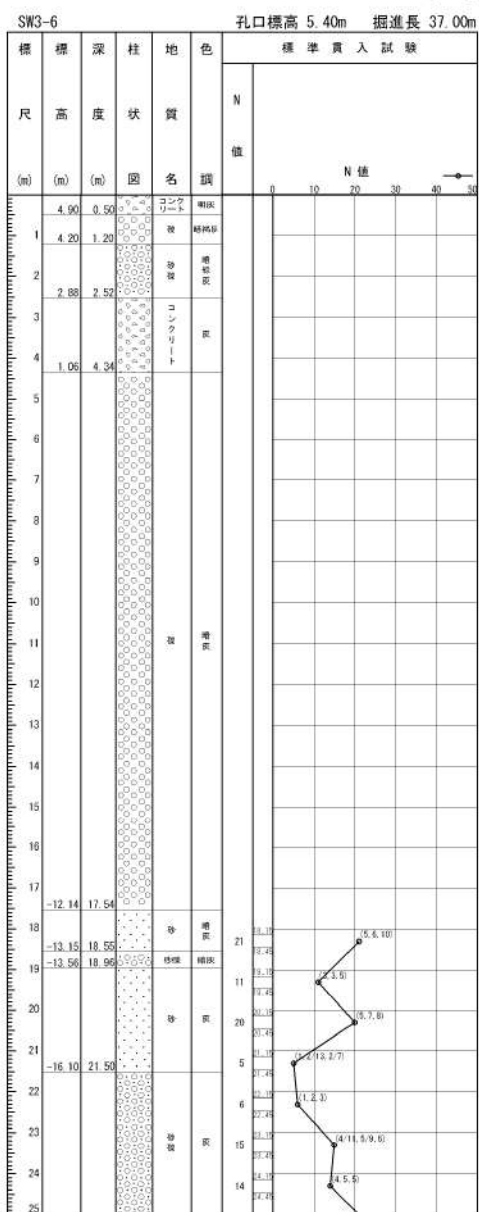
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	地色調	標準貫入試験	
						N 値	備考
51			[Pattern: Sand]	堆積灰土 埋戻し層	灰緑		
52	-46.80	52.00					
53							
54	-48.80	54.00					



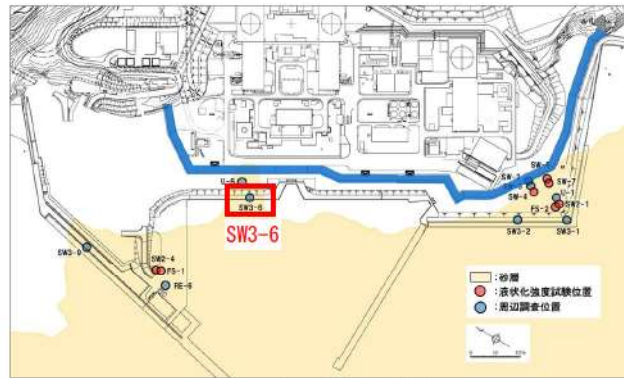
添付 1-47 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



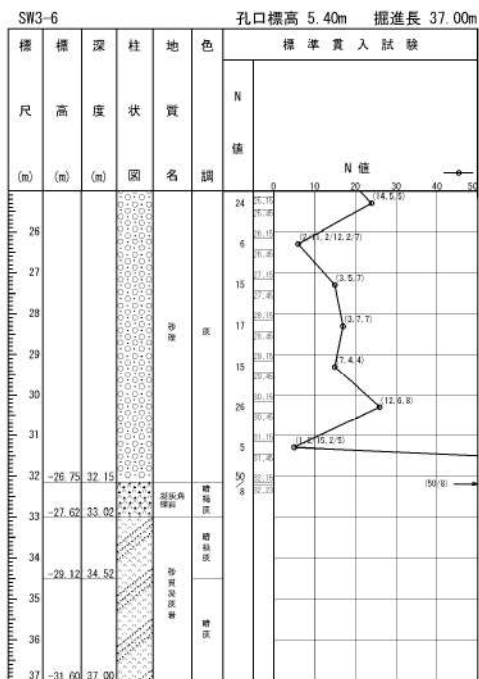
ボーリング平面位置図



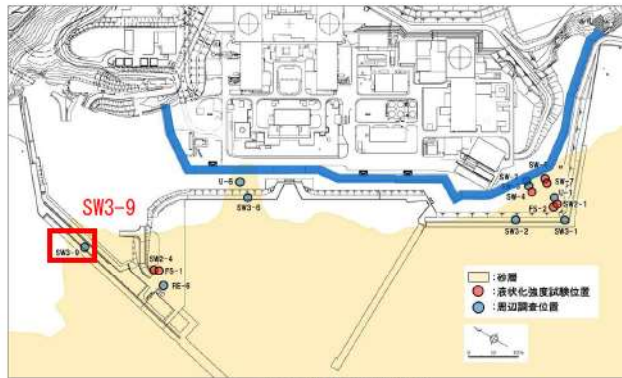
添付 1-48 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-6)



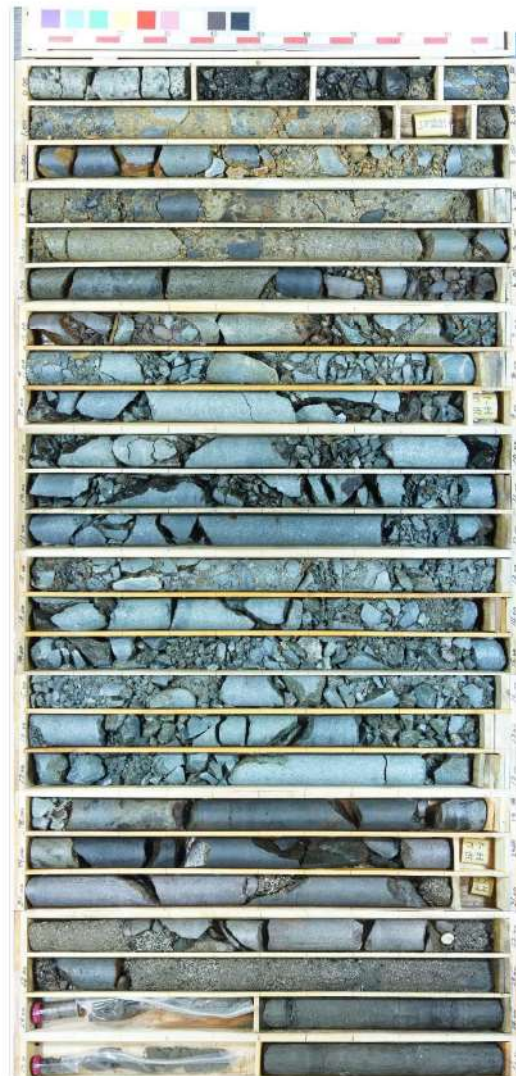
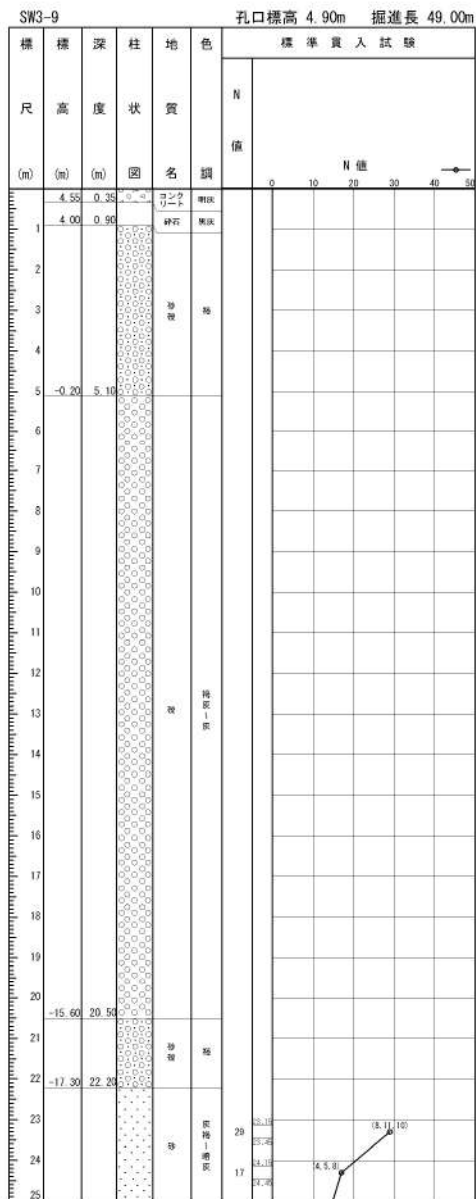
ボーリング平面位置図



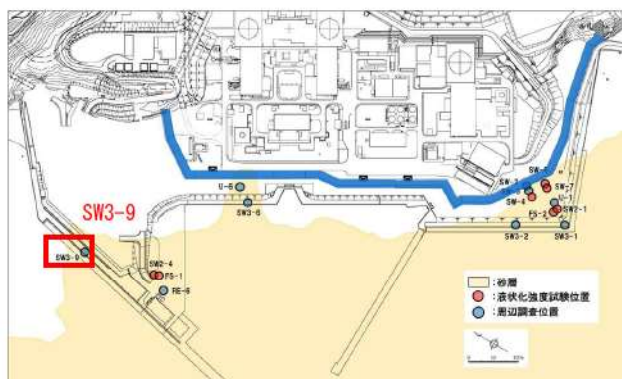
添付 1-48 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-6)



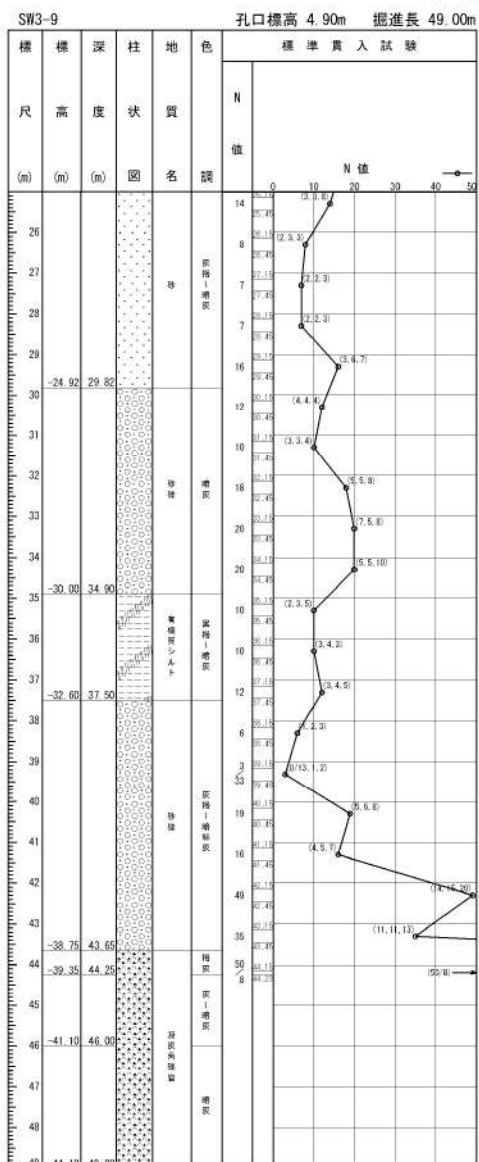
ボーリング平面位置図



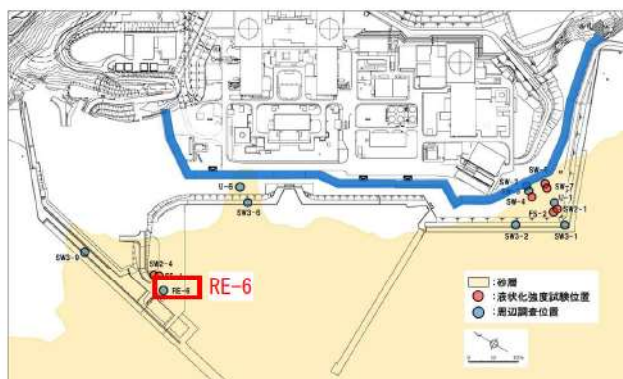
添付 1-49 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-9)



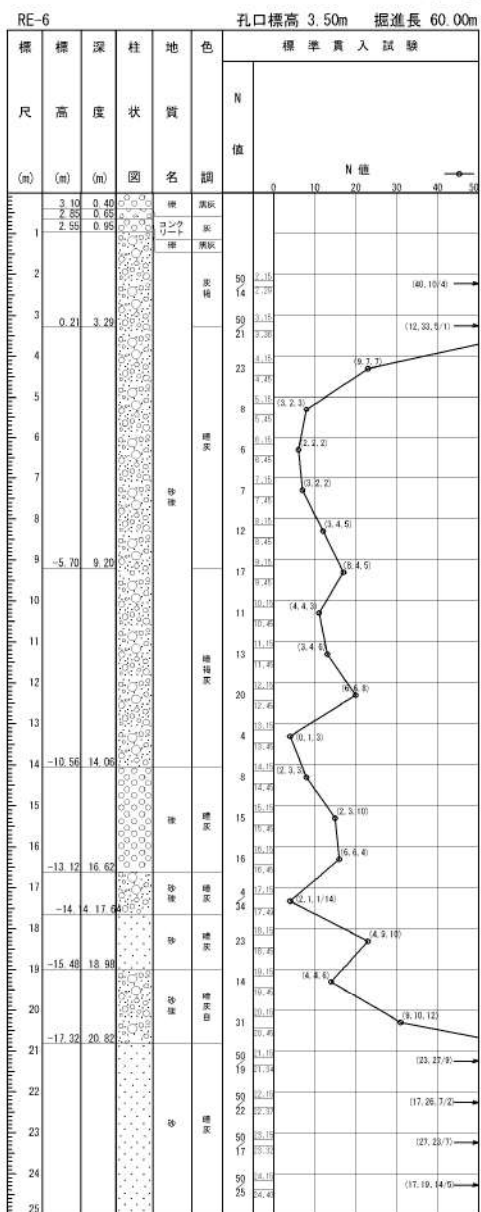
ボーリング平面位置図



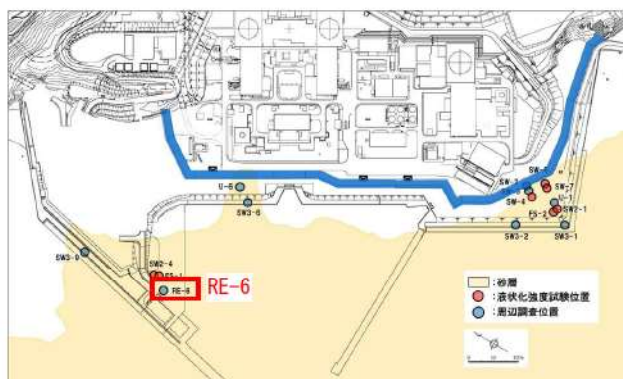
添付 1-49 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-9)



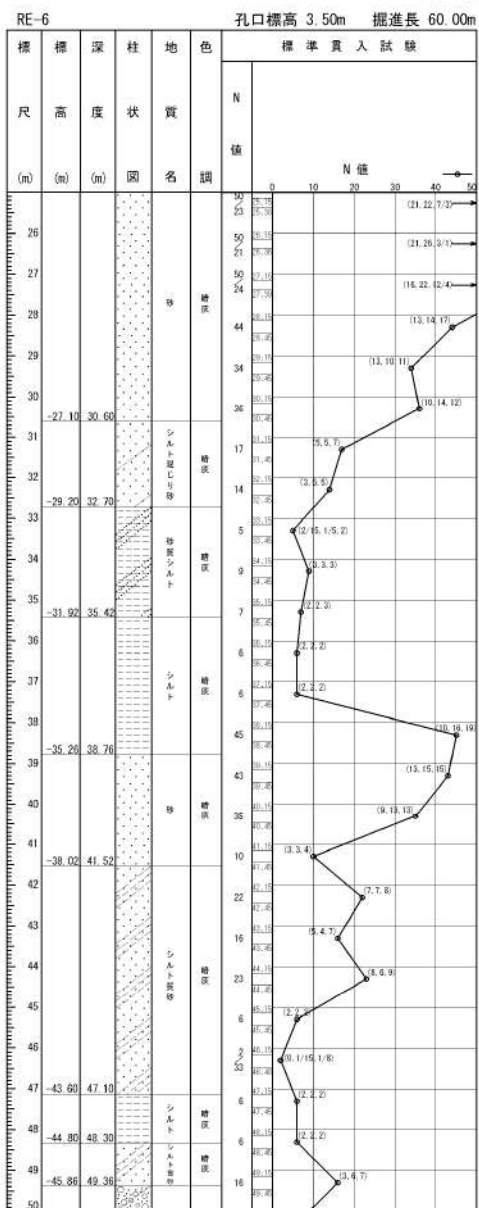
ボーリング平面位置図



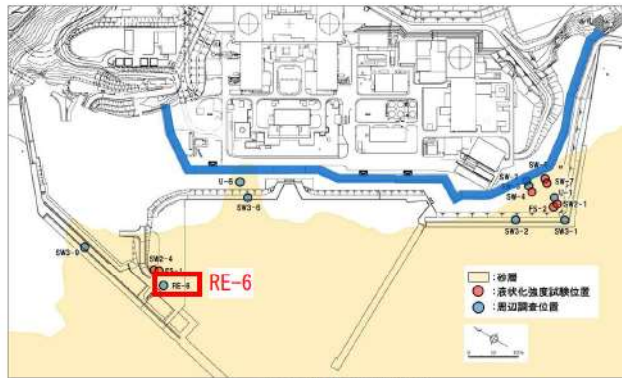
添付 1-50 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



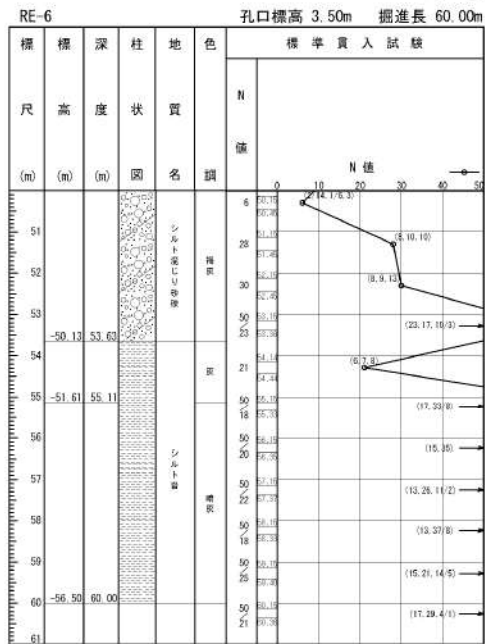
ボーリング平面位置図



添付 1-50 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



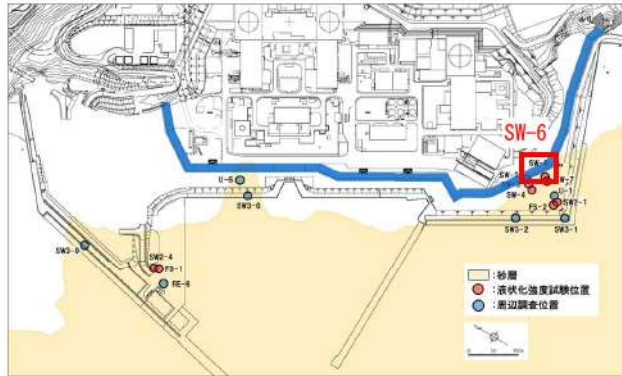
ボーリング平面位置図



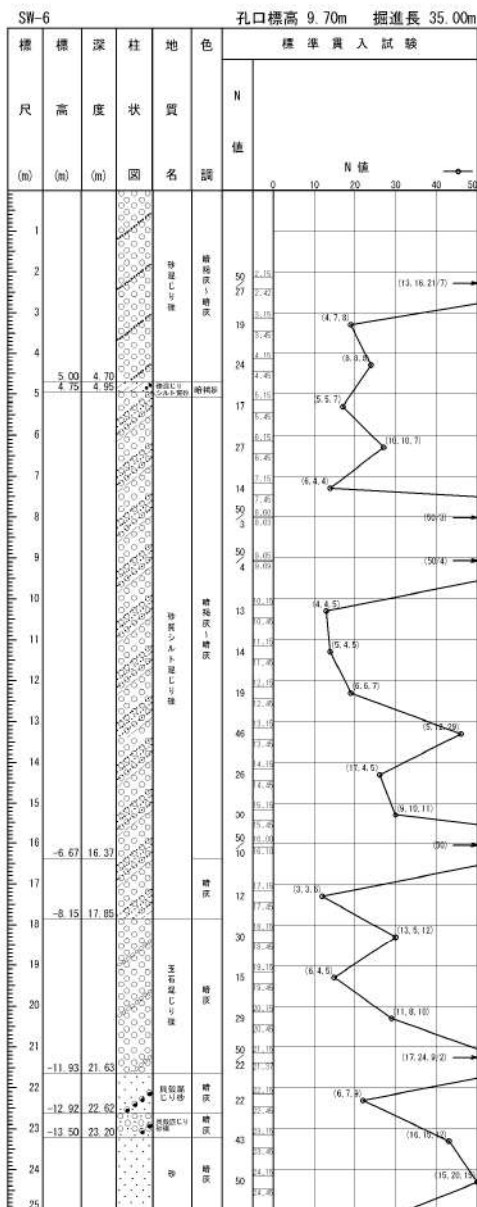
添付 1-50 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)

1. 埋戻土・砂層のボーリング柱状図・コア写真

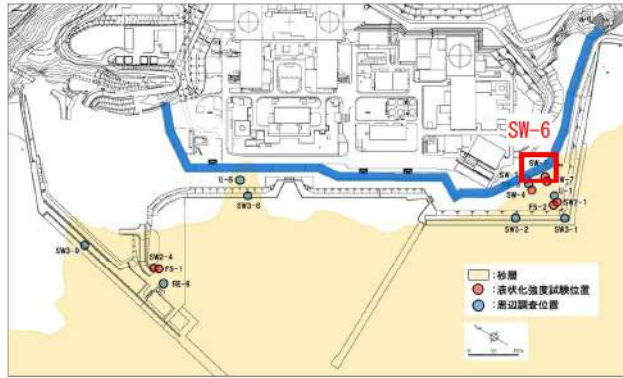
(4) As2 層のボーリング柱状図・コア写真



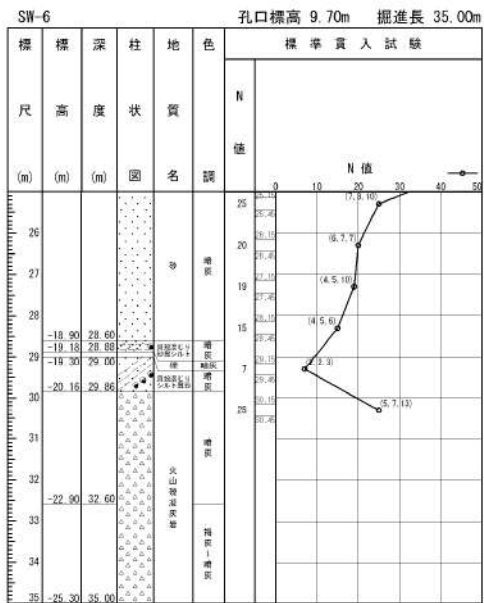
ボーリング平面位置図



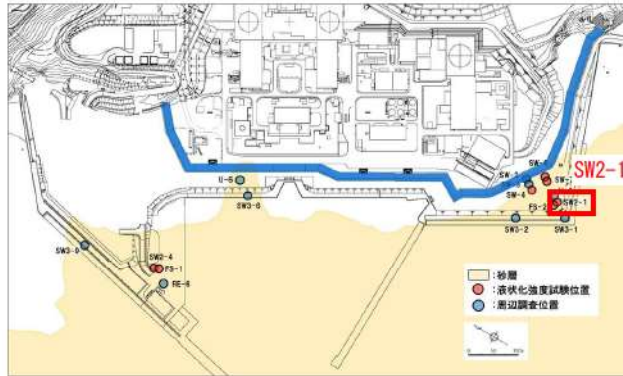
添付 1-51 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-6)



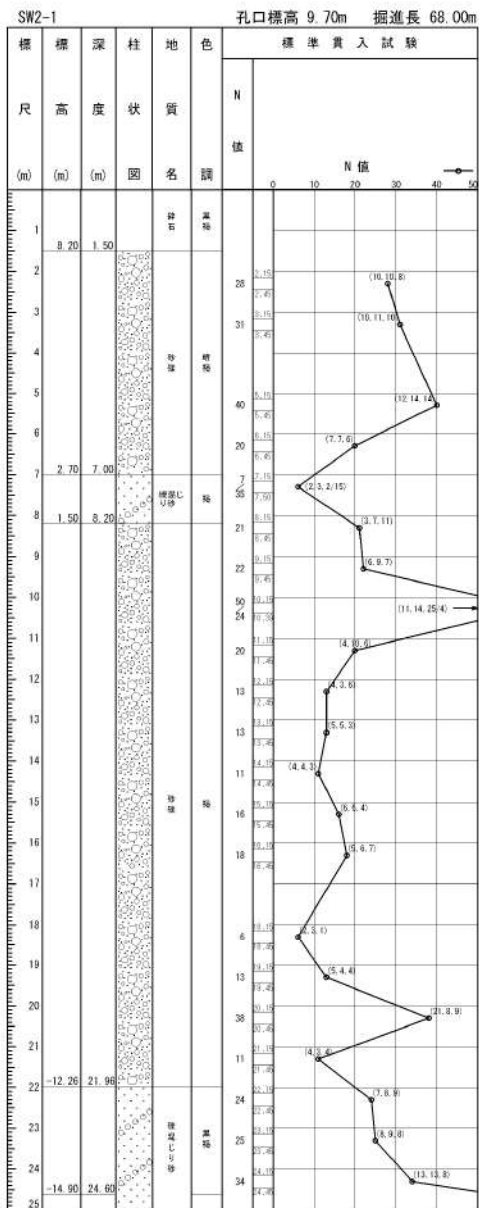
ボーリング平面位置図



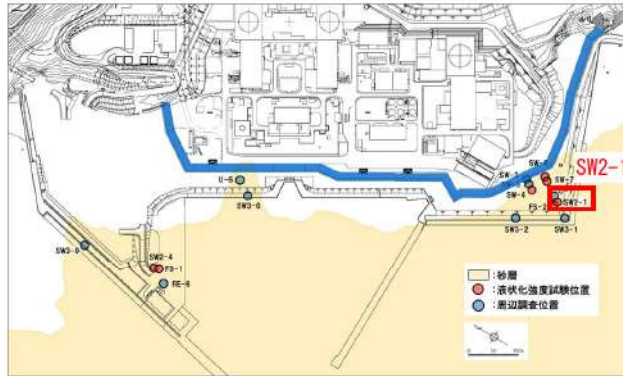
添付 1-51 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-6)



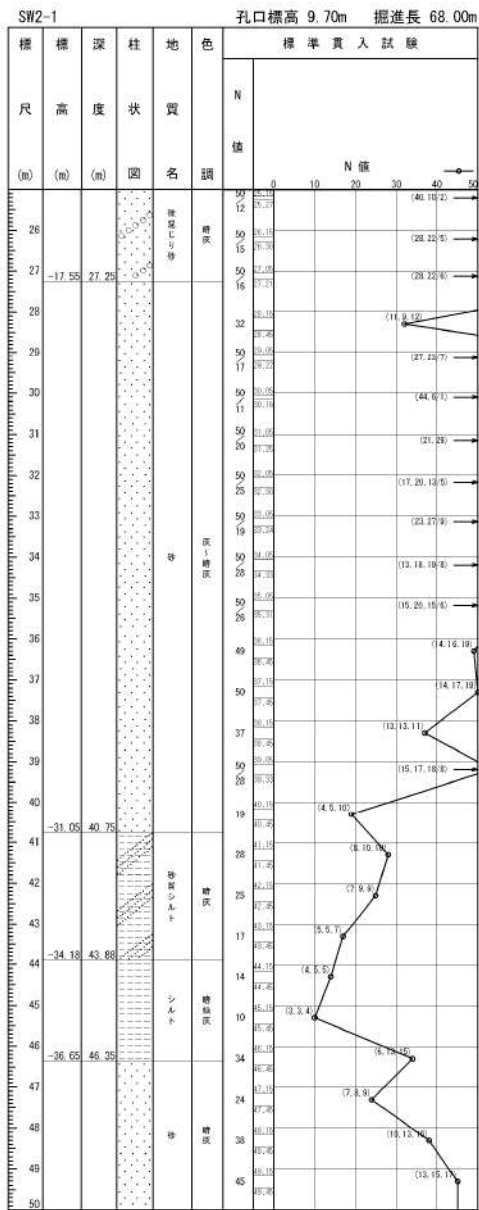
ボーリング平面位置図



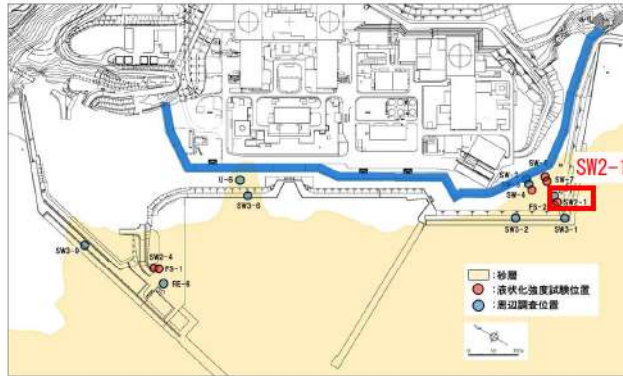
添付 1-52 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



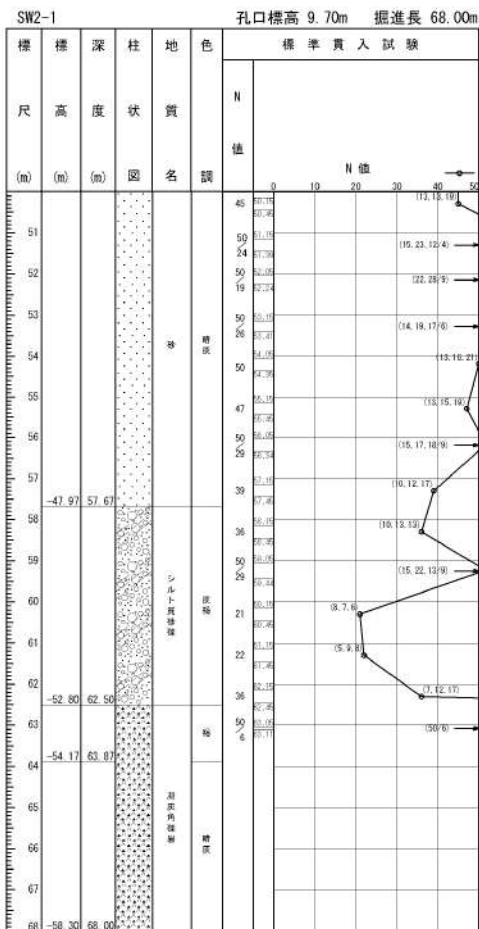
ボーリング平面位置図



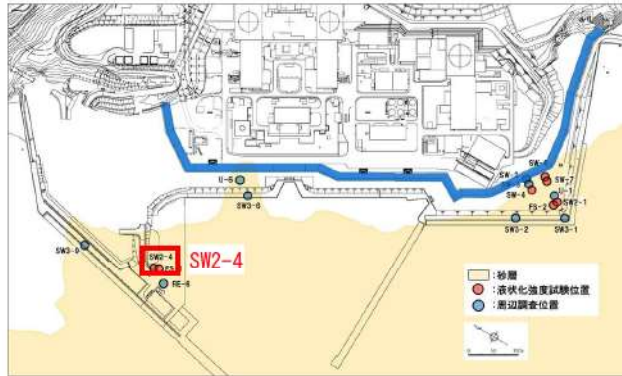
添付 1-52 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



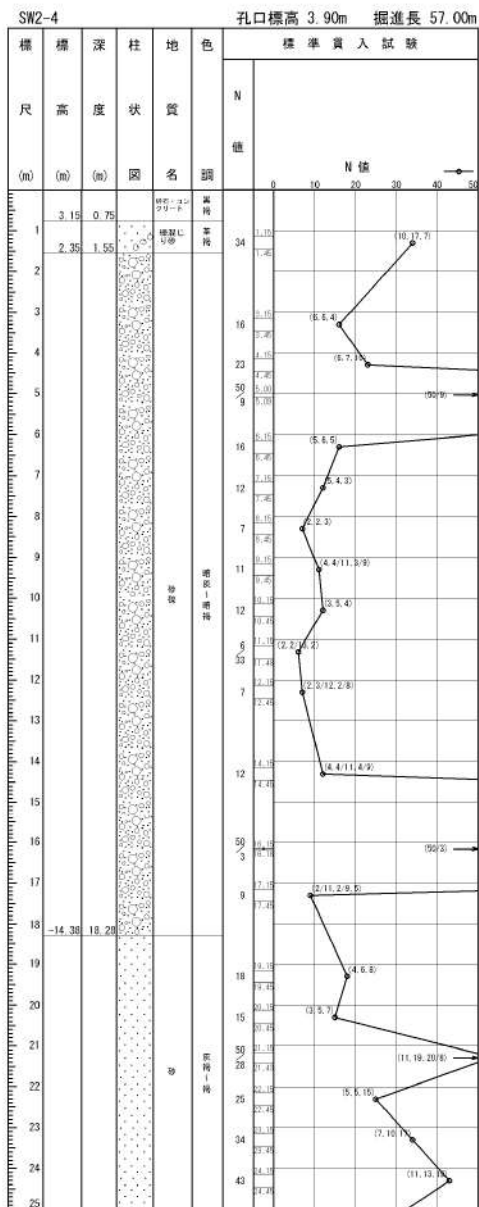
ボーリング平面位置図



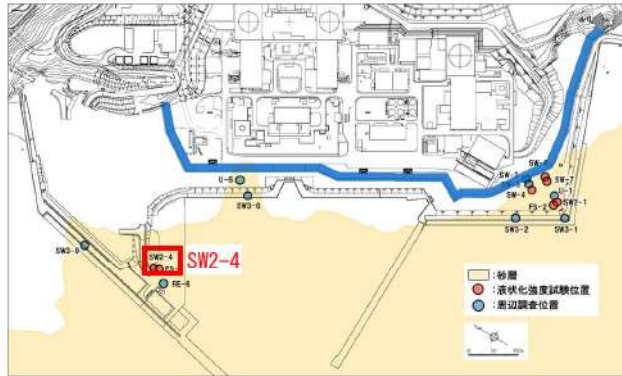
添付 1-52 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



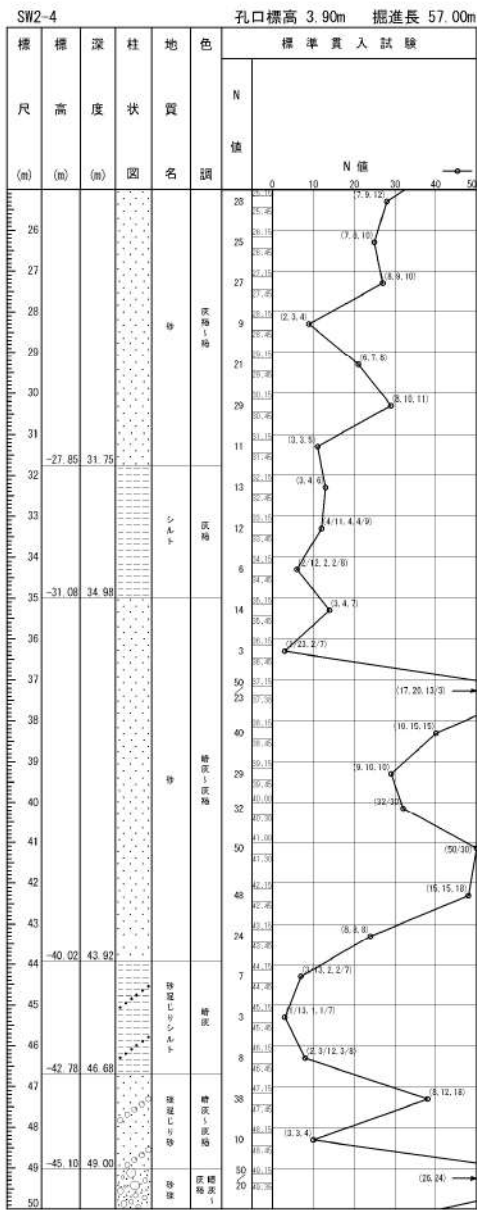
ボーリング平面位置図



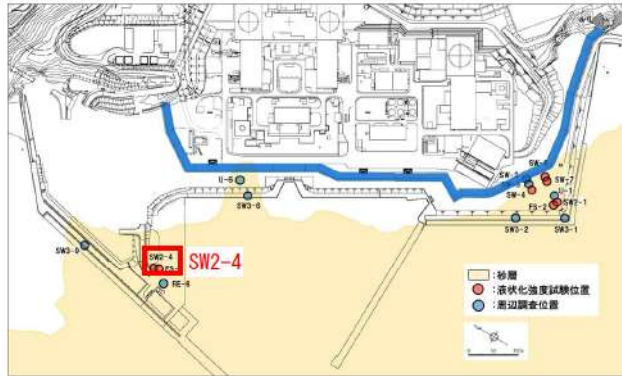
添付 1-53 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



ボーリング平面位置図



添付 1-53 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



ボーリング平面位置図

SW2-4 孔口標高 3.90m 掘進長 57.00m

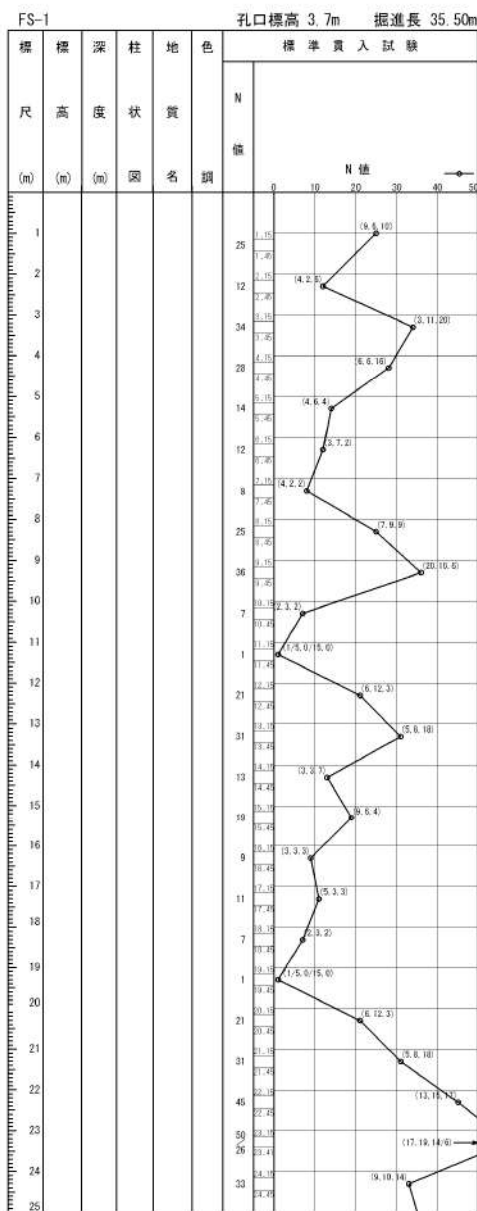
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状 (m)	地質 (名)	色調	標準貫入試験	
						N 値	N 値
51				砂		28	9.4/12
52	-48.31	52.21		砂		13	(35, 15/2)
53	-49.10	53.00		砂		12	(42, 8/2)
54				砂			
55	-50.85	54.75		砂			
56				砂			
57	-53.10	57.00		砂			



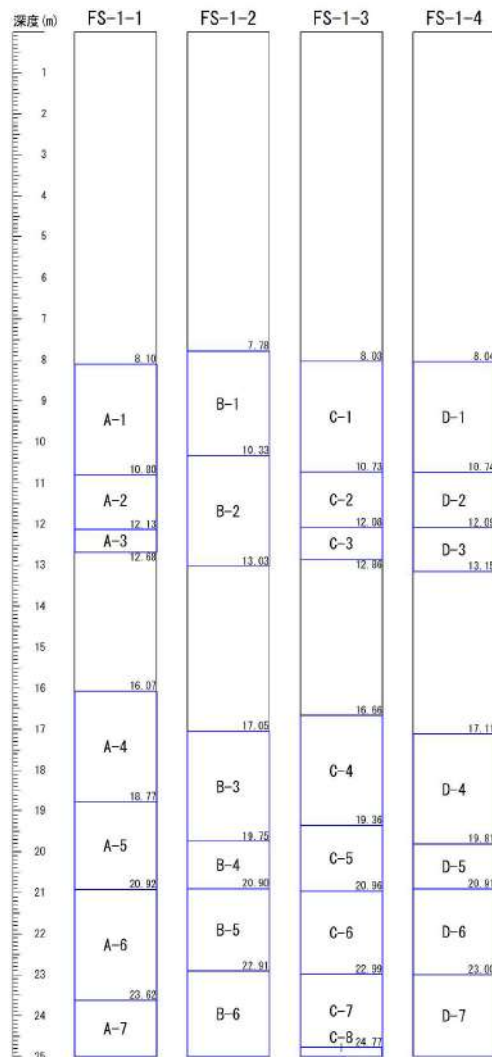
添付 1-53 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



ボーリング平面位置図

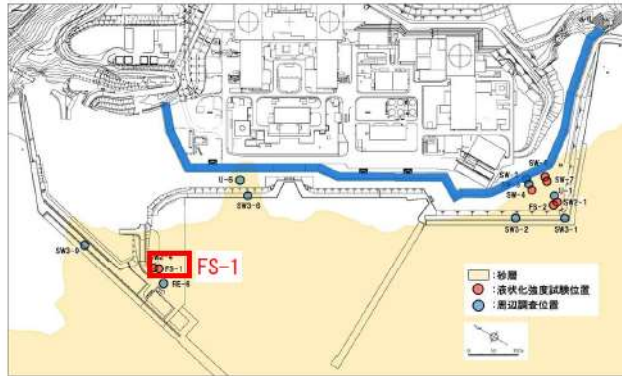


※FS-1 は標準貫入試験のみ実施

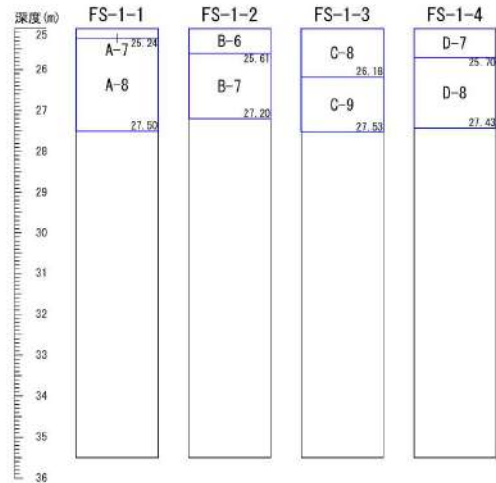
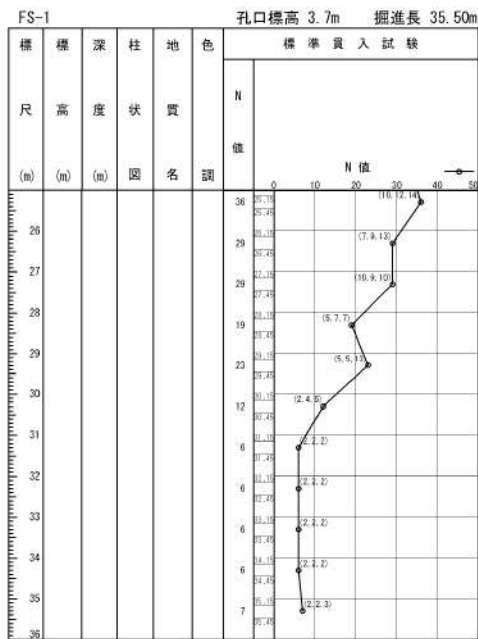


□ : サンプル位置

添付 1-54 図(1/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



ボーリング平面位置図



※FS-1 は標準貫入試験のみ実施

□ : サンプル位置

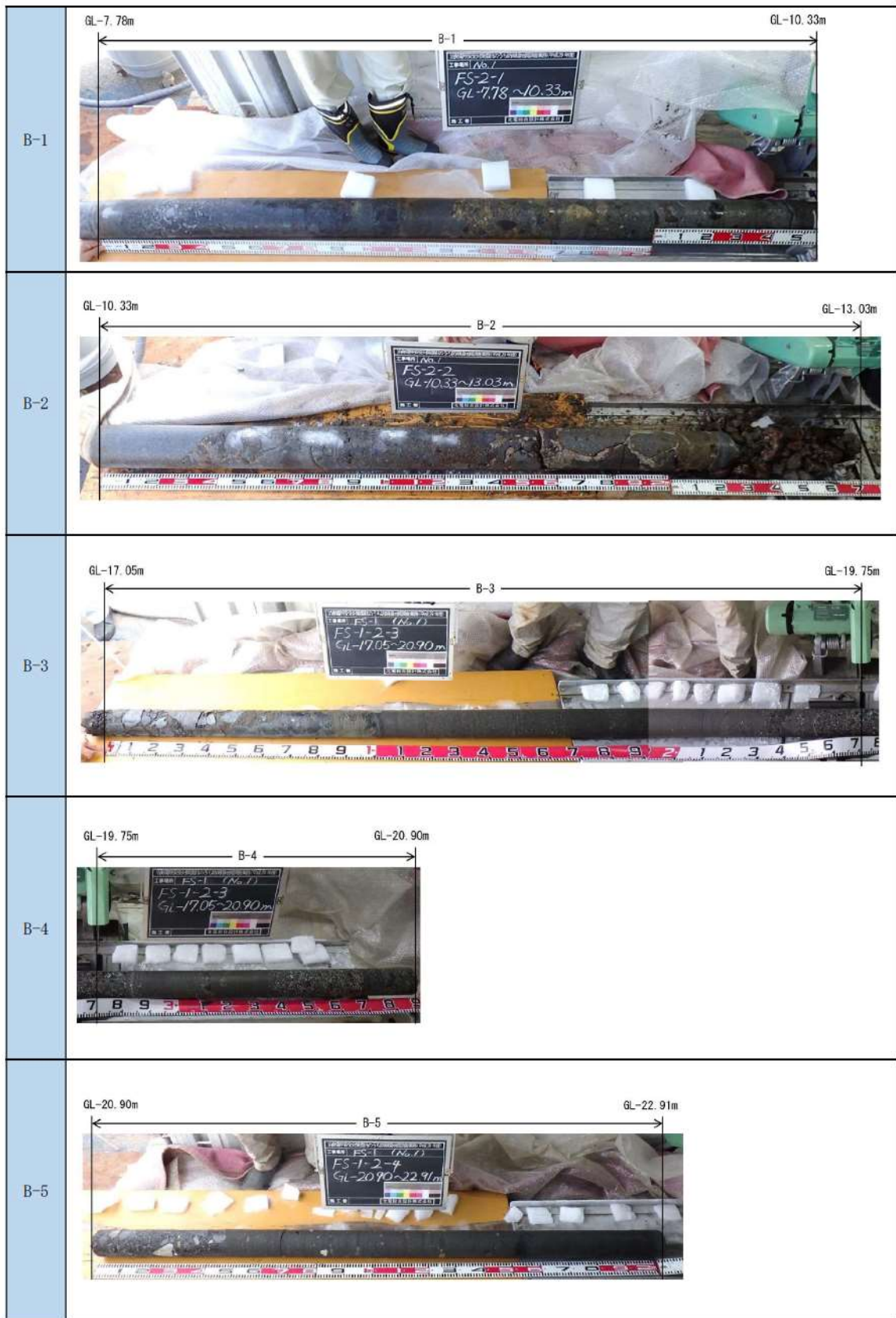
添付 1-54 図(2/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



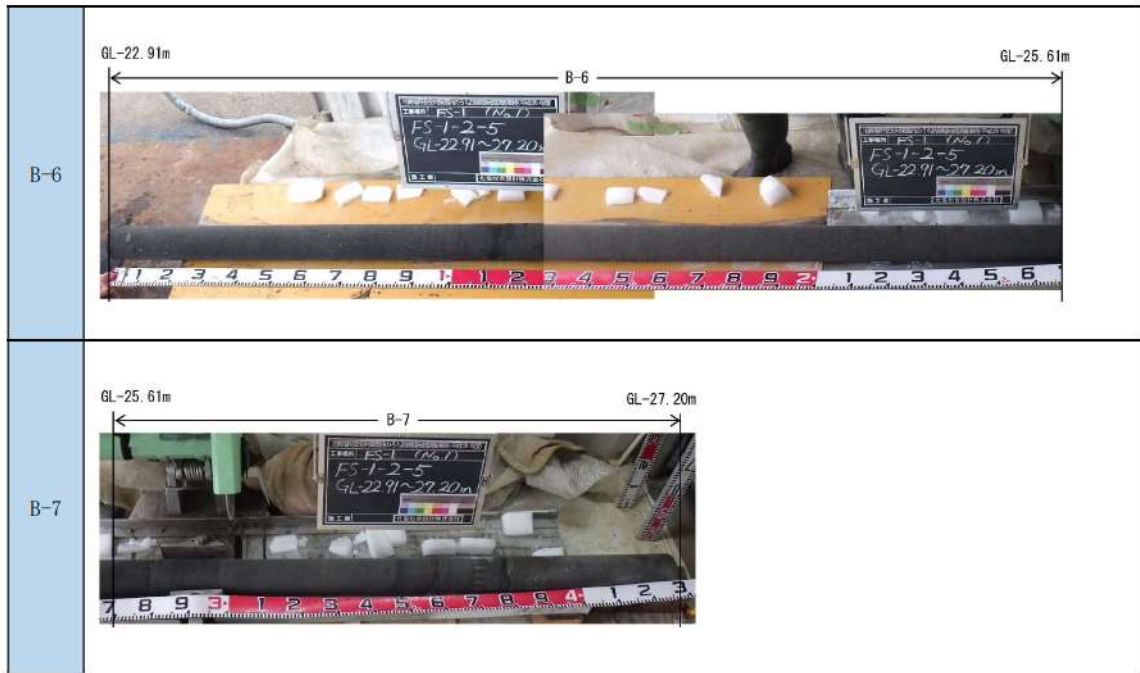
添付 1-54 図(3/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



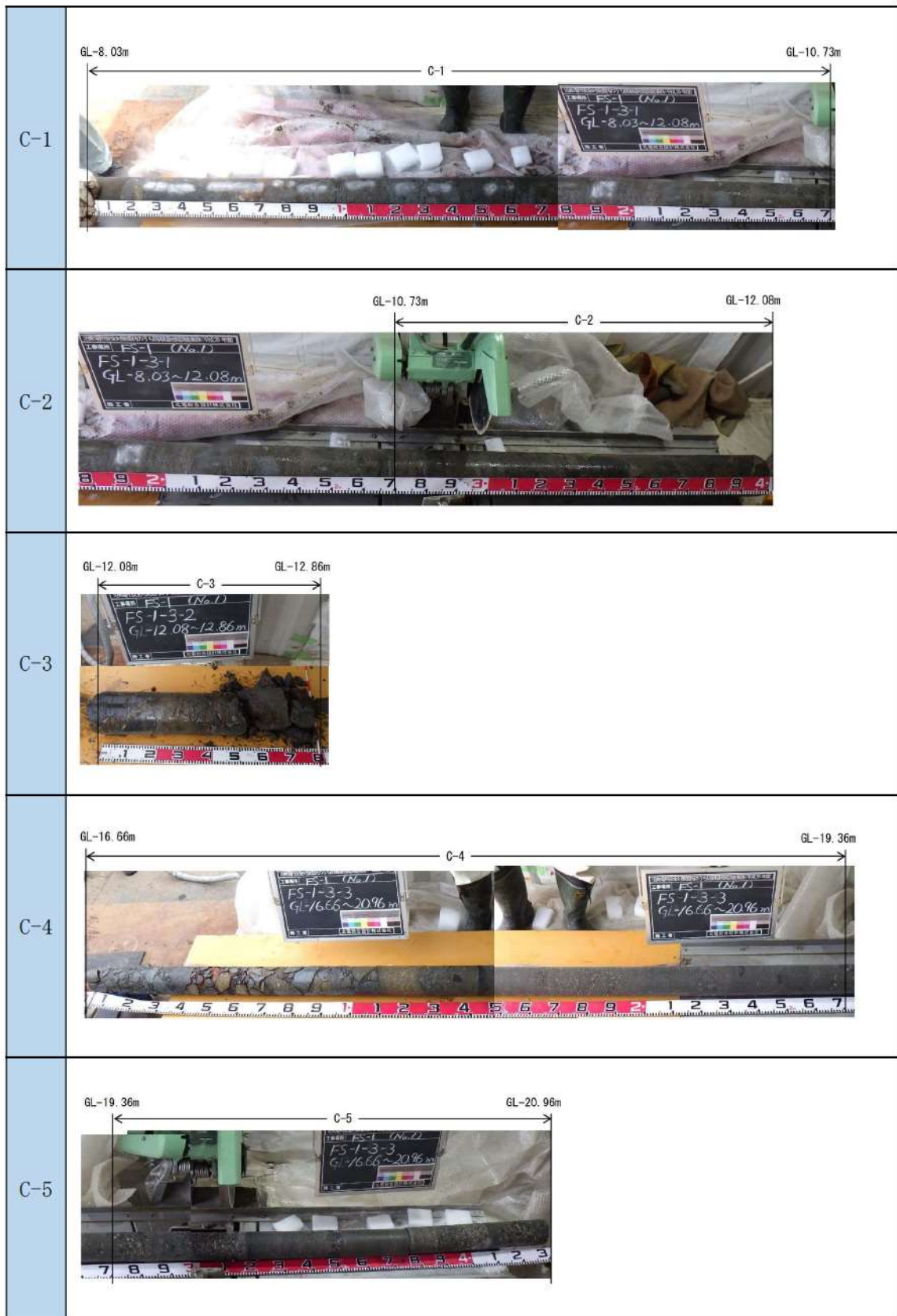
添付 1-54 図(4/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



添付 1-54 図(5/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



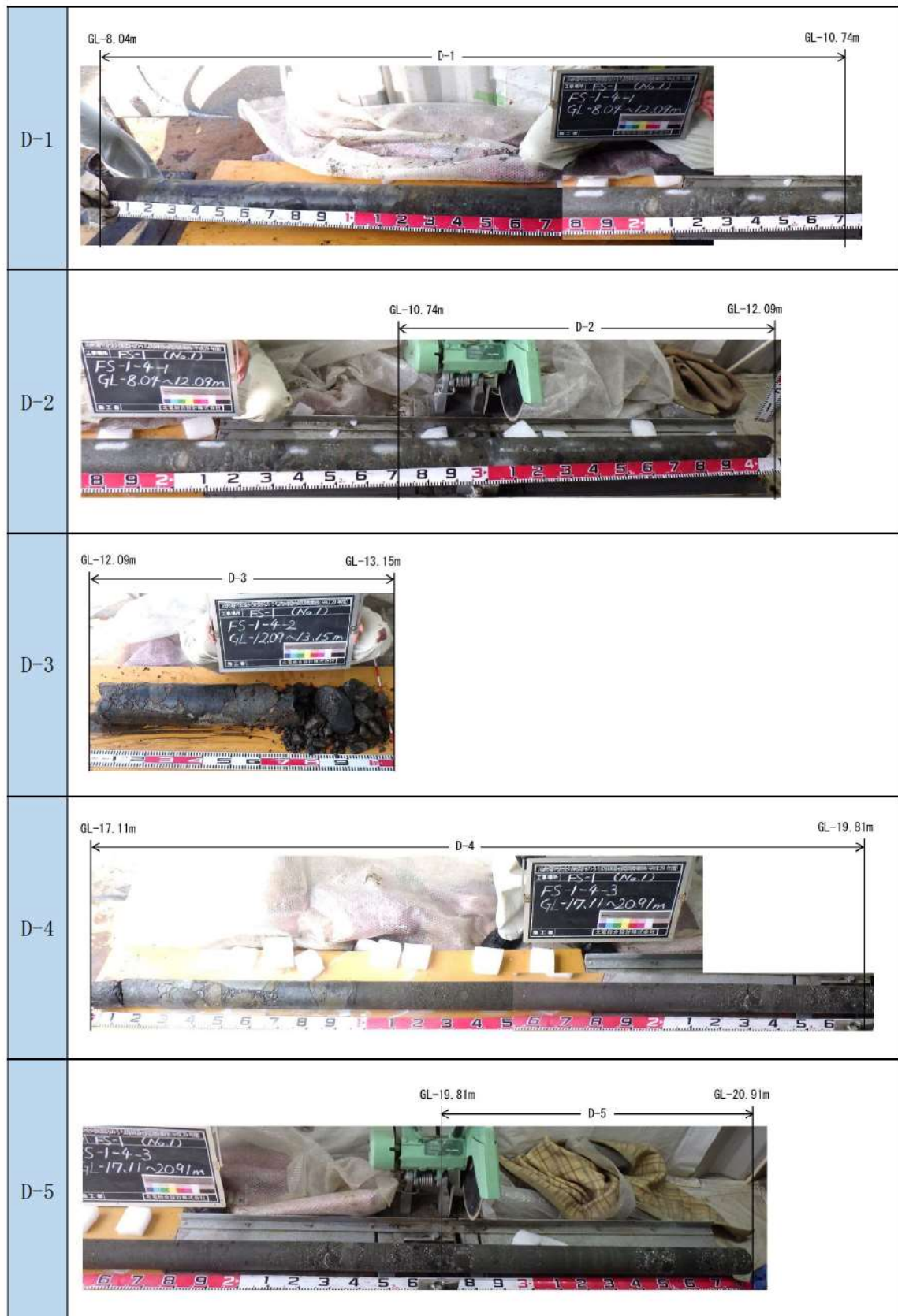
添付 1-54 図(6/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



添付 1-54 図(7/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)

C-6	
C-7	
C-8	
C-9	

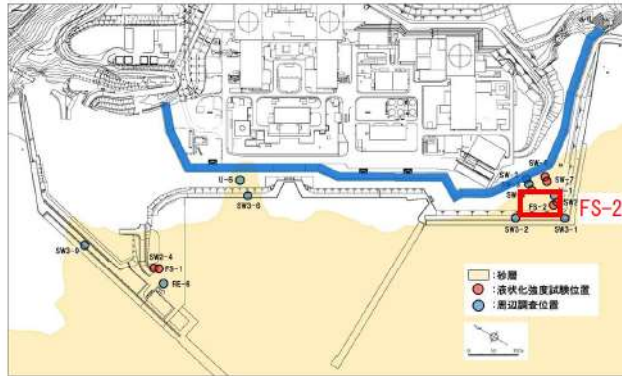
添付 1-54 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



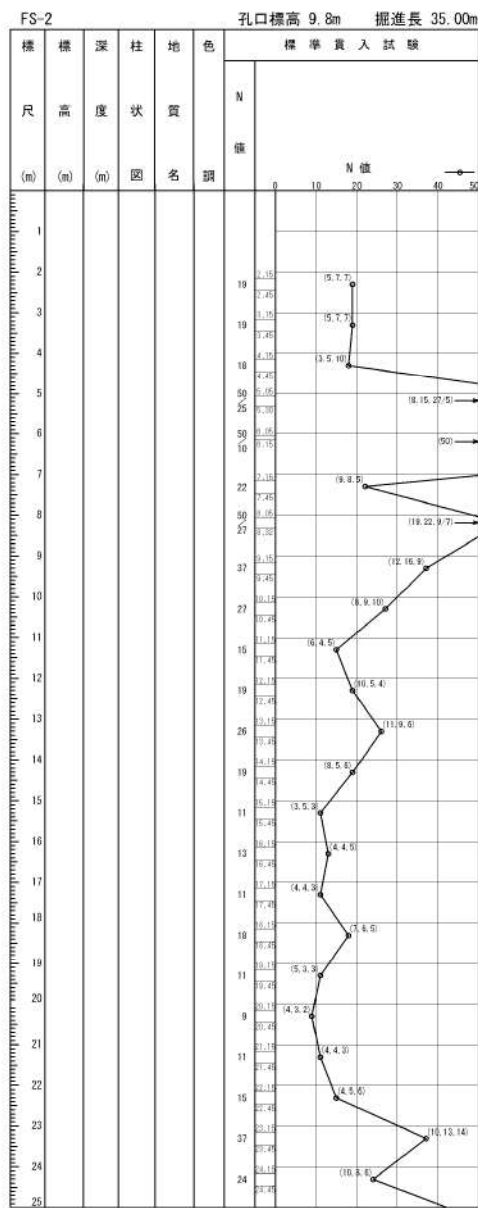
添付 1-54 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



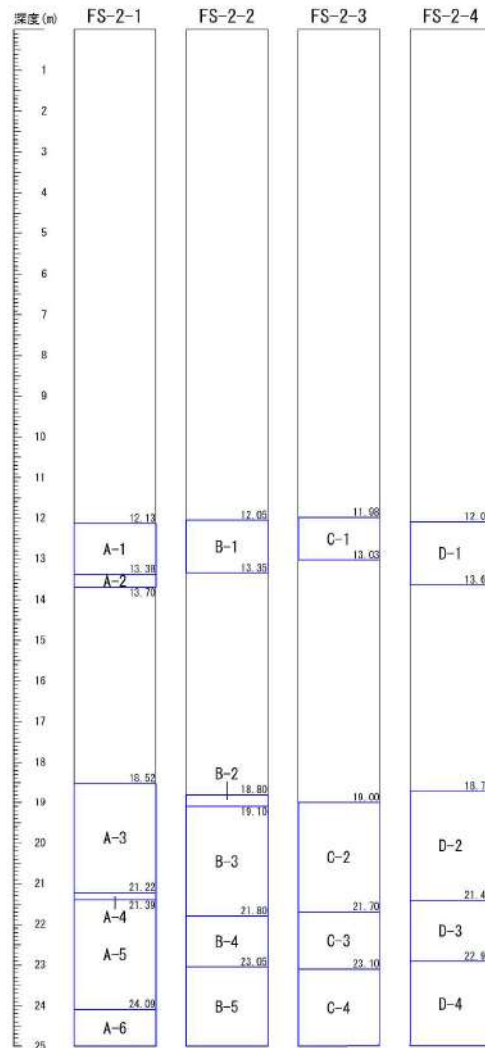
添付 1-54 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



ボーリング平面位置図

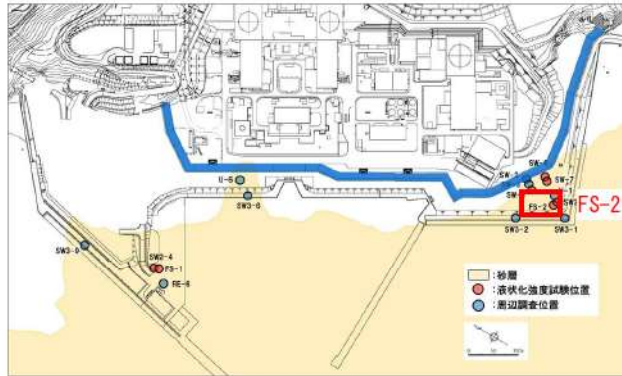


※FS-2 は標準貫入試験のみ実施

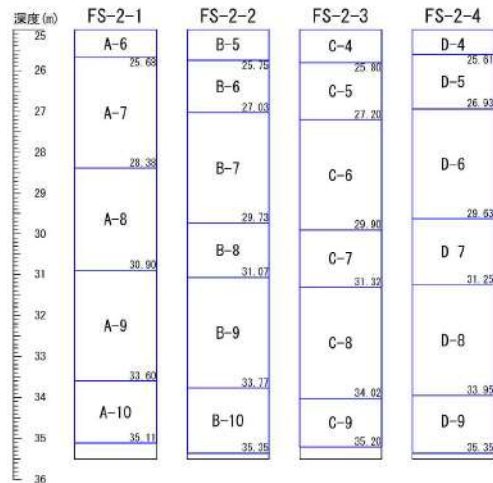
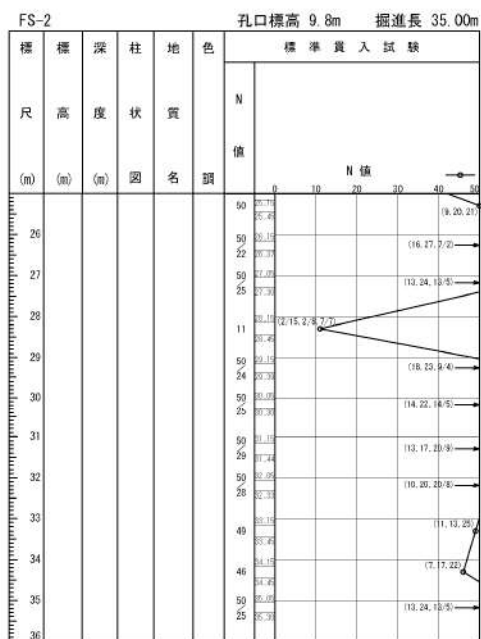


□ : サンプル位置

添付 1-55 図(1/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



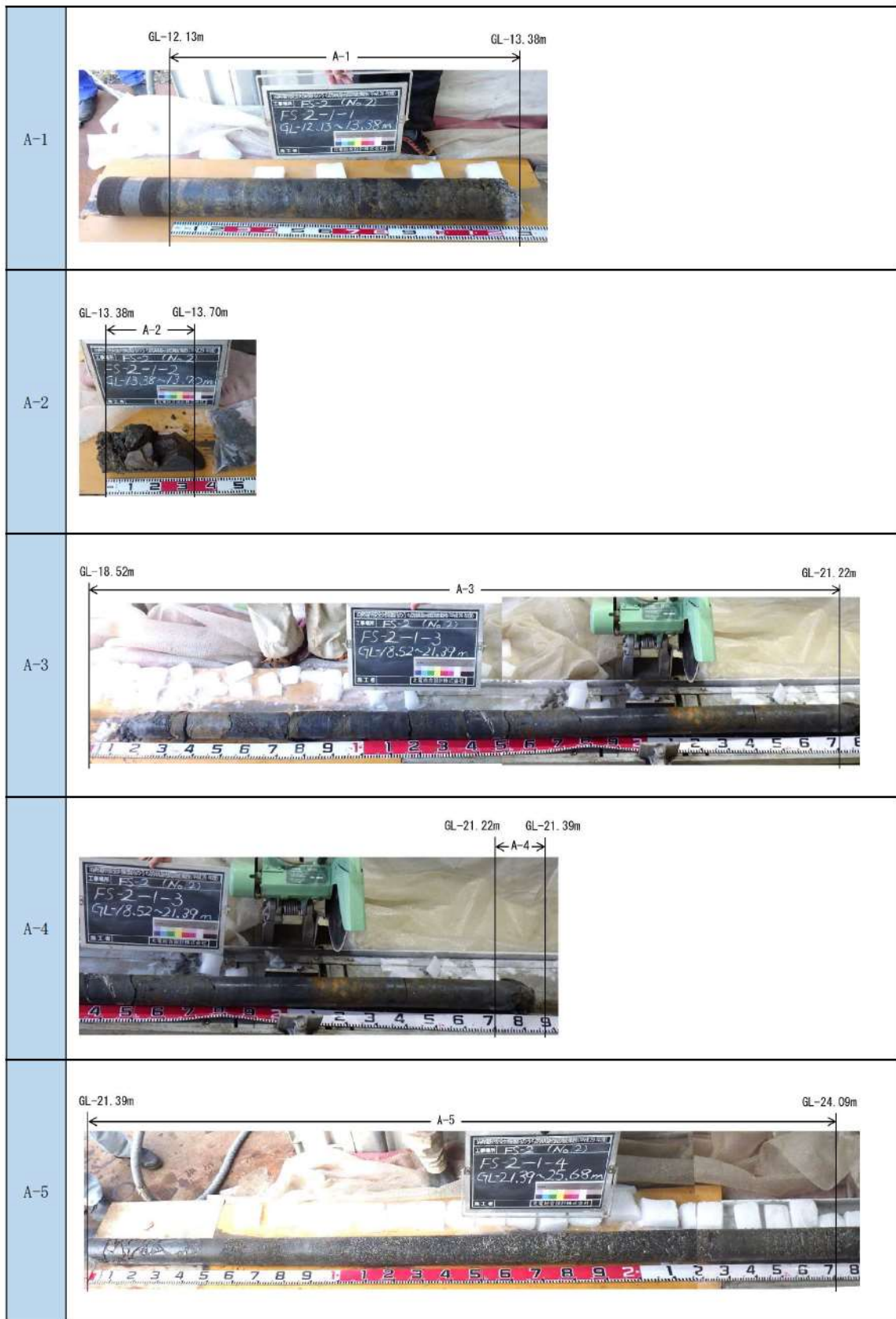
ボーリング平面位置図



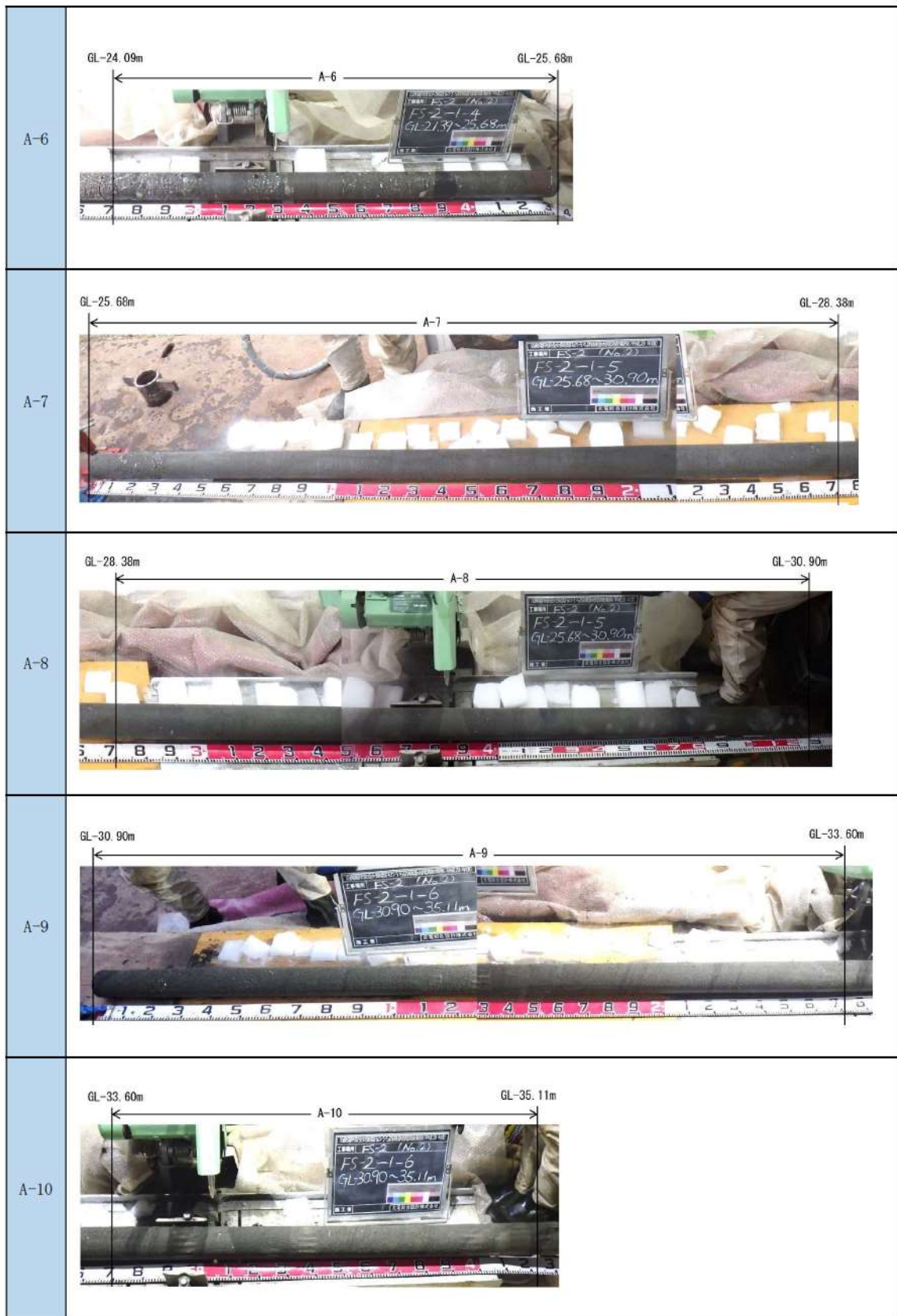
※FS-2 は標準貫入試験のみ実施

□ : サンプル位置

添付 1-55 図(2/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



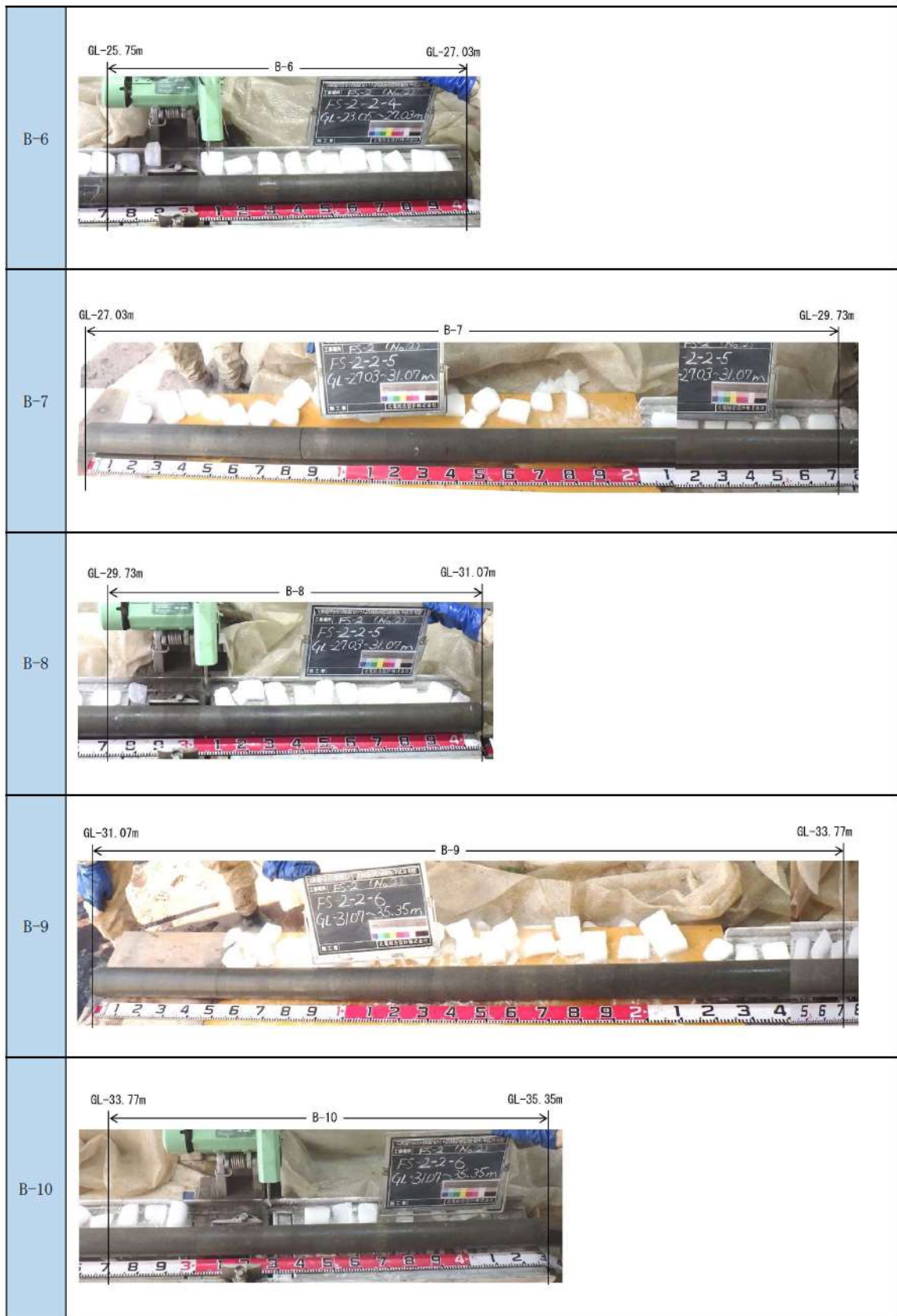
添付 1-55 図(3/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



添付 1-55 図(4/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



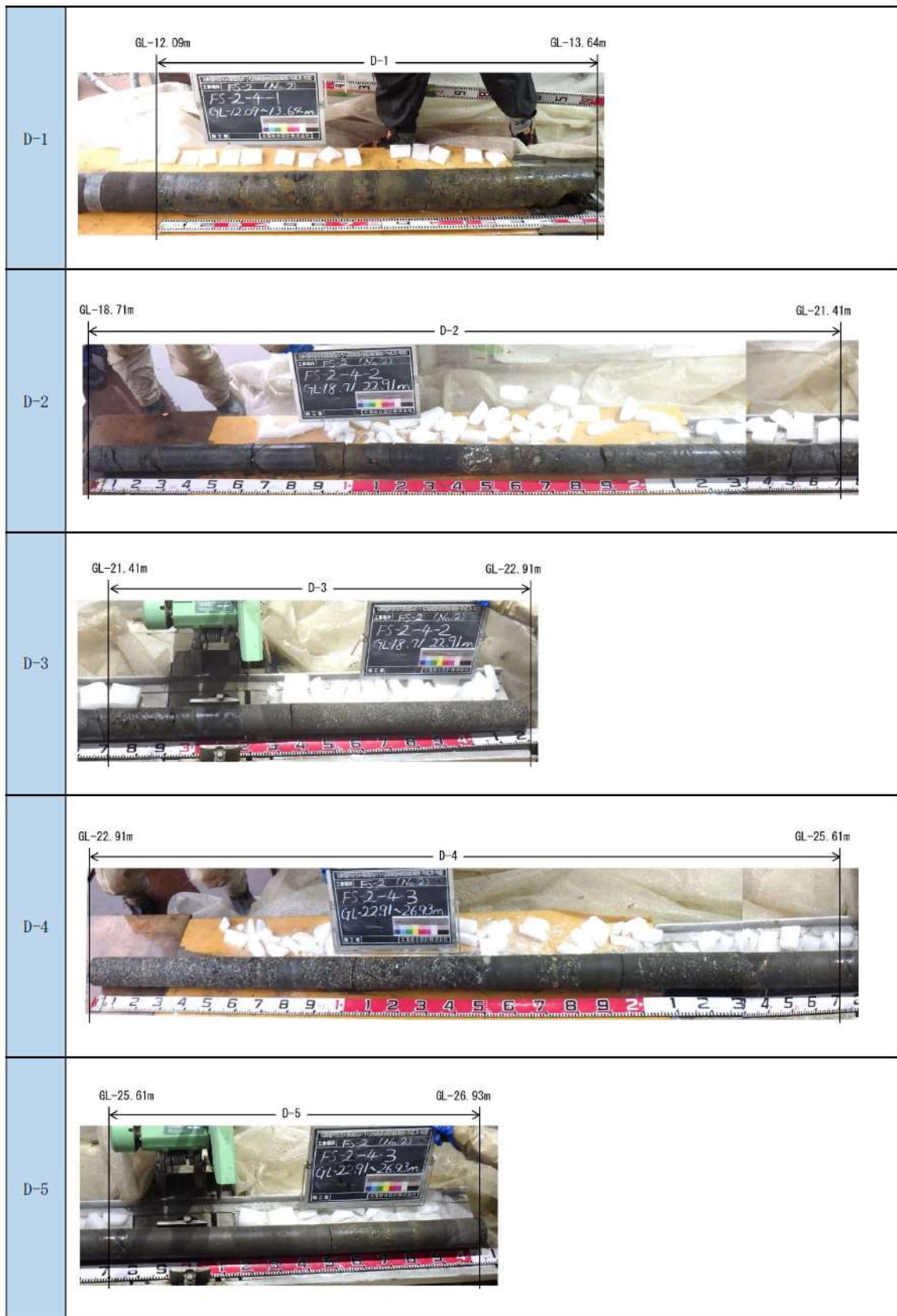
添付 1-55 図(5/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



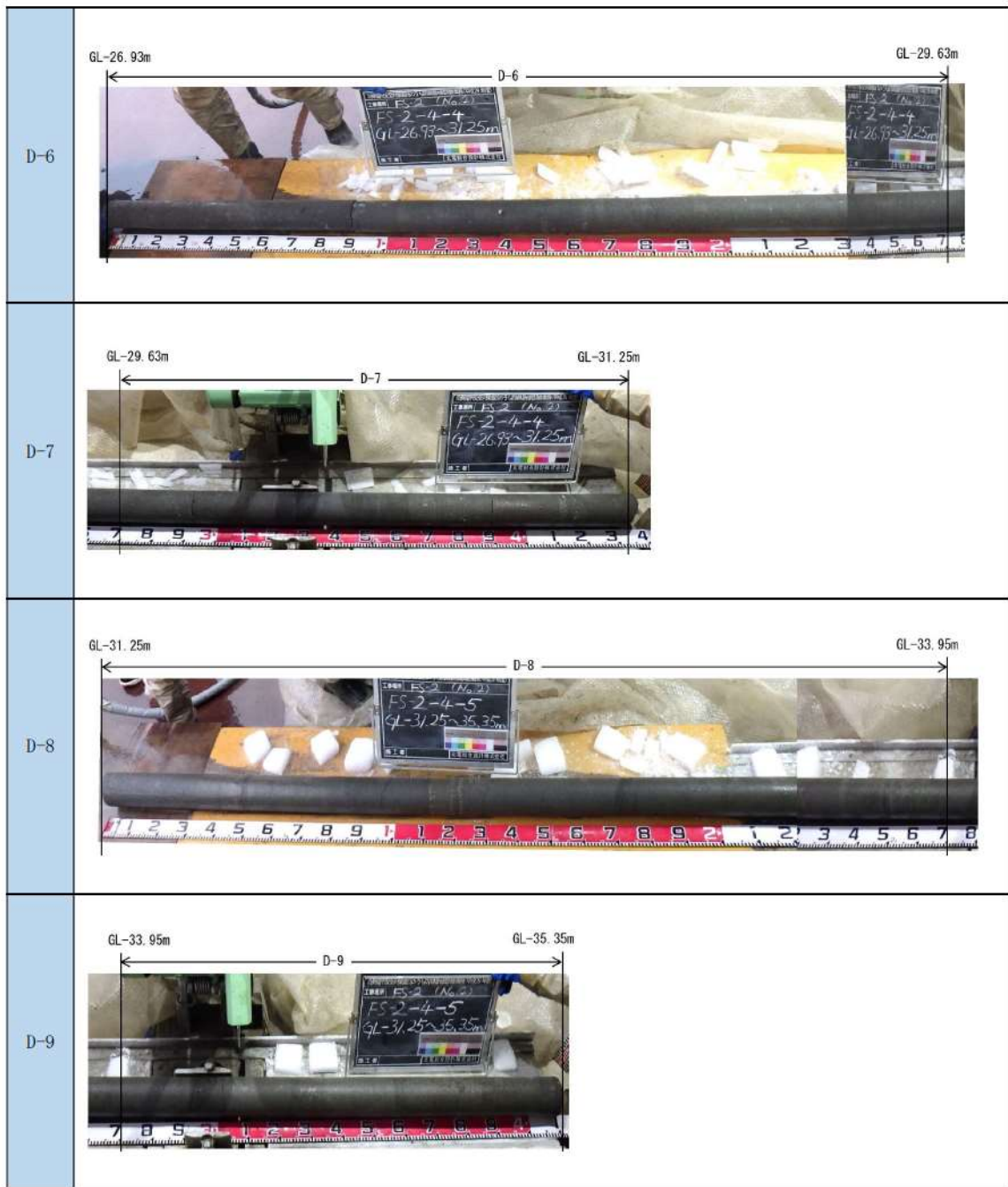
添付 1-55 図(6/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



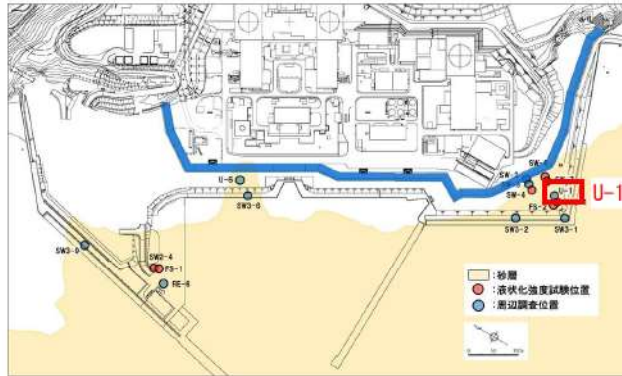
添付 1-55 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



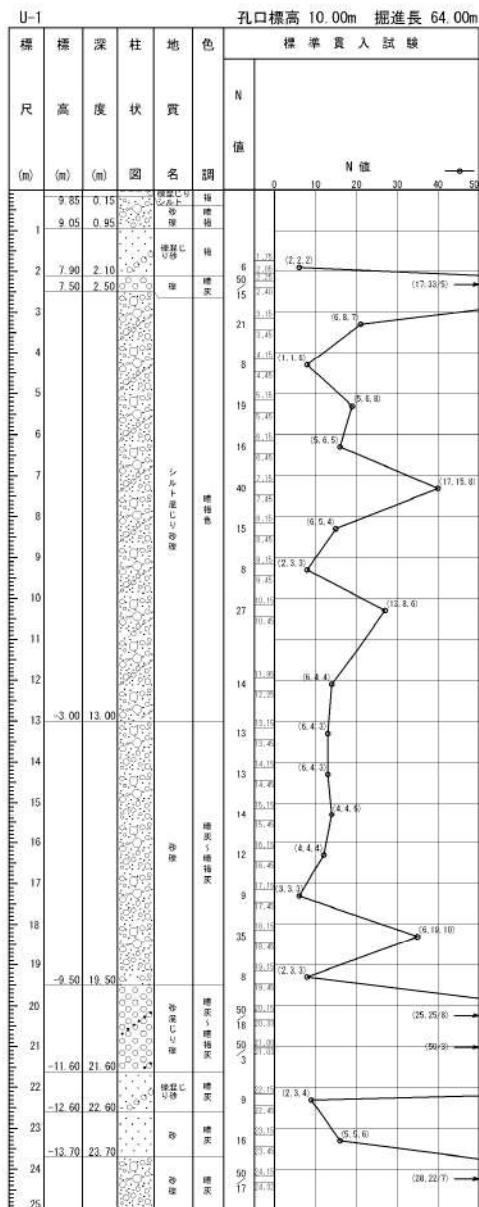
添付 1-55 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



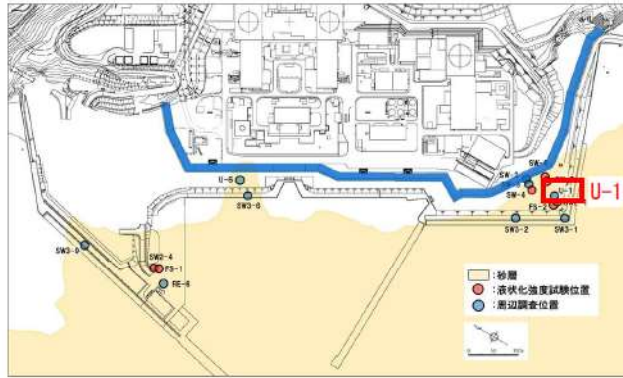
添付 1-55 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



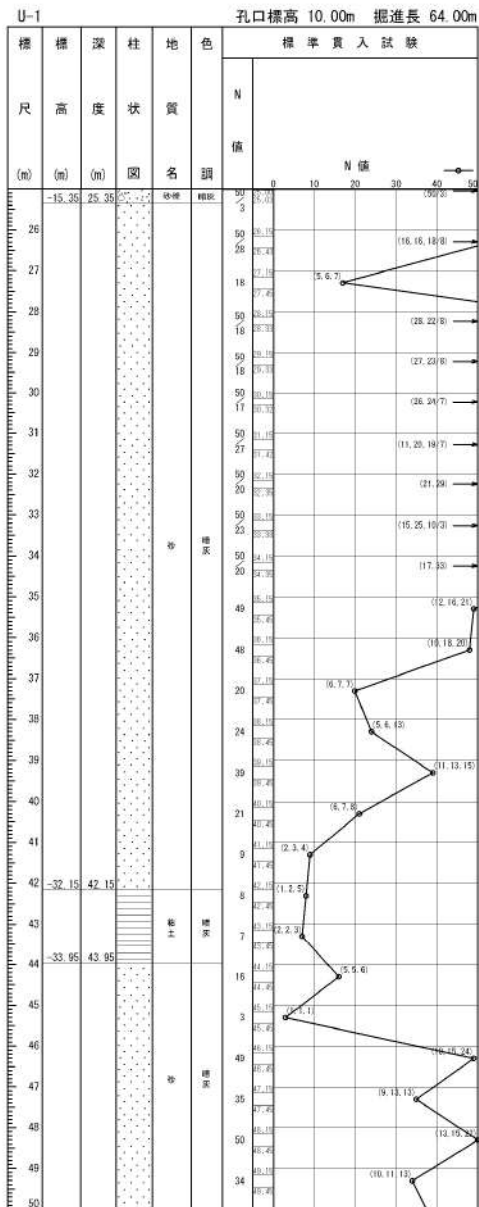
ボーリング平面位置図



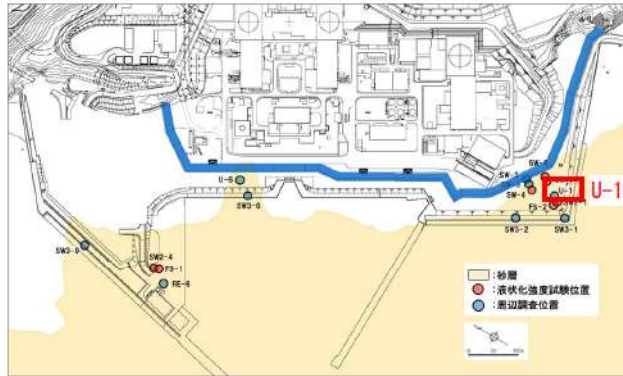
添付 1-56 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



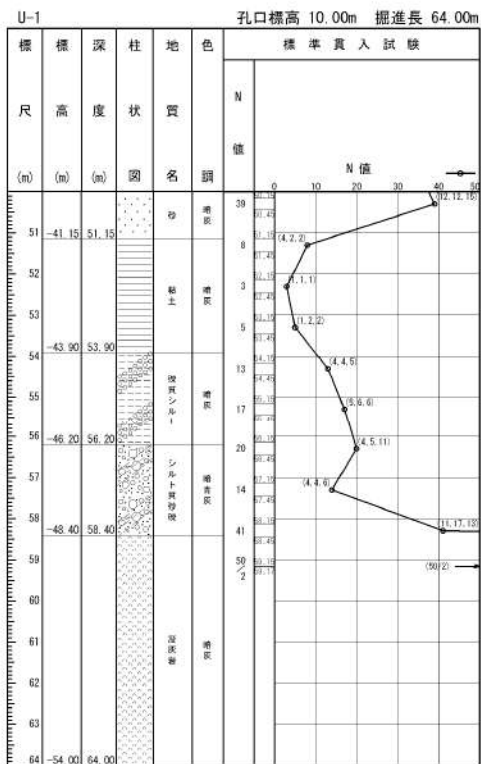
ボーリング平面位置図



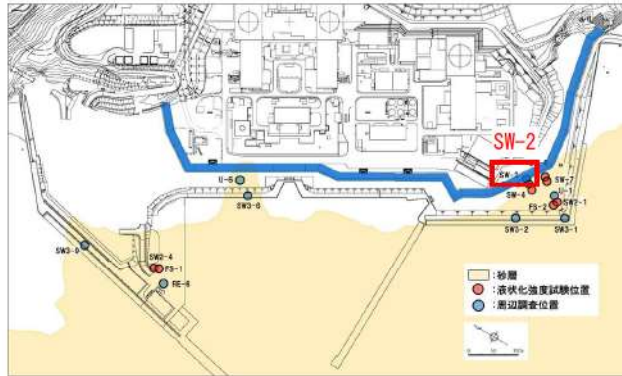
添付 1-56 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



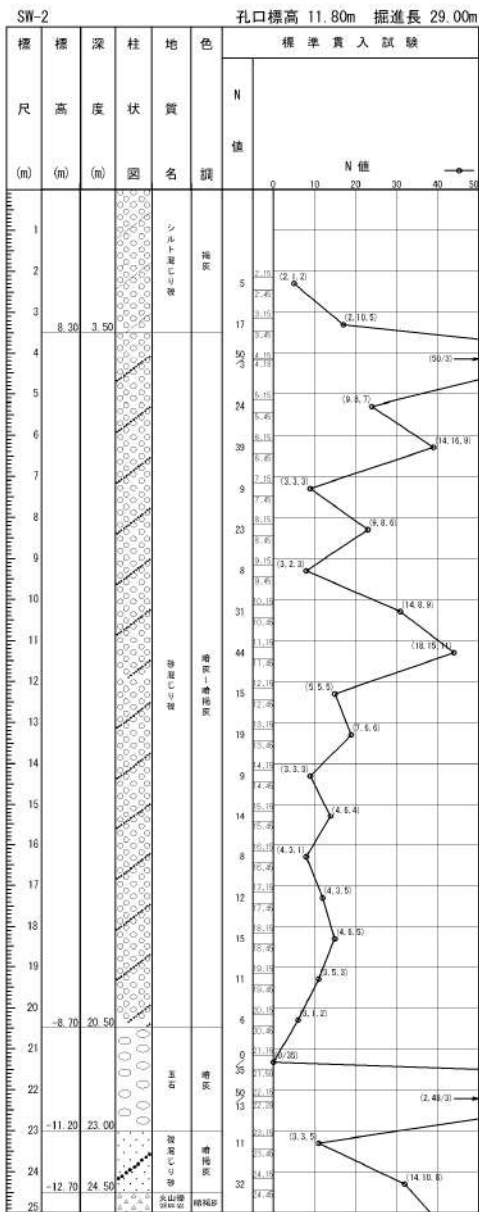
ボーリング平面位置図



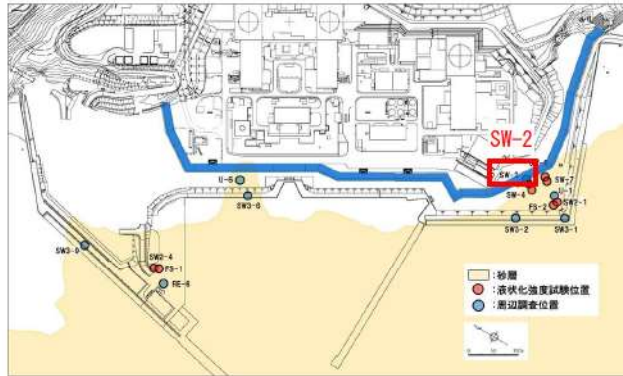
添付 1-56 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



ボーリング平面位置図



添付 1-57 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



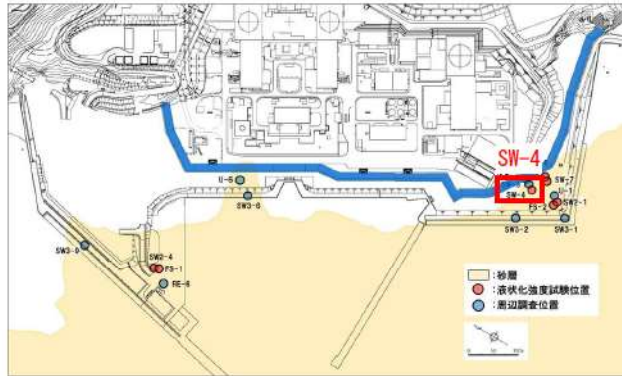
ボーリング平面位置図

SW-2 孔口標高 11.80m 掘進長 29.00m

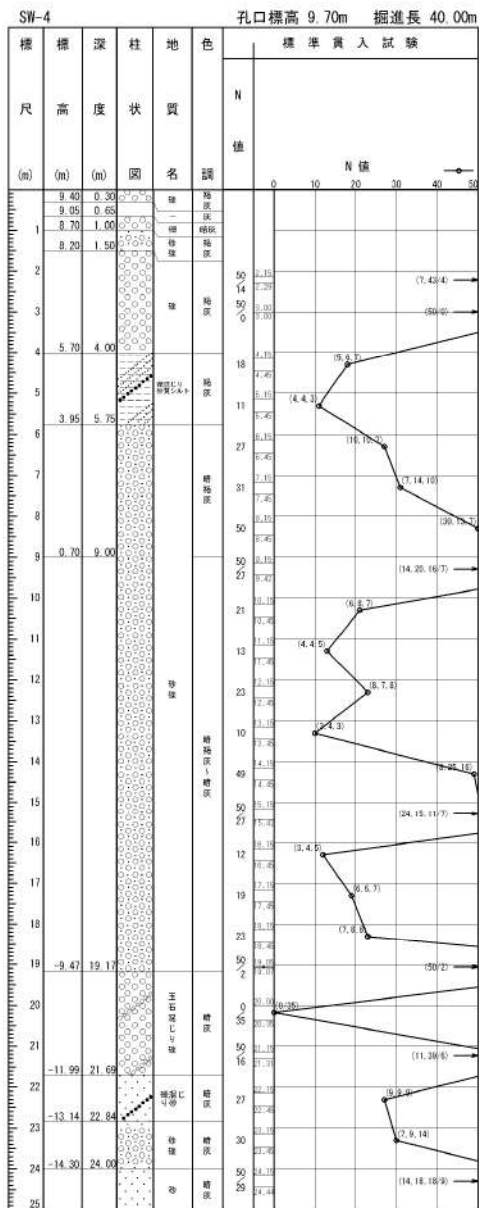
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	標準貫入試験	
						N 値	N 値
	-13.70	25.50	火山噴出物 礫層	火山噴出物 礫層	褐色	41	18.11
26		59				20.00	
27							
28							
29	-17.20	29.00					



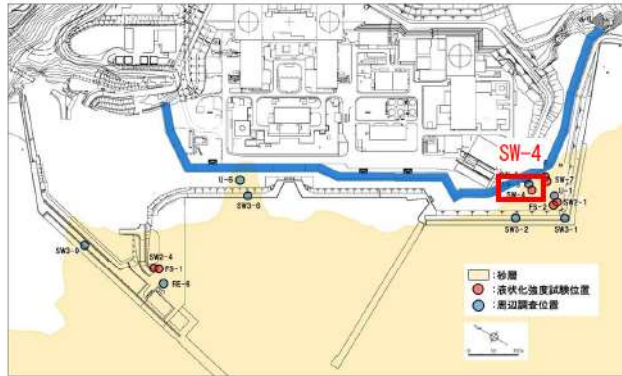
添付 1-57 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



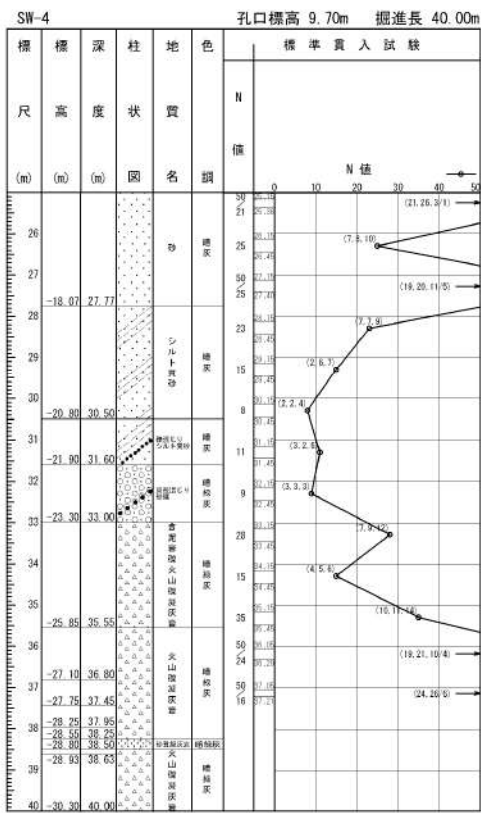
ボーリング平面位置図



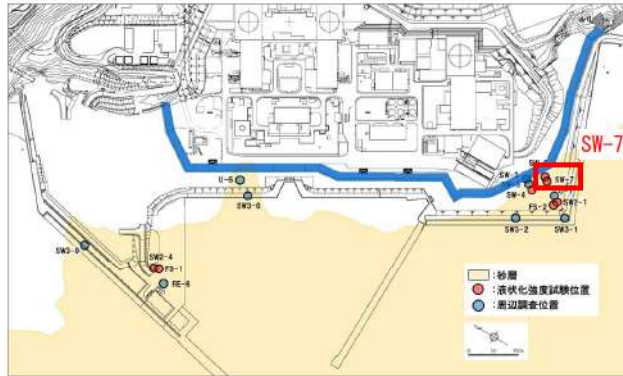
添付 1-58 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-4)



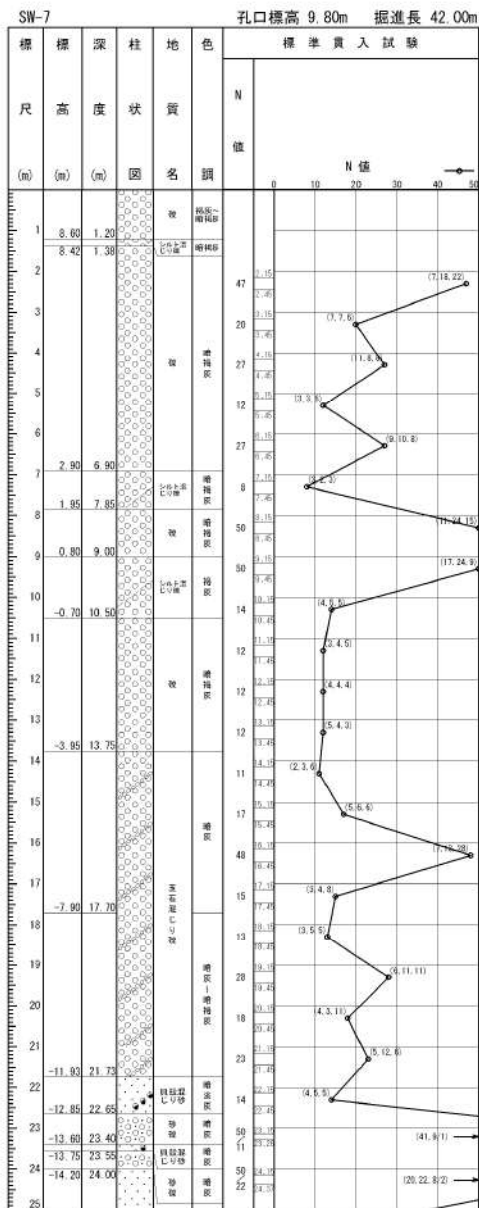
ボーリング平面位置図



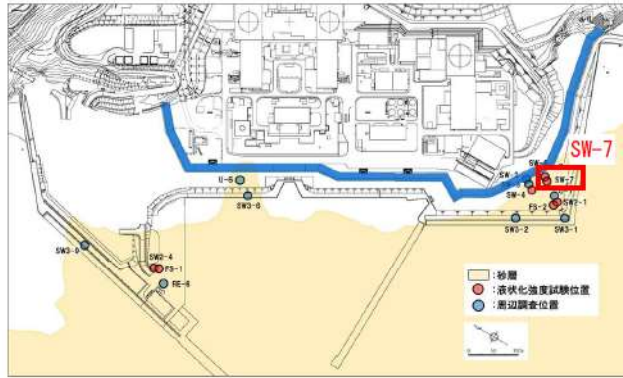
添付 1-58 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-4)



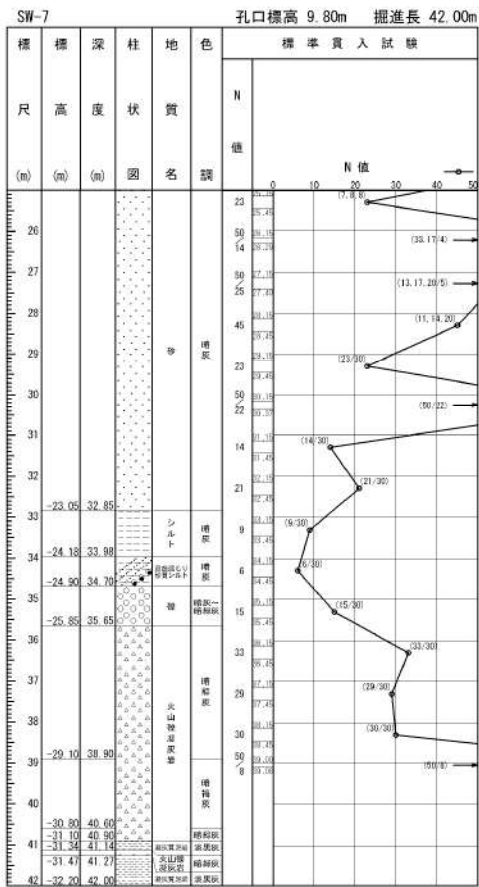
ボーリング平面位置図



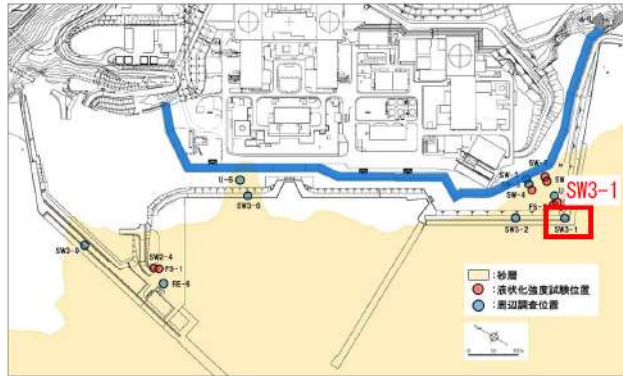
添付 1-59 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-7)



ボーリング平面位置図



添付 1-59 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-7)



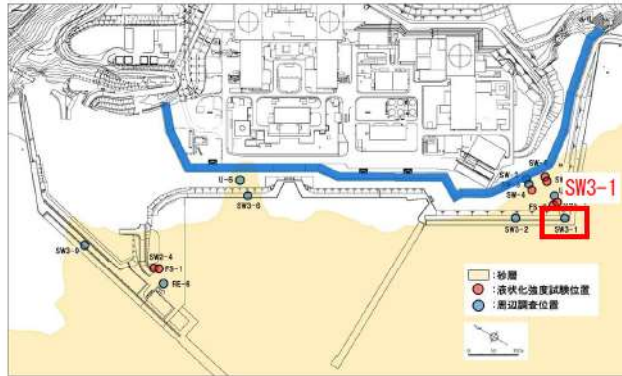
ボーリング平面位置図

SW3-1 孔口標高 5.10m 掘進長 72.00m

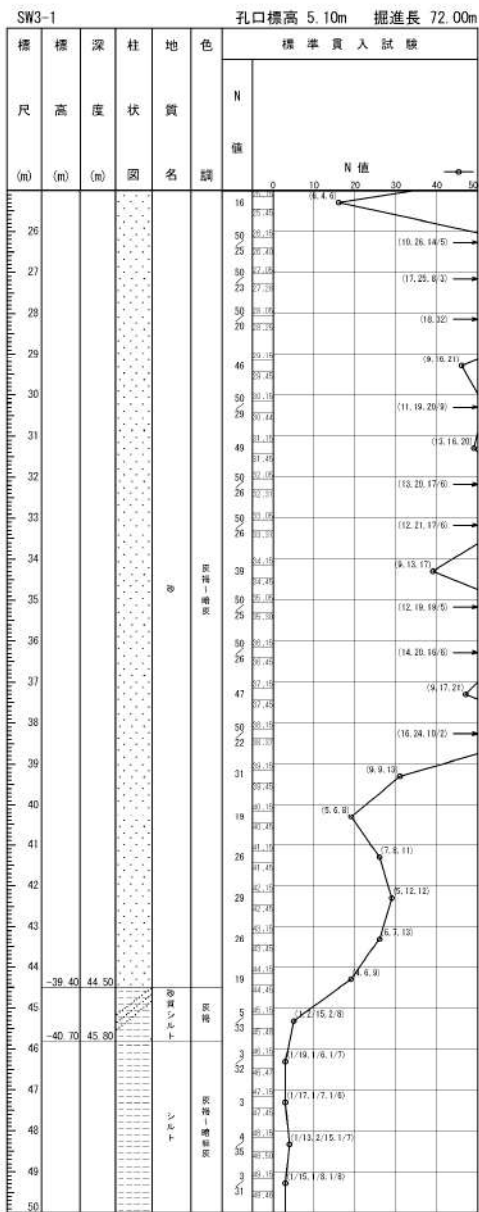
標尺 (m)	標準高度 (m)	柱状図 (m)	地質名	地色	標準貫入試験	
					N 値	N 値
0	4.34	0.20	コンクリート	灰色		
1			砂	標準		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16	-11.30	16.40				
17			実測値	標準		
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						



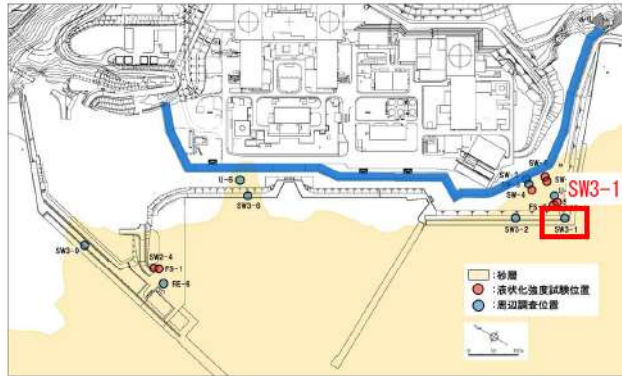
添付 1-60 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



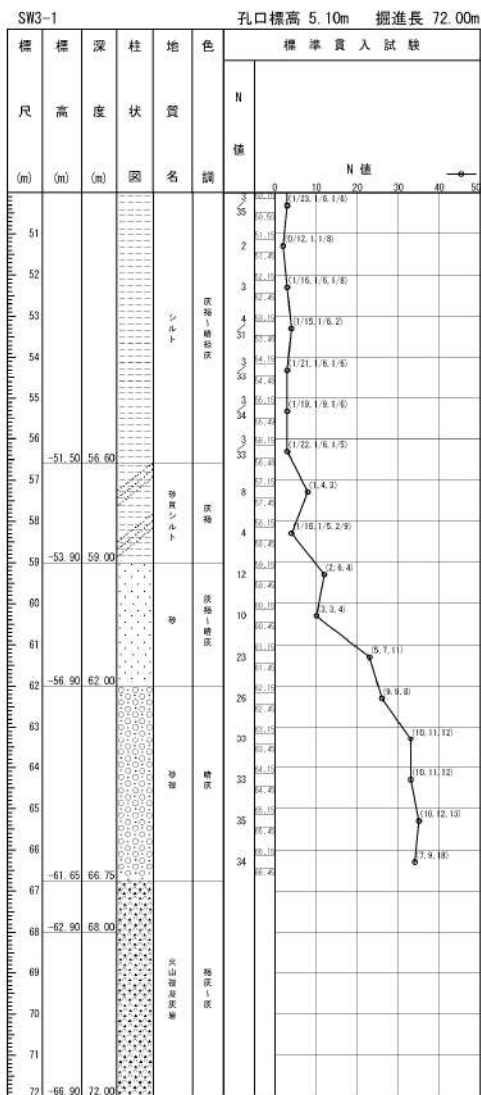
ボーリング平面位置図



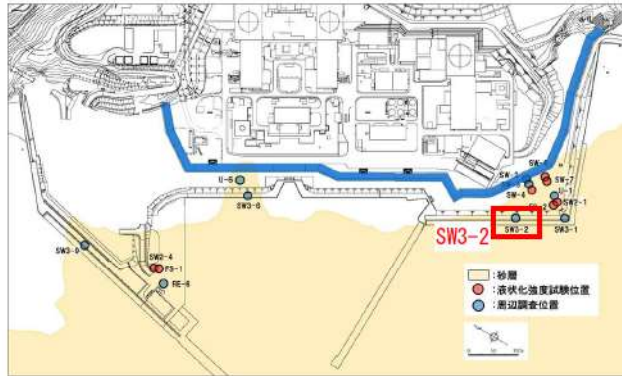
添付 1-60 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



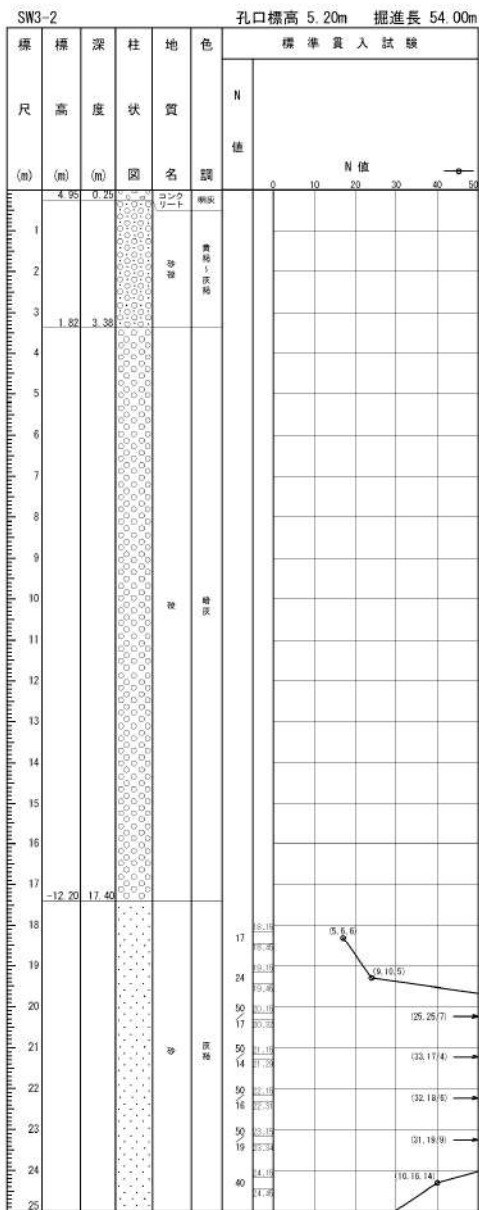
ボーリング平面位置図



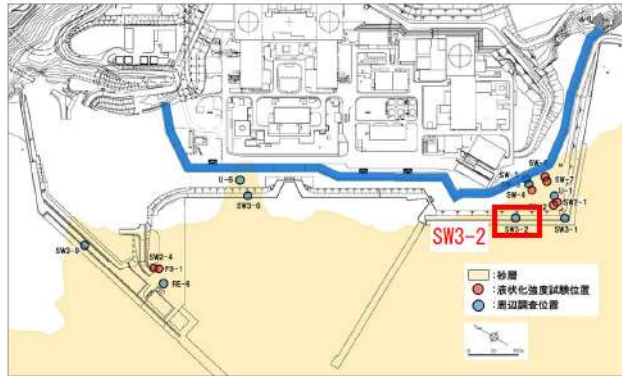
添付 1-60 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



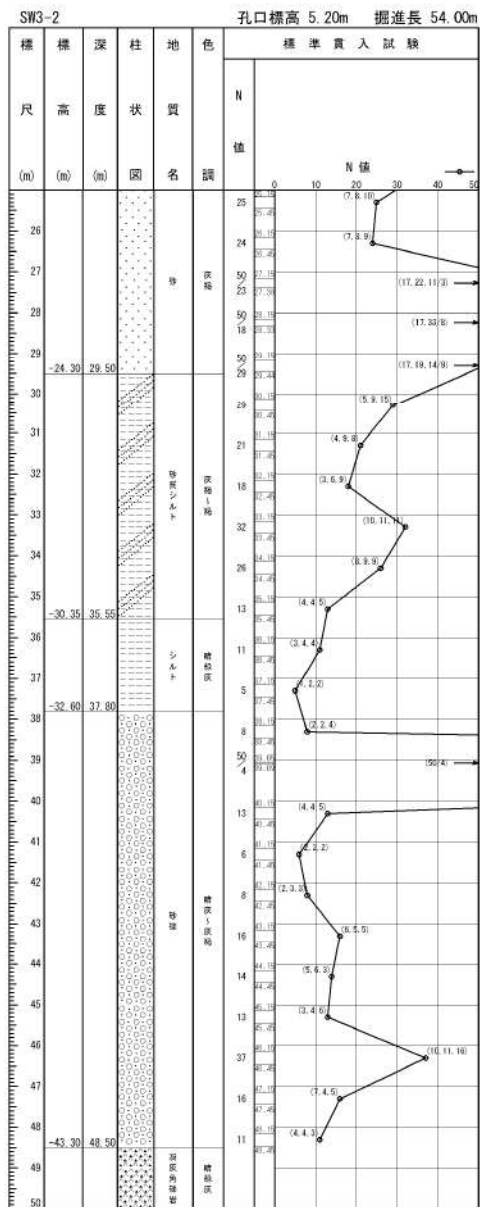
ボーリング平面位置図



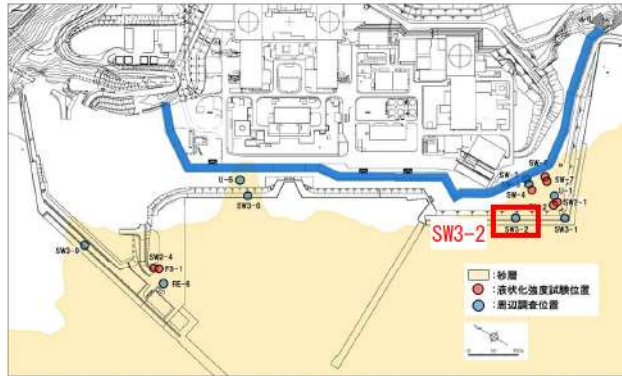
添付 1-61 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



ボーリング平面位置図



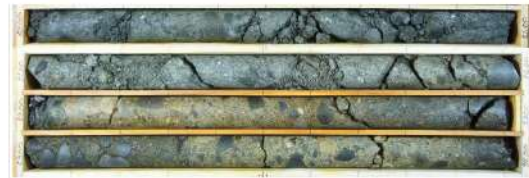
添付 1-61 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



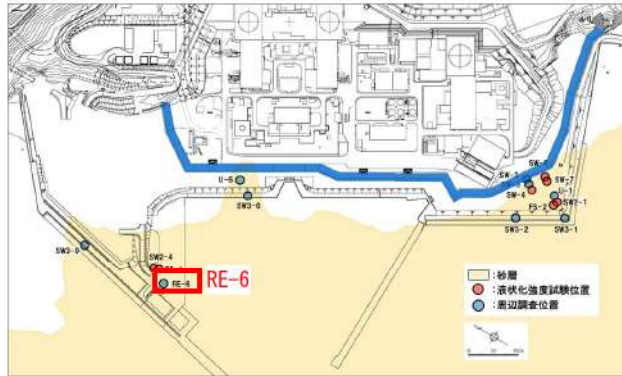
ボーリング平面位置図

SW3-2 孔口標高 5.20m 掘進長 54.00m

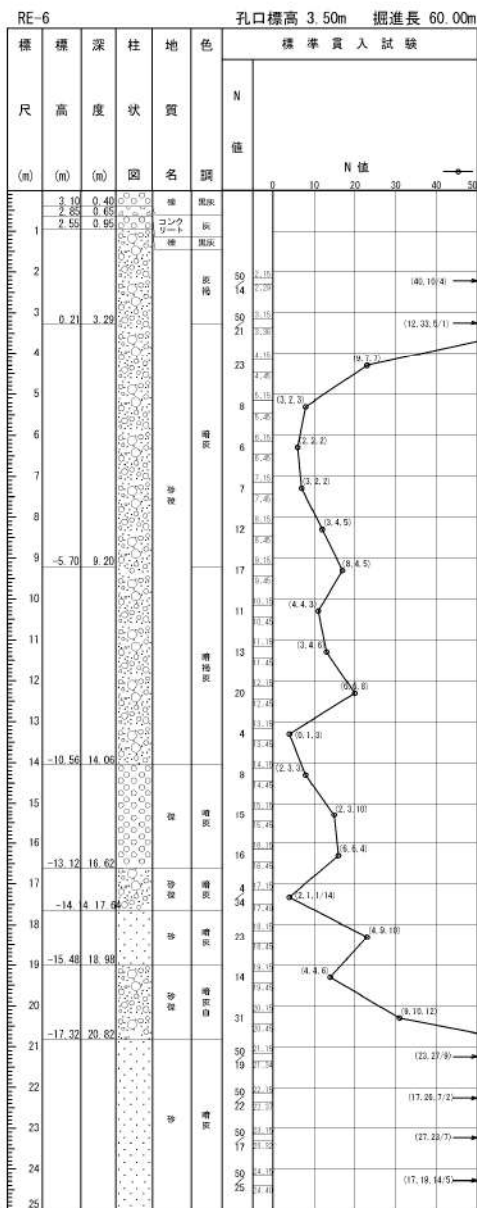
標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状	地質	色調	標準貫入試験					
						N 値					
						0	10	20	30	40	50
51			砂層	凝結土	灰色						
52	-46.80	52.00									
53			砂層	凝結土	灰色						
54	-48.80	54.00									



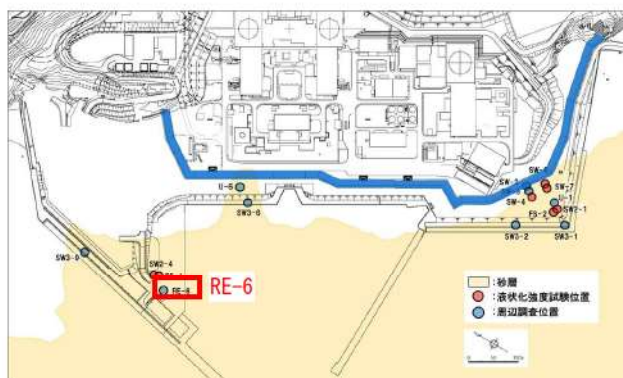
添付 1-61 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



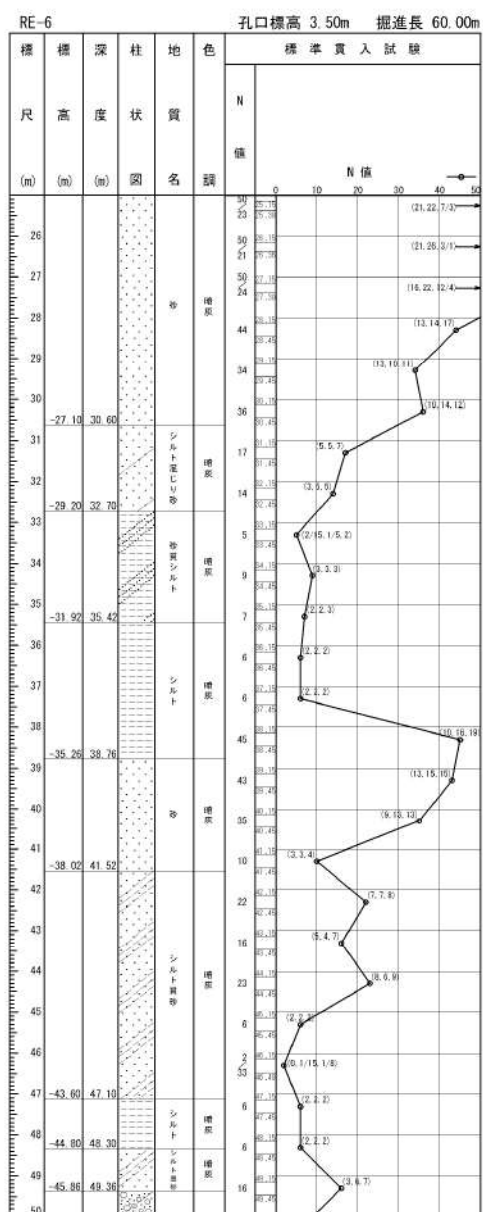
ボーリング平面位置図



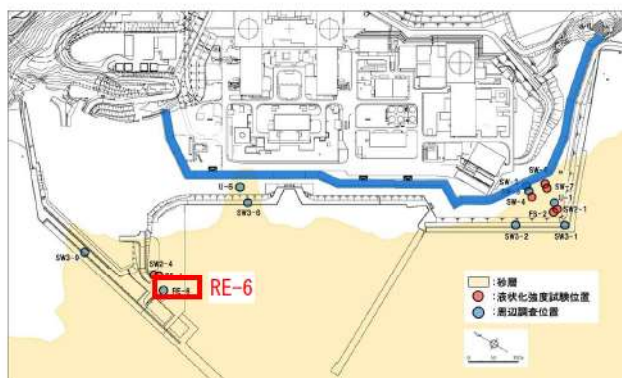
添付 1-62 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



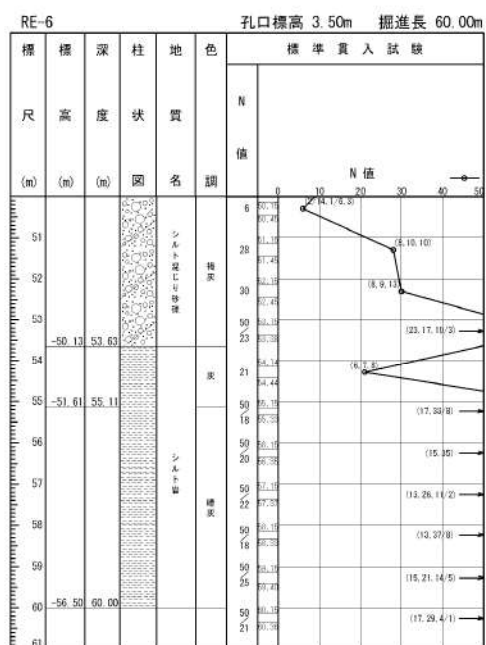
ボーリング平面位置図



添付 1-62 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



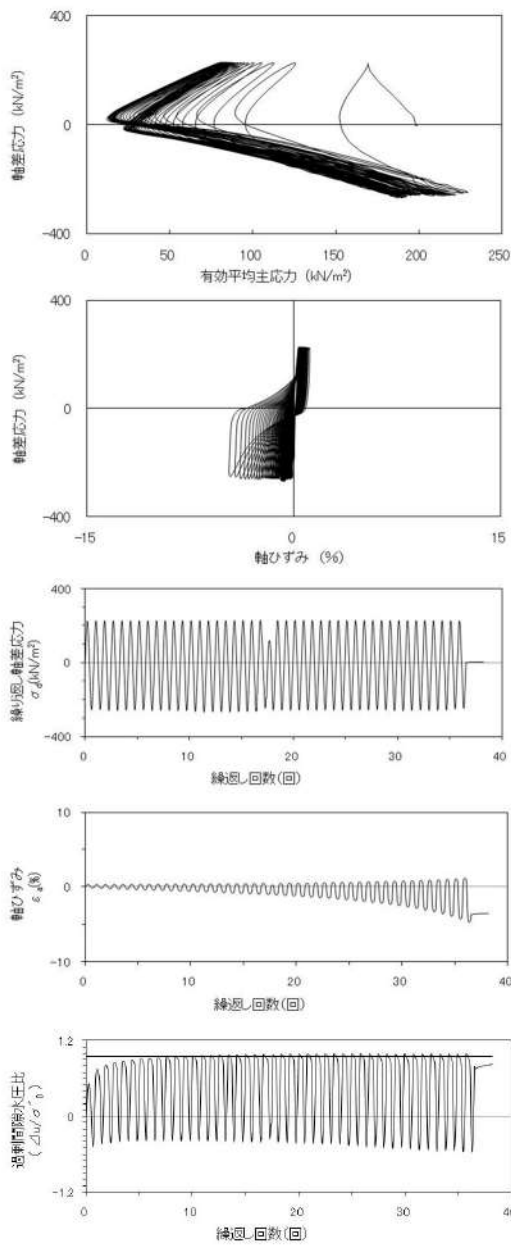
ボーリング平面位置図



添付 1-62 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)

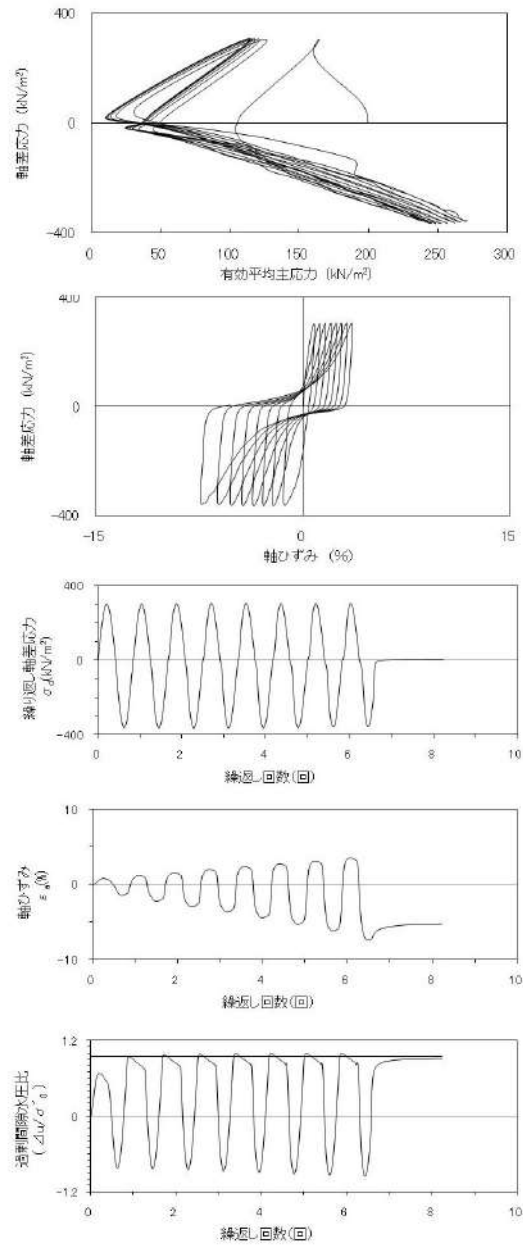
2. 液状化強度試験結果

(1) 1, 2号埋戻土の試験データ



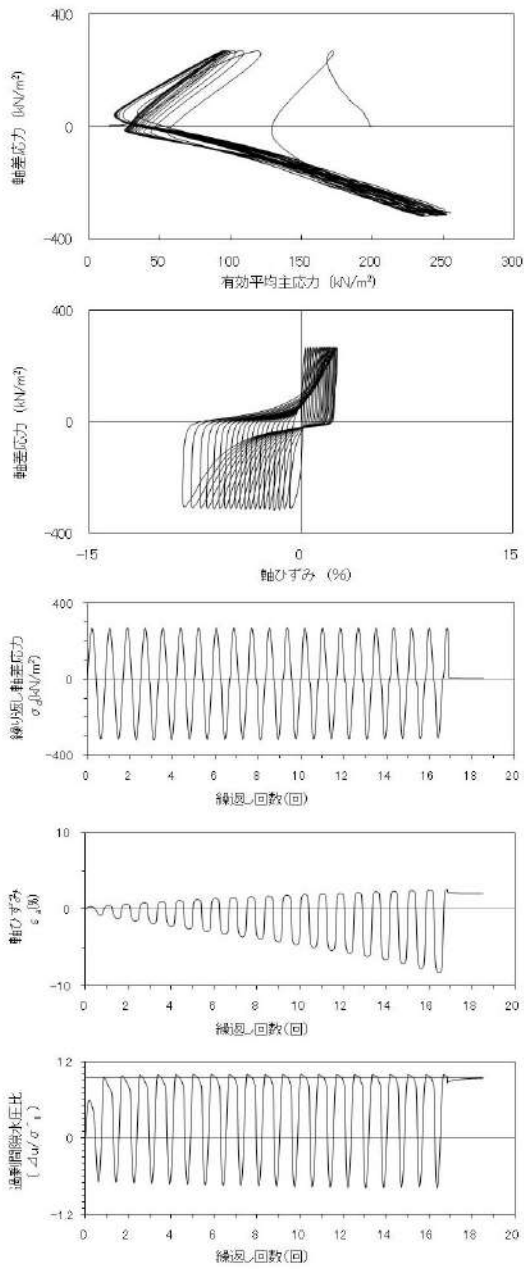
試験条件		
供試体	No.16	
地表からの深度 (m)	9.90~11.15	
有効上載圧 (kN/m ²)	207	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.608	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-63 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 16))



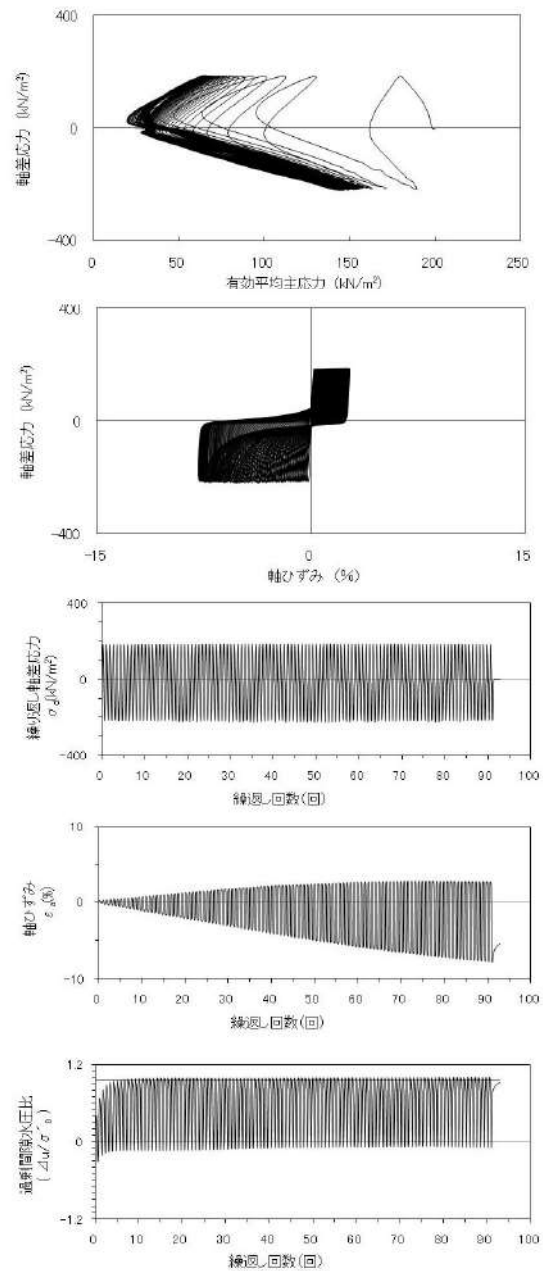
試験条件		
供試体	No.17	
地表からの深度 (m)	9.90~11.15	
有効上載圧 (kN/m ²)	207	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.836	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-64 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 17))



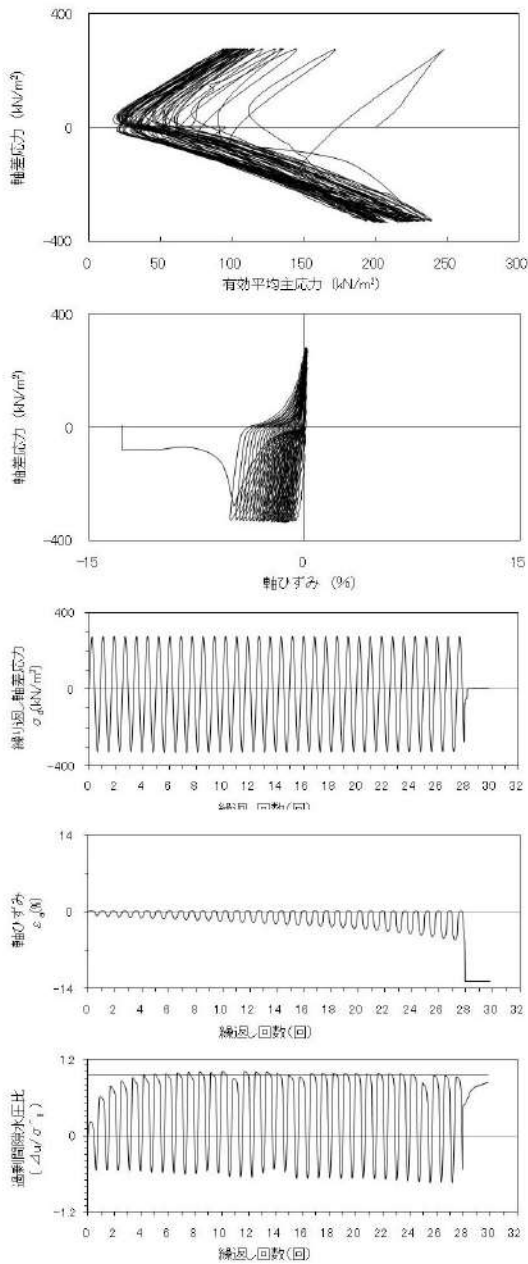
試験条件	
供試体	No.18
地表からの深度 (m)	9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)	207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.727
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-65 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 18))



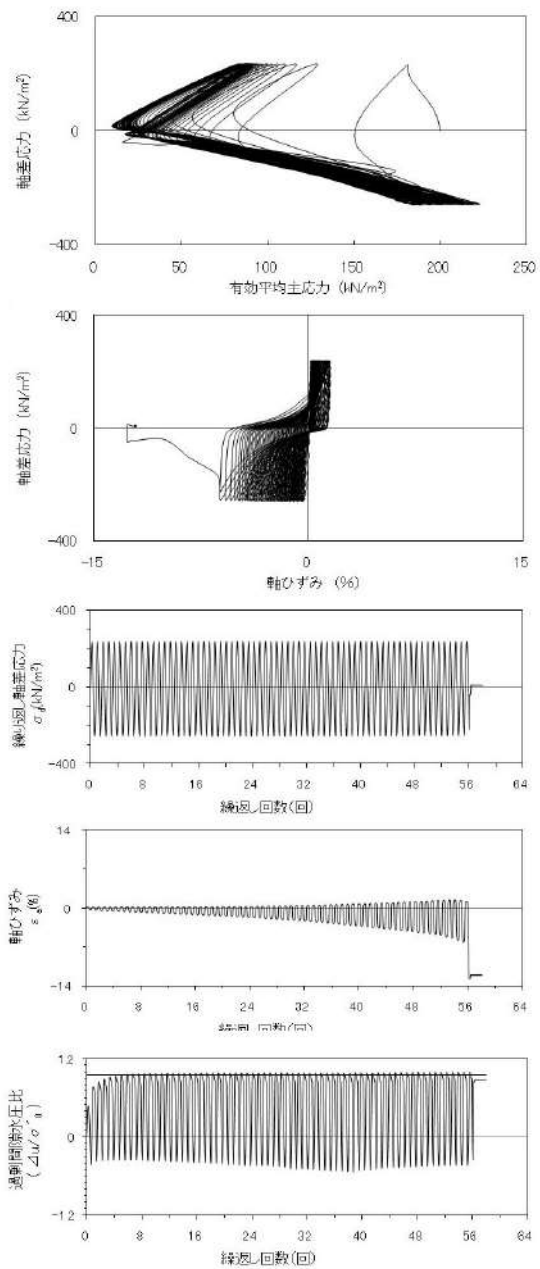
試験条件	
供試体	No.19
地表からの深度 (m)	9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)	207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.501
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-66 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 19))



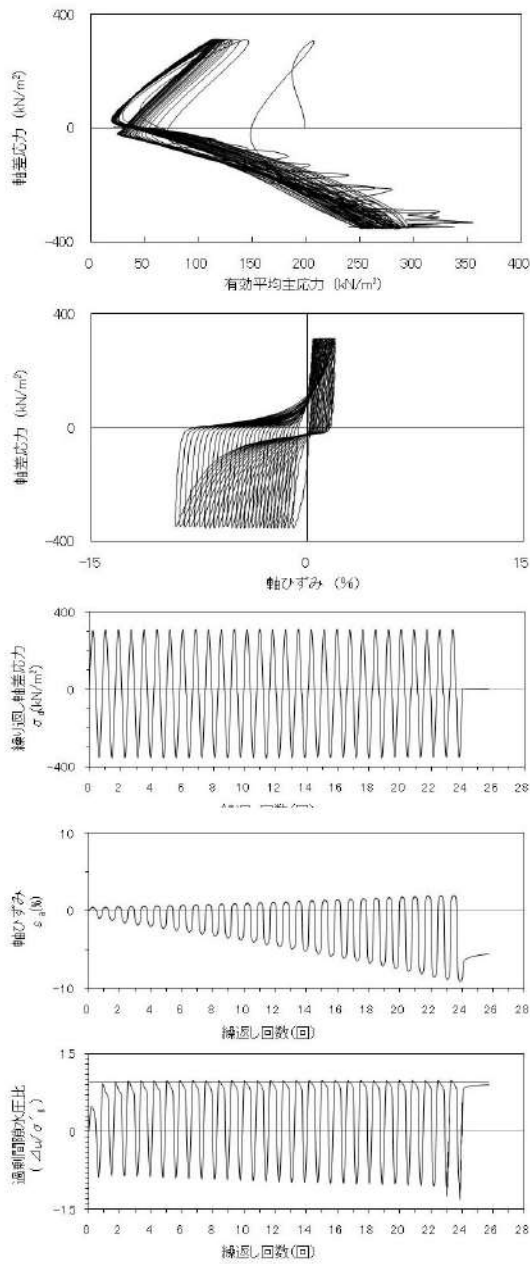
試験条件	
供試体	No.5
地表からの深度 (m)	3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)	74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.759
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-67 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 5))



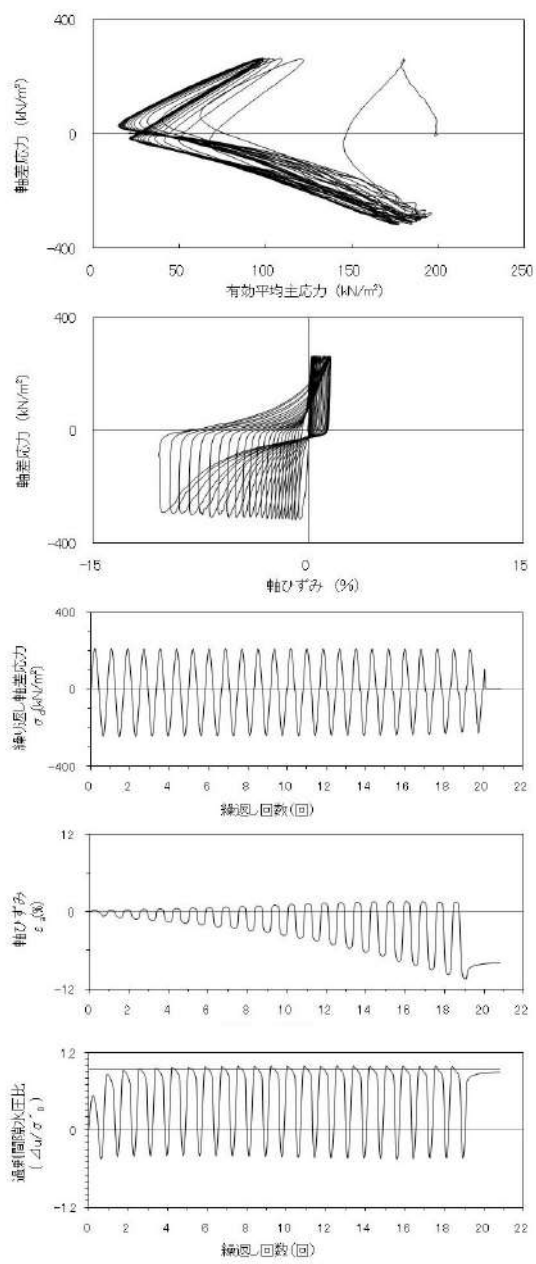
試験条件	
供試体	No.7
地表からの深度 (m)	3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)	74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.615
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-68 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 7))



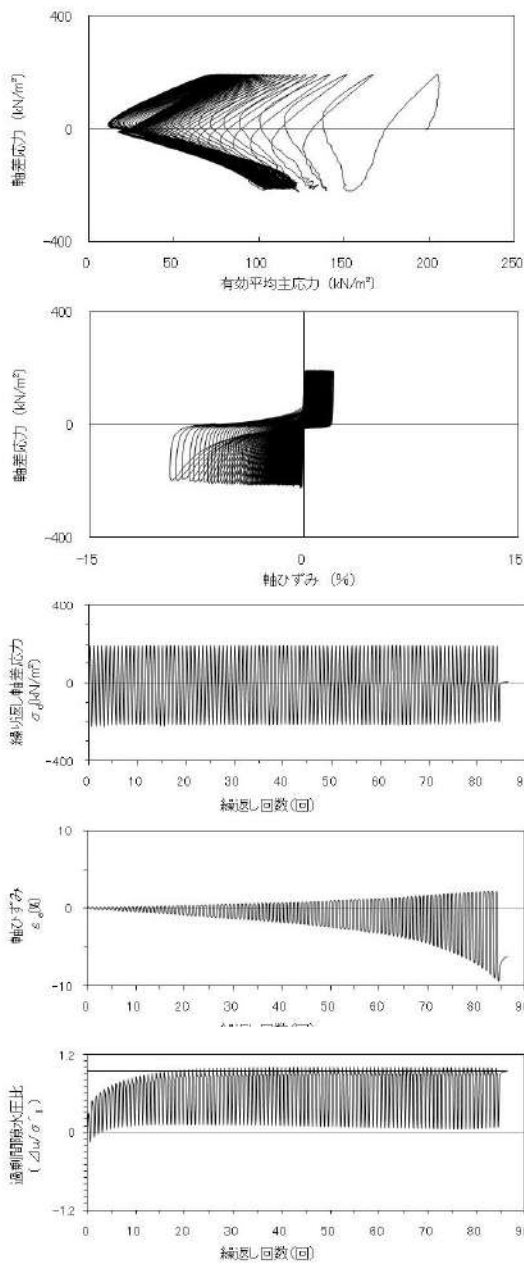
試験条件		
供試体		No.8
地表からの深度 (m)		3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)		74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.823
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-69 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 8))



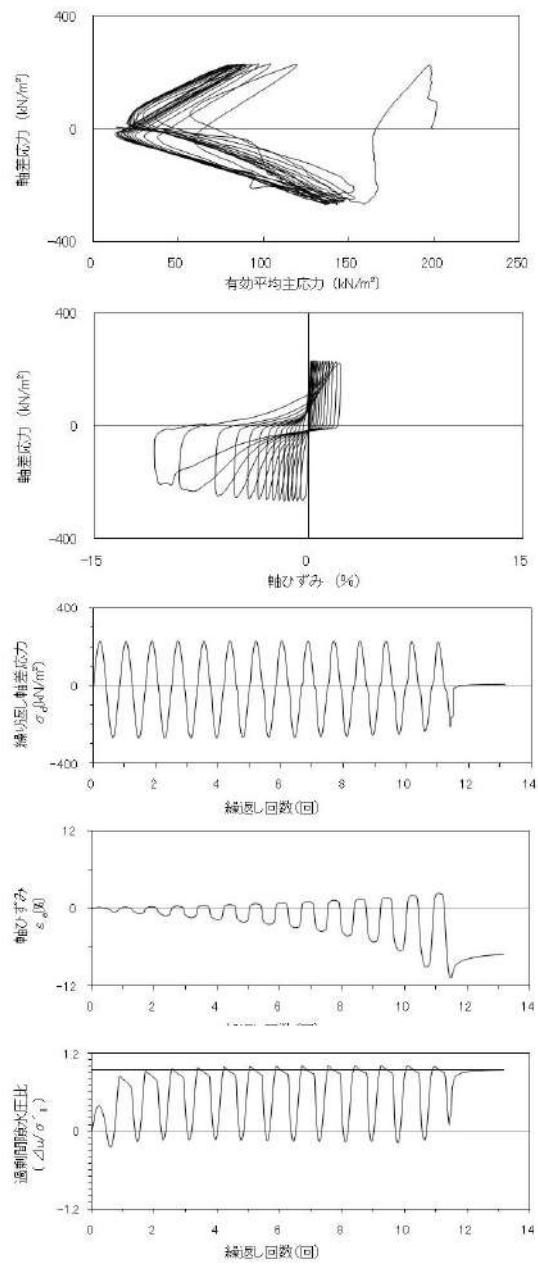
試験条件		
供試体		No.25
地表からの深度 (m)		10.45~11.25
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.726
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-70 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 25))



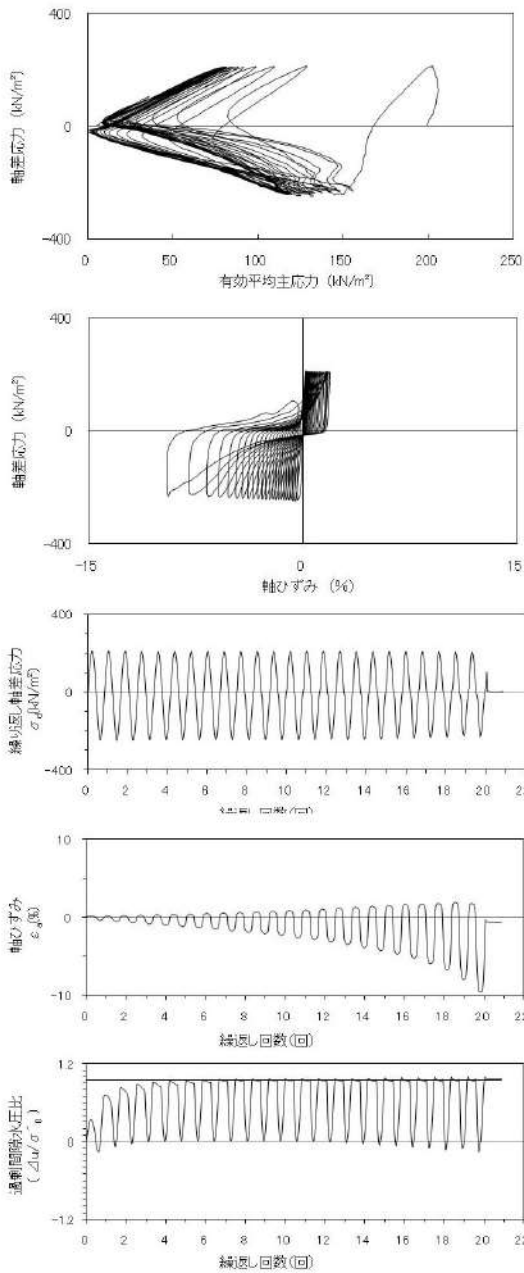
試験条件		
供試体	No.26	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.508	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-71 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 26))



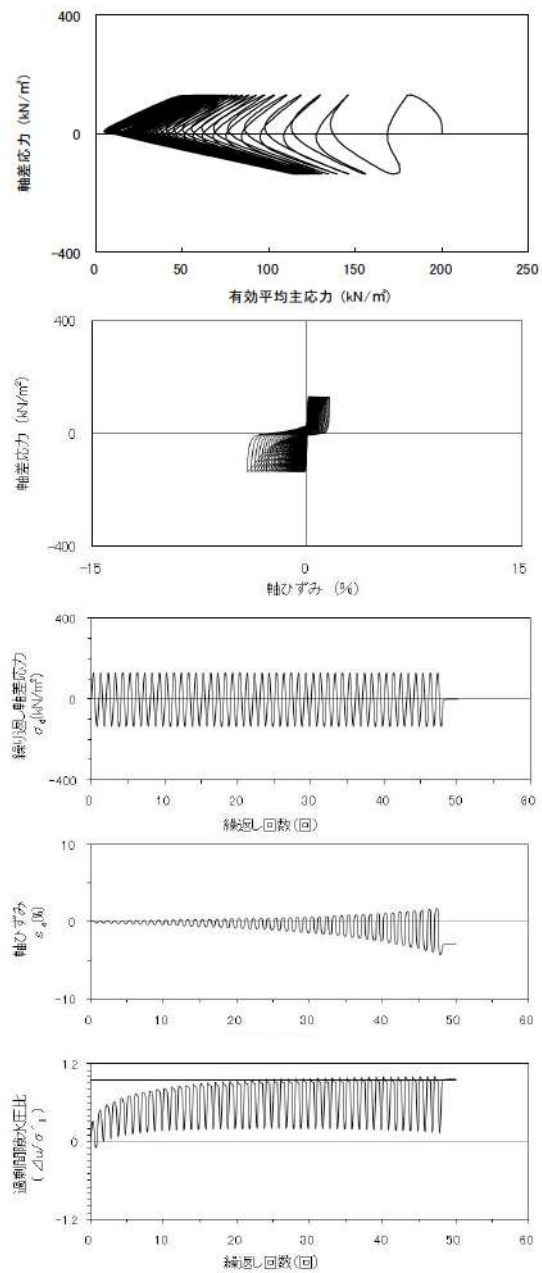
試験条件		
供試体	No.27	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.618	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-72 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 27))



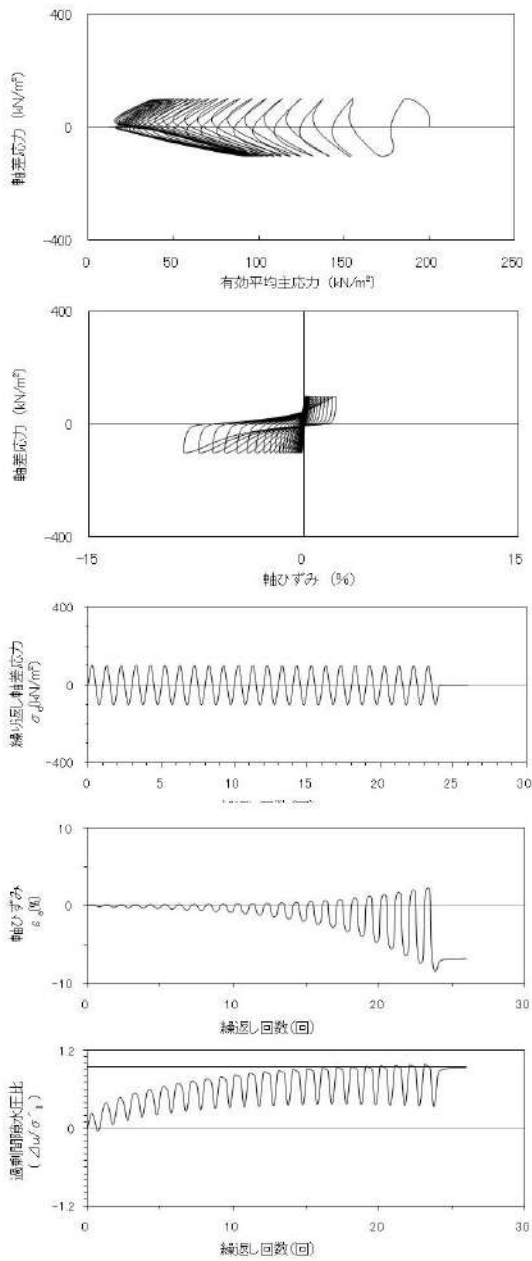
試験条件		
供試体	No.28	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.574	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
有効応力がゼロまで低下する。 液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-73 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 28))



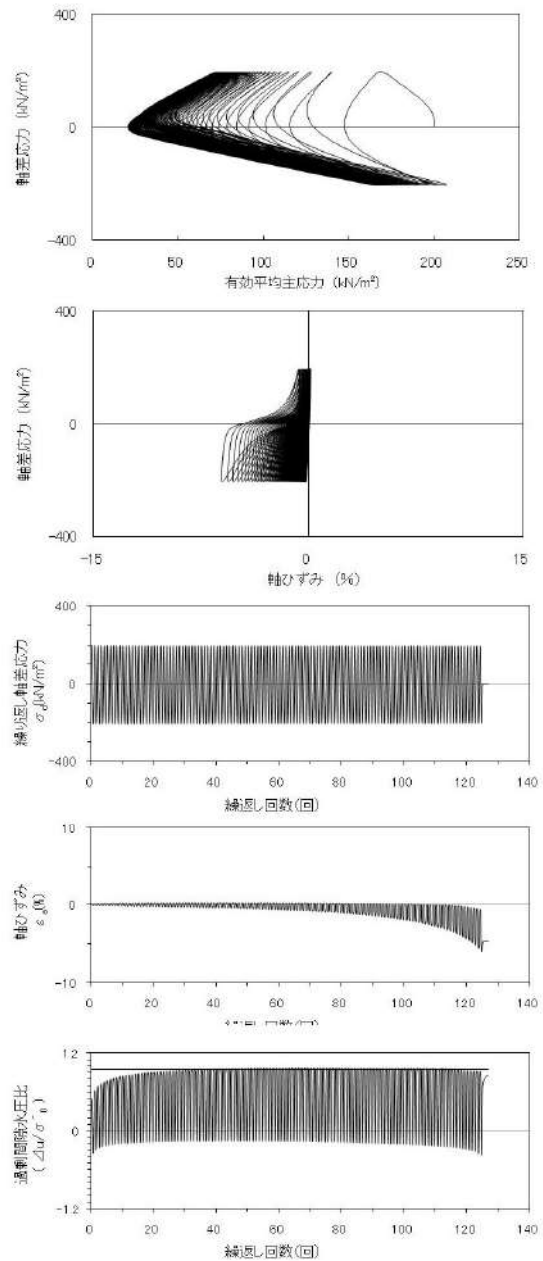
試験条件		
供試体	No.25	
地表からの深度 (m)	17.35~17.55	
有効上載圧 (kN/m ²)	353	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.333	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。 液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-74 図 液状化強度試験結果
(RE-1 試料(供試体 No. 25))



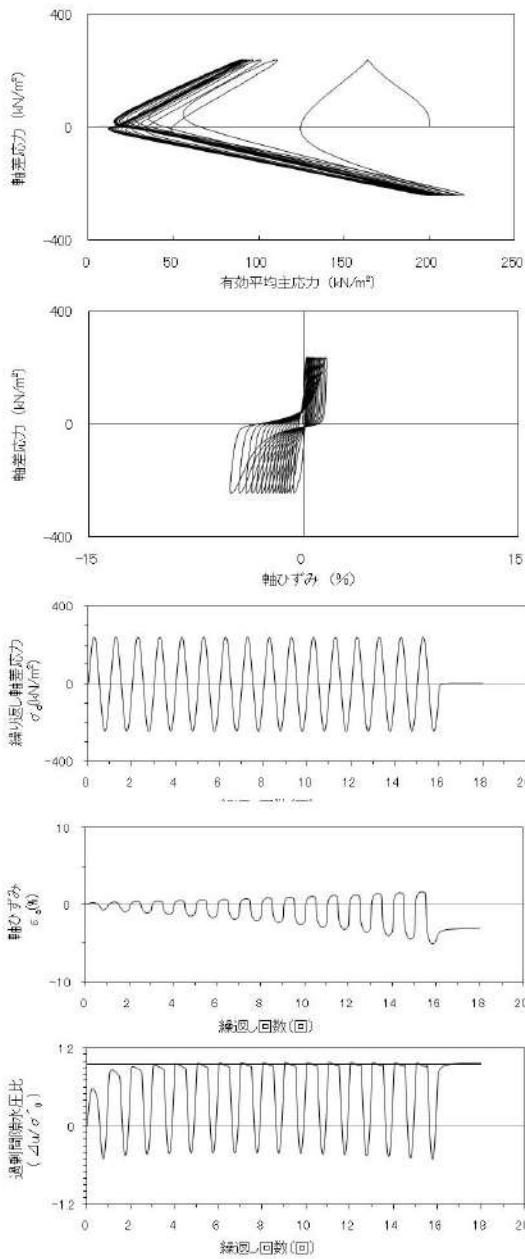
試験条件		
供試体		No.6
地表からの深度 (m)		4.80~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		98
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.252
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-75 図 液状化強度試験結果
(RE-2(1) 試料(供試体 No. 6))



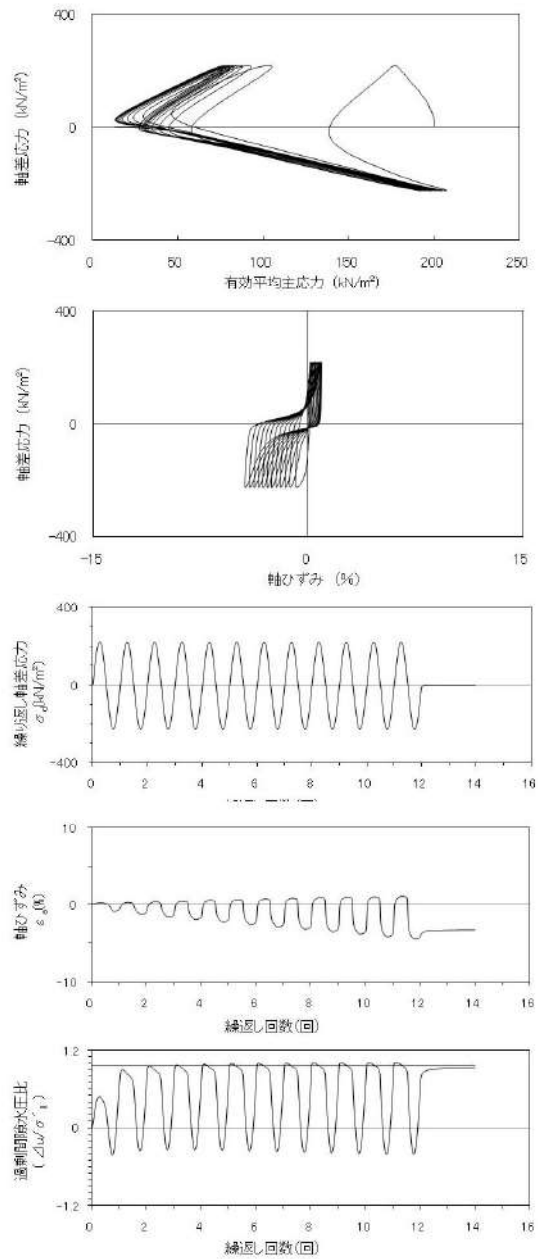
試験条件		
供試体		No.9
地表からの深度 (m)		8.73~10.73
有効上載圧 (kN/m ²)		195
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.501
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-76 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 9))



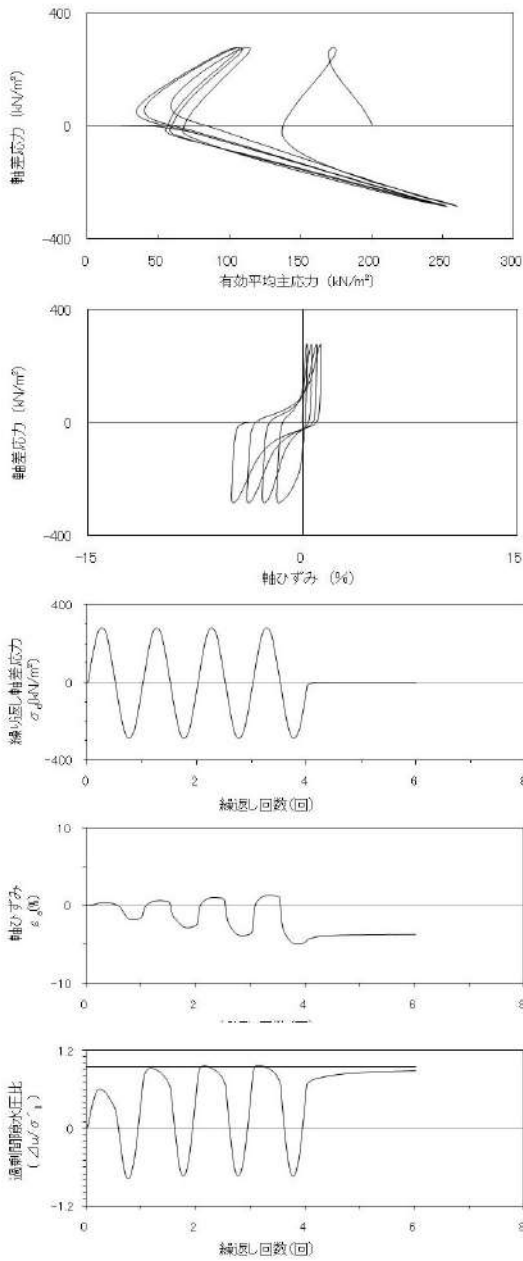
試験条件		
供試体	No.13	
地表からの深度 (m)	8.73~10.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	195	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.602	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-77 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 13))



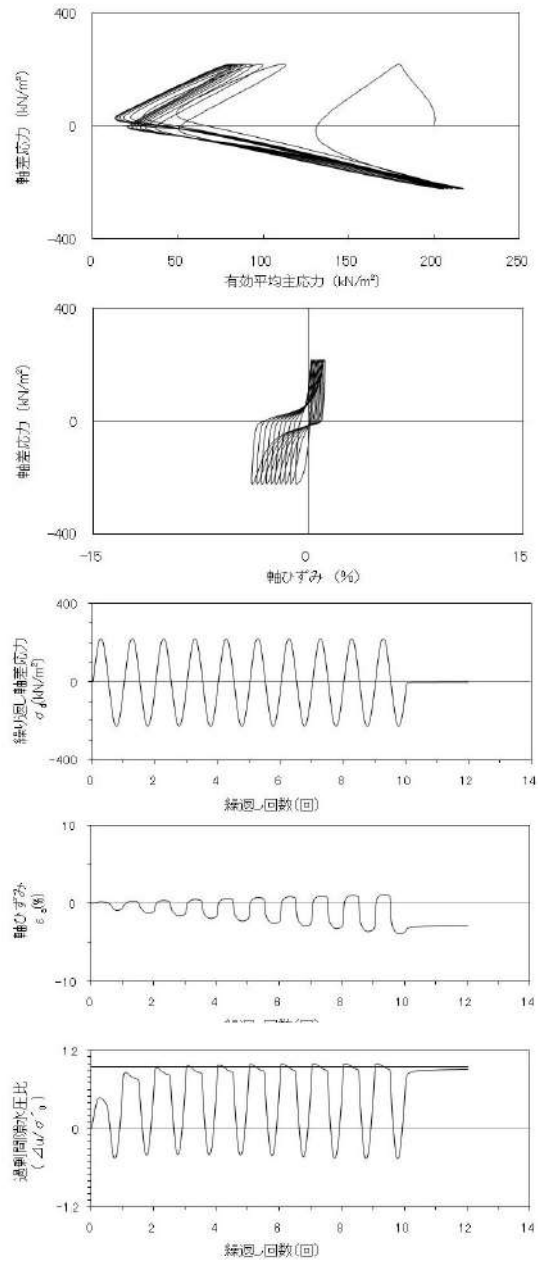
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	8.73~10.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	195	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.554	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-78 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 14))



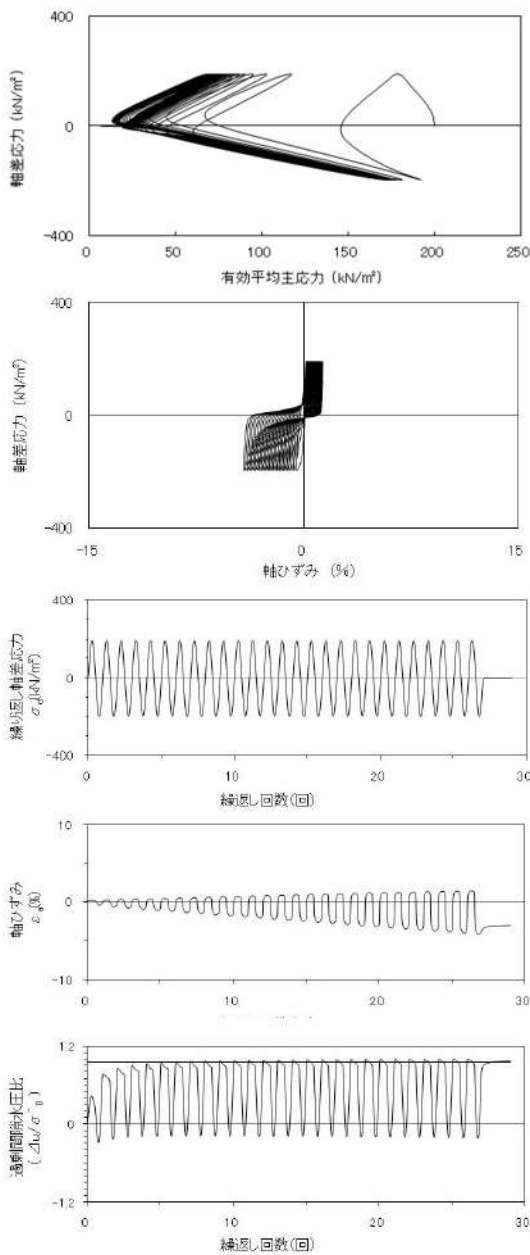
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.704	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-79 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 15))



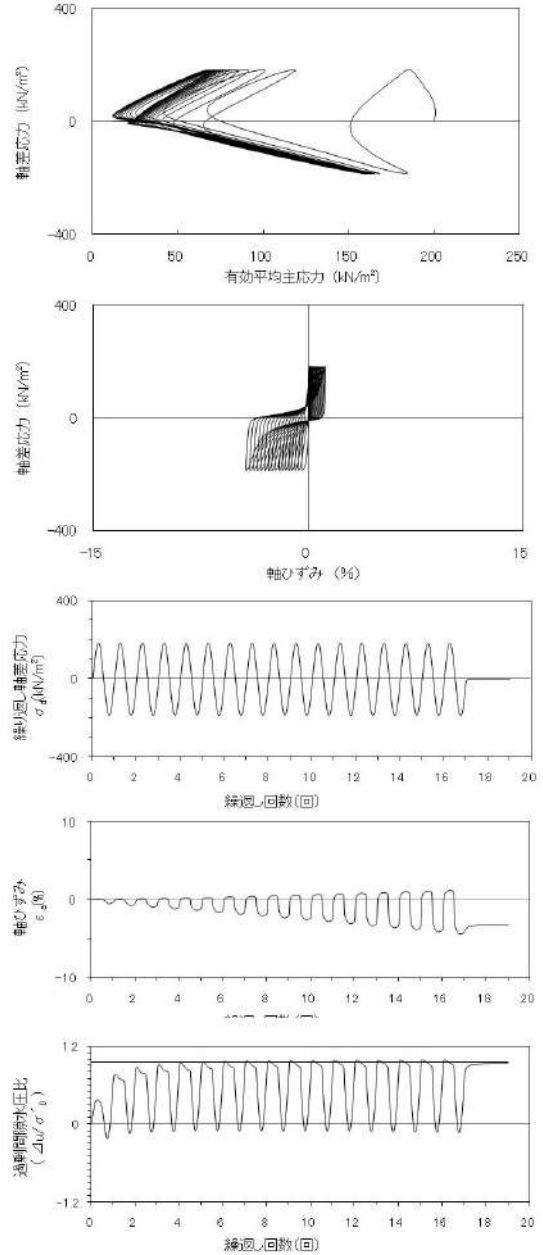
試験条件		
供試体	No.16	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.555	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-80 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 16))



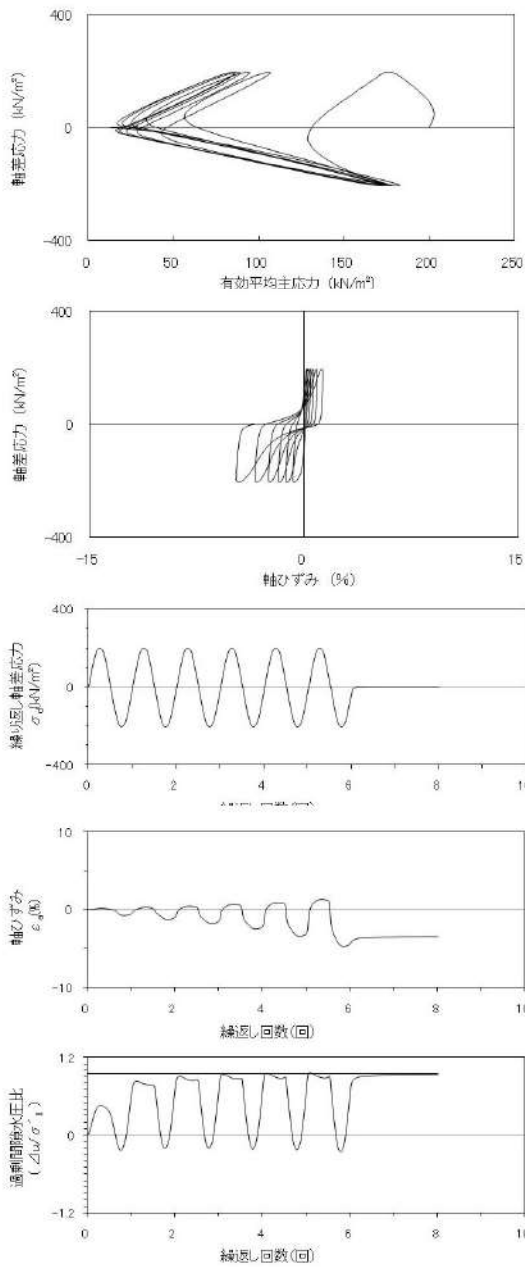
試験条件	
供試体	No.17
地表からの深度 (m)	10.73~11.73
有効上載圧 (kN/m ²)	211
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.481
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-81 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 17))



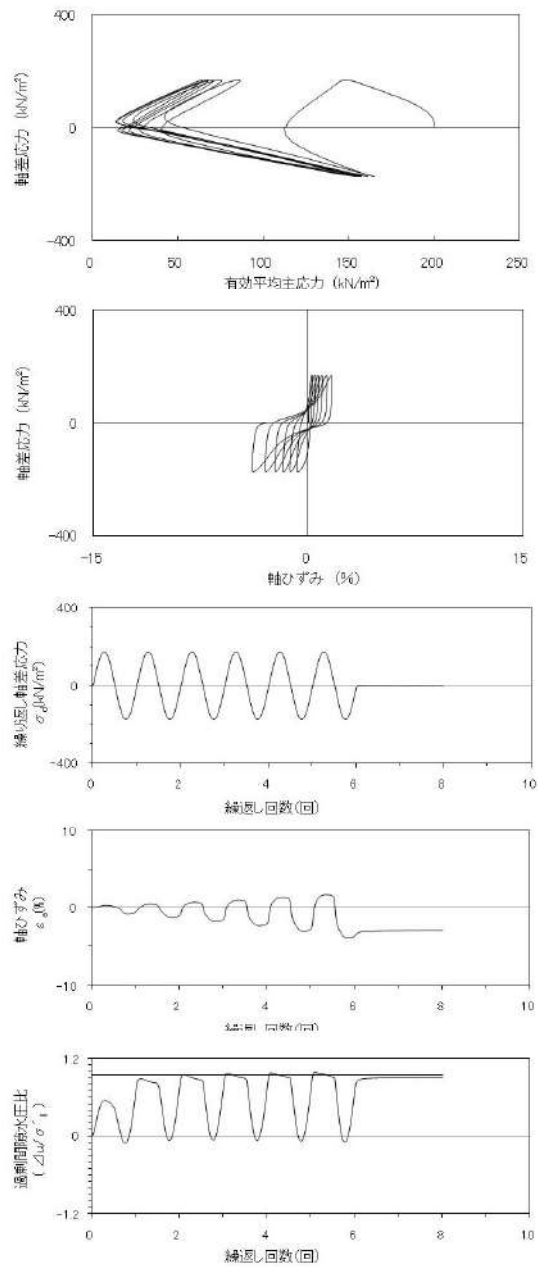
試験条件	
供試体	No.18
地表からの深度 (m)	10.73~11.73
有効上載圧 (kN/m ²)	211
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.459
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-82 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 18))



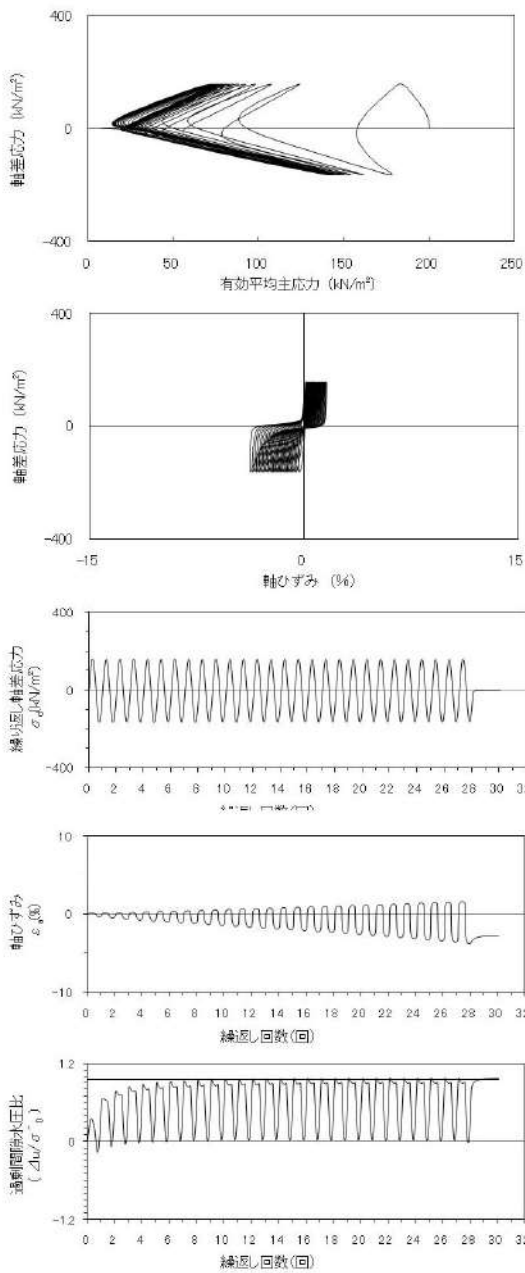
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m ²)	71
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.503
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-83 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 3))



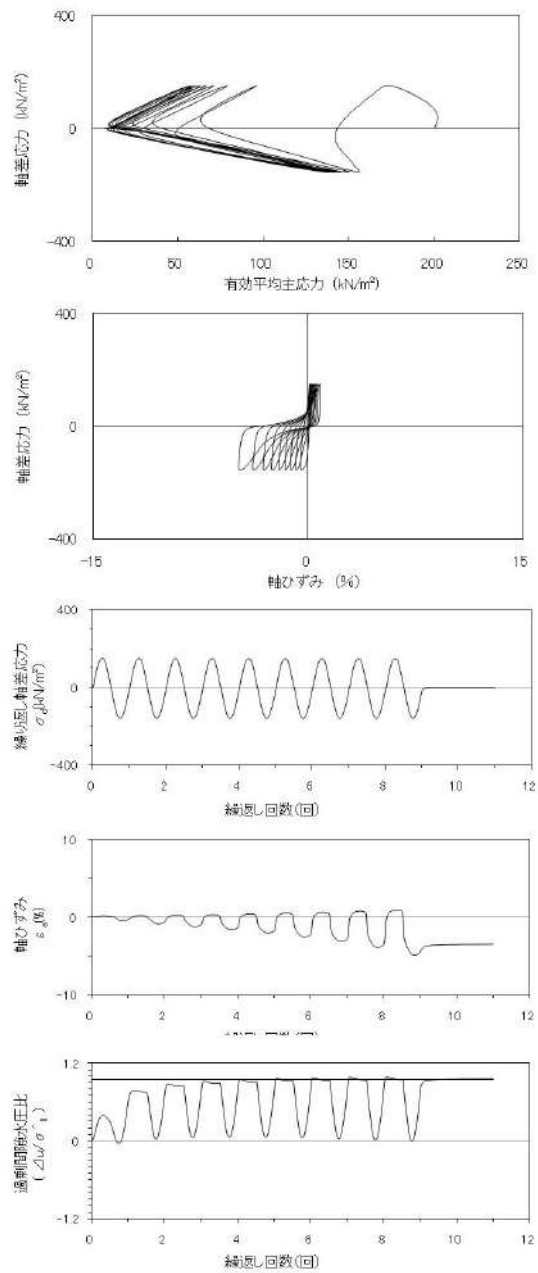
試験条件	
供試体	No.5
地表からの深度 (m)	2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m ²)	71
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.428
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-84 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 5))



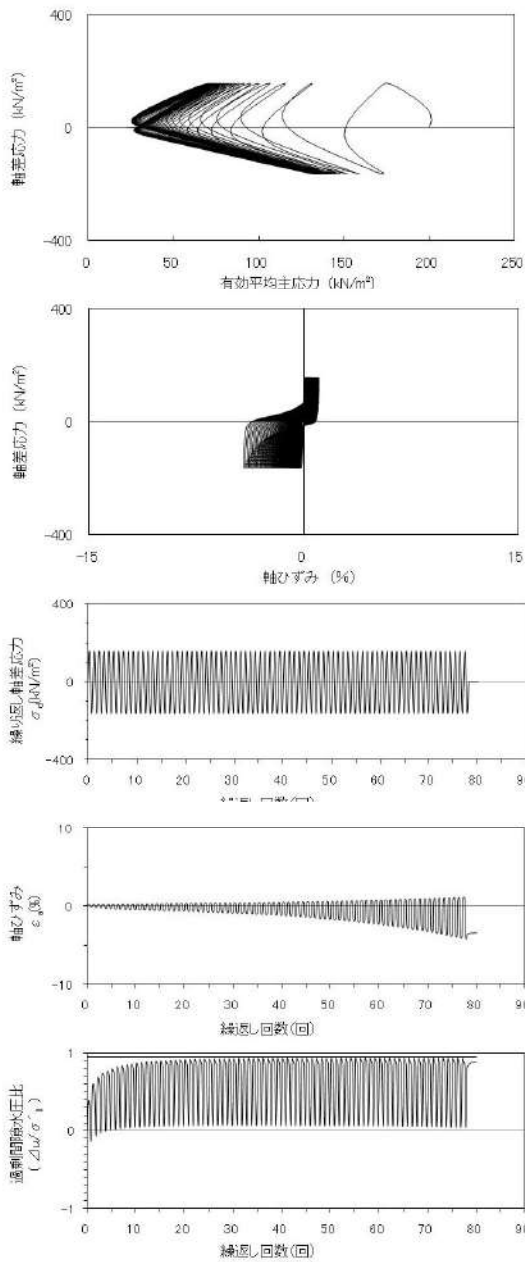
試験条件		
供試体		No. 1'
地表からの深度 (m)		2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m^2)		71
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.401
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-85 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 1'))



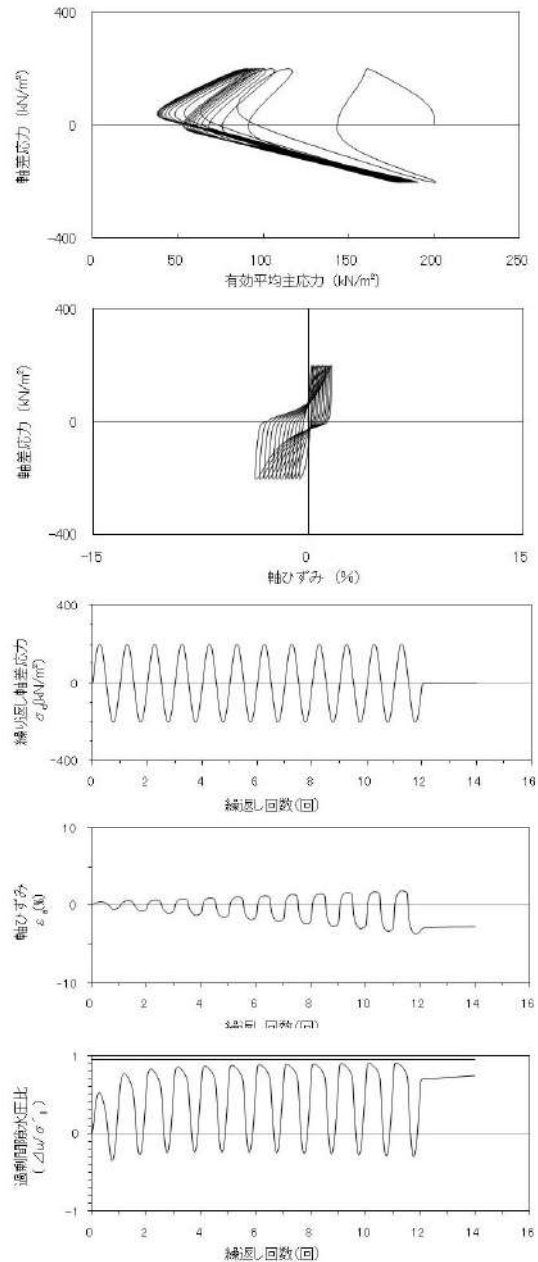
試験条件		
供試体		No. 2'
地表からの深度 (m)		2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m^2)		71
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.383
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-86 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 2'))



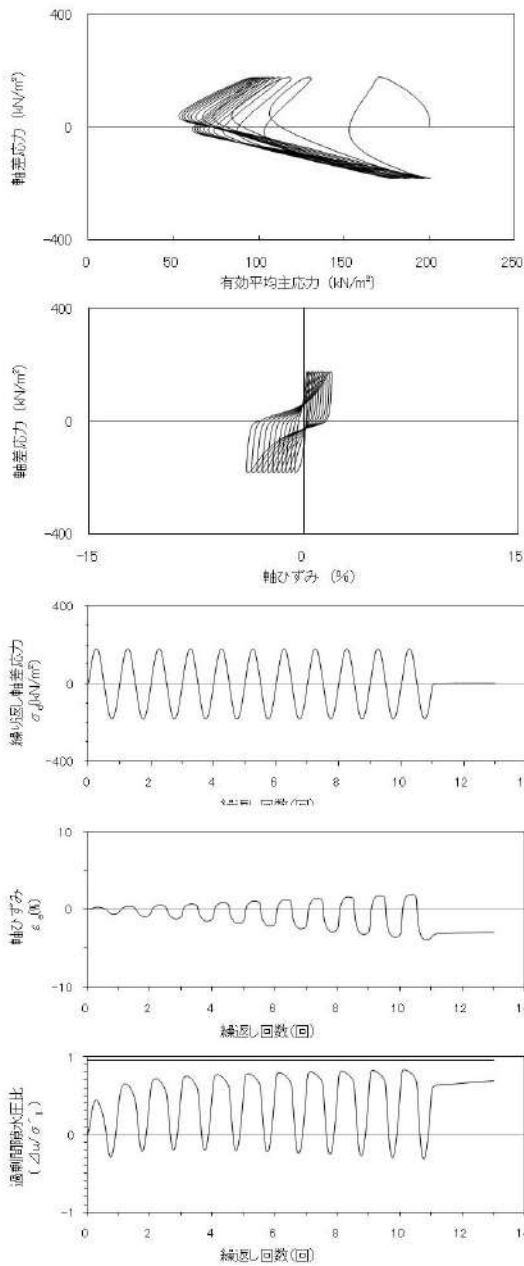
試験条件		
供試体	No.6	
地表からの深度 (m)	4.40~5.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	101	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.401	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-87 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 6))



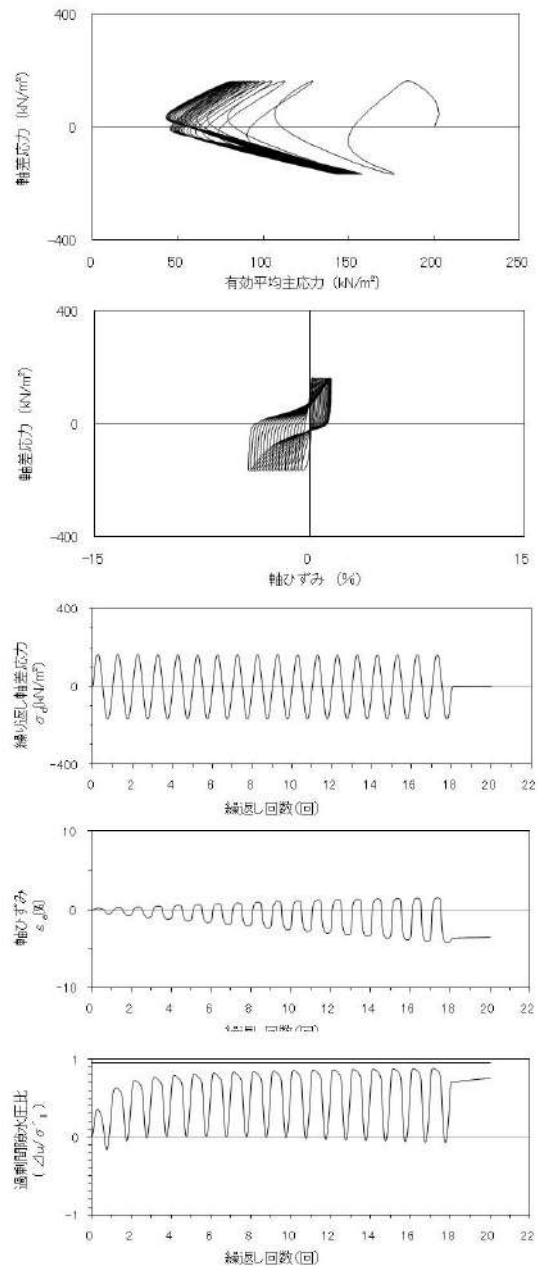
試験条件		
供試体	No.7	
地表からの深度 (m)	4.40~5.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	101	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-88 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 7))



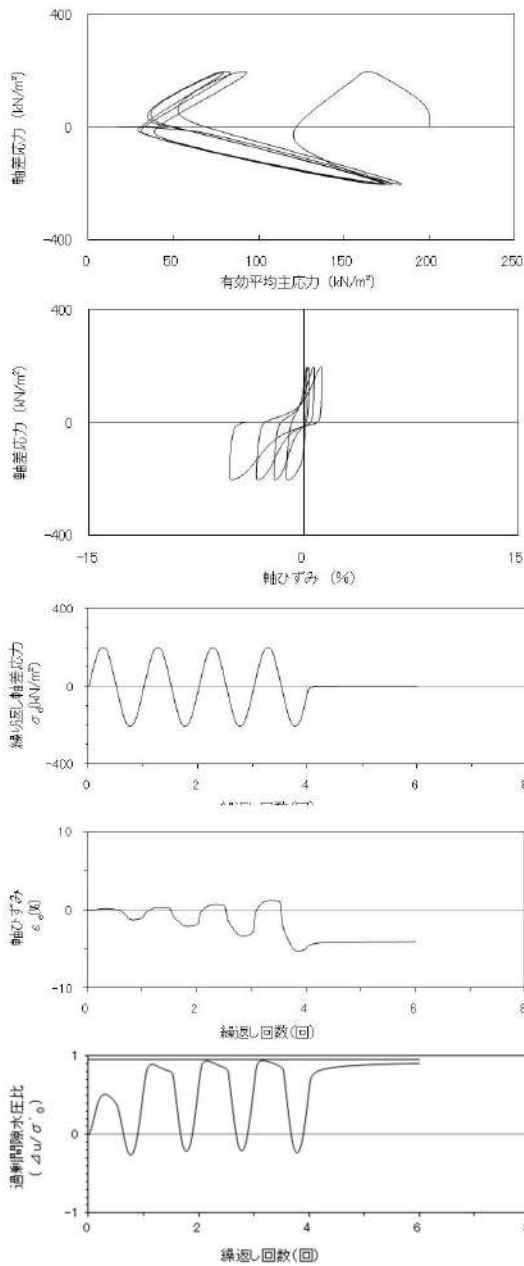
試験条件		
供試体		No.8
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.451
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-89 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 8))



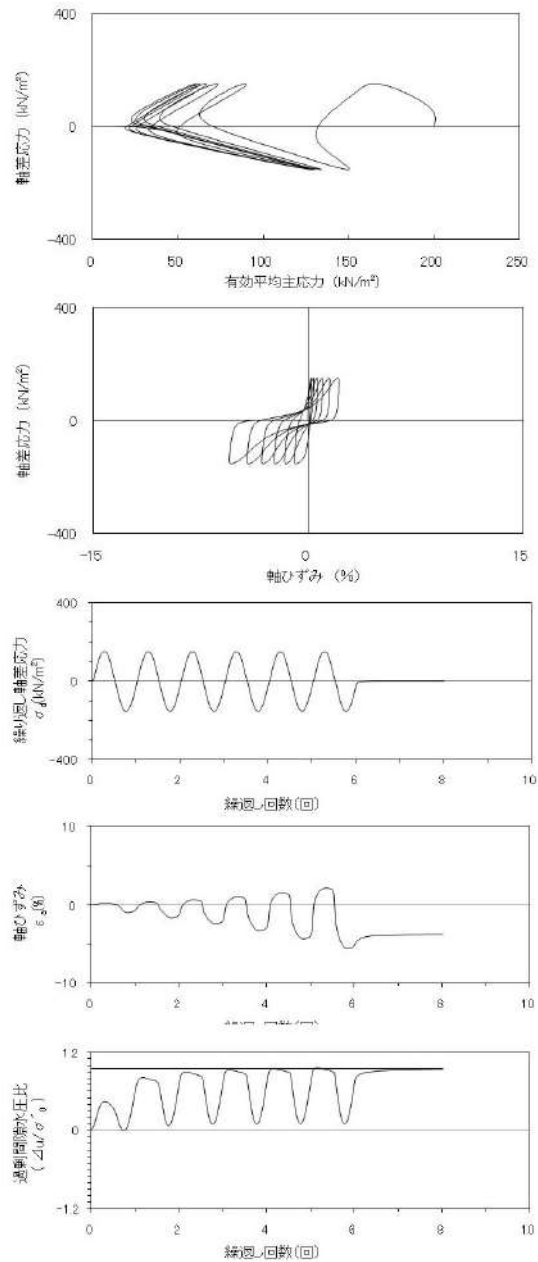
試験条件		
供試体		No.9
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.413
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-90 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 9))



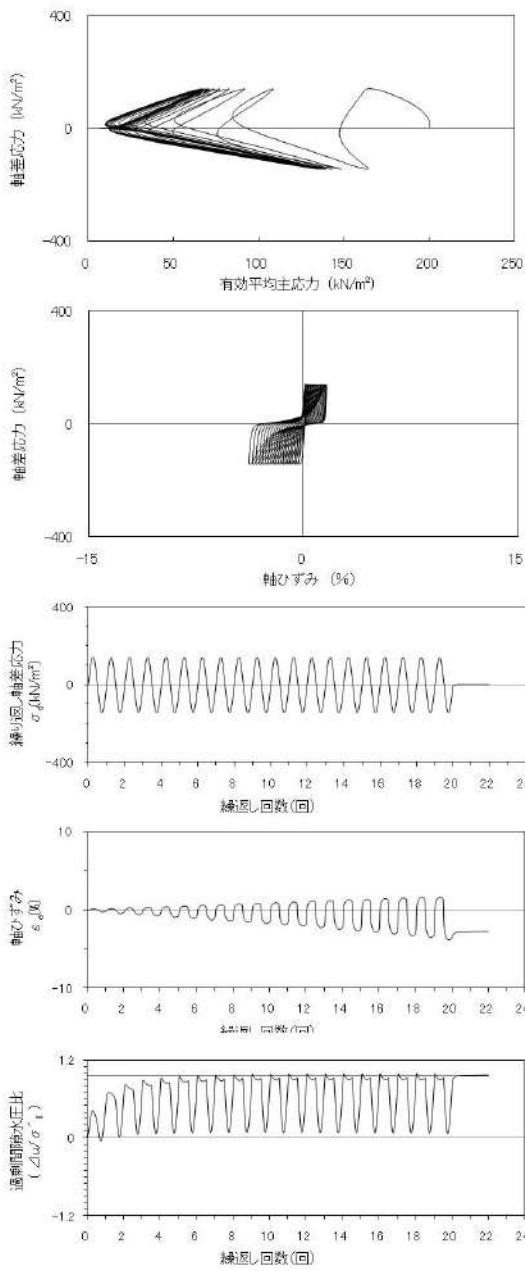
試験条件		
供試体	No.11	
地表からの深度 (m)	7.45~15.56	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-91 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 11))



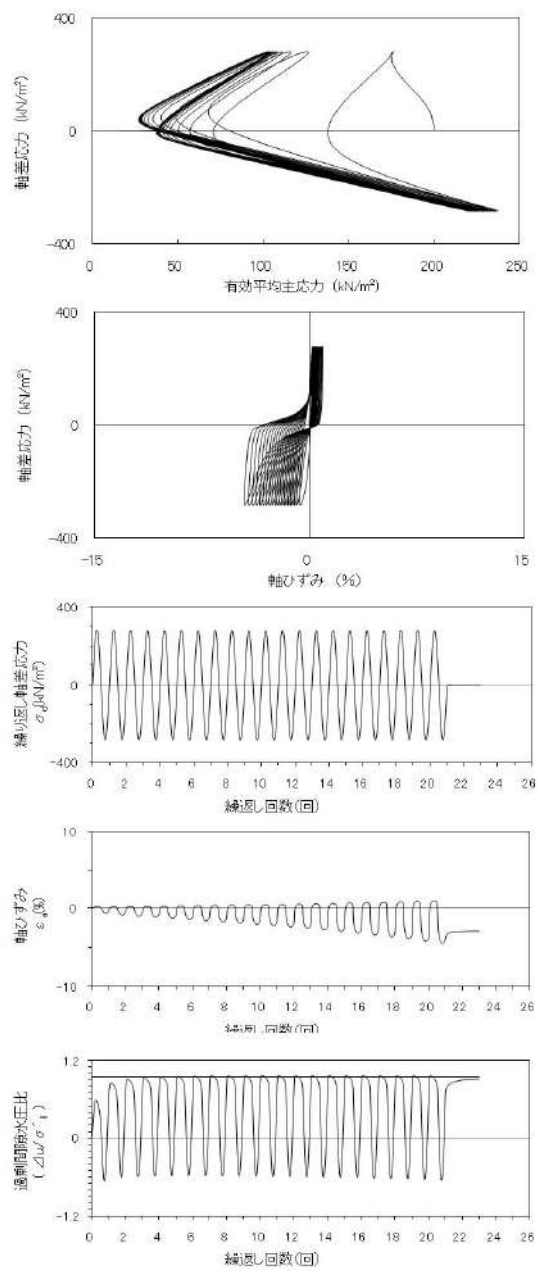
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	7.45~15.56	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.381	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-92 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 14))



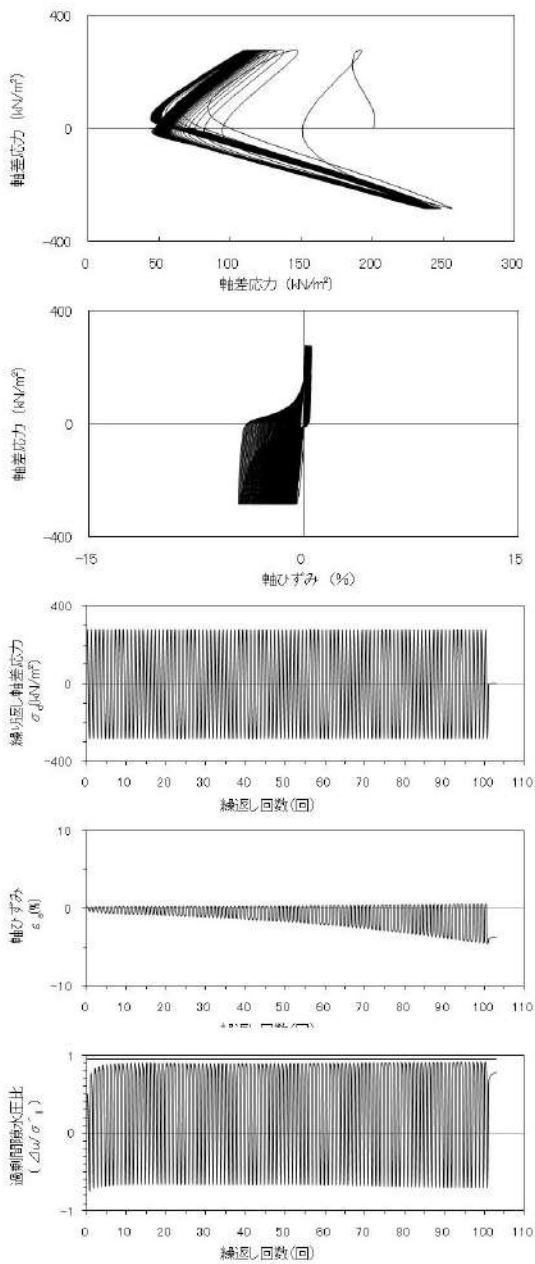
試験条件		
供試体		No.18
地表からの深度 (m)		7.45~15.56
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.352
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-93 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 18))



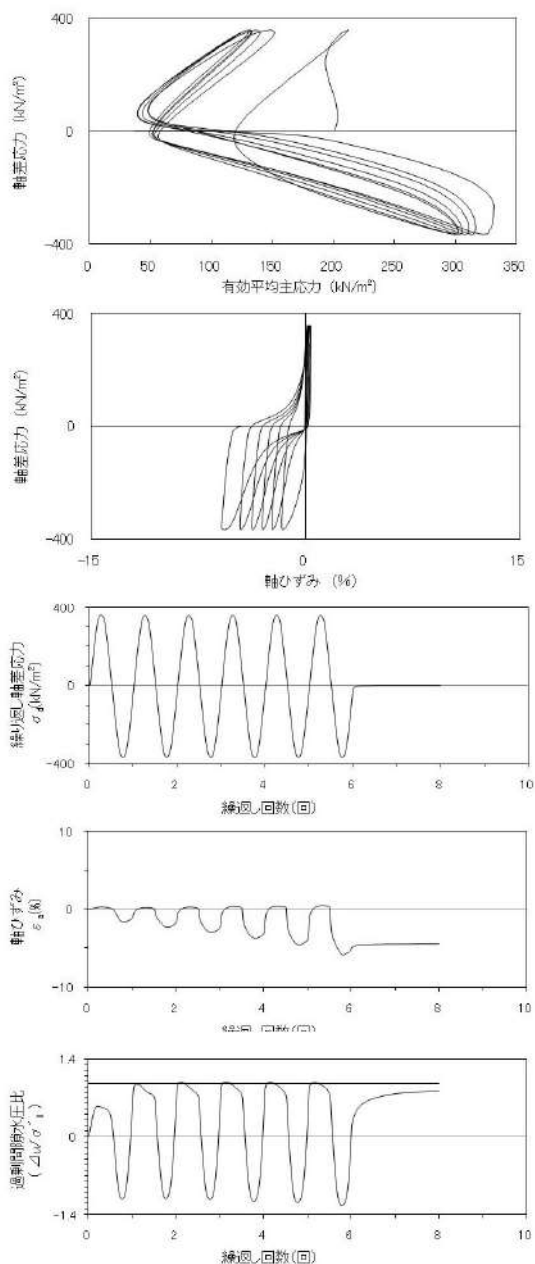
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		9.75~9.95
有効上載圧 (kN/m ²)		197
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.705
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-94 図 液状化強度試験結果
(RE-4 試料(供試体 No. 17))



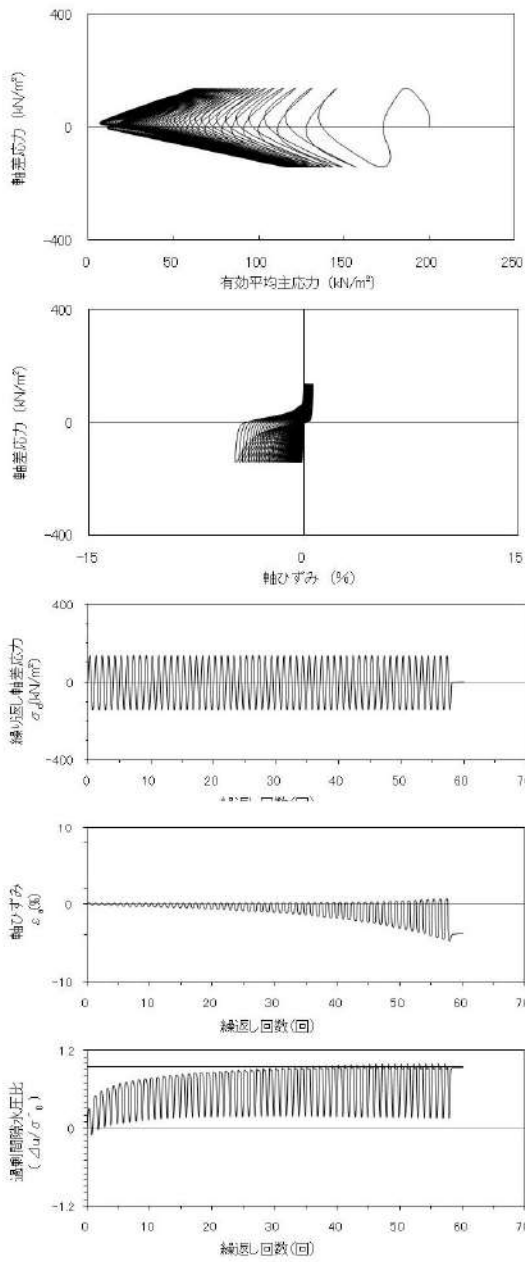
試験条件		
供試体	No.6	
地表からの深度 (m)	3.03~3.43	
有効上載圧 (kN/m ²)	65	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.702	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-95 図 液状化強度試験結果
(RE-5(1) 試料(供試体 No. 6))



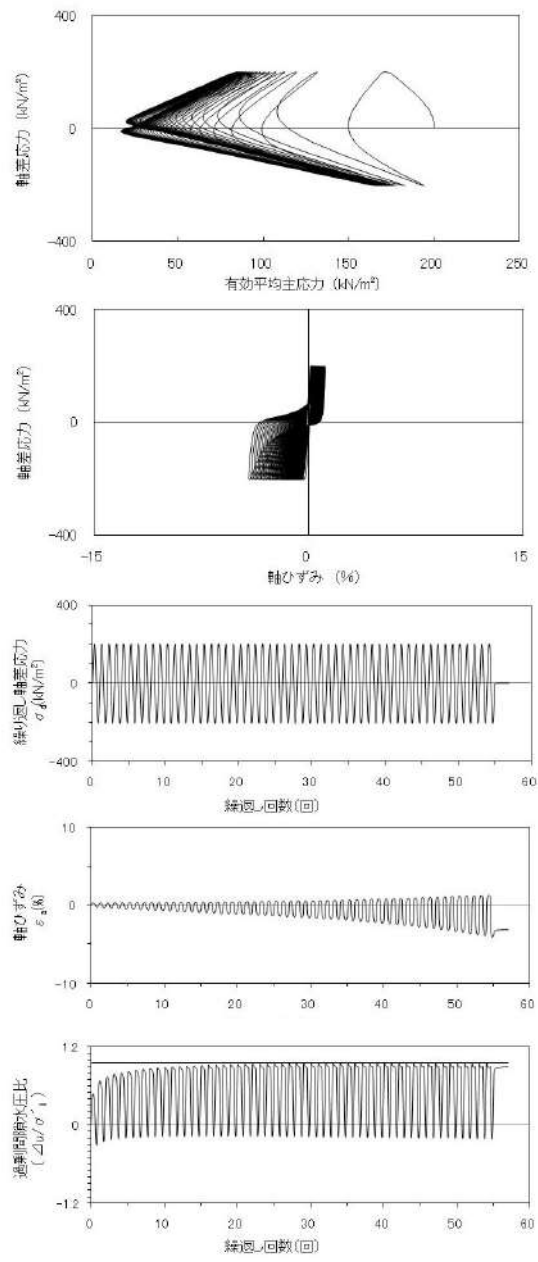
試験条件		
供試体	No.7	
地表からの深度 (m)	3.03~3.43	
有効上載圧 (kN/m ²)	65	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.908	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-96 図 液状化強度試験結果
(RE-5(1) 試料(供試体 No. 7))



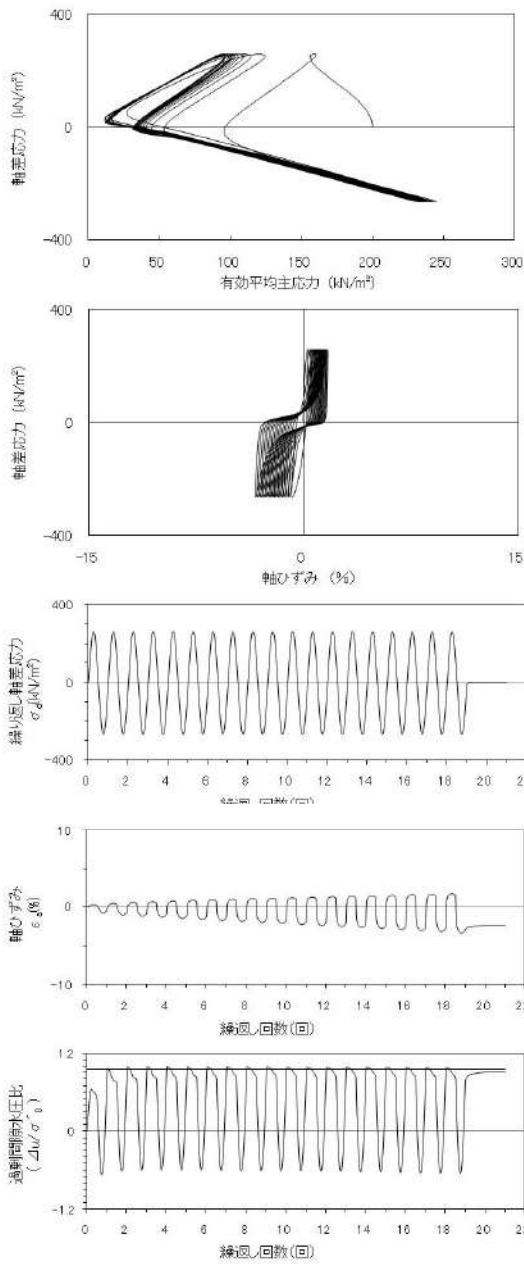
試験条件		
供試体		No.8
地表からの深度 (m)		3.43~10.05
有効上載圧 (kN/m ²)		100
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.349
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-97 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 8))



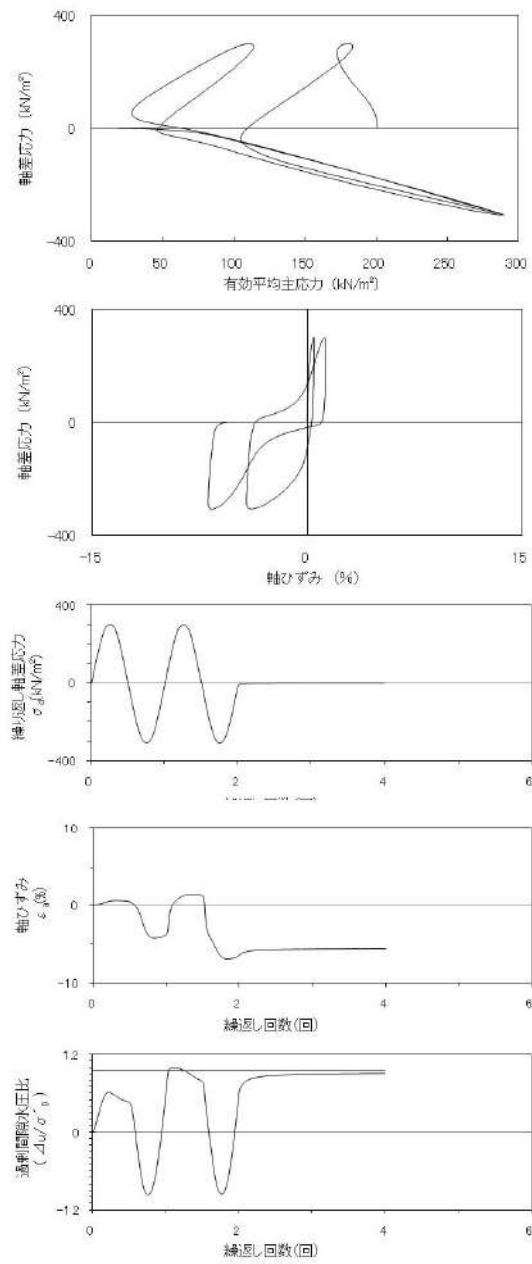
試験条件		
供試体		No.9
地表からの深度 (m)		3.43~10.05
有効上載圧 (kN/m ²)		100
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.503
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-98 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 9))



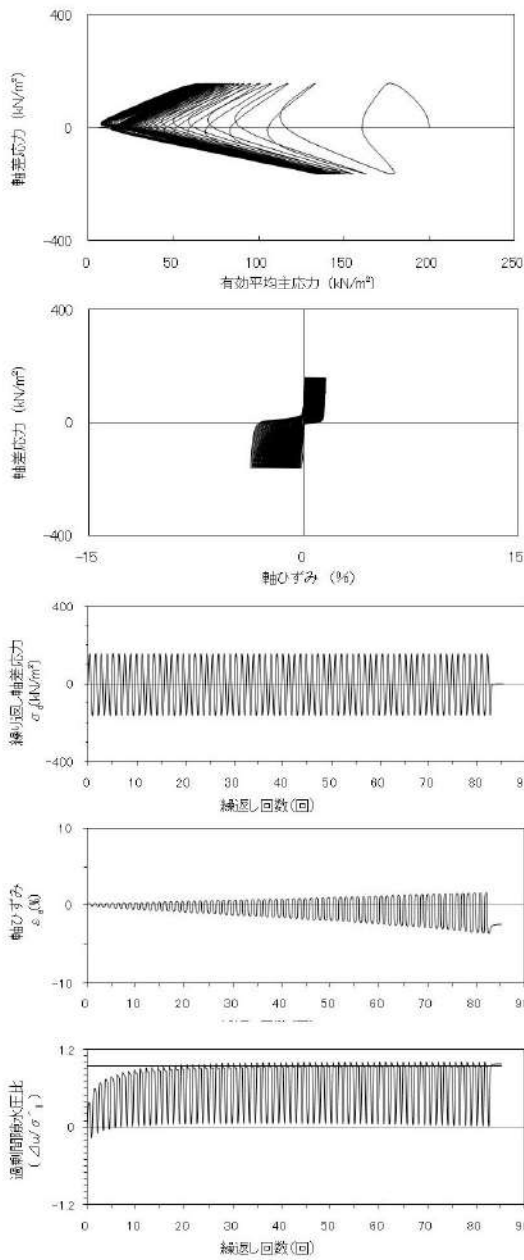
試験条件		
供試体	No.9	
地表からの深度 (m)	3.43~10.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	100	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.503	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-99 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 18))



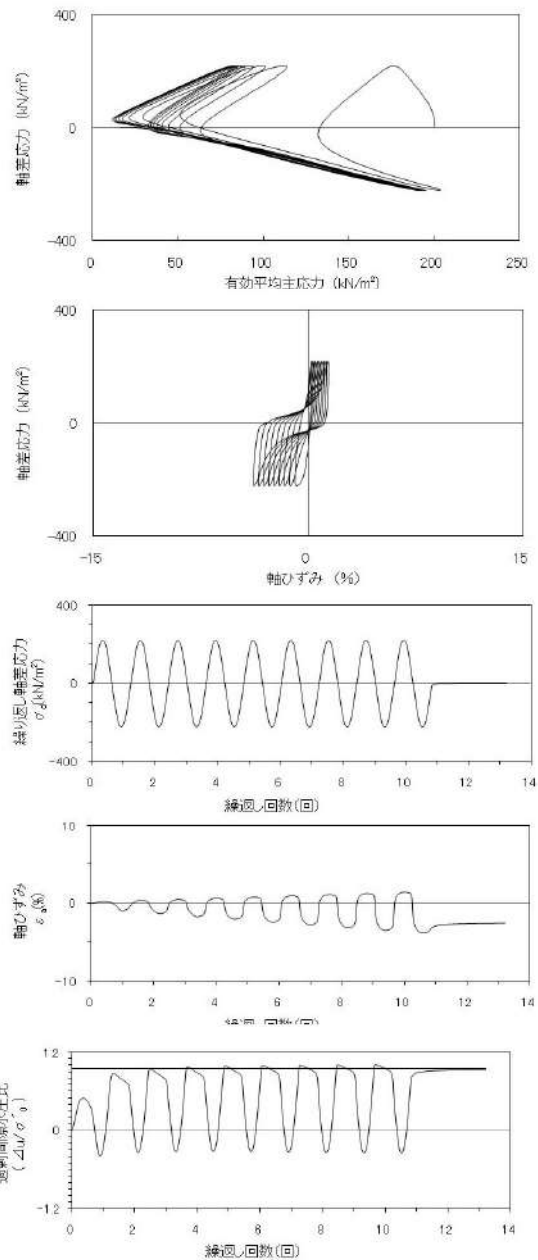
試験条件		
供試体	No.20	
地表からの深度 (m)	3.43~10.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	100	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.756	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-100 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 20))



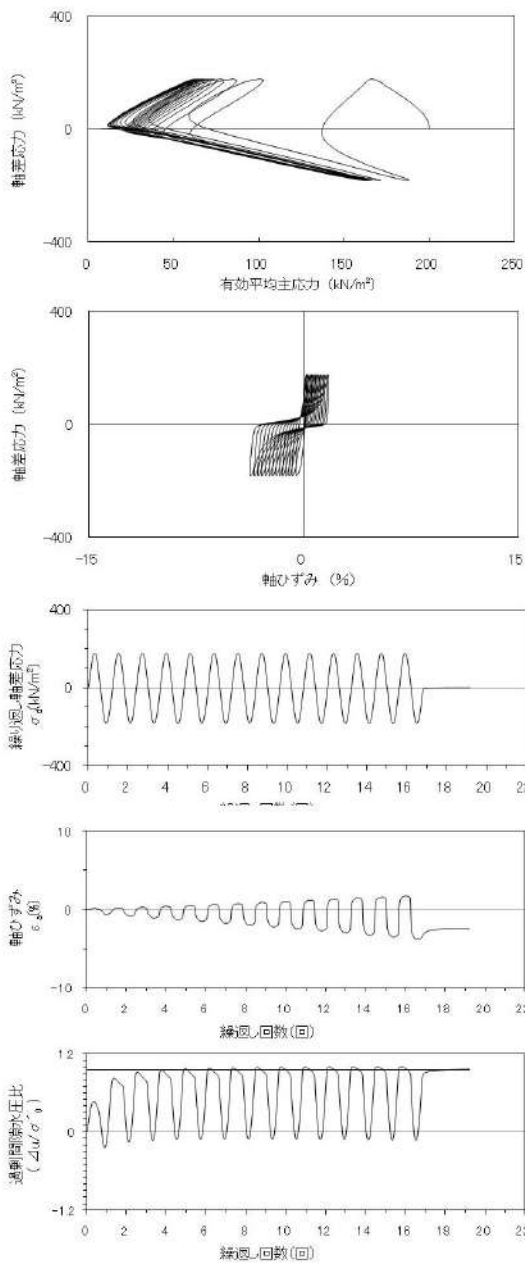
試験条件		
供試体		No.10
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.402
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-101 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 10))



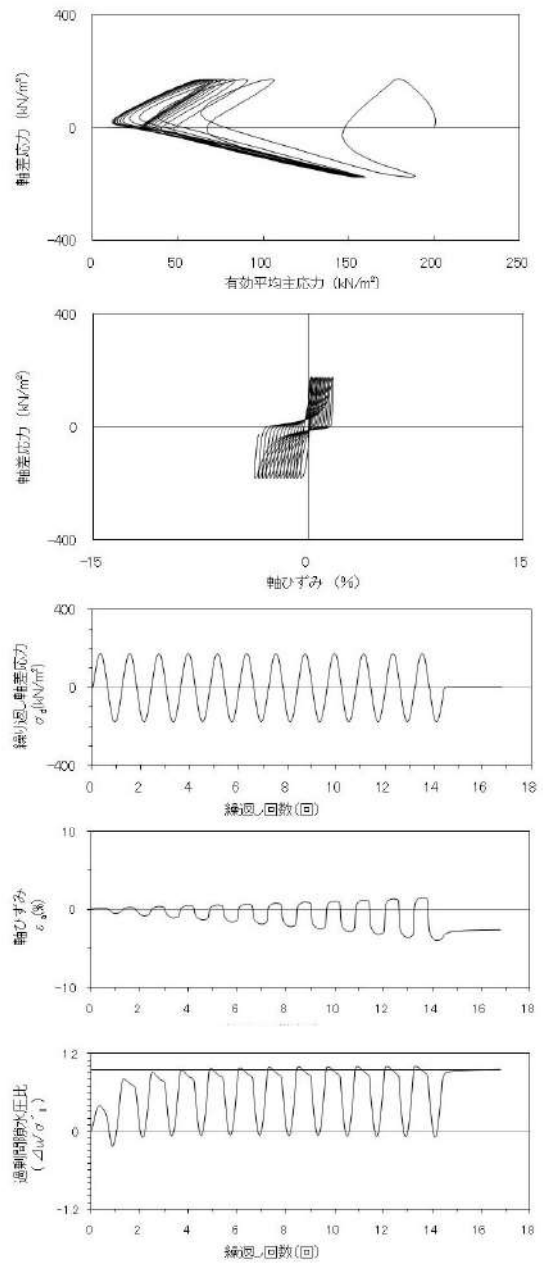
試験条件		
供試体		No.13
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.553
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-102 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 13))



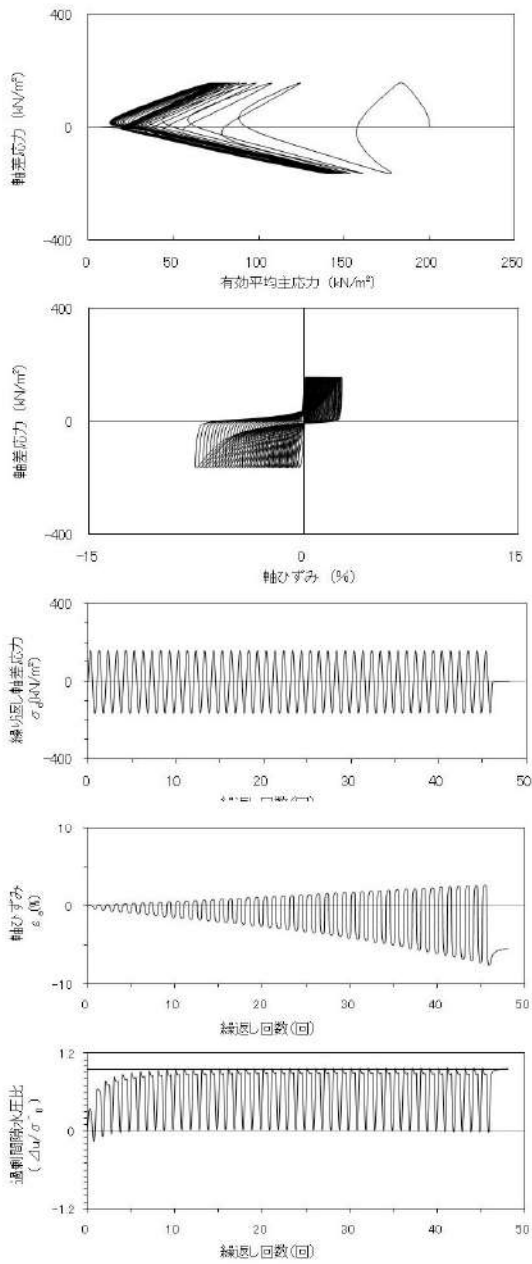
試験条件		
供試体		No.16
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.450
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-103 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 16))



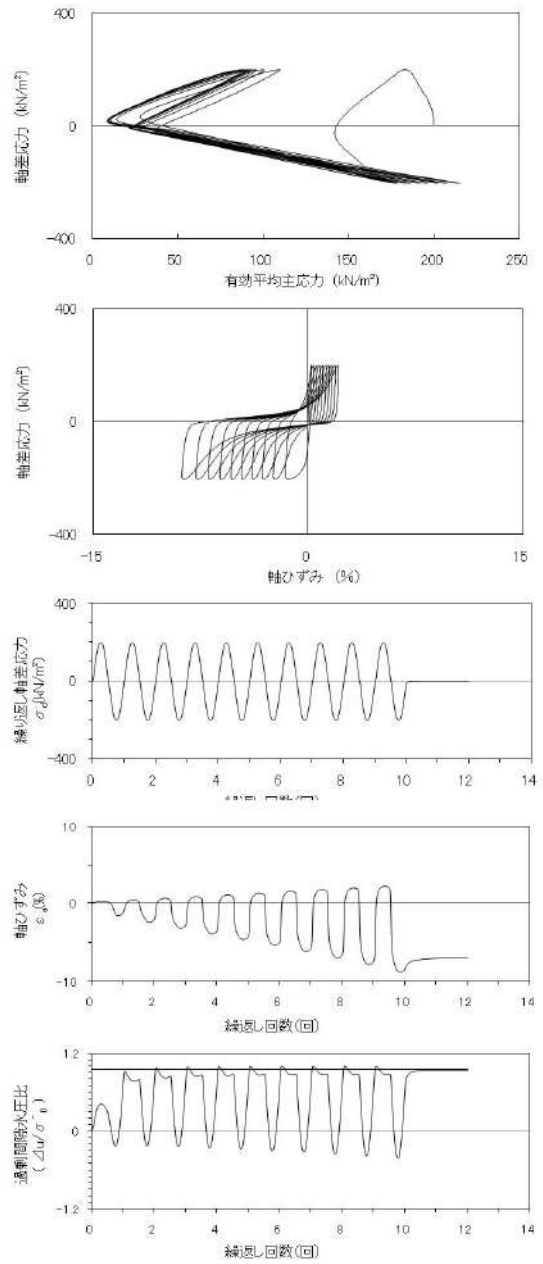
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.433
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-104 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 17))



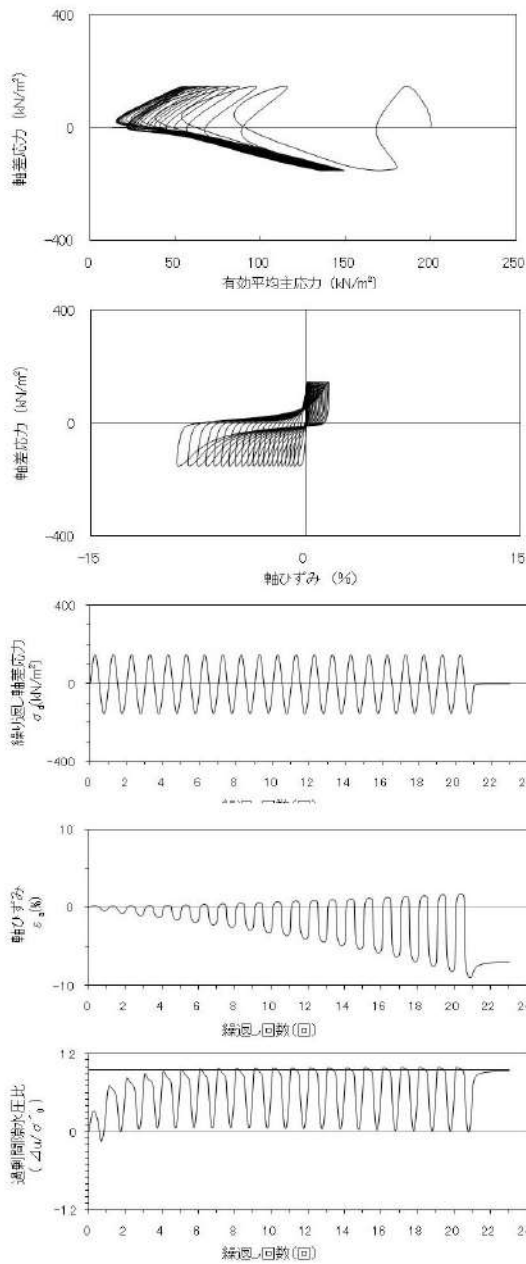
試験条件	
供試体	No.16
地表からの深度 (m)	7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)	141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.404
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-105 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 16))



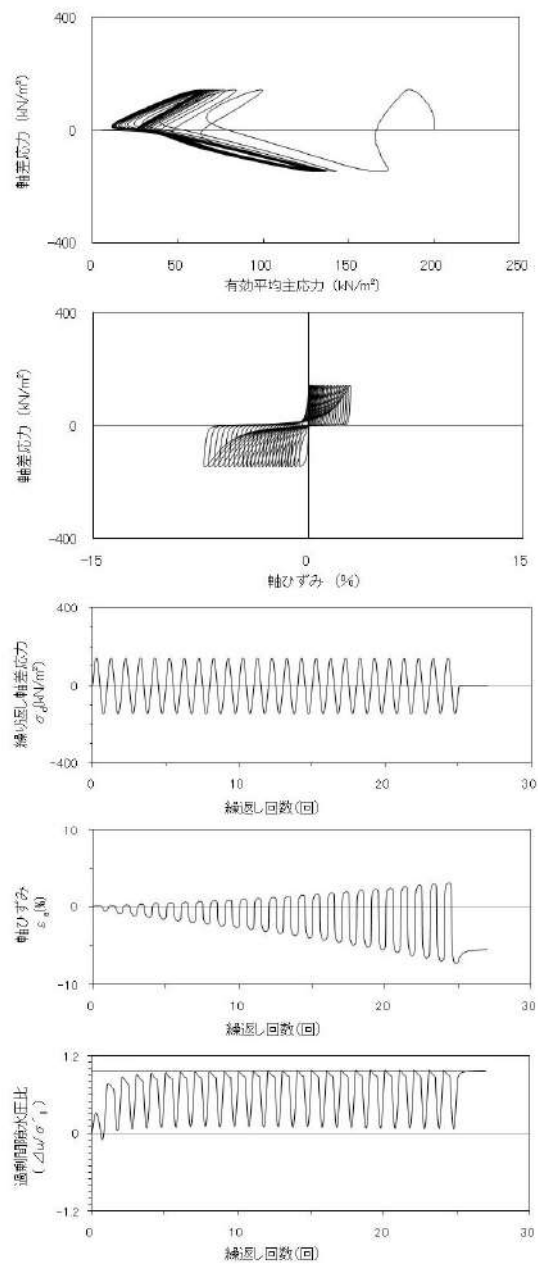
試験条件	
供試体	No.17
地表からの深度 (m)	7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)	141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.503
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-106 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 17))



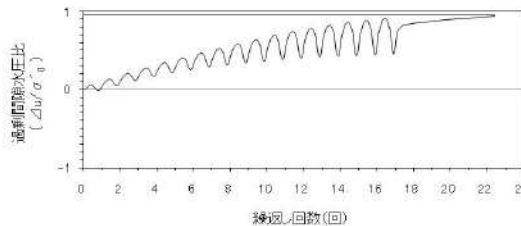
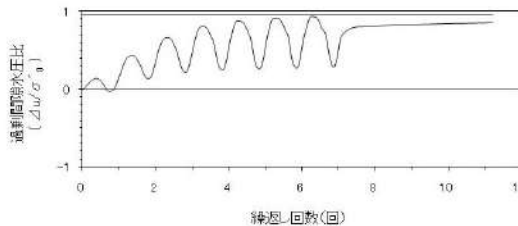
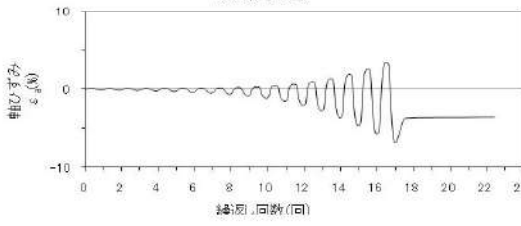
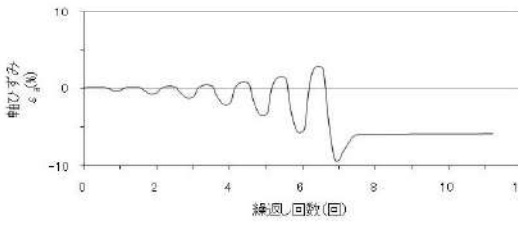
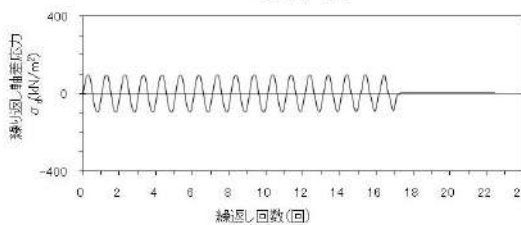
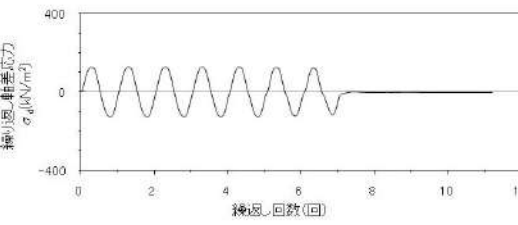
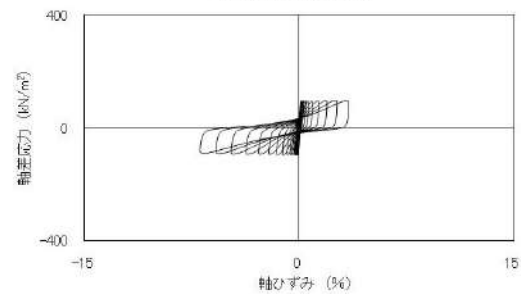
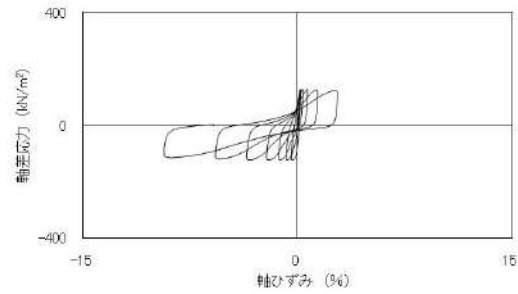
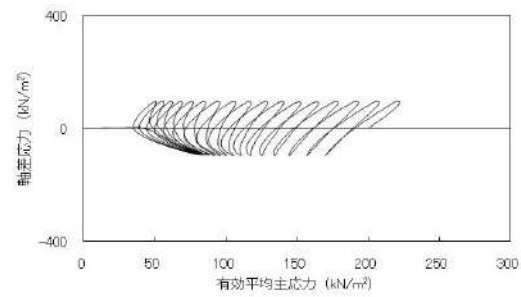
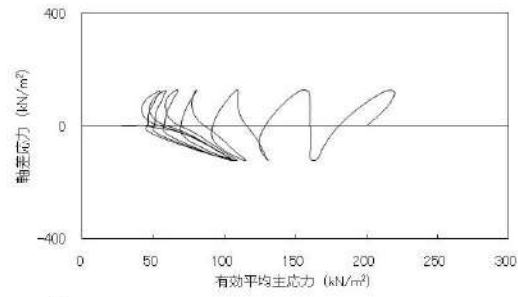
試験条件		
供試体		No.18
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.374
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-107 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 18))



試験条件		
供試体		No.20
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.361
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-108 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 20))

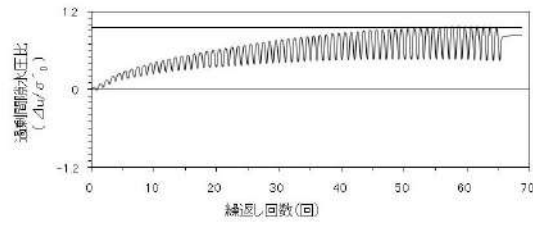
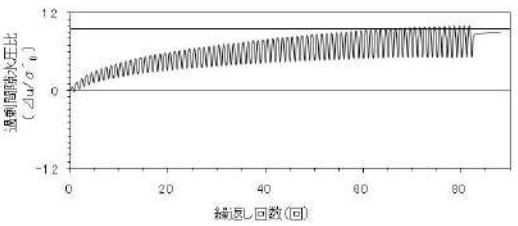
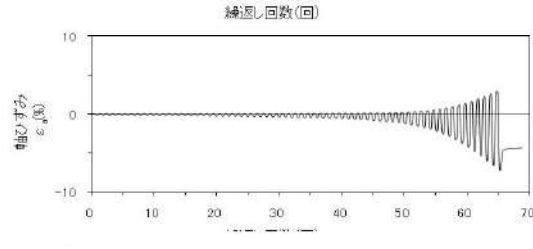
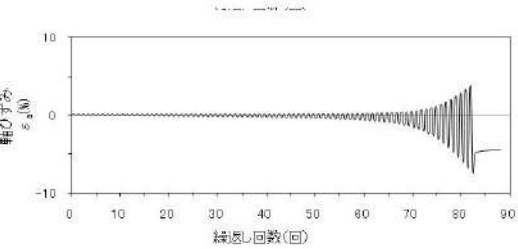
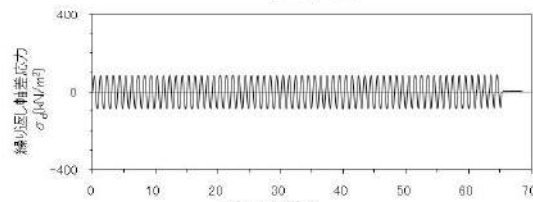
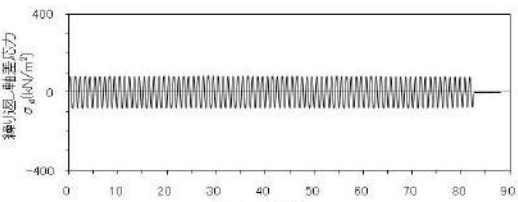
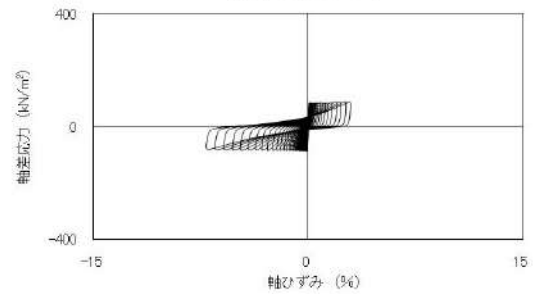
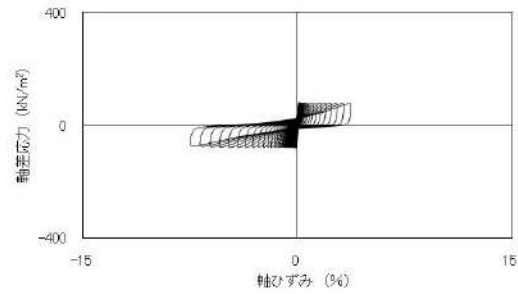
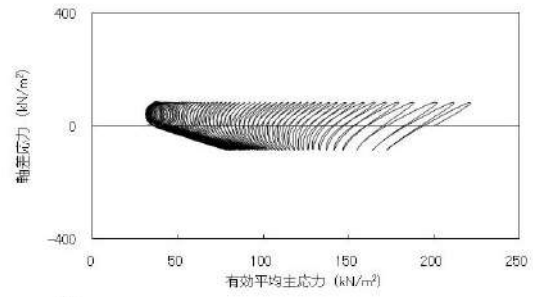
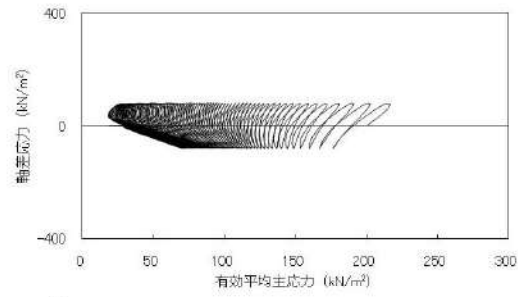


試験条件	
供試体	No.1-1
地表からの深度 (m)	1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)	37
圧密応力 σ' _v (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' _{v0}	0.311
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

試験条件	
供試体	No.1-4
地表からの深度 (m)	1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)	37
圧密応力 σ' _v (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' _{v0}	0.235
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-109 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-1))

添付 1-110 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-4))

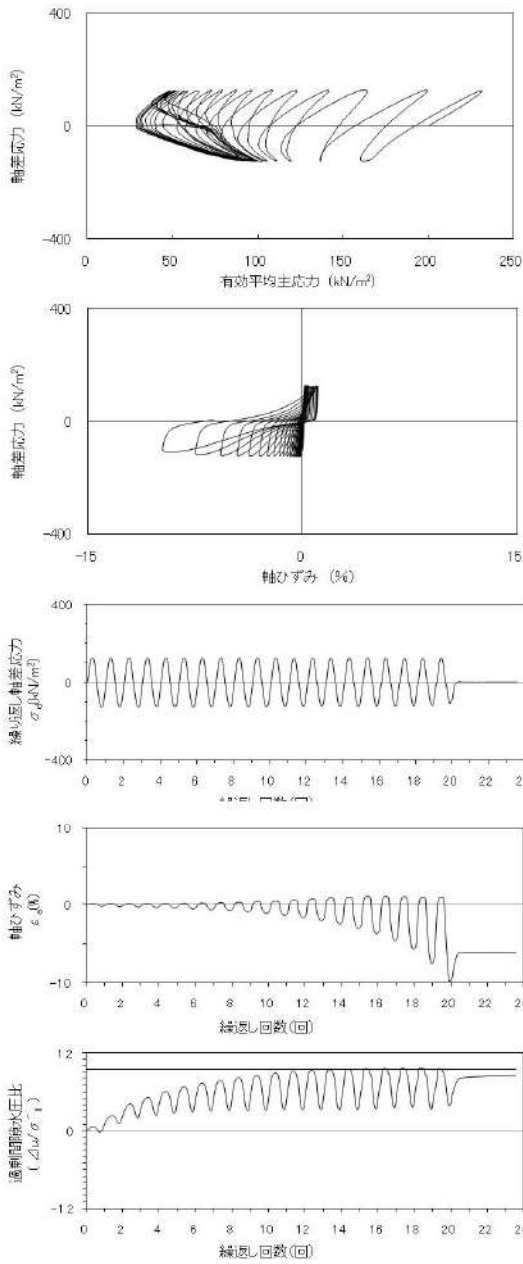


試験条件		
供試体		No.1-5
地表からの深度 (m)		1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)		37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.200
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.1-6
地表からの深度 (m)		1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)		37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.212
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

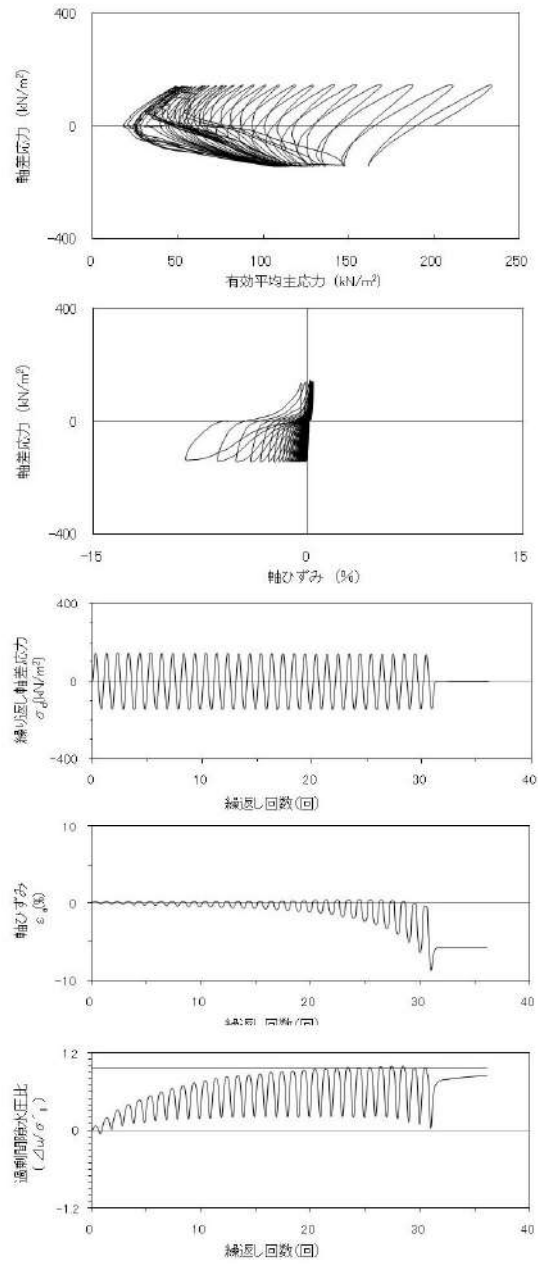
添付 1-111 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-5))

添付 1-112 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-6))



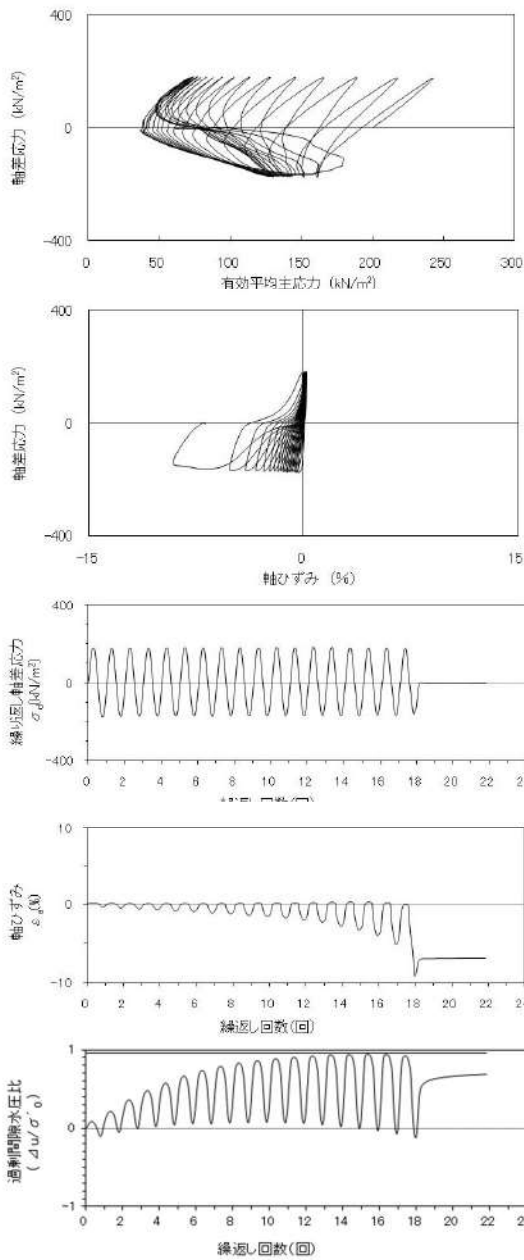
試験条件	
供試体	No.2-2
地表からの深度 (m)	2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)	65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.311
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-113 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-2))



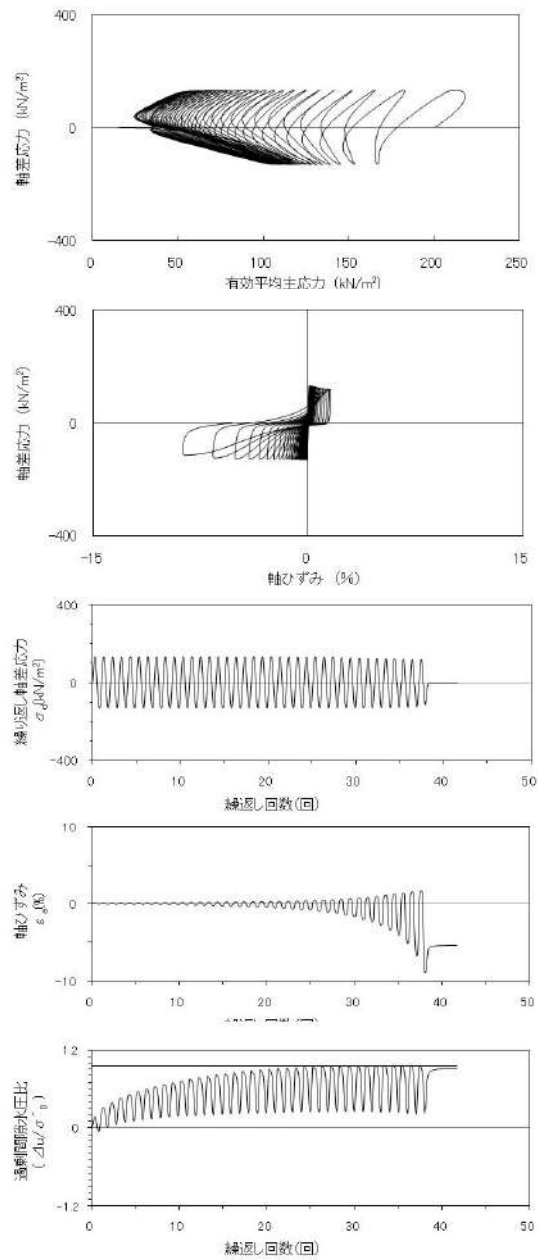
試験条件	
供試体	No.2-3
地表からの深度 (m)	2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)	65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.359
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-114 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-3))



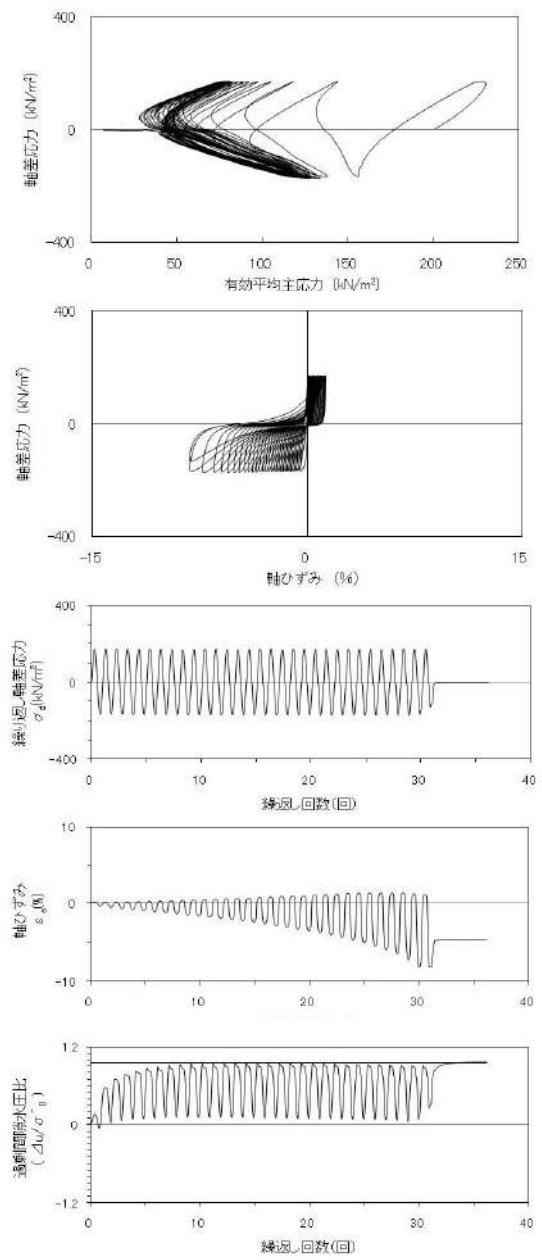
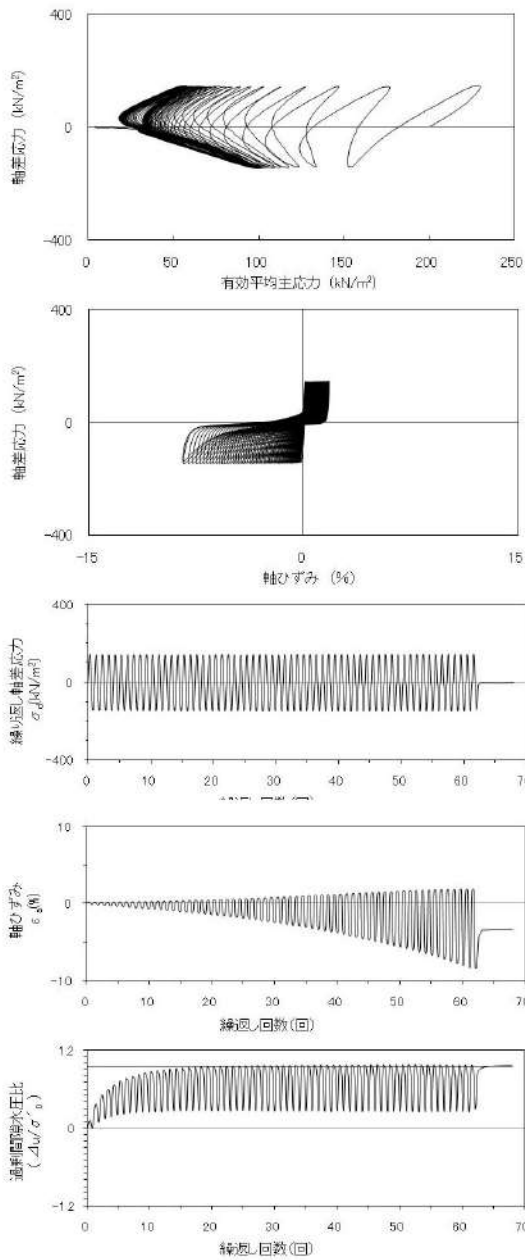
試験条件		
供試体		No.2-4
地表からの深度 (m)		2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)		65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.440
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-115 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-4))



試験条件		
供試体		No.2-6
地表からの深度 (m)		2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)		65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.328
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-116 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-6))

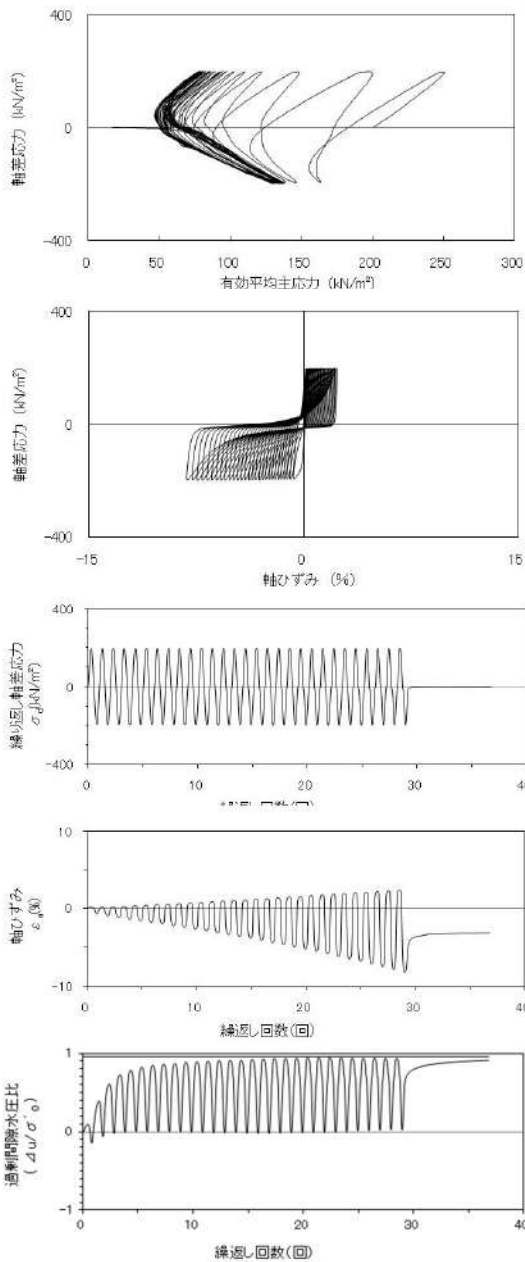


試験条件		
供試体		No.3-2
地表からの深度 (m)		4.40~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		82
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.358
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.3-3
地表からの深度 (m)		4.40~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		82
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.423
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

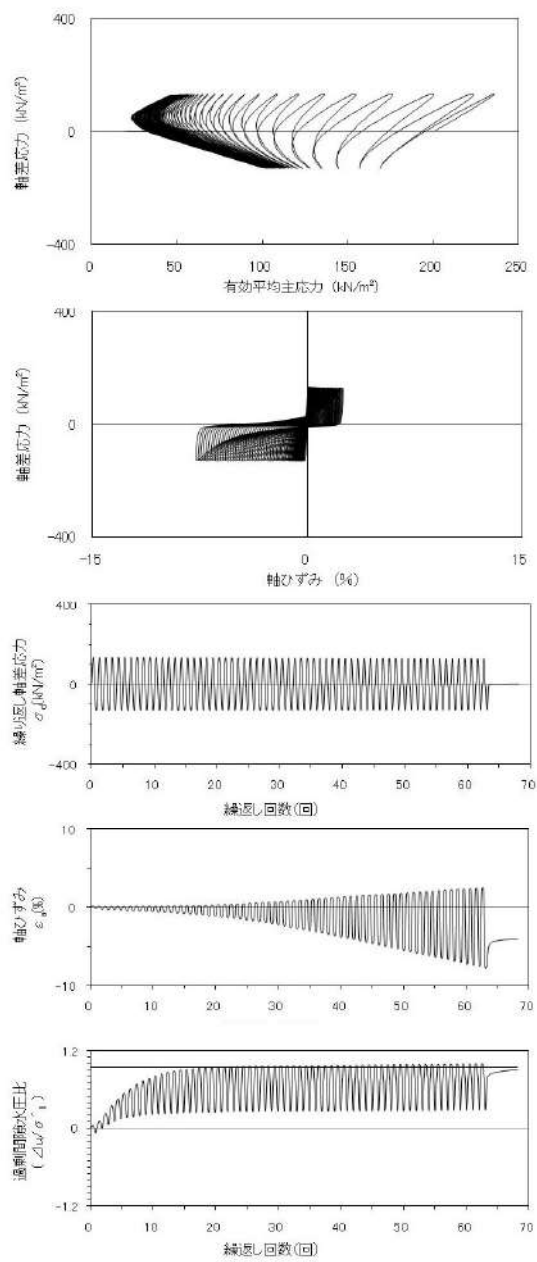
添付 1-117 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-2))

添付 1-118 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-3))



試験条件		
供試体	No.3-4	
地表からの深度 (m)	4.40~5.00	
有効上載圧 (kN/m ²)	82	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.490	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

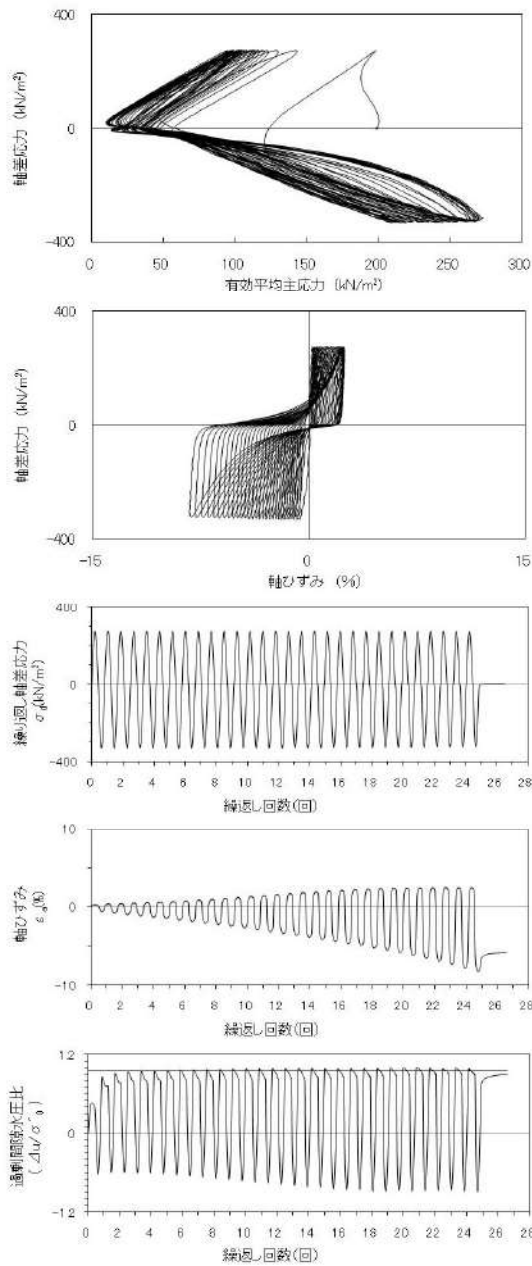
添付 1-119 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-4))



試験条件		
供試体	No.3-5	
地表からの深度 (m)	4.40~5.00	
有効上載圧 (kN/m ²)	82	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.328	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

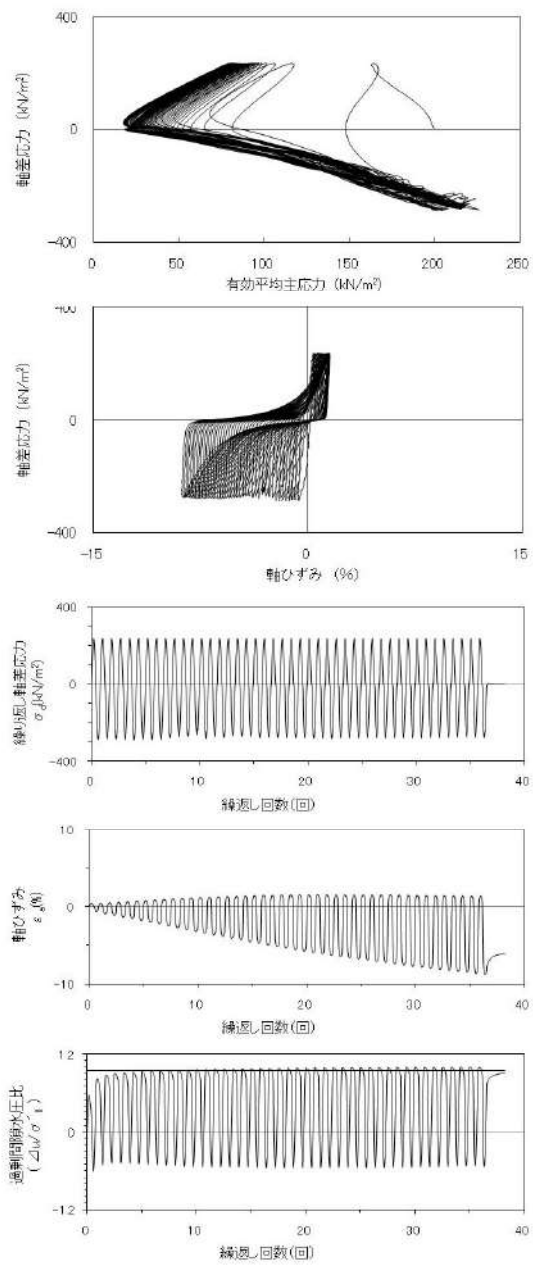
添付 1-120 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-5))

2. 液状化強度試験結果
(2) 3号埋戻土の試験データ



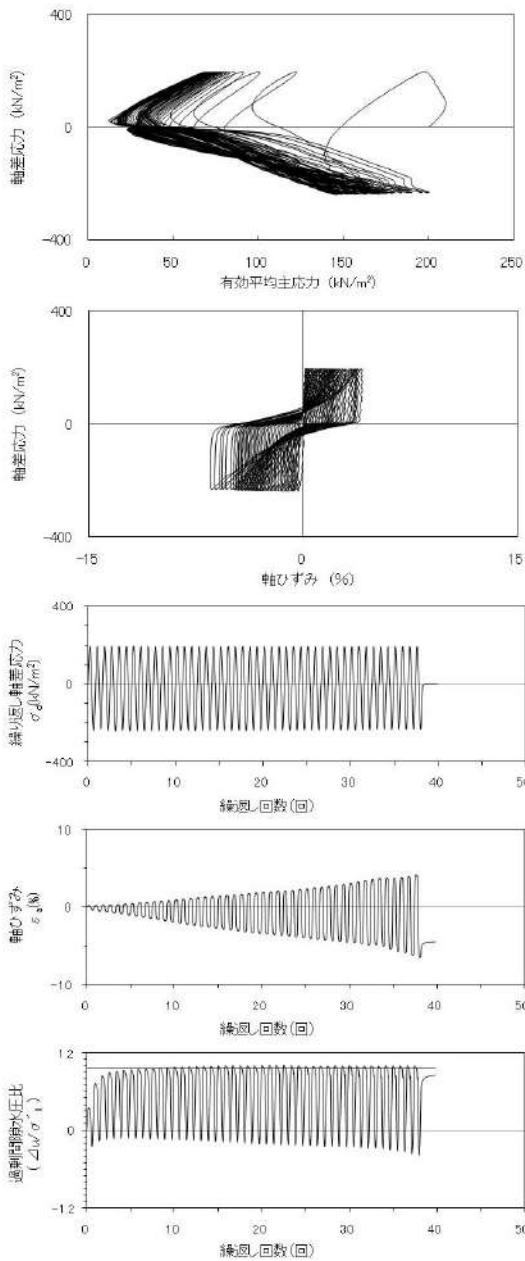
試験条件		
供試体	No.12	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.757	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-121 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 12))



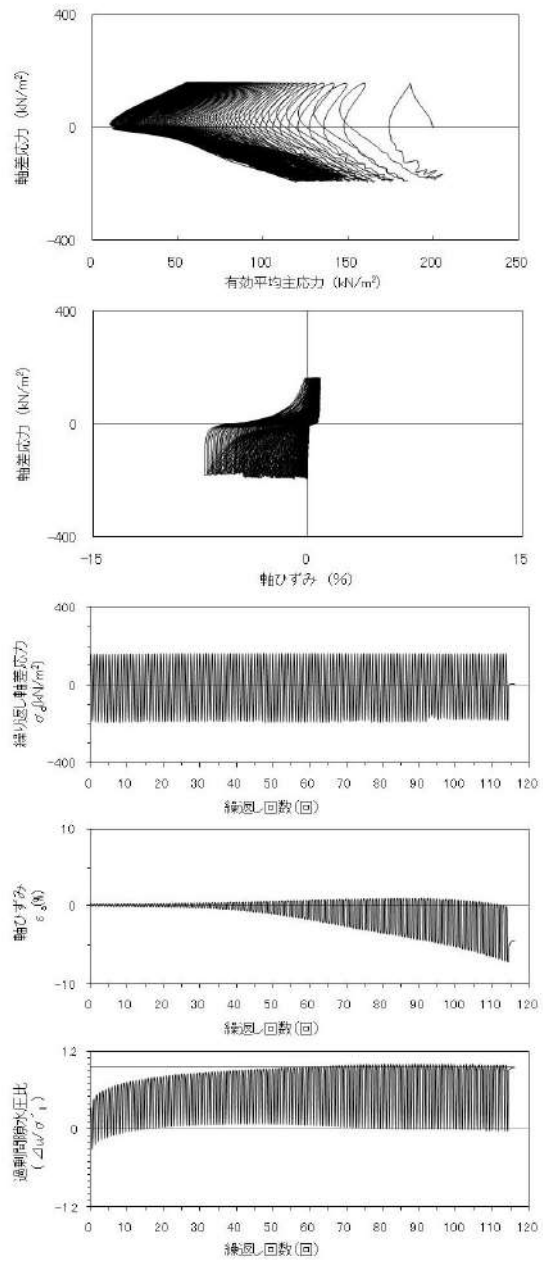
試験条件		
供試体	No.13	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.651	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-122 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 13))



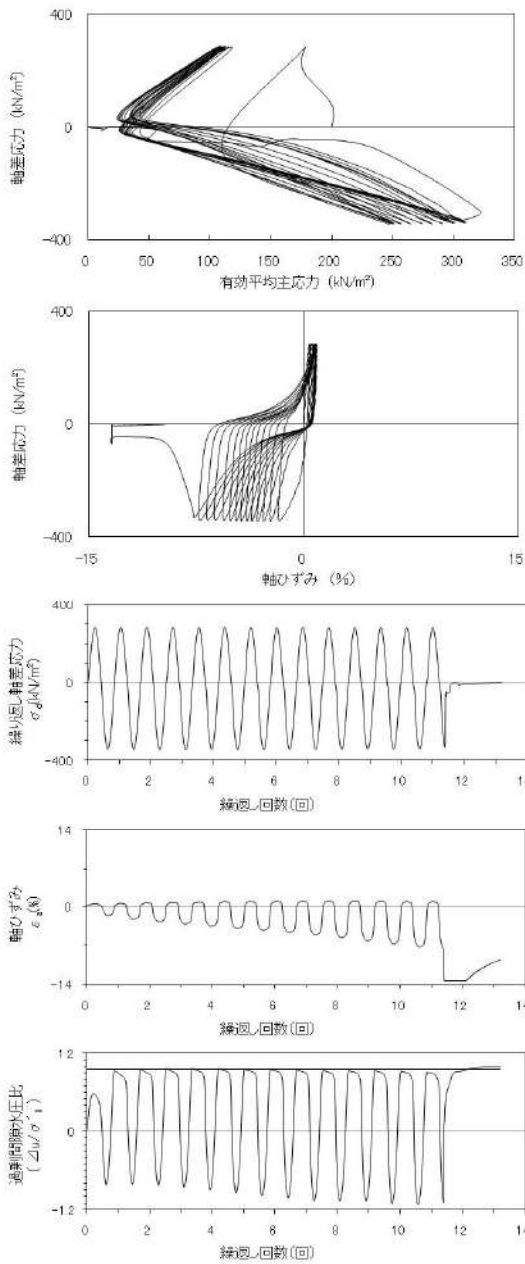
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.542	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-123 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 14))



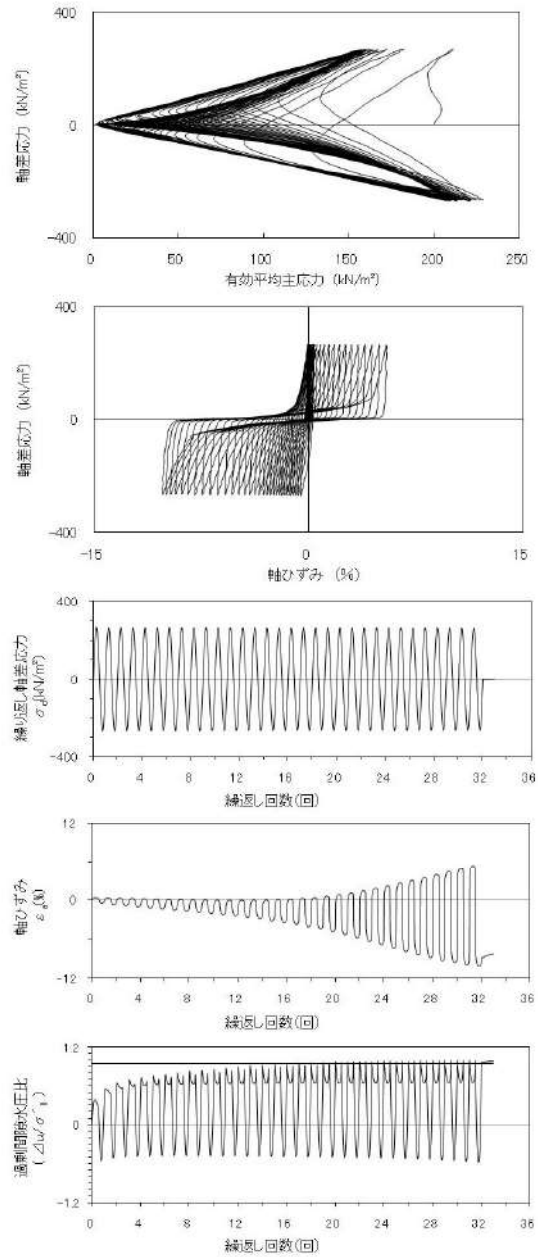
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.435	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-124 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 15))



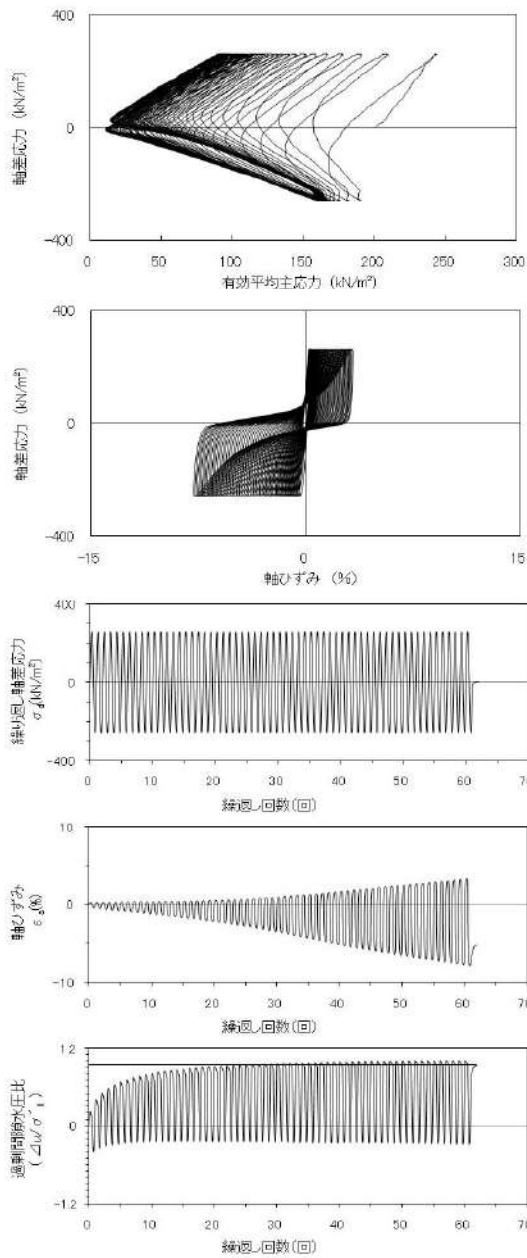
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.435	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-125 図 液状化強度試験結果
(BF3-1 試料(供試体 No. 11))



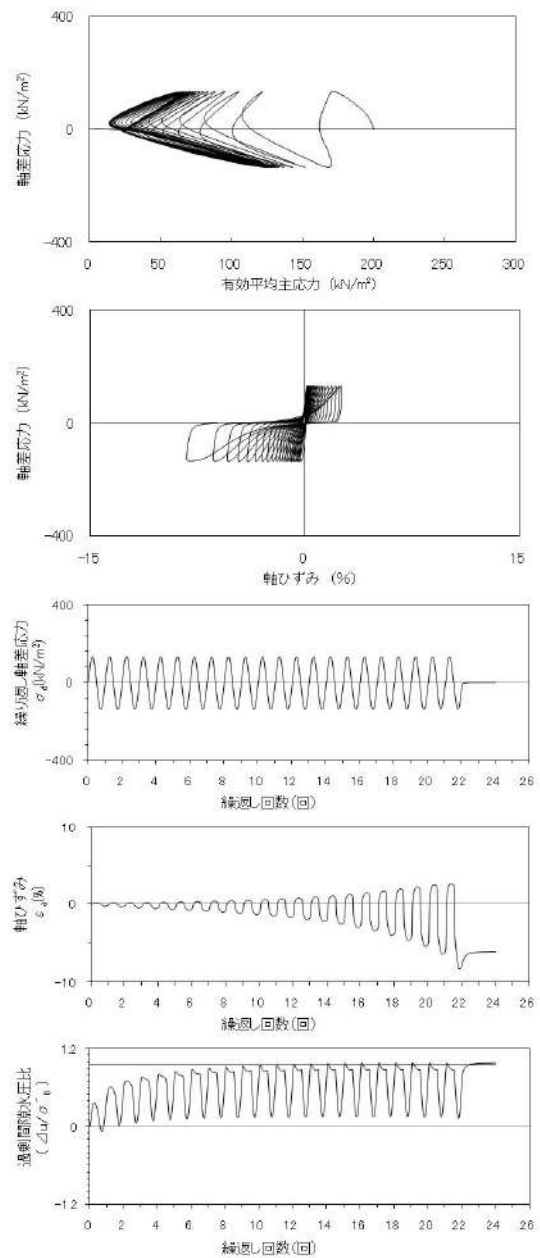
試験条件		
供試体	No.21	
地表からの深度 (m)	18.65~19.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	367	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.670	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-126 図 液状化強度試験結果
(BF3-2 試料(供試体 No. 21))



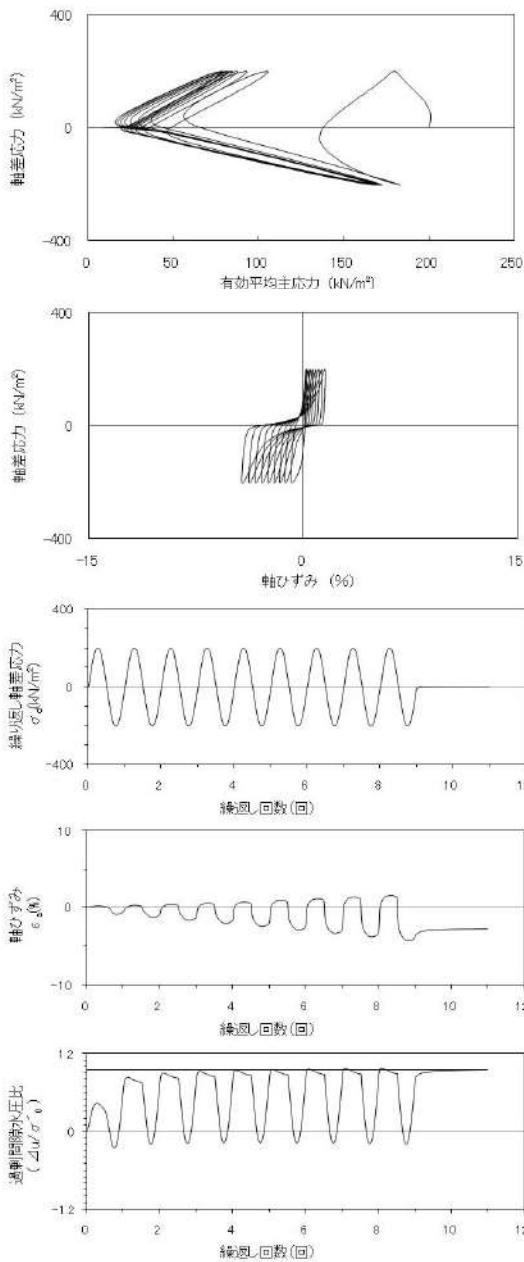
試験条件	
供試体	No.22
地表からの深度 (m)	18.65~19.05
有効上載圧 (kN/m ²)	367
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.651
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-127 図 液状化強度試験結果
(BF3-2 試料(供試体 No. 22))



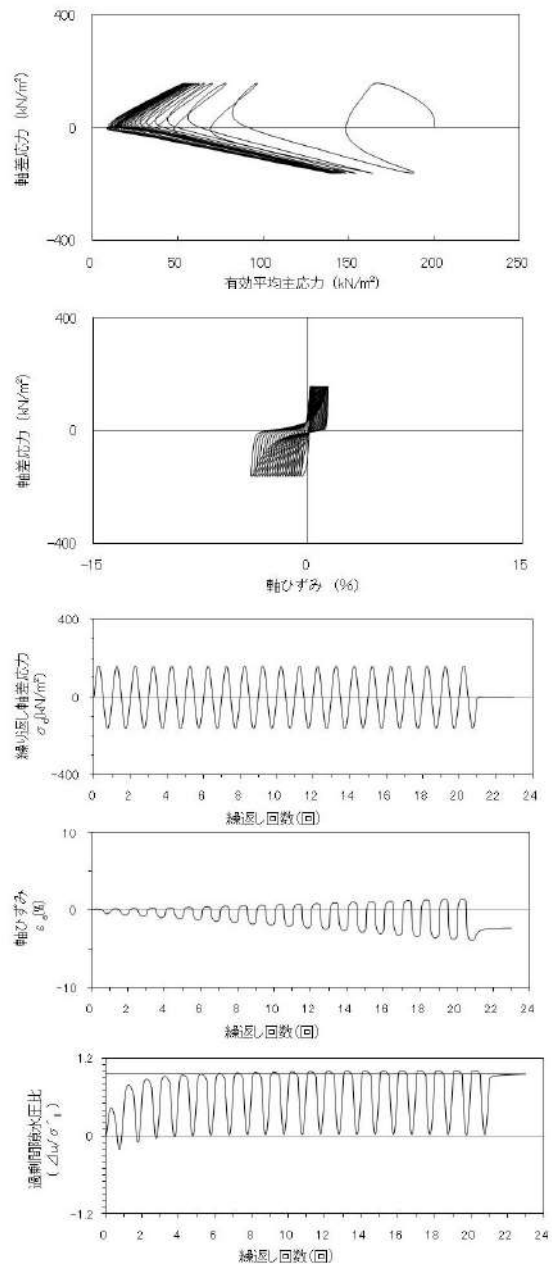
試験条件	
供試体	No.21
地表からの深度 (m)	8.05~8.25
有効上載圧 (kN/m ²)	163
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.336
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-128 図 液状化強度試験結果
(RE-7 試料(供試体 No. 21))



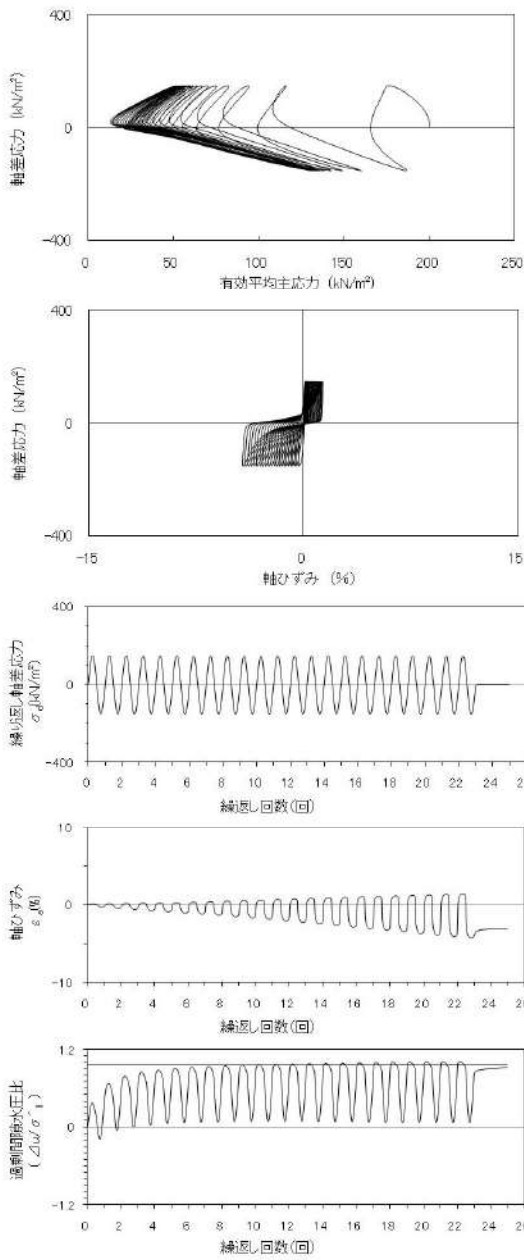
試験条件	
供試体	No.19'
地表からの深度 (m)	9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)	196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.500
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-129 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 19'))



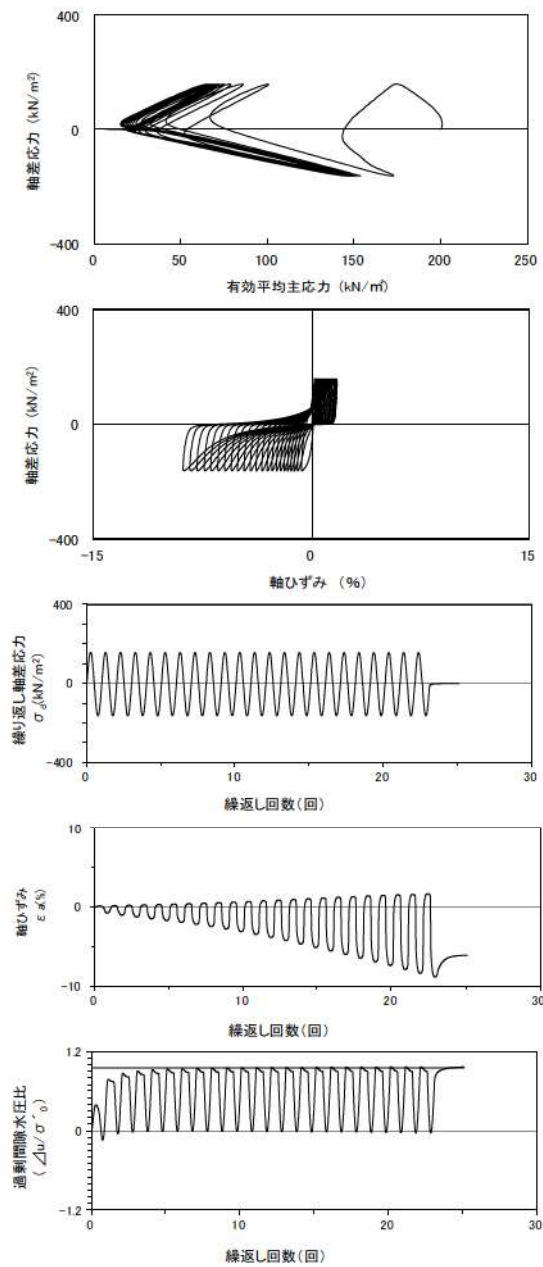
試験条件	
供試体	No. 20'
地表からの深度 (m)	9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)	196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.399
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-130 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 20'))



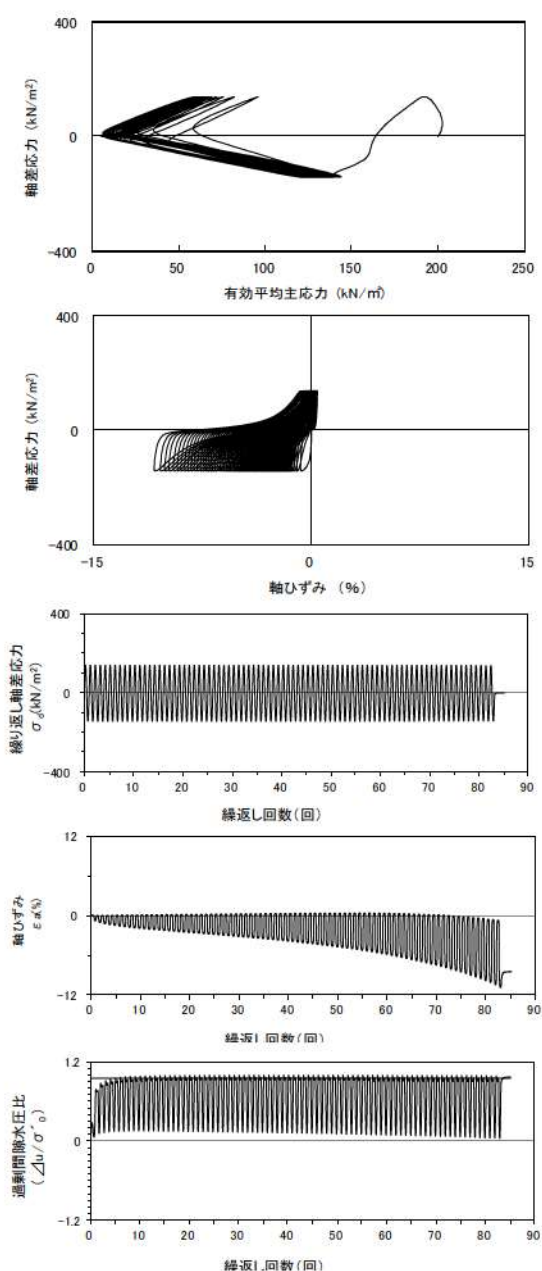
試験条件		
供試体		No. 21'
地表からの深度 (m)		9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)		196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.376
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-131 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 21'))



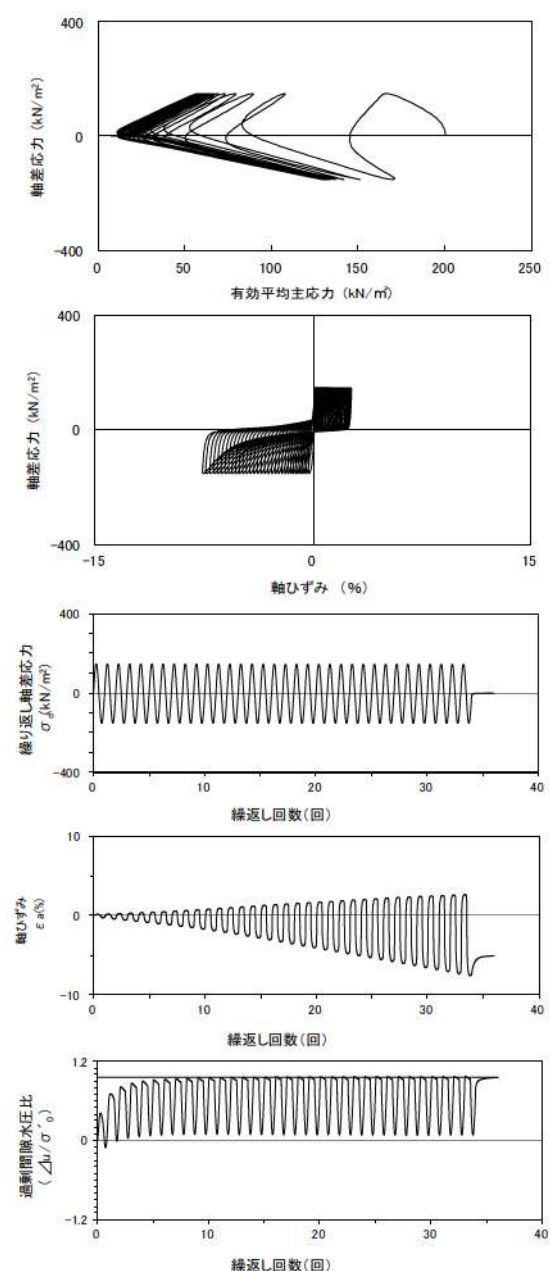
試験条件		
供試体		No. 3
地表からの深度 (m)		11.12~11.80
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.401
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-132 図 液状化強度試験結果
(RE-8'' (1) 試料(供試体 No. 3))



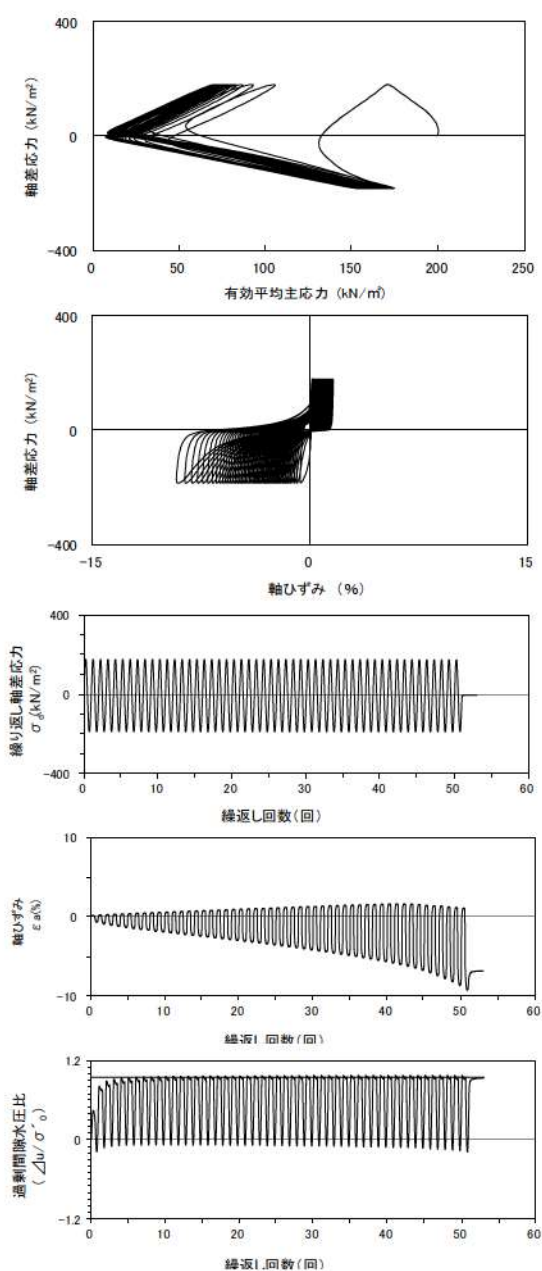
試験条件		
供試体	No. 4	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_0	0.351	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-133 図 液状化強度試験結果 (RE-8" (1) 試料(供試体 No. 4))



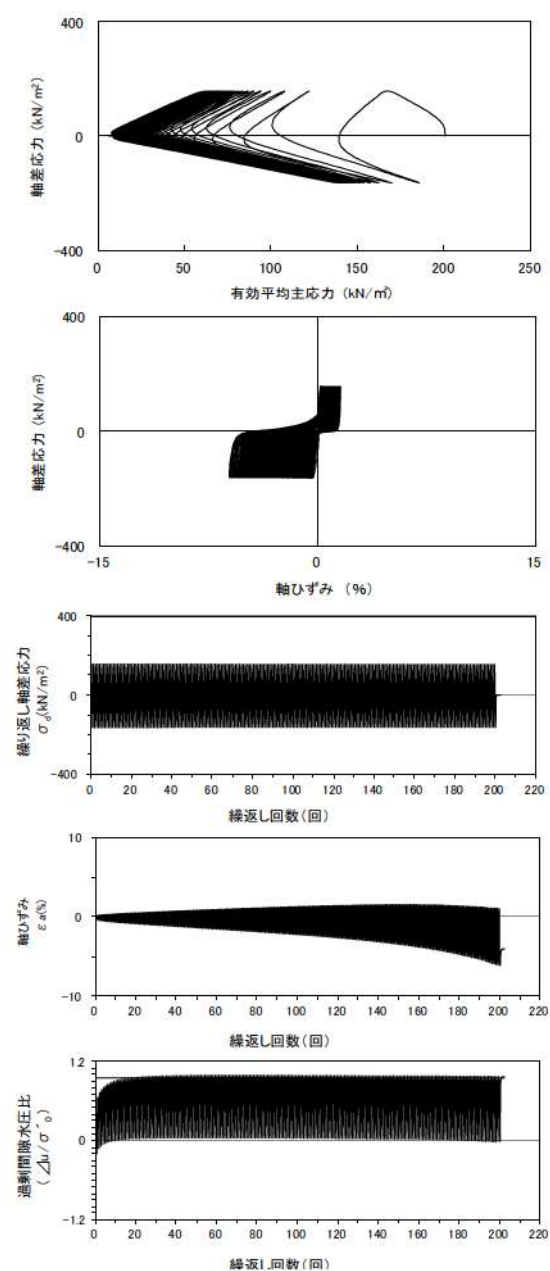
試験条件		
供試体	No. 1'	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_0	0.374	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-134 図 液状化強度試験結果 (RE-8" (1) 試料(供試体 No. 1'))



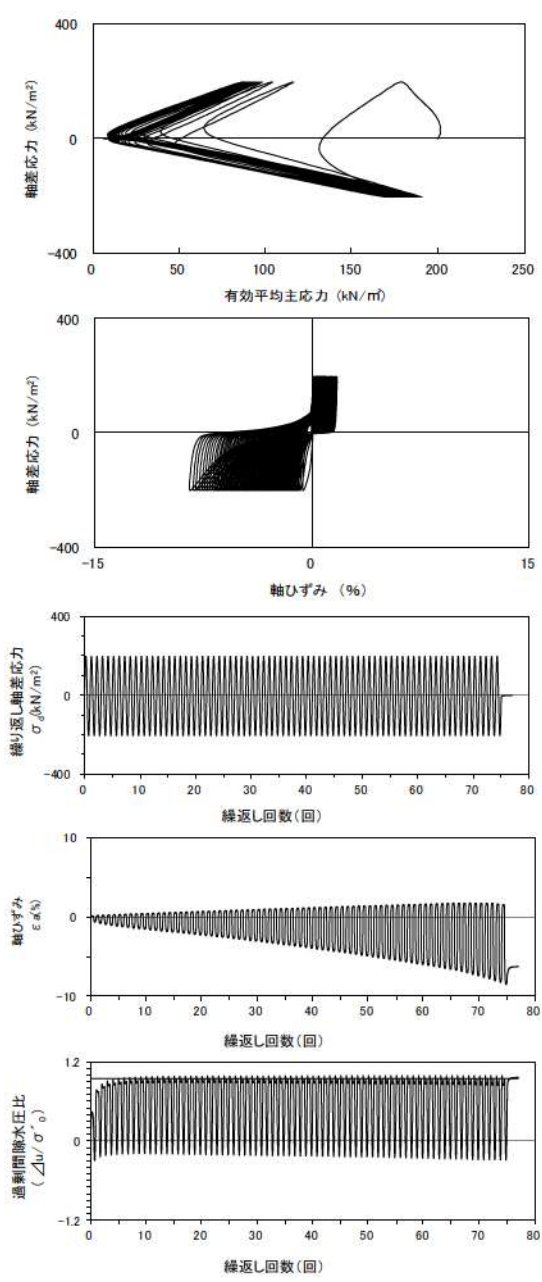
試験条件		
供試体	No. 3'	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.454	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-135 図 液状化強度試験結果
(RE-8" (1) 試料(供試体 No. 3'))



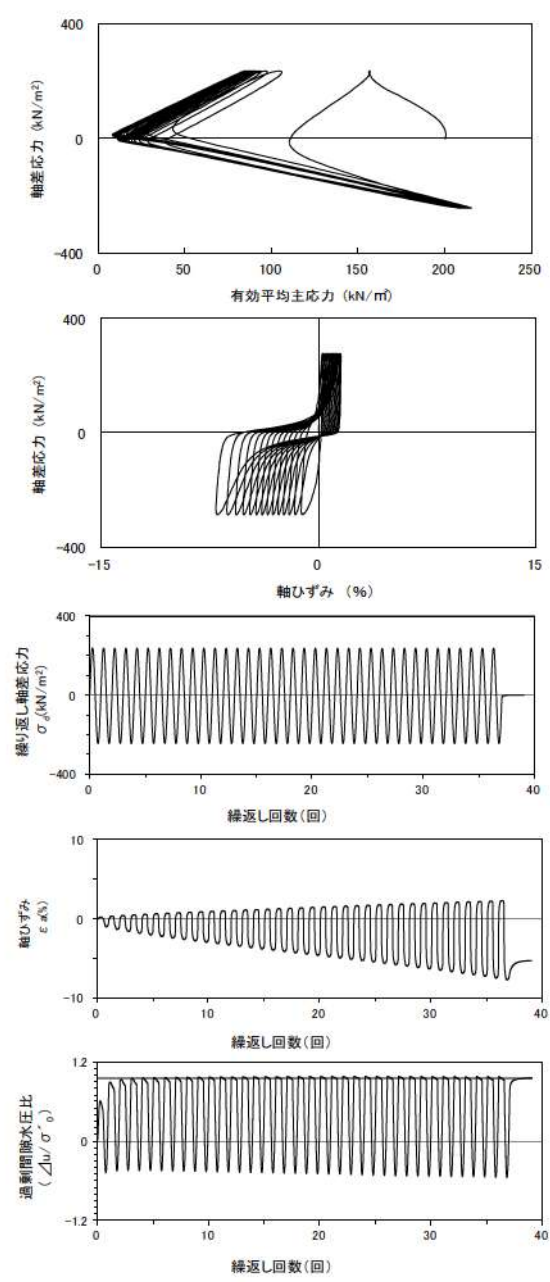
試験条件		
供試体	No. 5	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.400	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-136 図 液状化強度試験結果
(RE-8" (2) 試料(供試体 No. 5))



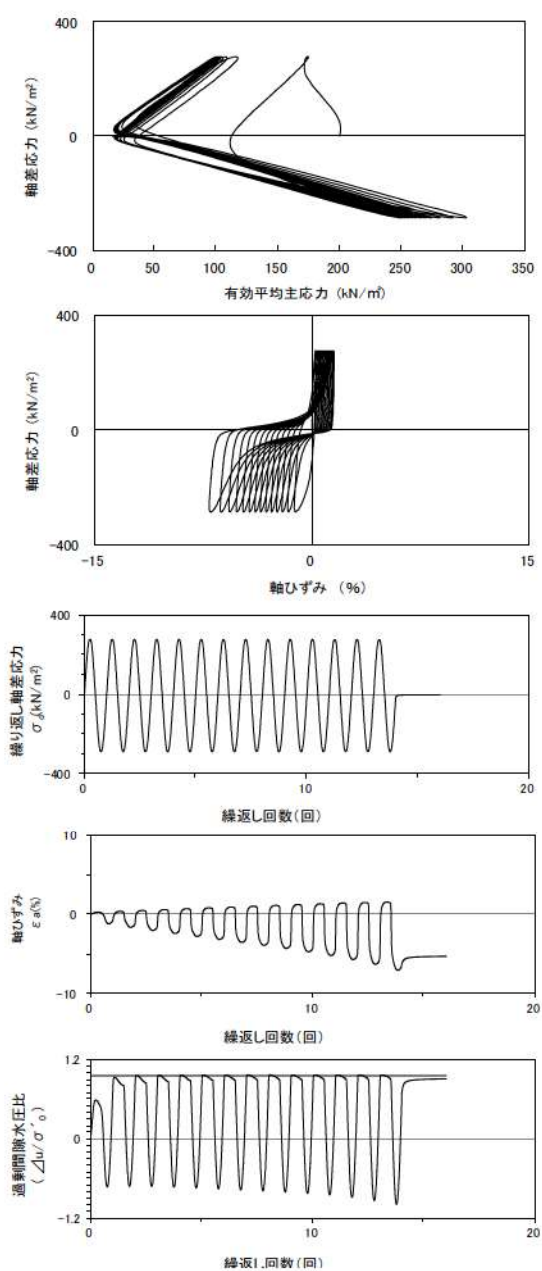
試験条件		
供試体	No. 6	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-137 図 液状化強度試験結果
(RE-8” (2) 試料(供試体 No. 6))



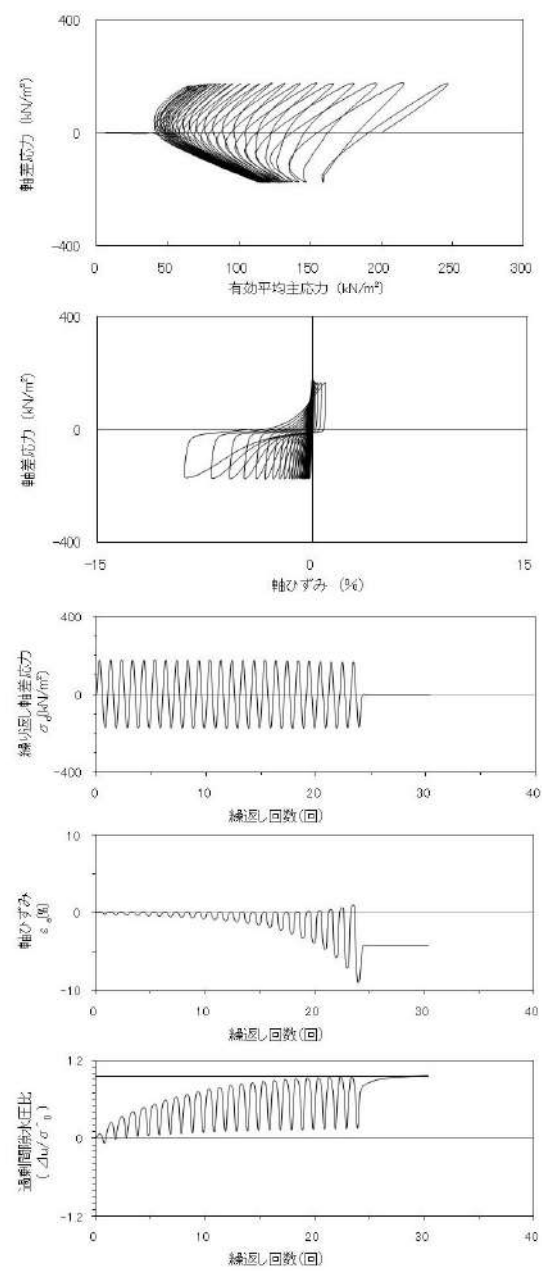
試験条件		
供試体	No. 4'	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.602	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-138 図 液状化強度試験結果
(RE-8” (2) 試料(供試体 No. 4'))



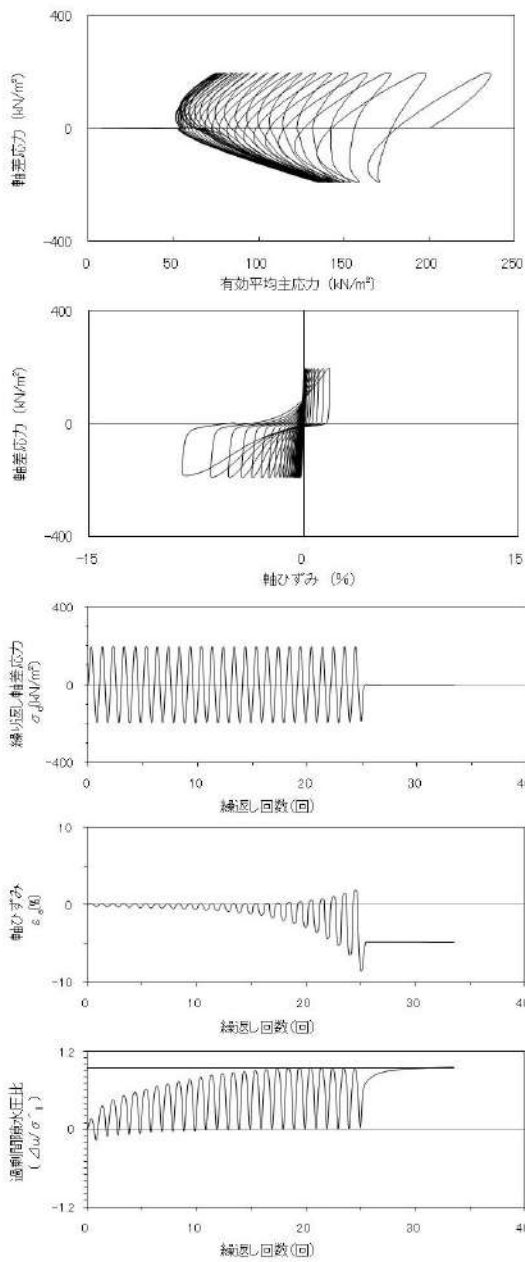
試験条件		
供試体	No. 5'	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.706	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-139 図 液状化強度試験結果
(RE-8'' (2) 試料(供試体 No. 5'))



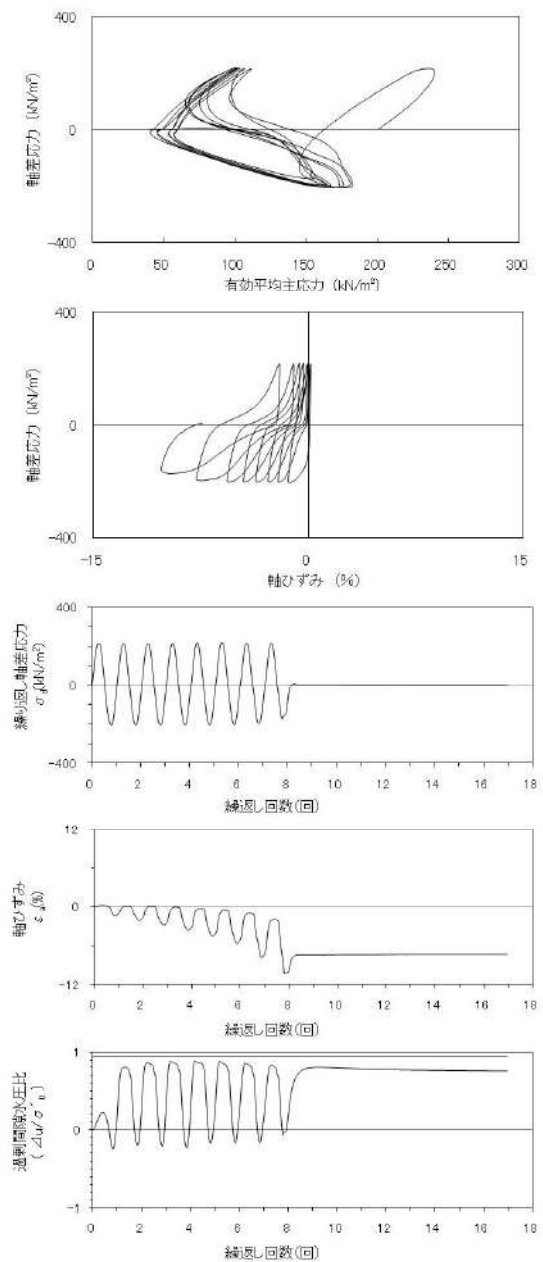
試験条件		
供試体	No.1-5	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.438	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-140 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 1-5))



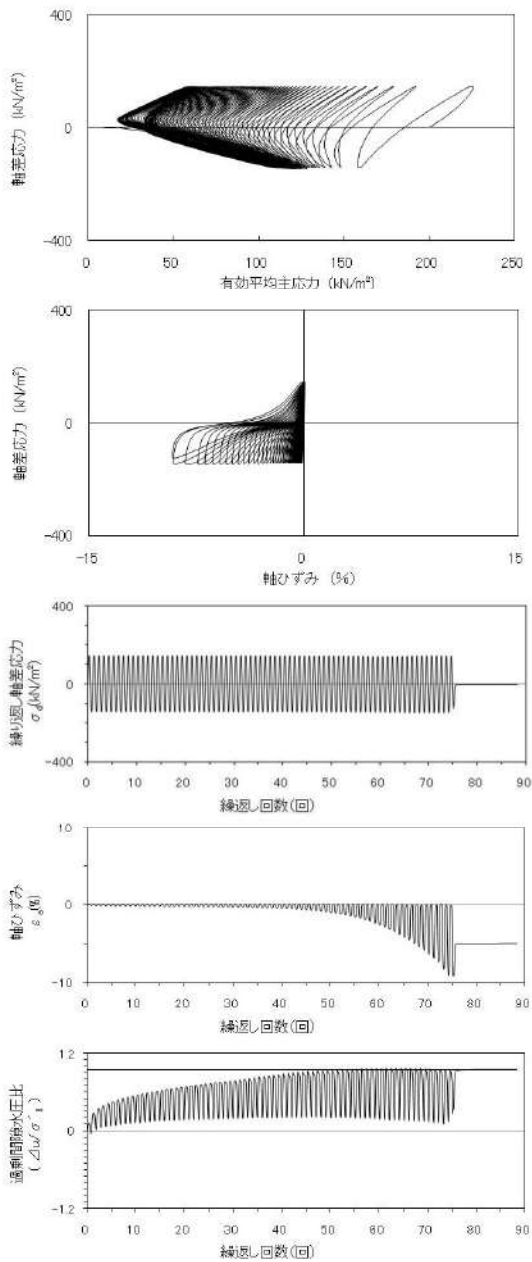
試験条件		
供試体	No.1-6	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.485	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-141 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 1-6))



試験条件		
供試体	No.3-1	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.526	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-142 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 3-1))

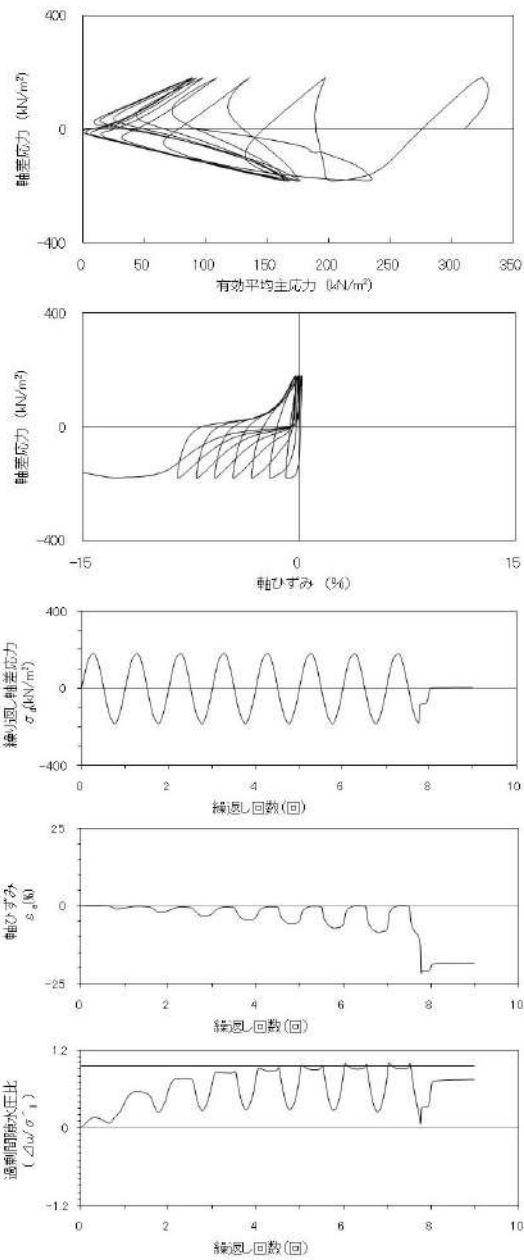


試験条件		
供試体	No.3-4	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.359	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-143 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 3-4))

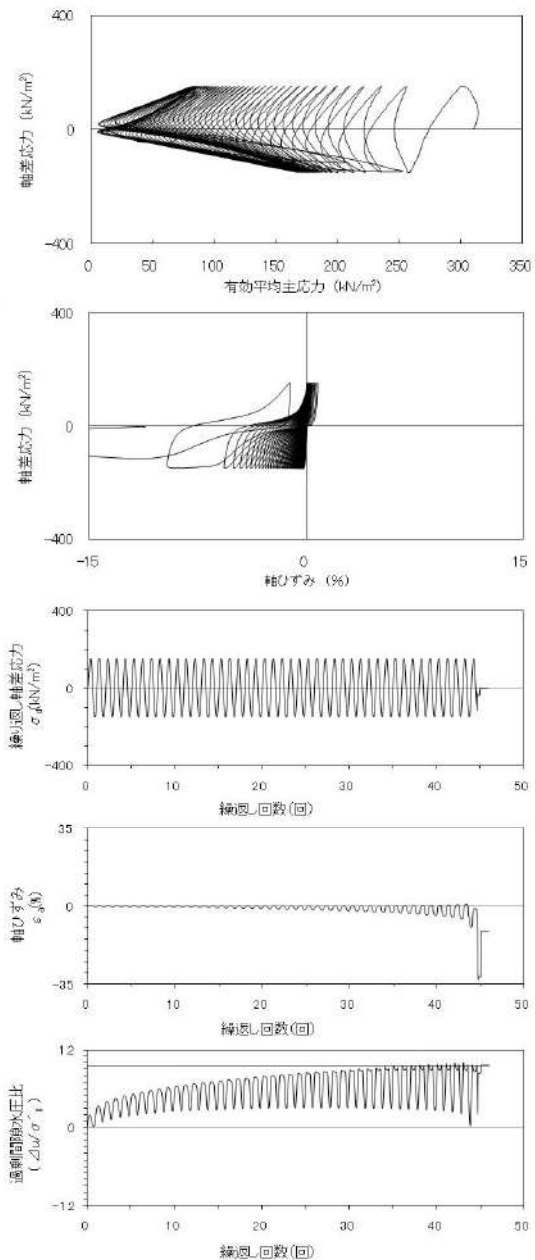
2. 液状化強度試験結果

(3) As1 層の試験データ



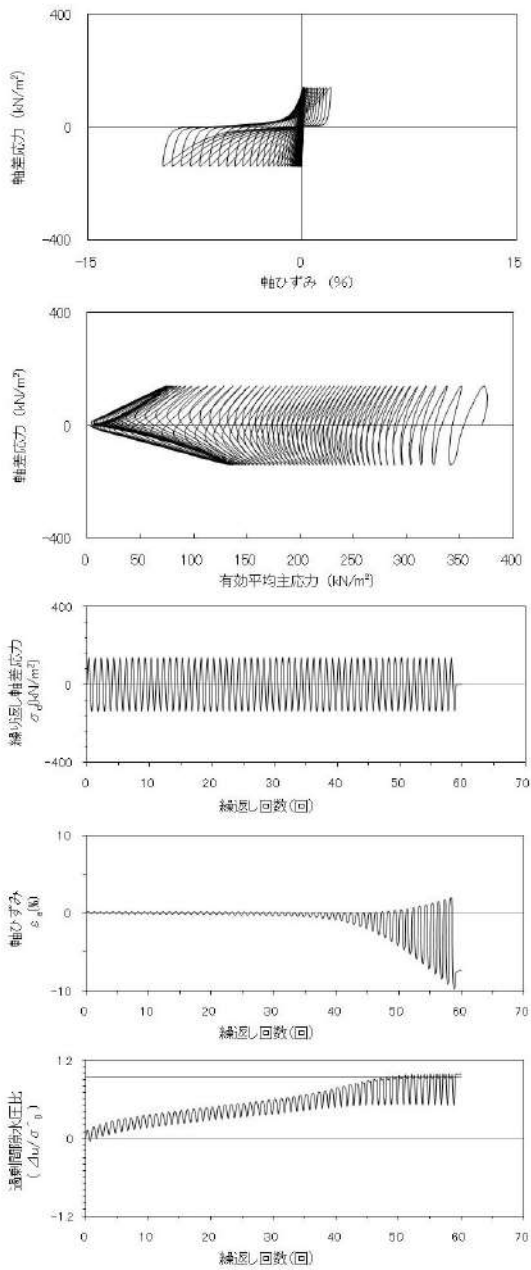
試験条件		
供試体	No.2	
地表からの深度 (m)	21.90~22.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	311	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	310	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.292	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-144 図 液状化強度試験結果
(SW-4-1 試料(供試体 No. 2))



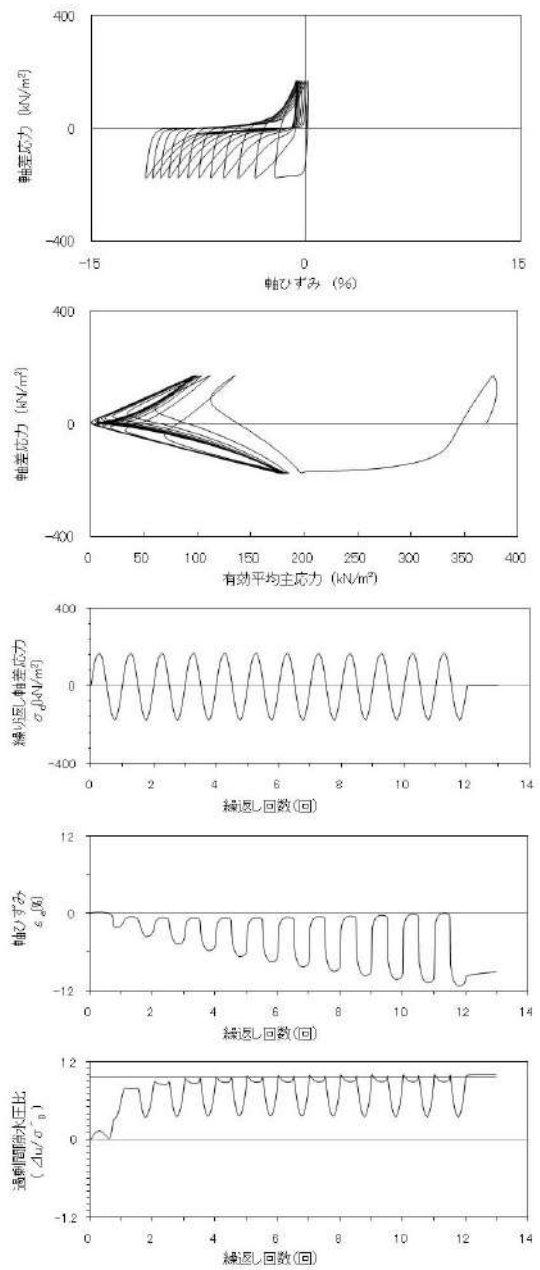
試験条件		
供試体	No.4	
地表からの深度 (m)	21.90~22.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	311	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	310	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.243	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-145 図 液状化強度試験結果
(SW-4-1 試料(供試体 No. 4))



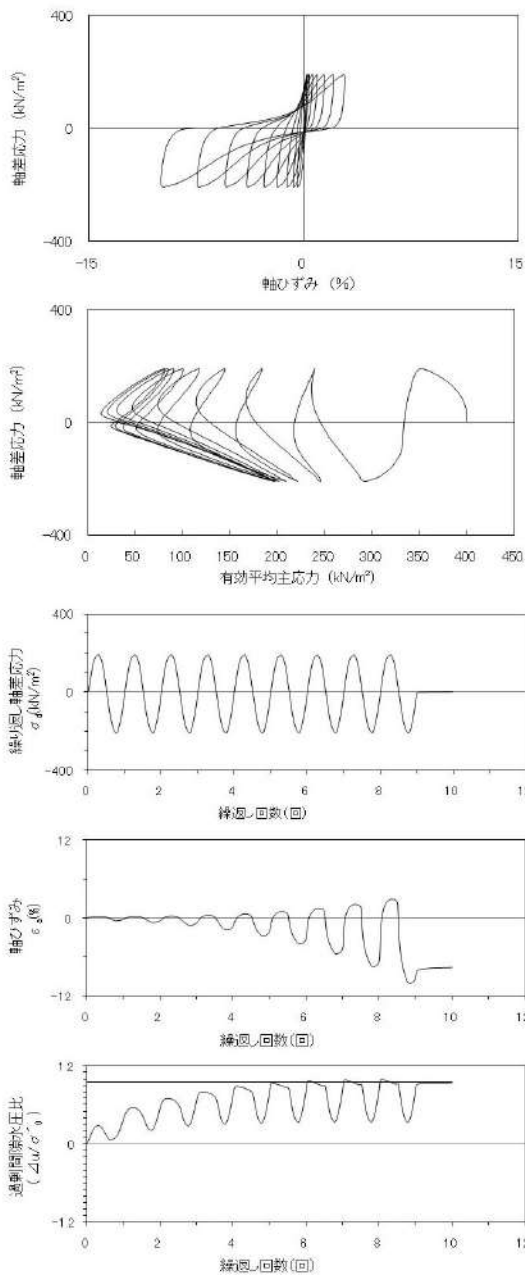
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	27.56~28.65
有効上載圧 (kN/m ²)	373
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.188
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-146 図 液状化強度試験結果
(SW-4-7 試料(供試体 No. 3))



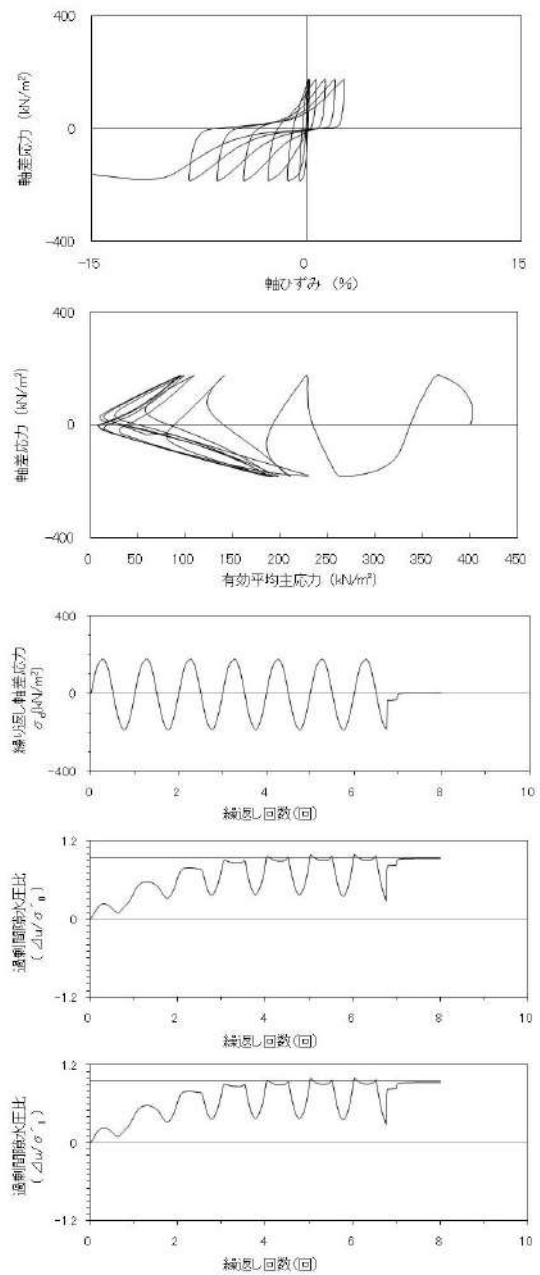
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	27.56~28.65
有効上載圧 (kN/m ²)	373
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.233
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-147 図 液状化強度試験結果
(SW-4-7 試料(供試体 No. 4))



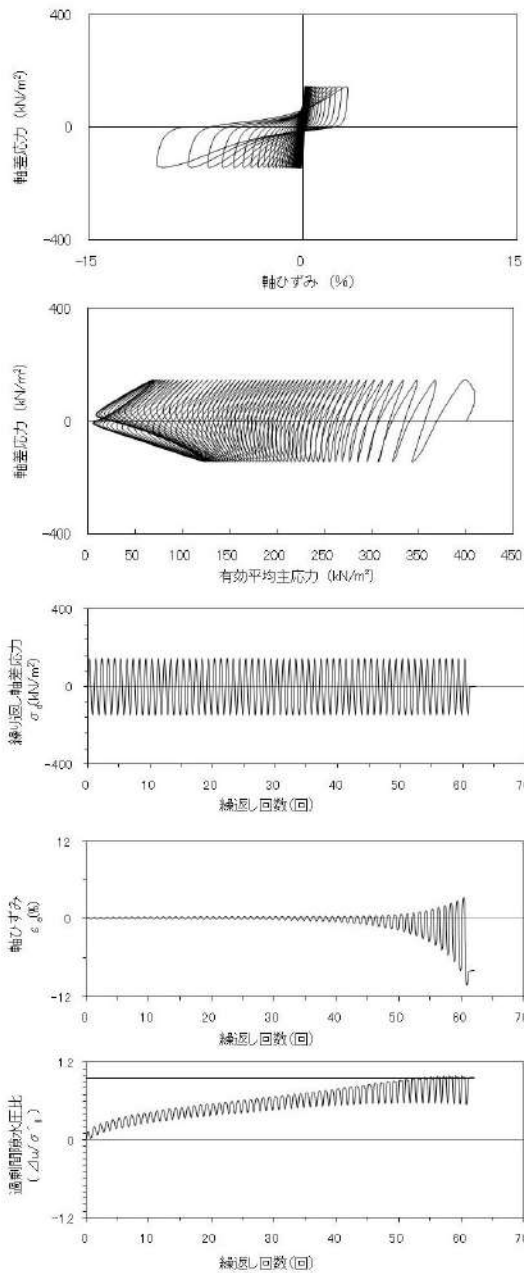
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)	400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.250
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

添付 1-148 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 1))



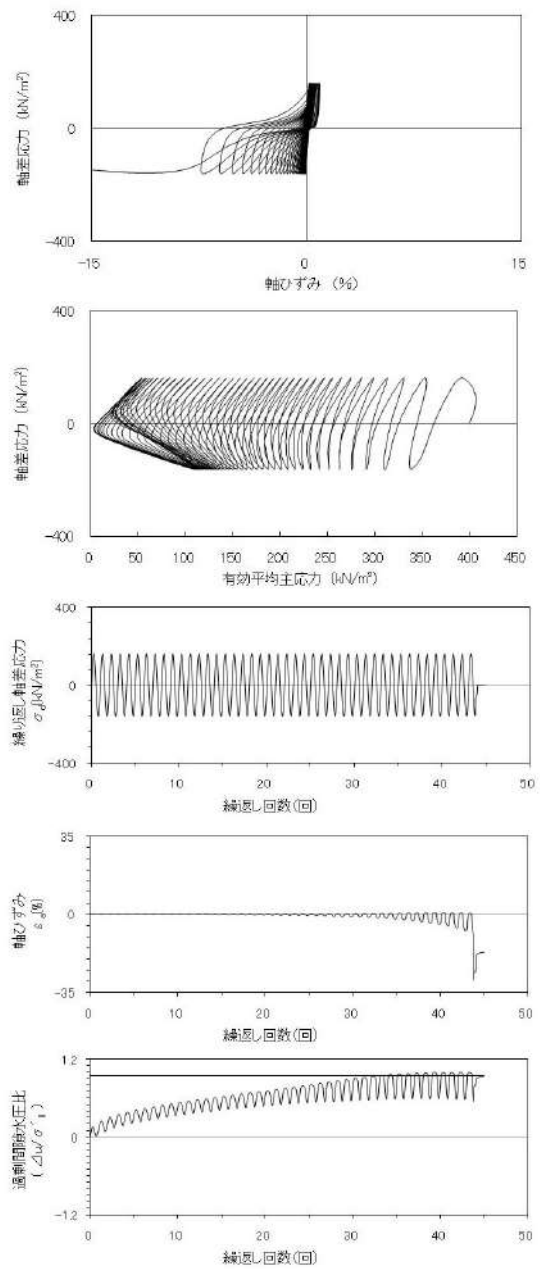
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)	400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.226
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

添付 1-149 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 2))



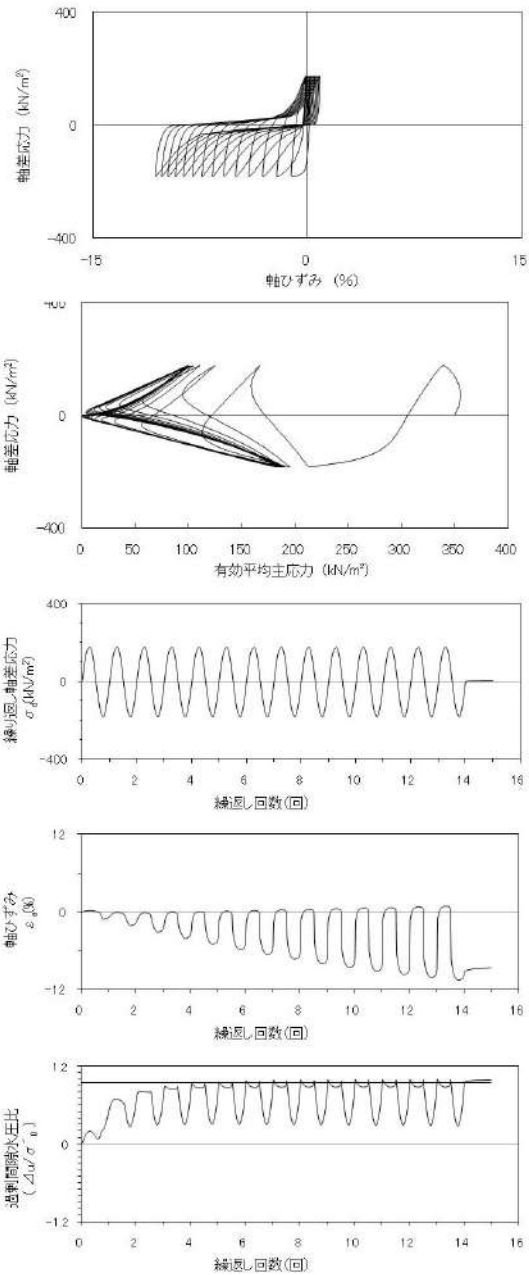
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)	400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.182
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-150 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 3))



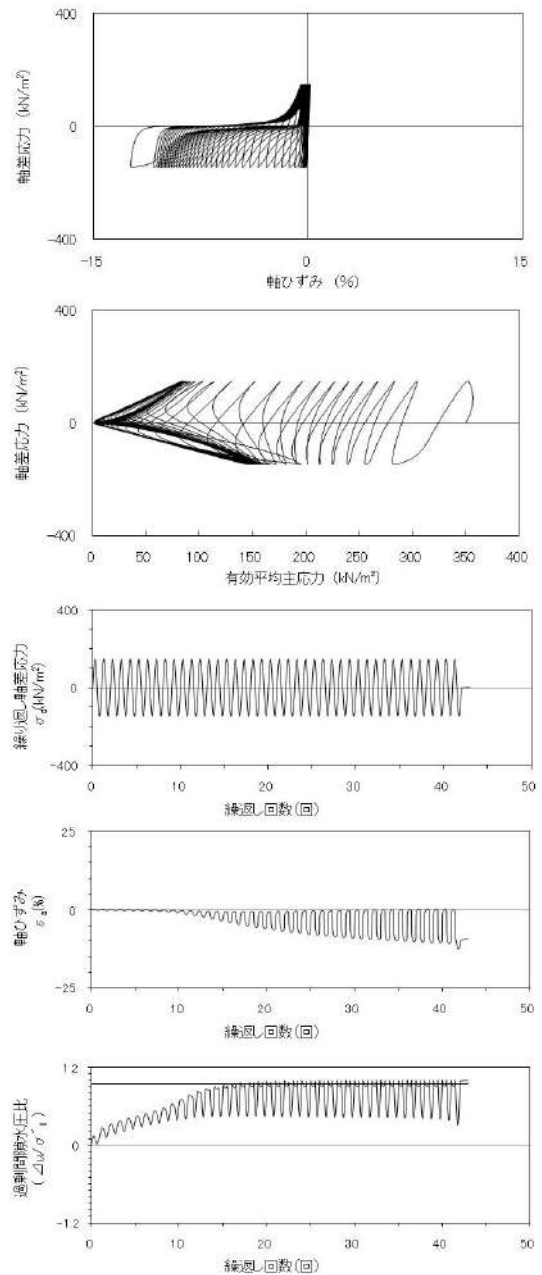
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)	400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.202
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-151 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 4))



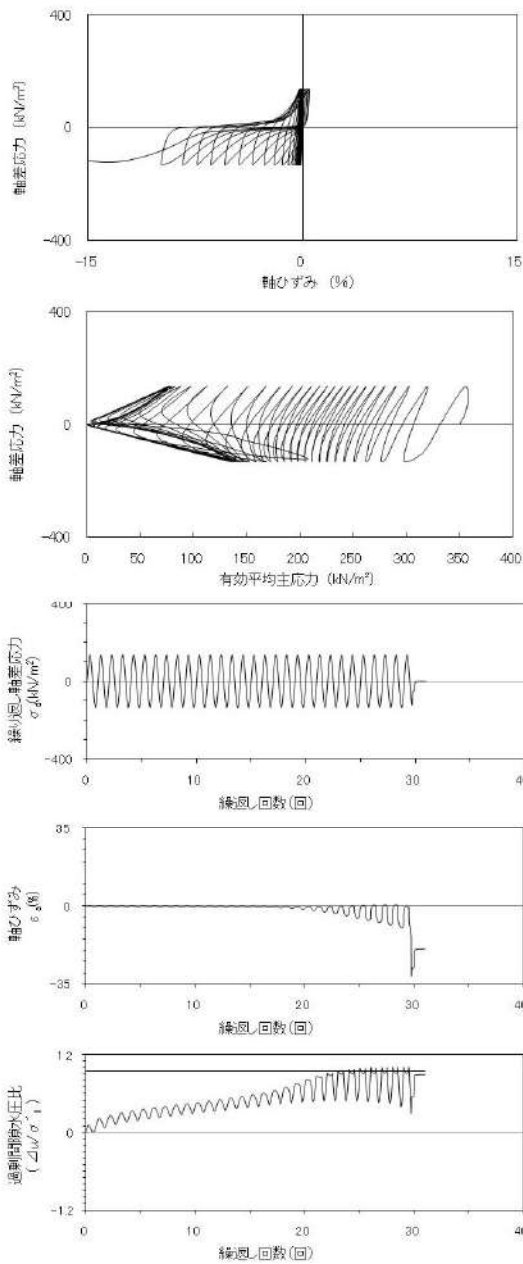
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.257
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)

添付 1-152 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 1))



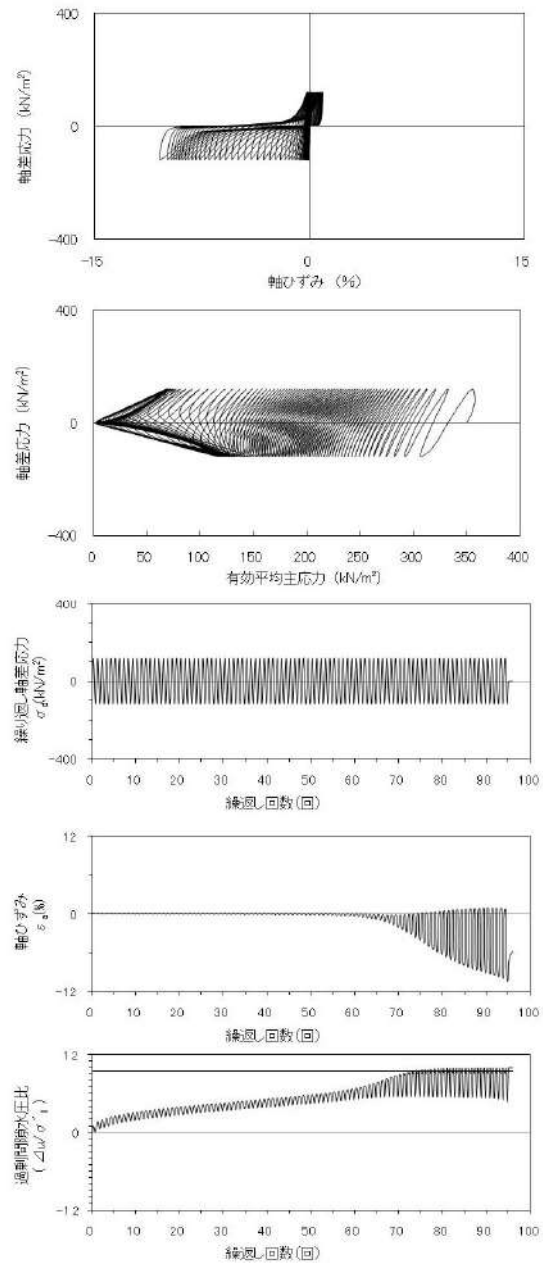
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.213
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-153 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 2))



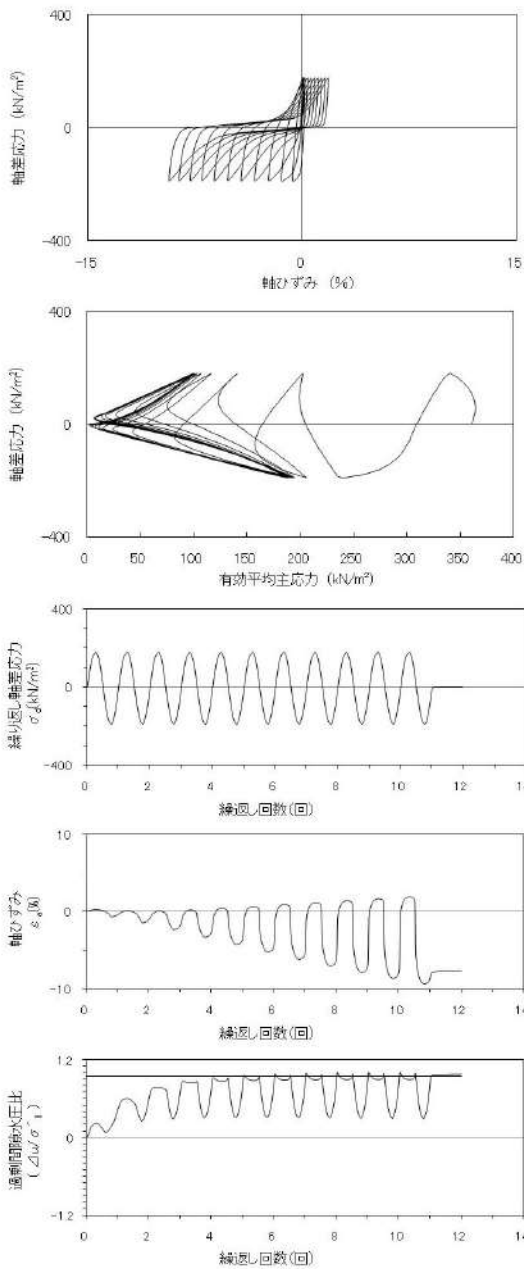
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.192
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-154 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 3))



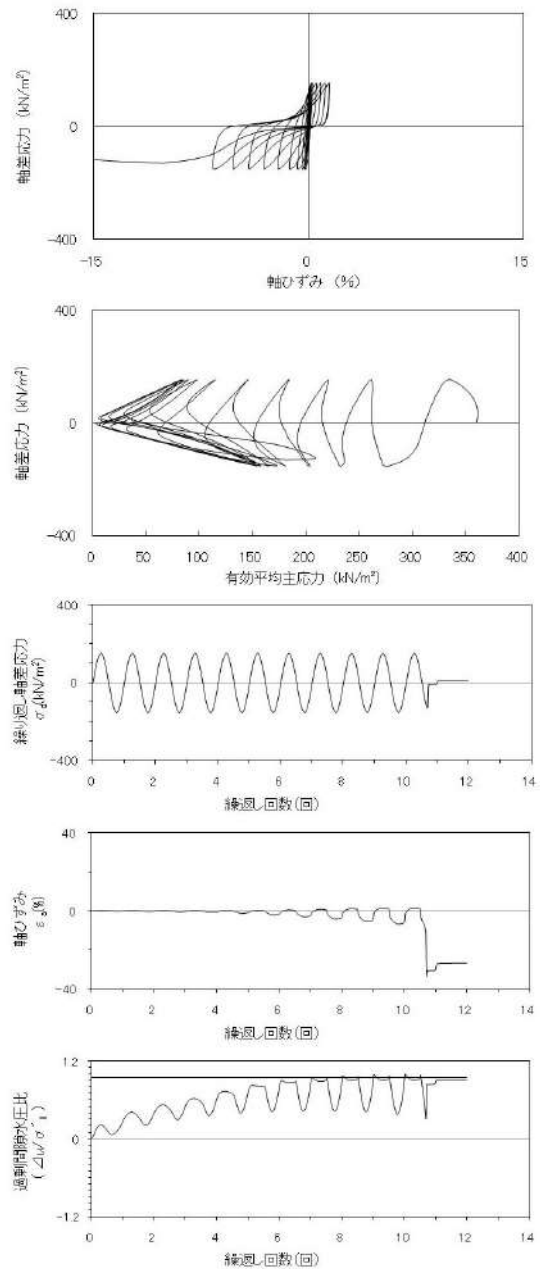
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.171
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-155 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 4))



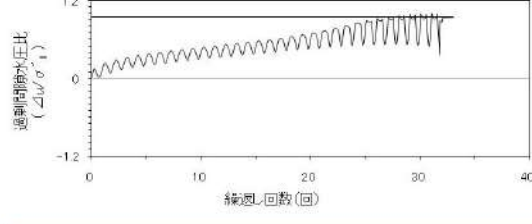
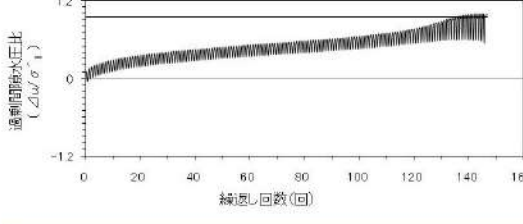
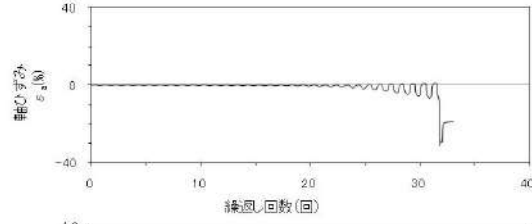
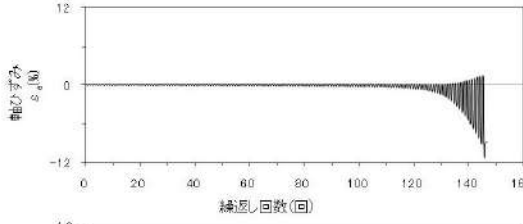
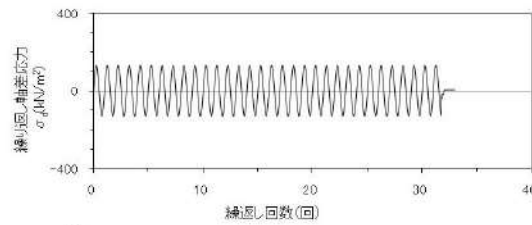
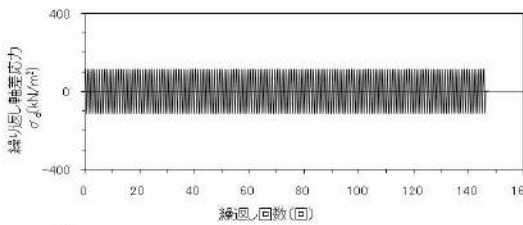
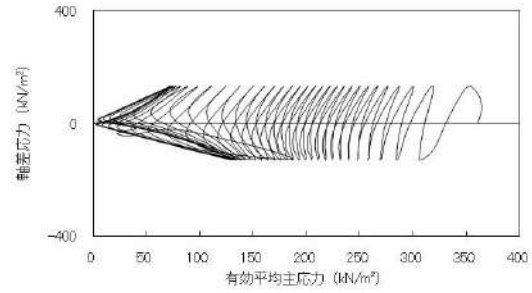
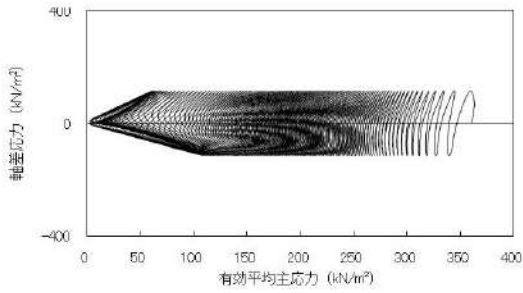
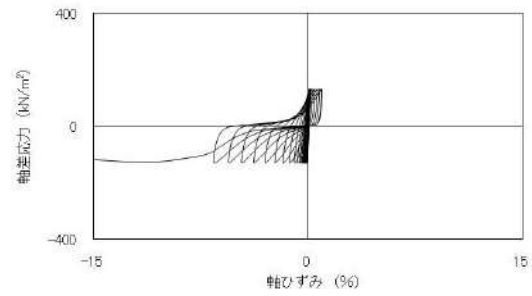
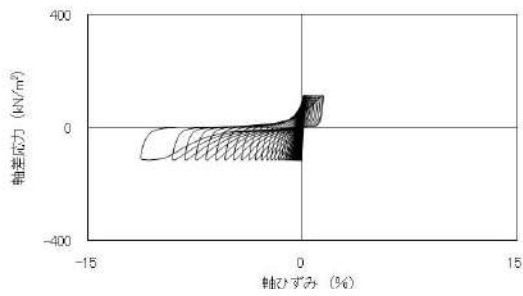
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m^2)	363
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.256
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-156 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 1))



試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m^2)	363
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.256
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-157 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 2))



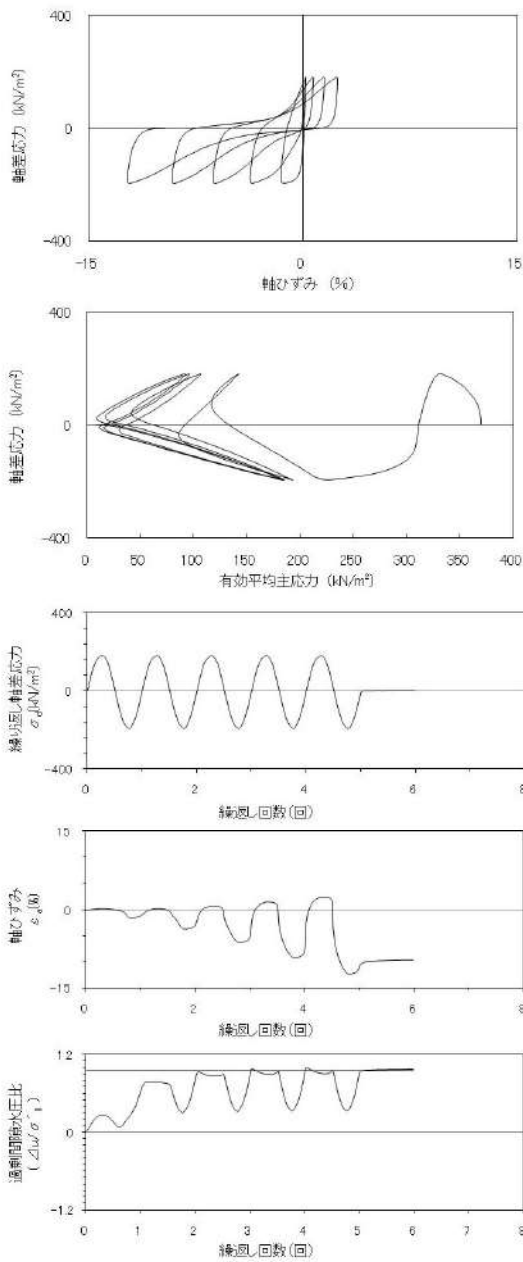
試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)		363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.160
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	○	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	×	

※有効応力がゼロまで低下していないが保守的に液状化に区分した。

添付 1-158 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 3))

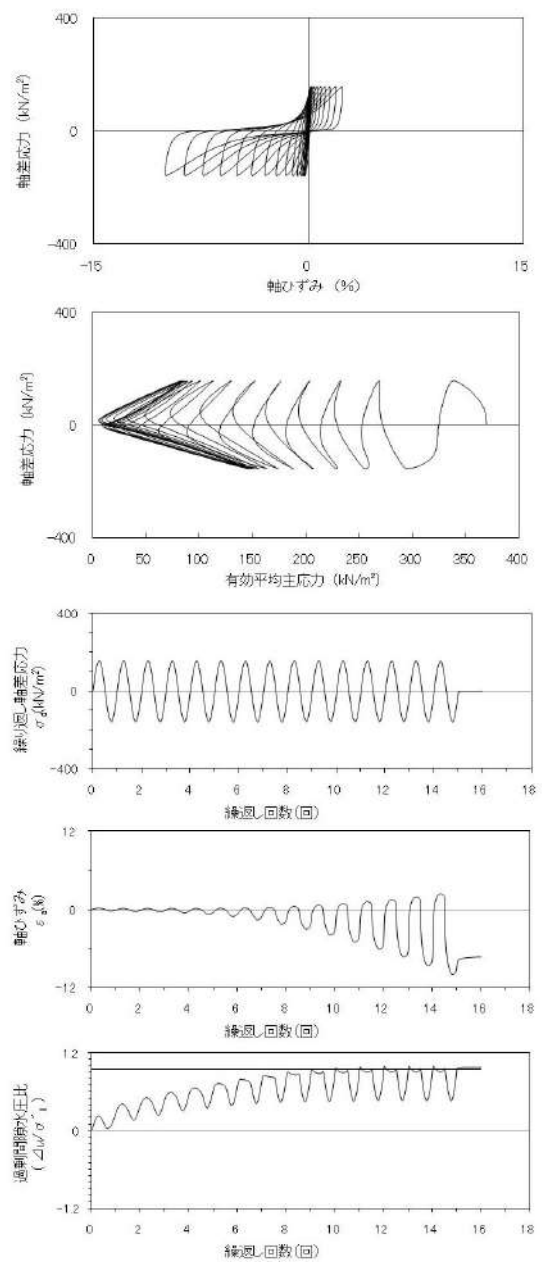
試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)		363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.182
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-159 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 4))



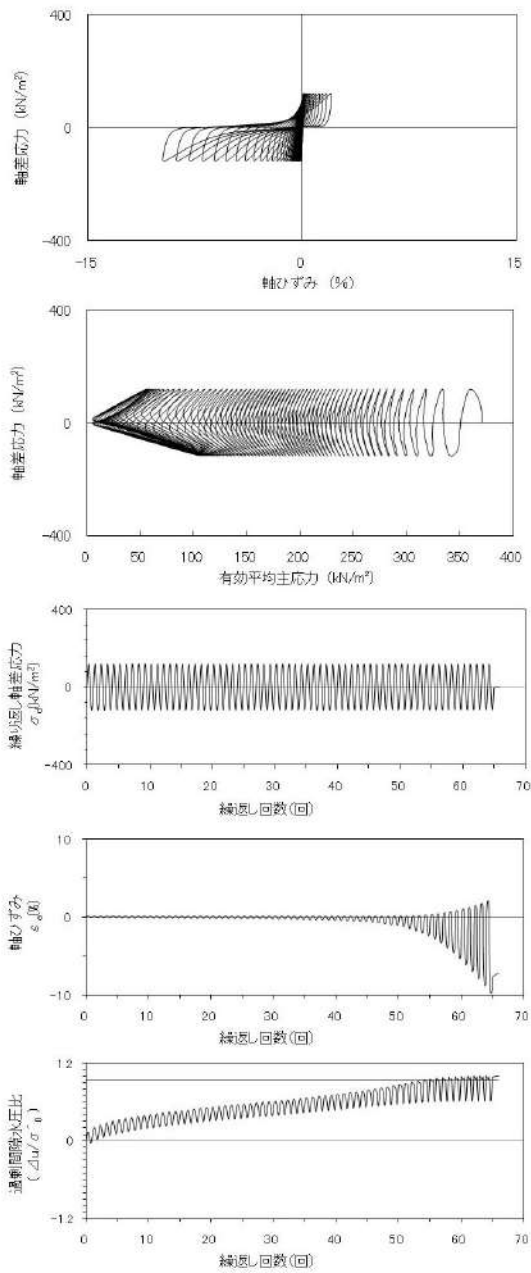
試験条件		
供試体		No.1
地表からの深度 (m)		27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)		372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.255
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-160 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 1))



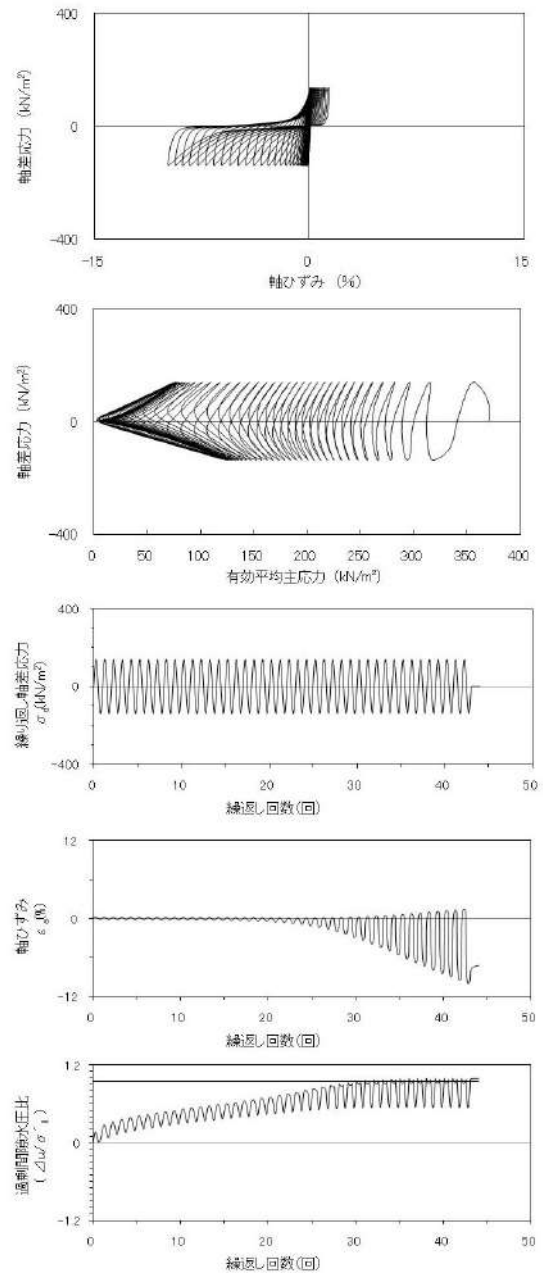
試験条件		
供試体		No.2
地表からの深度 (m)		27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)		372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.212
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-161 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 2))



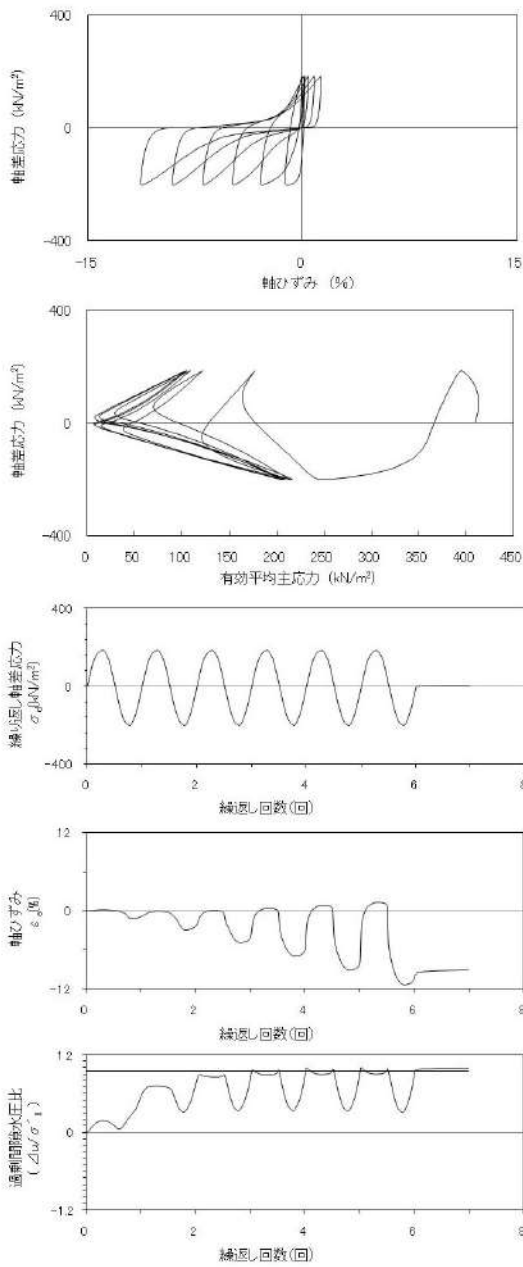
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.160
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-162 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 3))



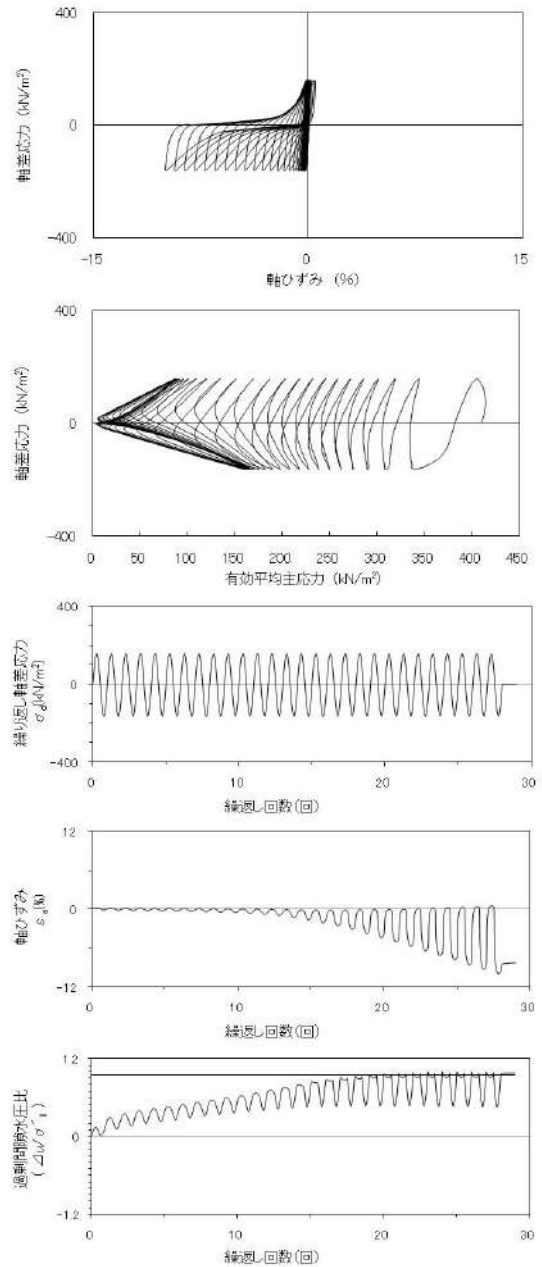
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.187
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-163 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 4))



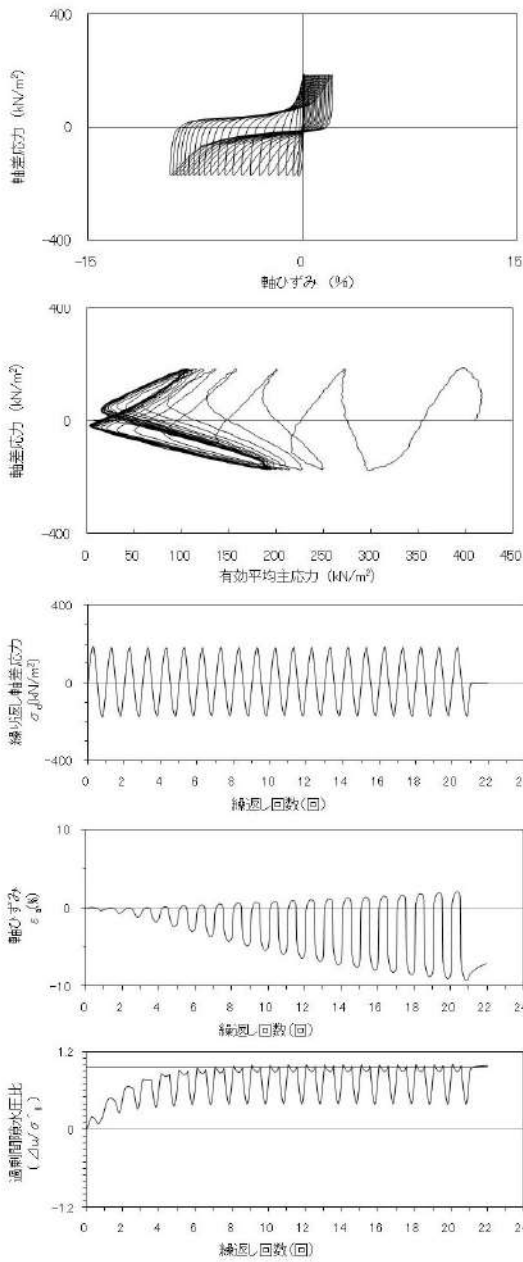
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)	412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.236
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-164 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 1))



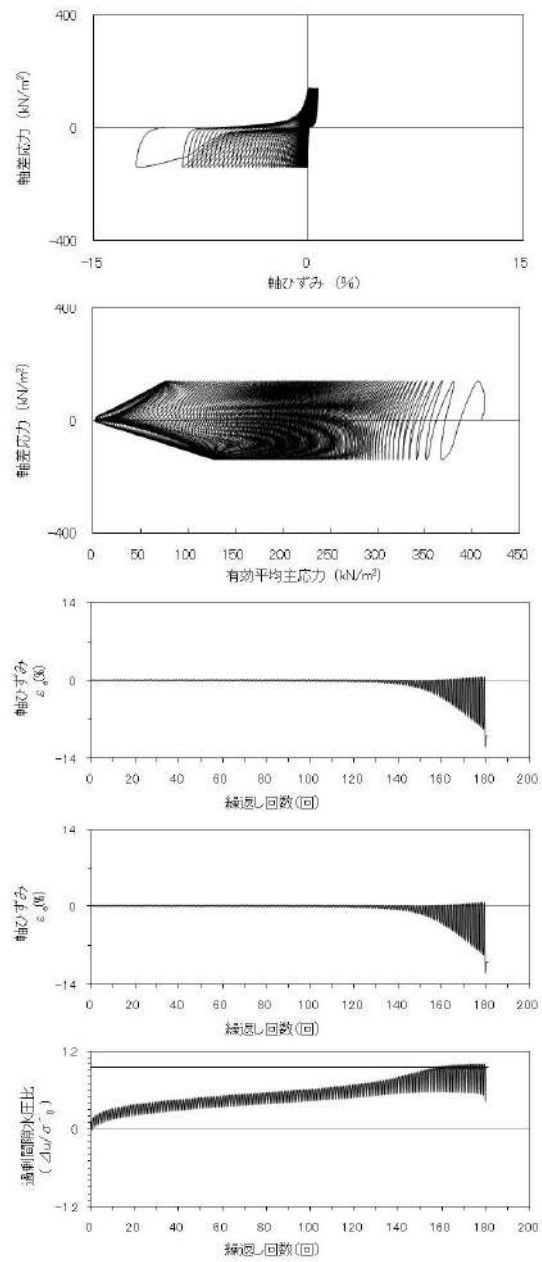
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)	412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.196
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-165 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 2))



試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)		412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		410
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_0$		0.218
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

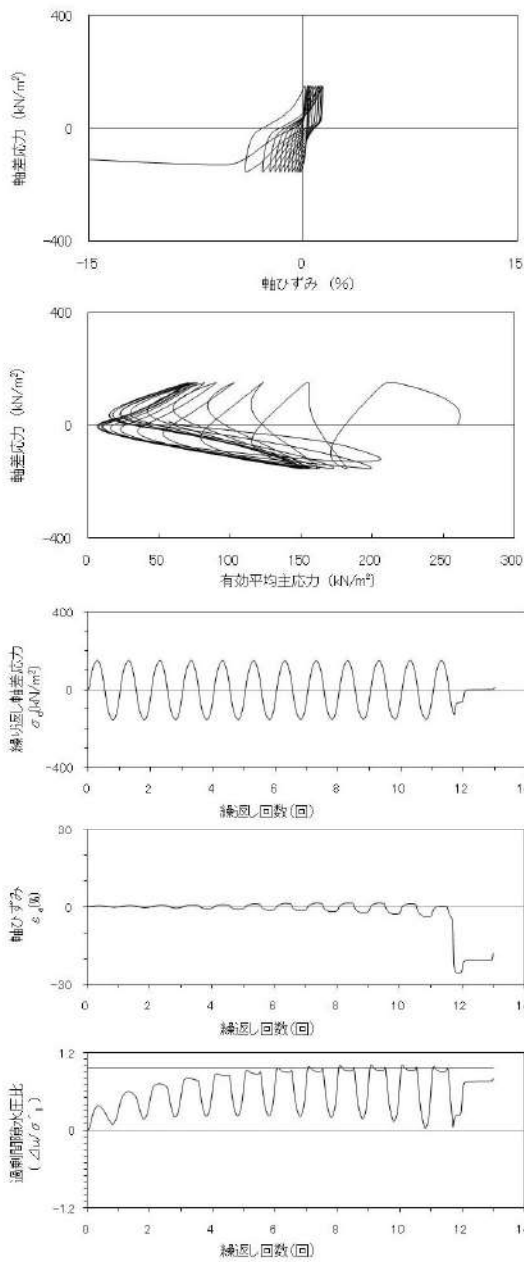
添付 1-166 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 3))



試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)		412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		410
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_0$		0.171
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	○	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	×	

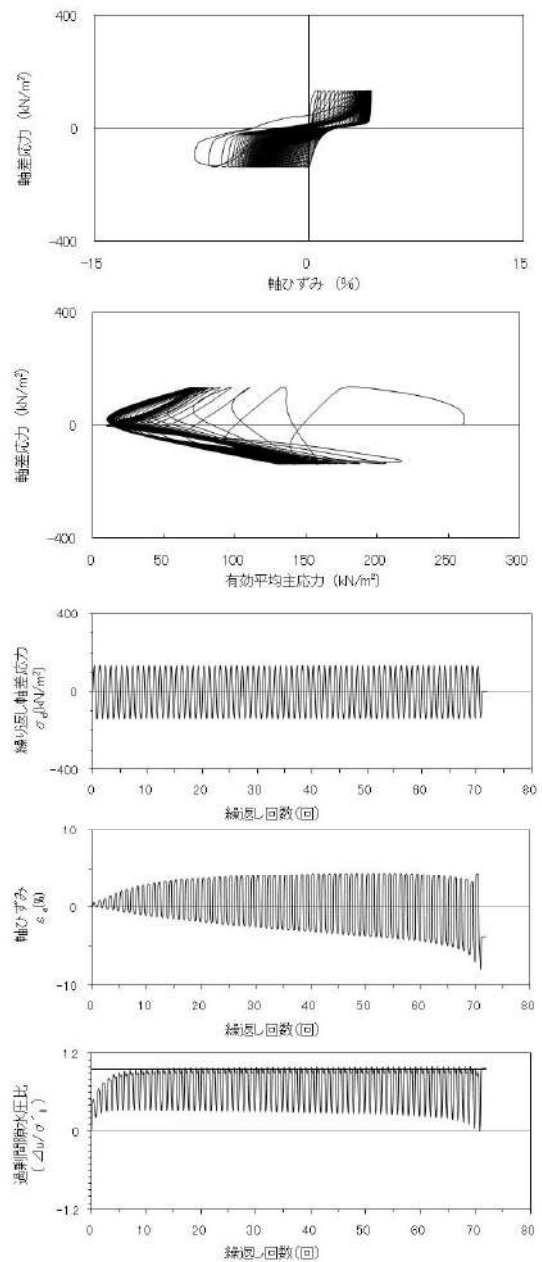
※有効応力がゼロまで低下していないが保守的に液状化に区分した。

添付 1-167 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 4))



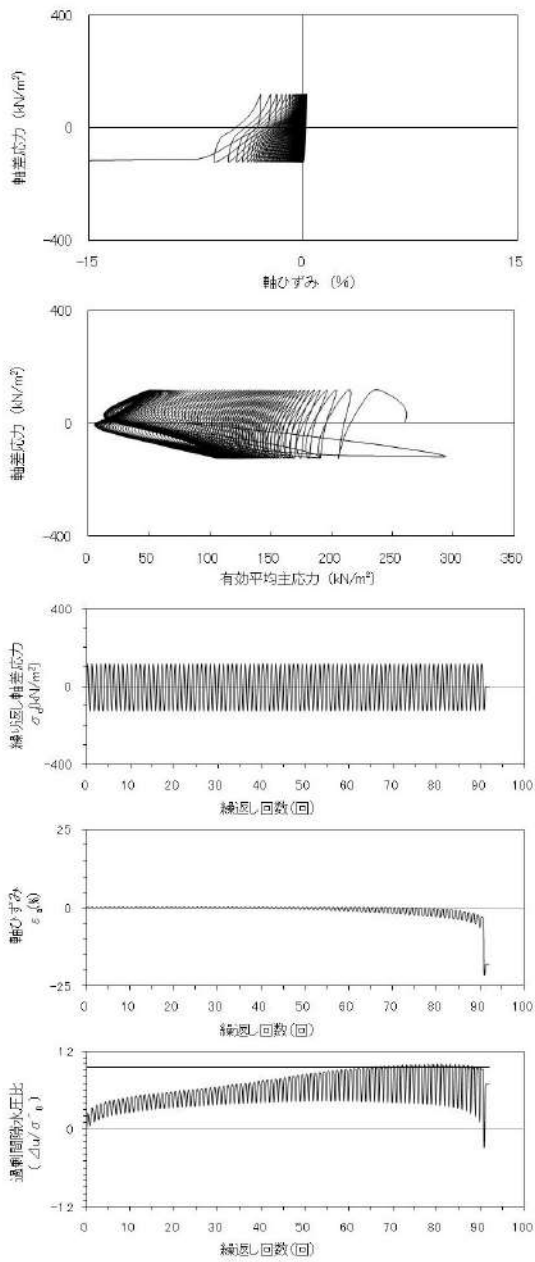
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.37		繰返し軟化
地表からの深度 (m)	22.15~22.55		
有効上載圧 (kN/m ²)	259		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.295		
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○		
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-168 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 37))



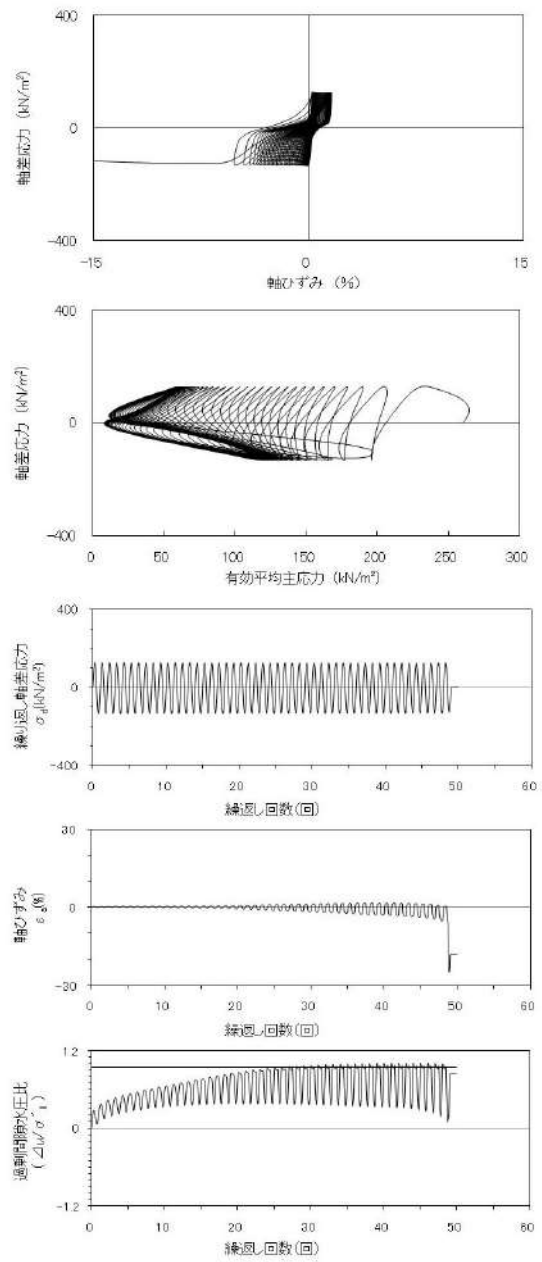
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.38		繰返し軟化
地表からの深度 (m)	22.15~22.55		
有効上載圧 (kN/m ²)	259		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.264		
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○		
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-169 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 38))



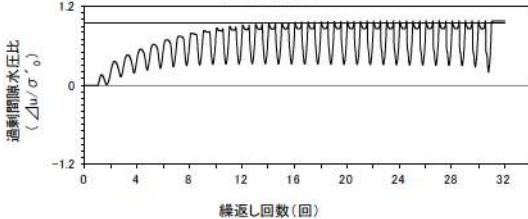
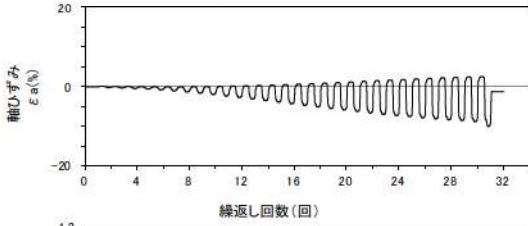
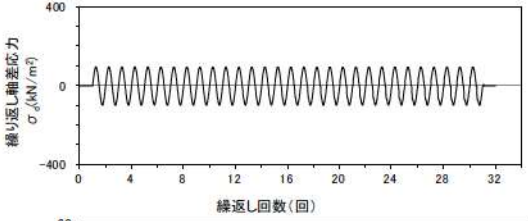
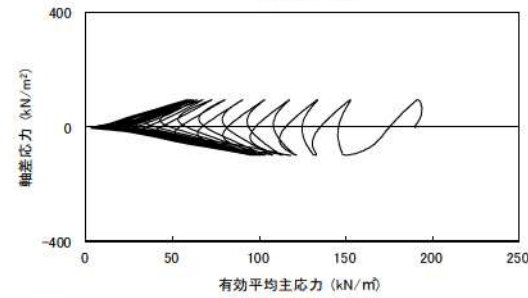
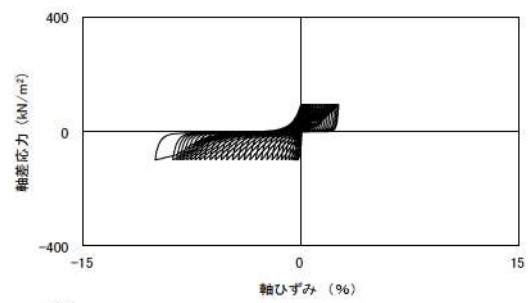
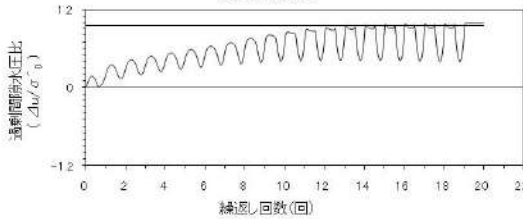
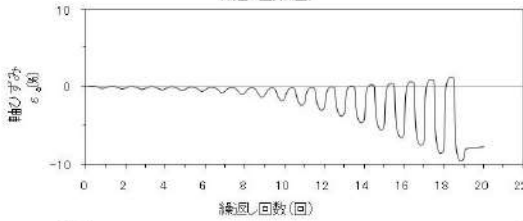
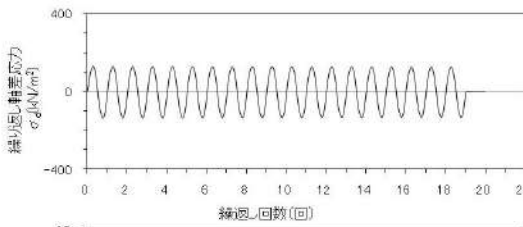
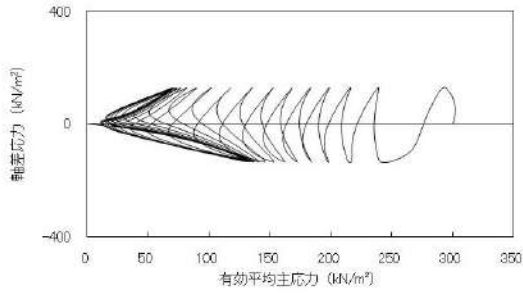
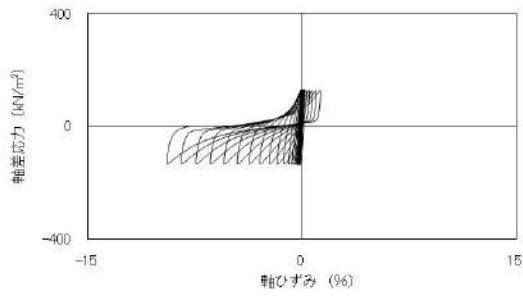
試験条件	
供試体	No.39
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.232
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-170 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 39))



試験条件	
供試体	No.40
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.250
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-171 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 40))

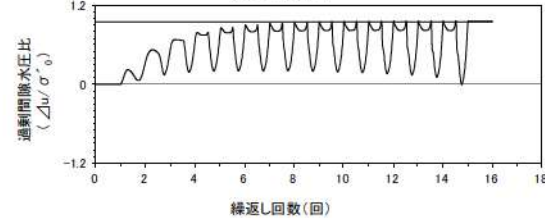
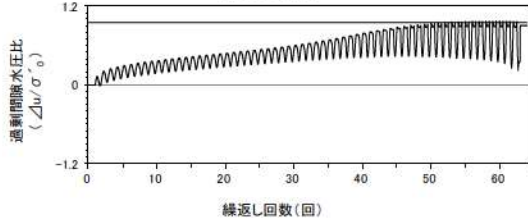
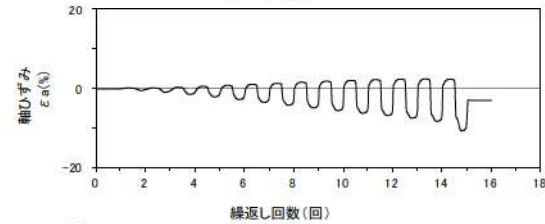
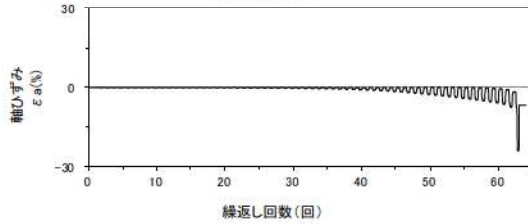
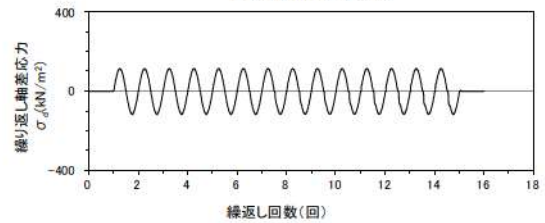
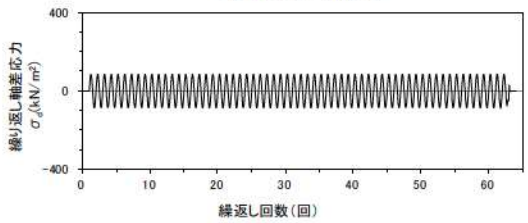
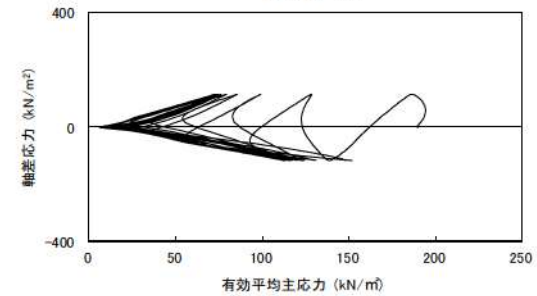
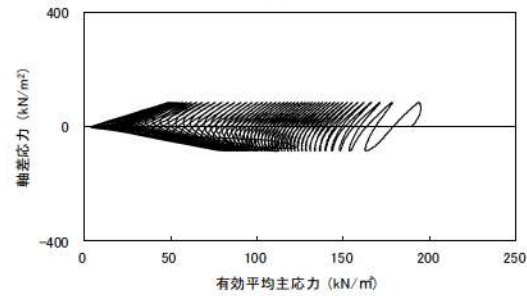
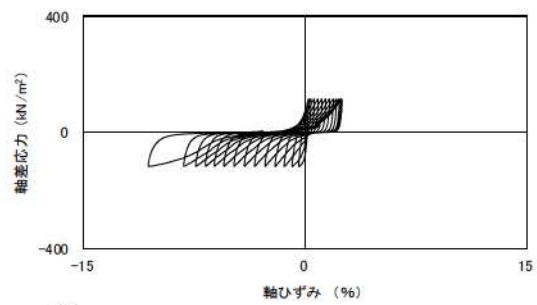
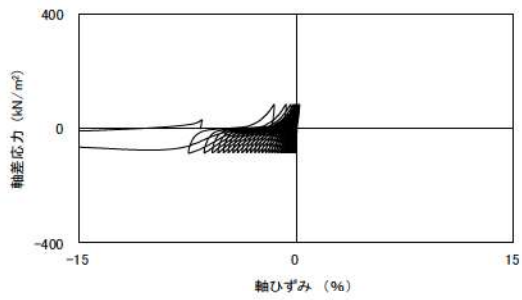


試験条件	
供試体	No.55
地表からの深度 (m)	26.63~26.73
有効上載圧 (kN/m ²)	298
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	300
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.220
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-172 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(4) 試料(供試体 No. 55))

試験条件	
供試体	No.1-7
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-173 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 1-7))

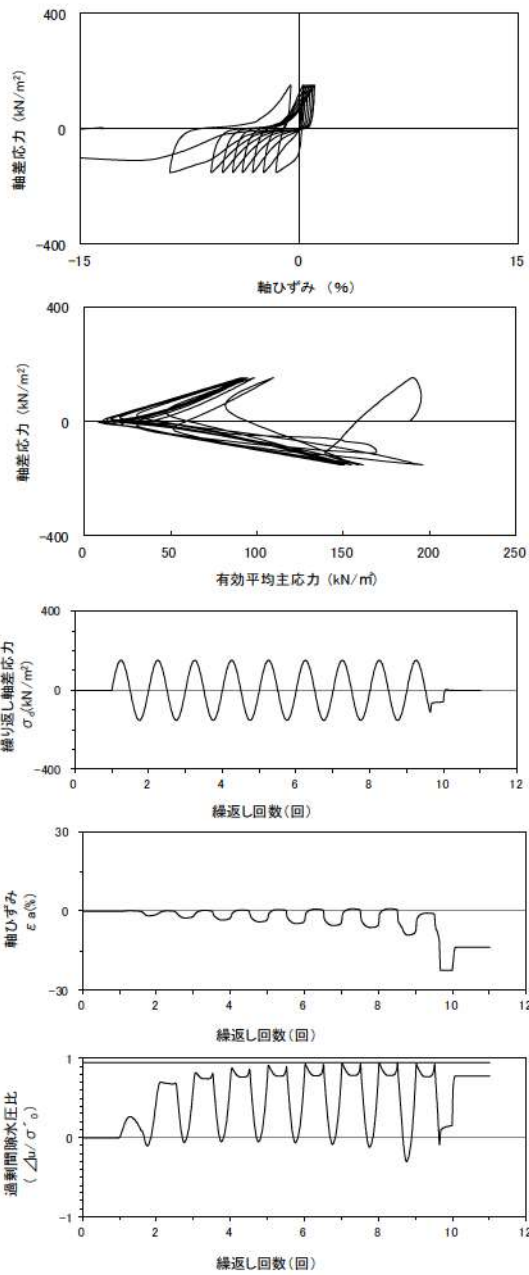


試験条件		試験結果		液状化の判断	
供試体	No.2-6	間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
地表からの深度 (m)	18.21~18.41	有効応力がゼロまで低下する。	×		
有効上載圧 (kN/m ²)	185	液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.216				

試験条件		試験結果		液状化の判断	
供試体	No.3-6	間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
地表からの深度 (m)	18.21~18.41	有効応力がゼロまで低下する。	×		
有効上載圧 (kN/m ²)	185	液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.298				

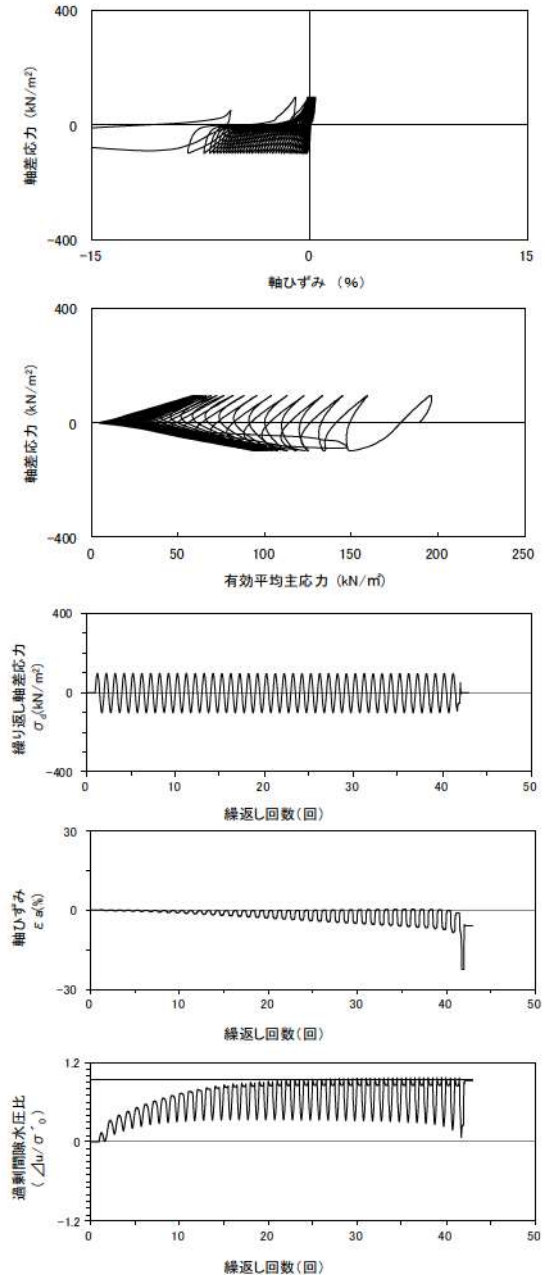
添付 1-174 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 2-6))

添付 1-175 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 3-6))



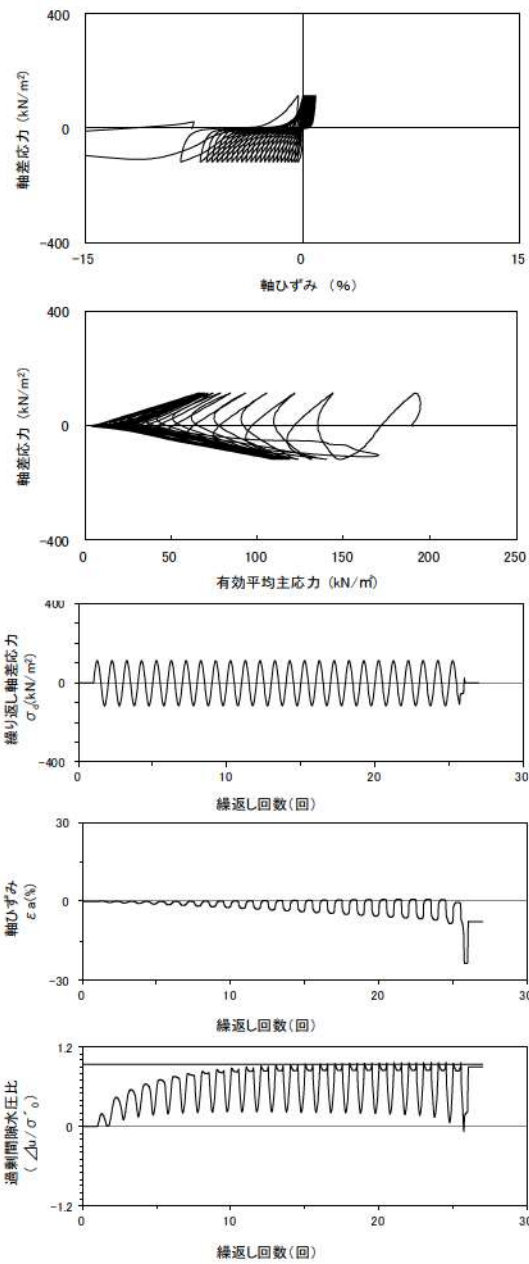
試験条件	
供試体	No.4-6
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.391
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-176 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②)(1) 三軸試料(供試体 No. 4-6)



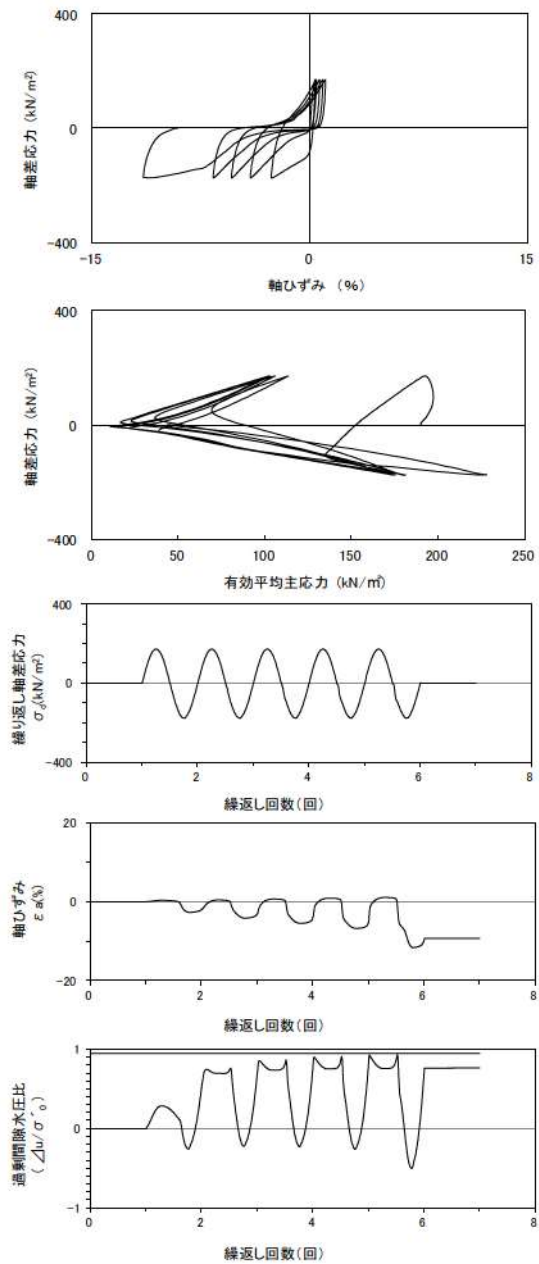
試験条件	
供試体	No.1-8
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.253
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-177 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②)(2) 三軸試料(供試体 No. 1-8)



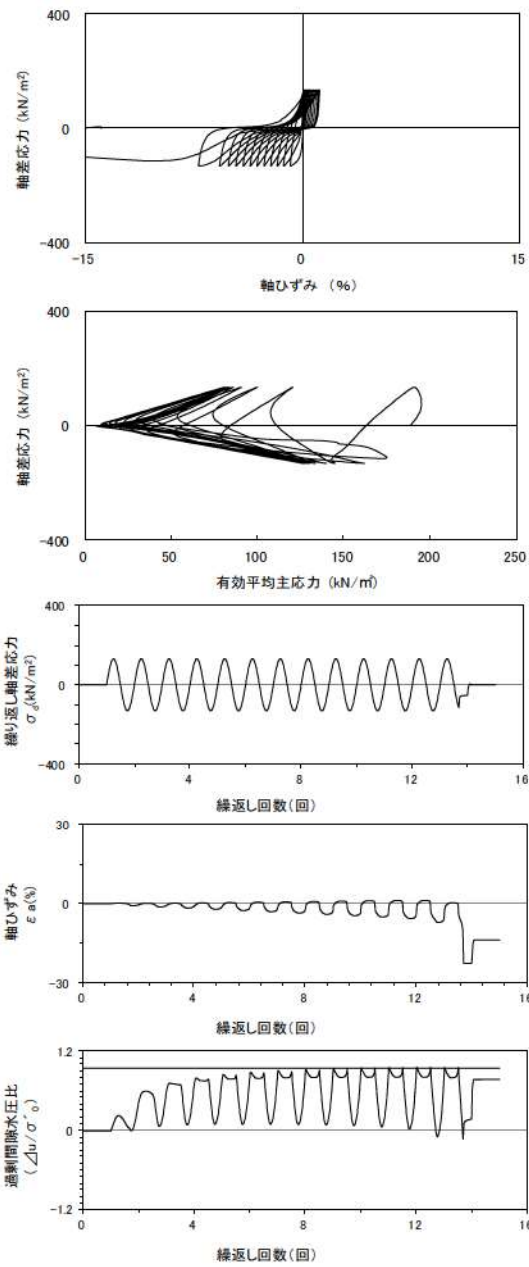
試験条件	
供試体	No.2-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-178 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 三軸試料(供試体 No. 2-7))



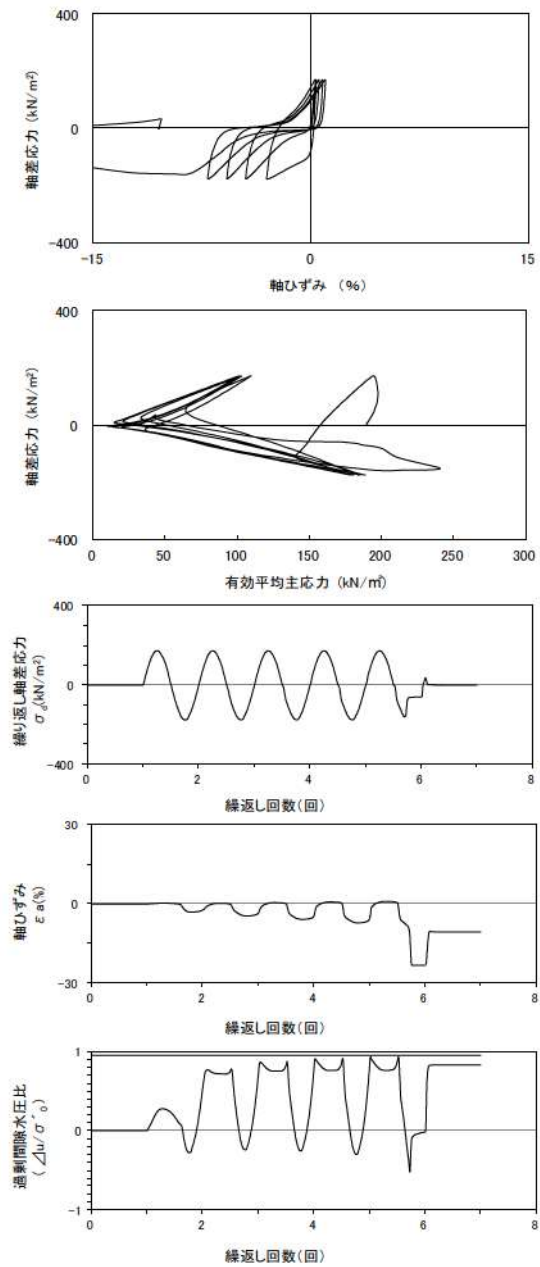
試験条件	
供試体	No.3-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.447
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	非液状化

添付 1-179 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 三軸試料(供試体 No. 3-7))



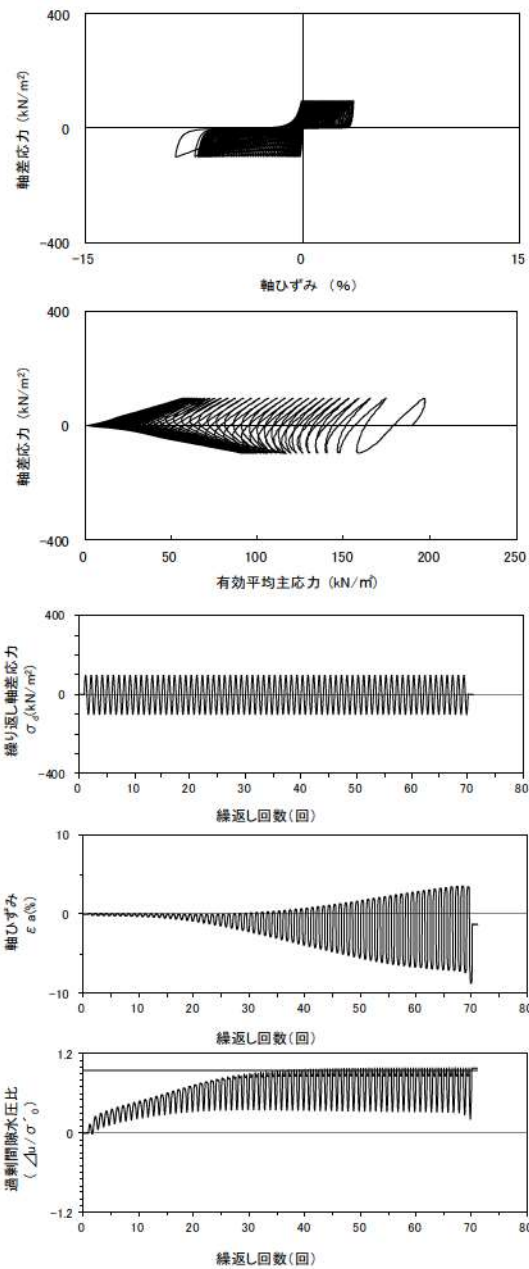
試験条件	
供試体	No.3-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.447
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-180 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 三軸試料(供試体 No. 4-7))



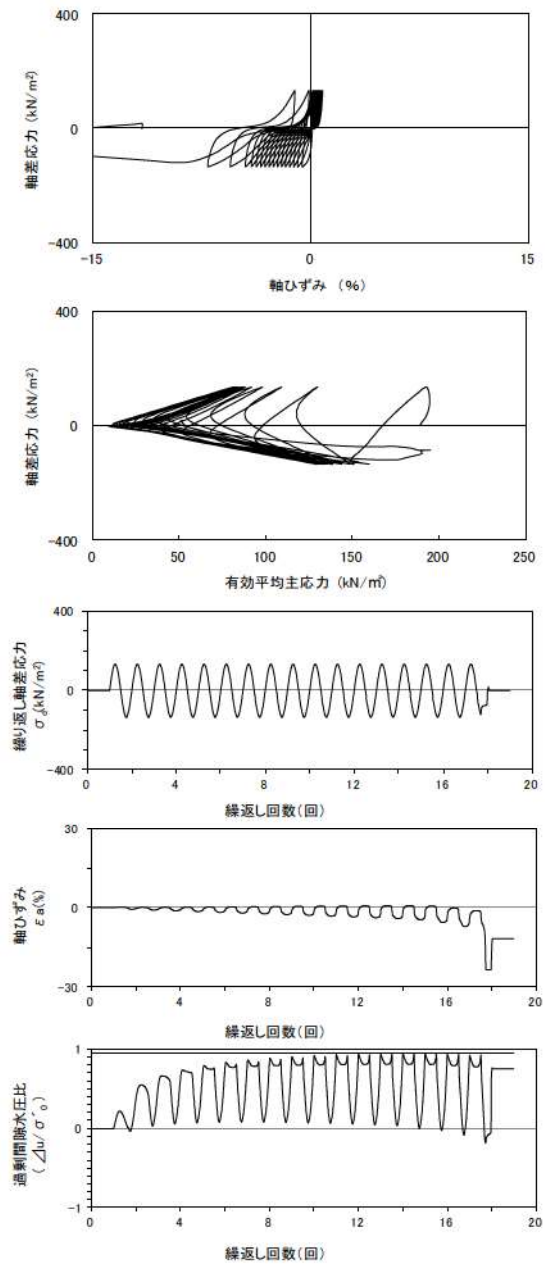
試験条件	
供試体	No.1-9
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.455
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-181 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 1-9))



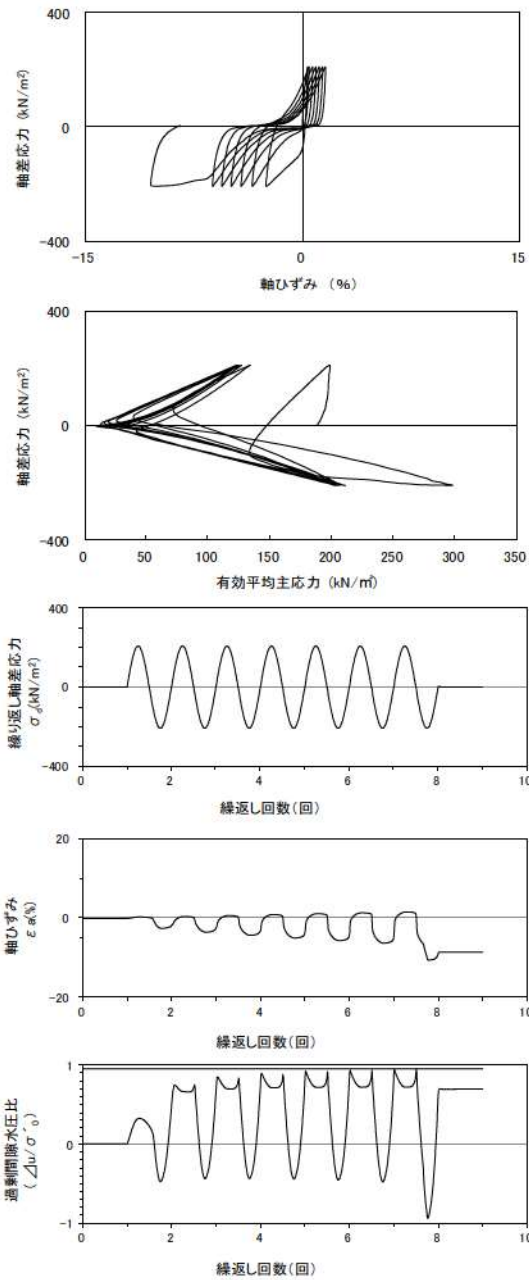
試験条件	
供試体	No.2-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m^2)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_v$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-182 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 2-8))



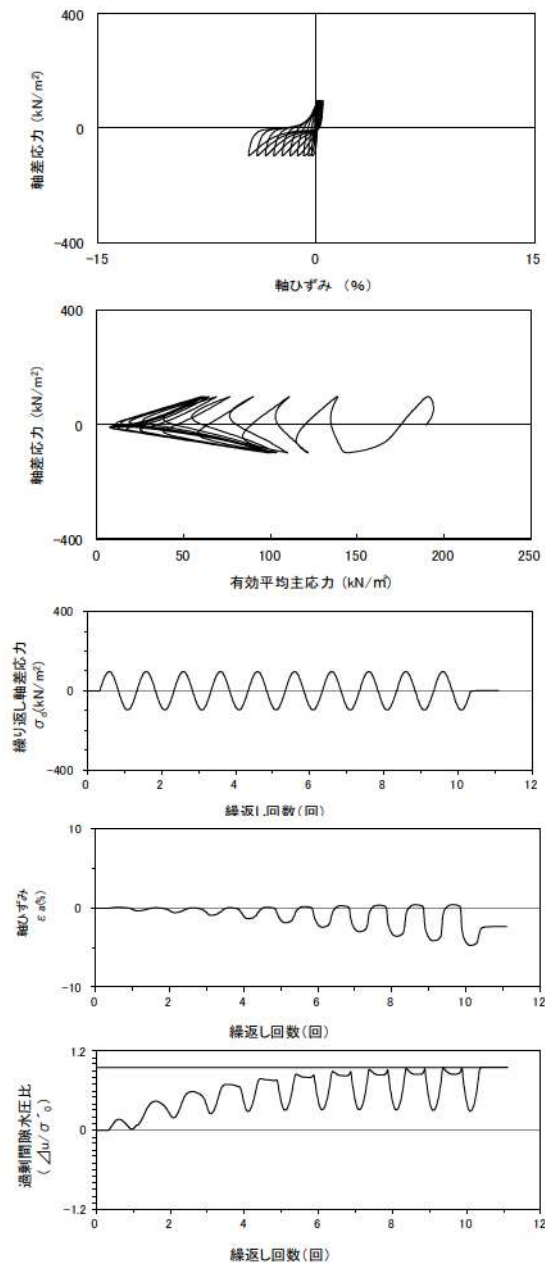
試験条件	
供試体	No.3-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m^2)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_v$	0.358
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-183 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 3-8))



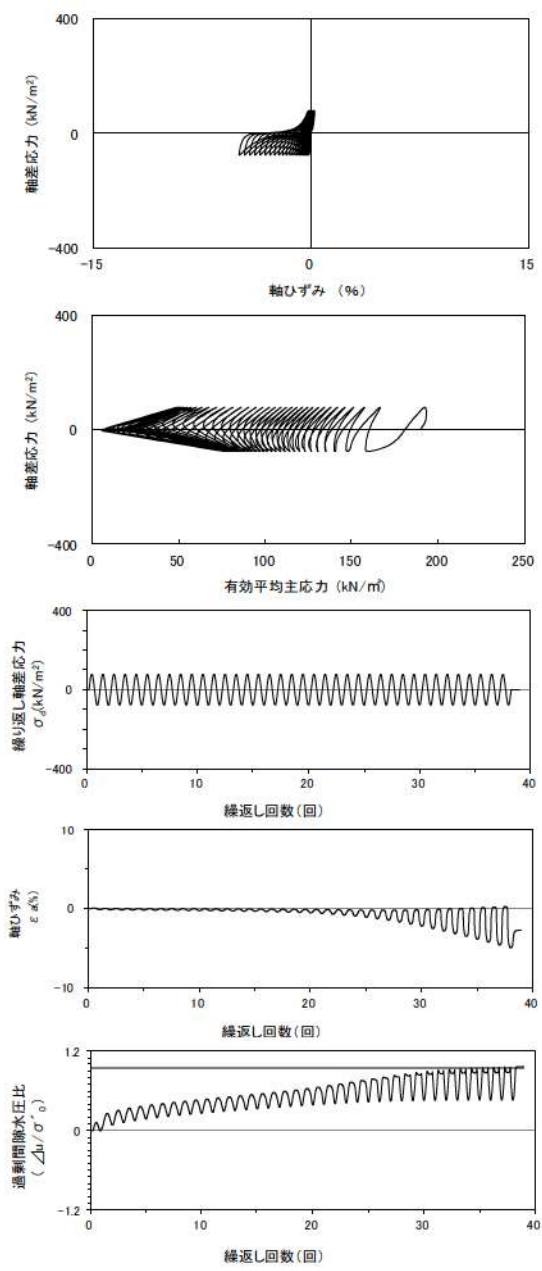
試験条件	
供試体	No.4-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.549
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-184 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② (3) 三軸試料(供試体 No. 4-8))



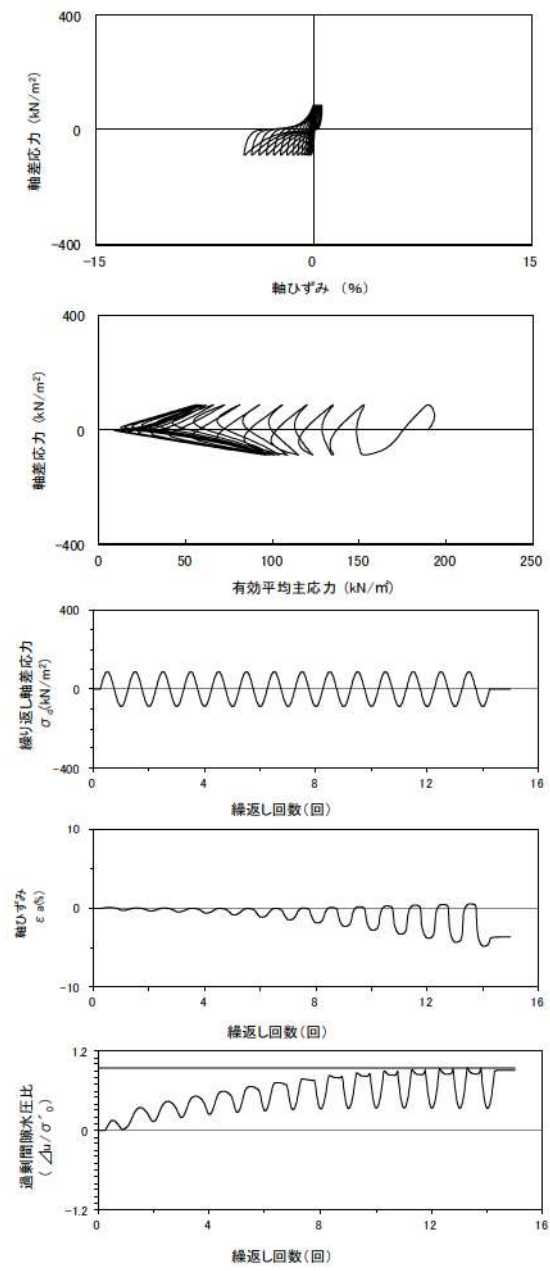
試験条件	
供試体	No.2-13
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-185 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 2-13))



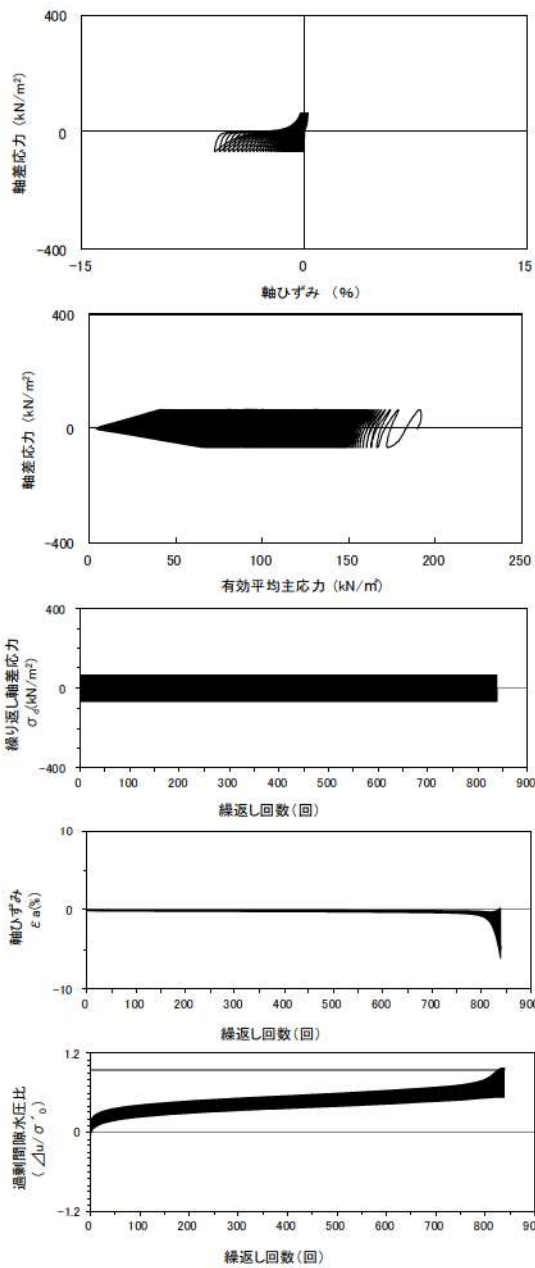
試験条件	
供試体	No.3-14
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m^2)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.203
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-186 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 3-14))



試験条件	
供試体	No.1-15
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m^2)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.229
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

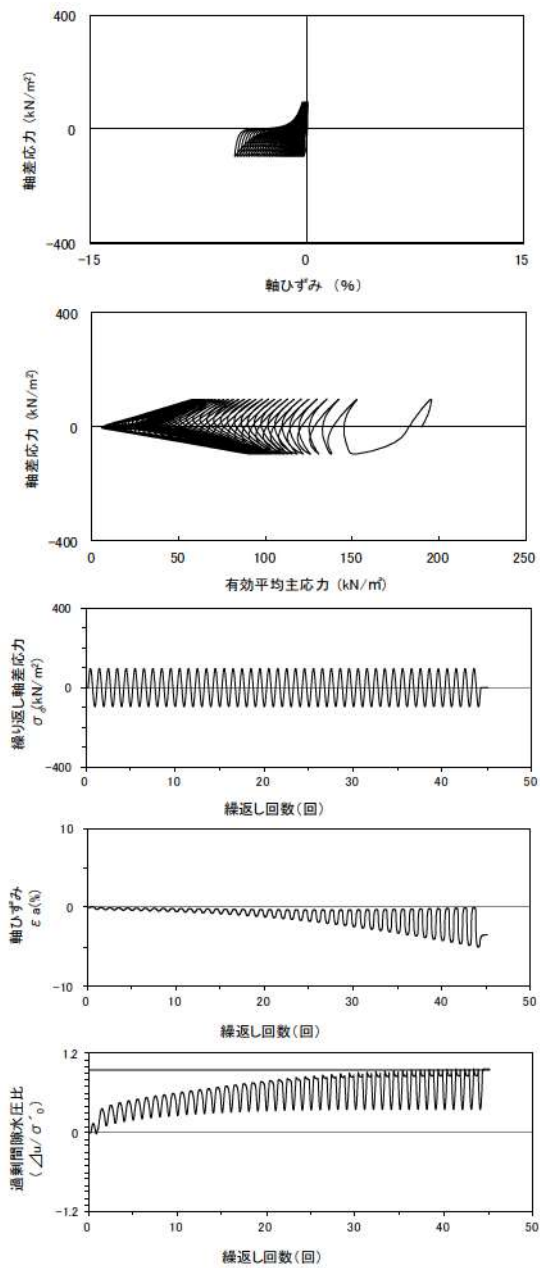
添付 1-187 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 1-15))



試験条件		
供試体	No.4-14	
地表からの深度 (m)	19.95~20.21	
有効上載圧 (kN/m ²)	200	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_0$	0.173	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

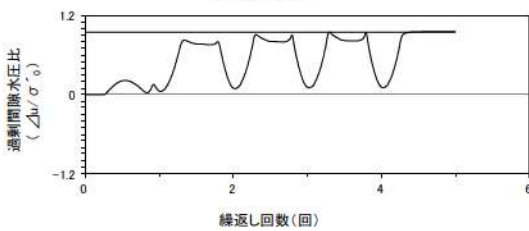
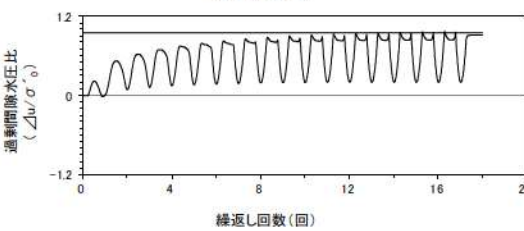
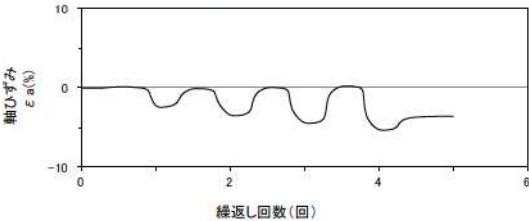
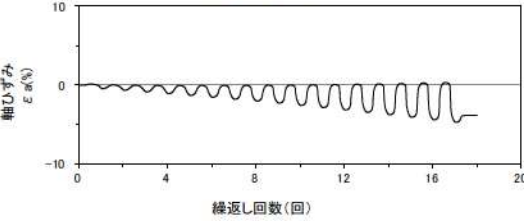
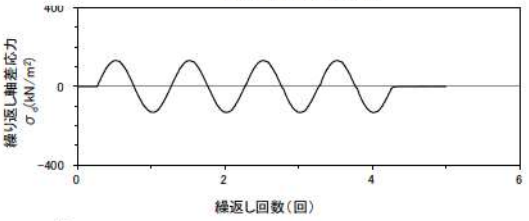
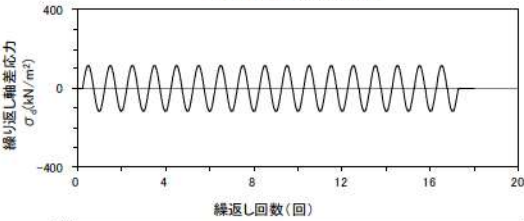
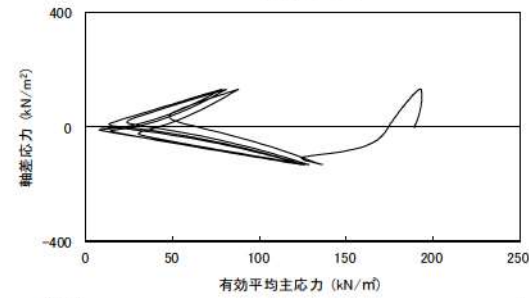
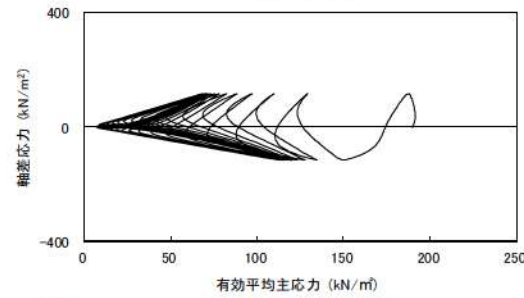
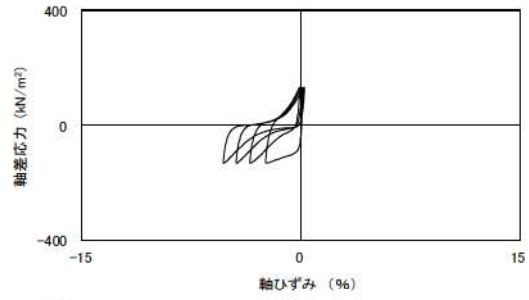
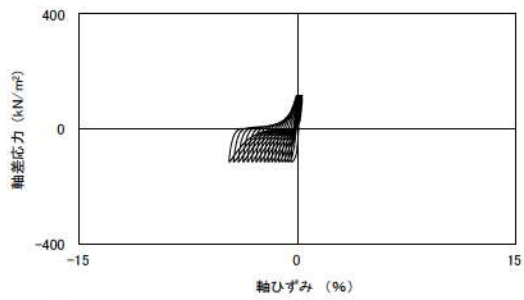
※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-188 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 4-14))



試験条件		
供試体	No.2-14	
地表からの深度 (m)	20.20~20.42	
有効上載圧 (kN/m ²)	200	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_a/2\sigma'_0$	0.251	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-189 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 2-14))

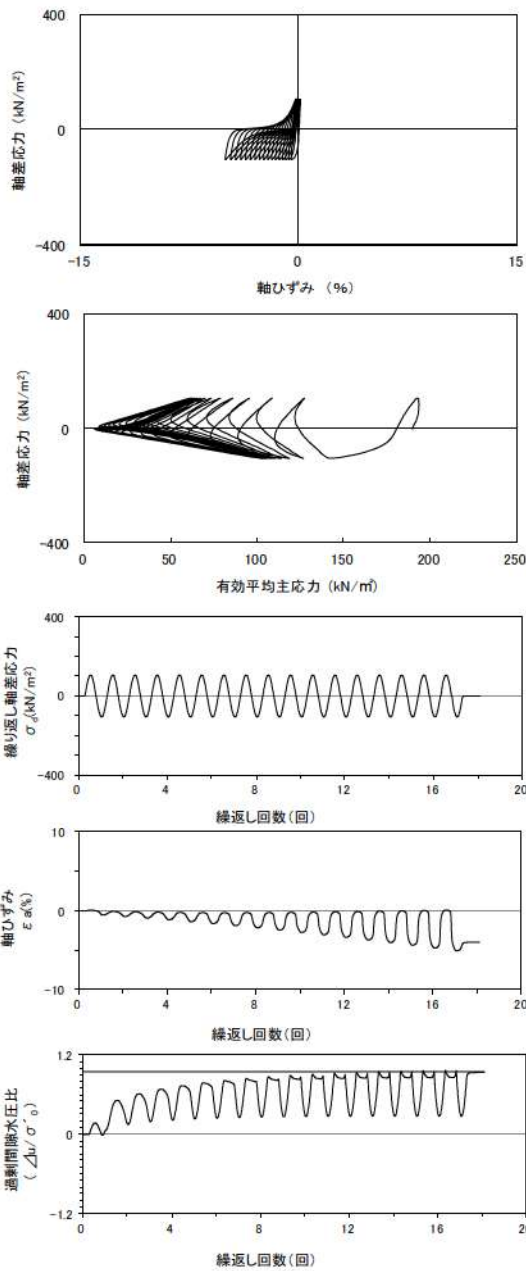


試験条件	
供試体	No.3-15
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.304
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.4-15
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.347
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

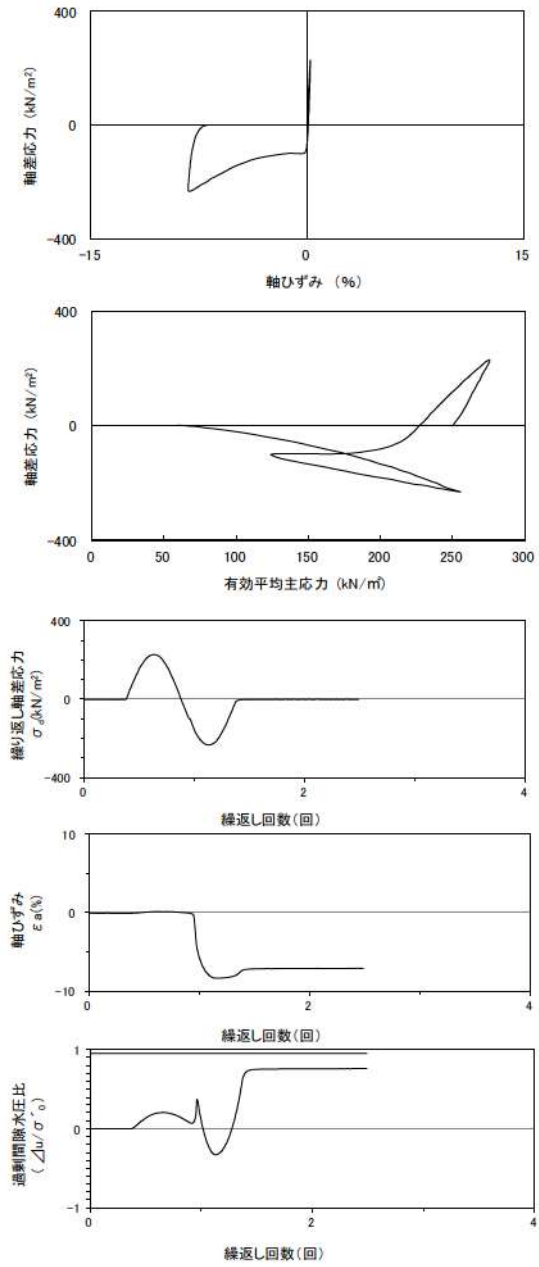
添付 1-190 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 3-15))

添付 1-191 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 4-15))



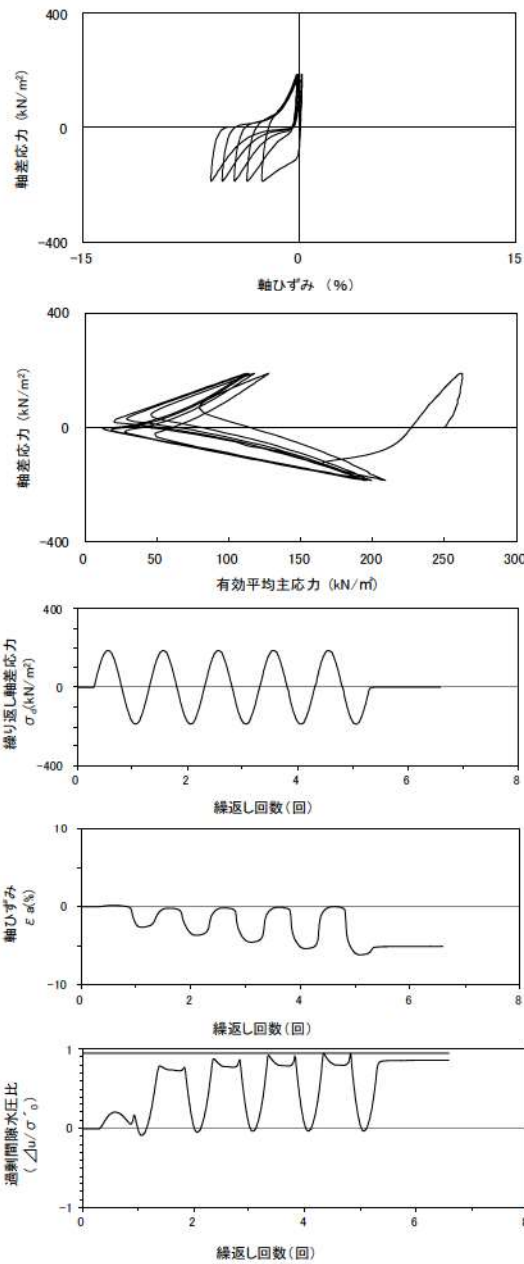
試験条件	
供試体	No.1-16
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-192 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 1-16))



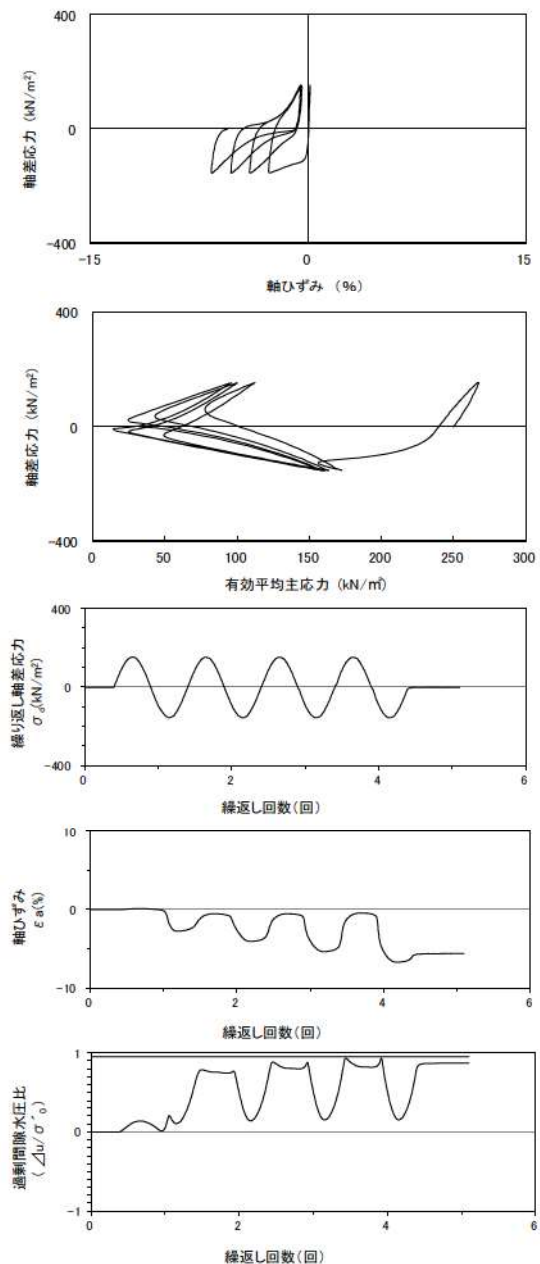
試験条件	
供試体	No.4-41
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.462
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-193 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④ A-2 三軸試料(供試体 No. 4-41))



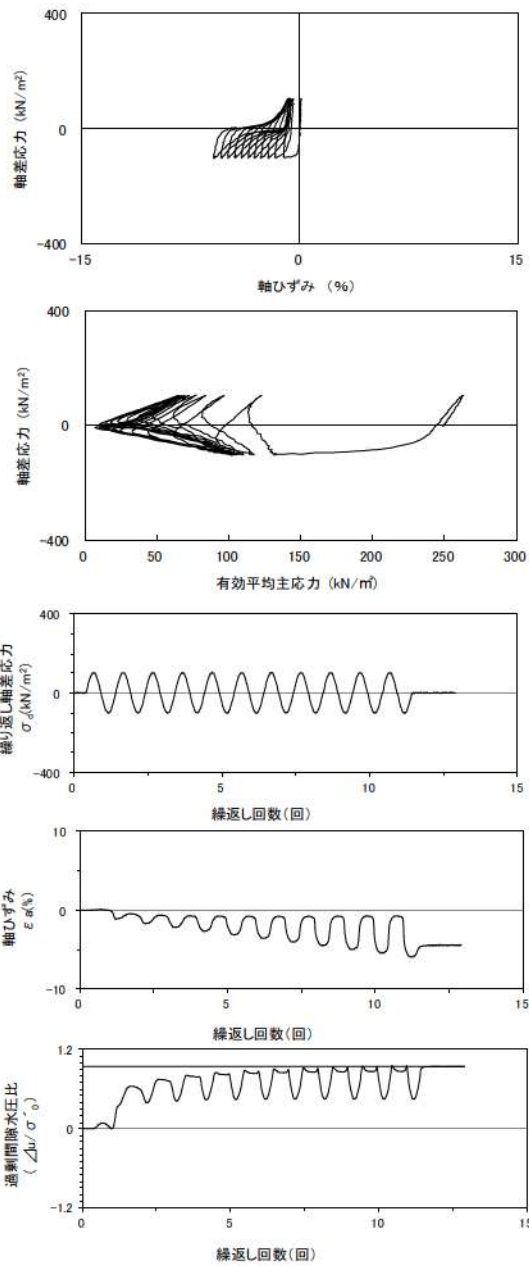
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.1-38	×	非液状化
地表からの深度 (m)	26.85~27.11		
有効上載圧 (kN/m^2)	260		
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	250		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.375		
試験結果		○	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×		
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-194 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 1-38))



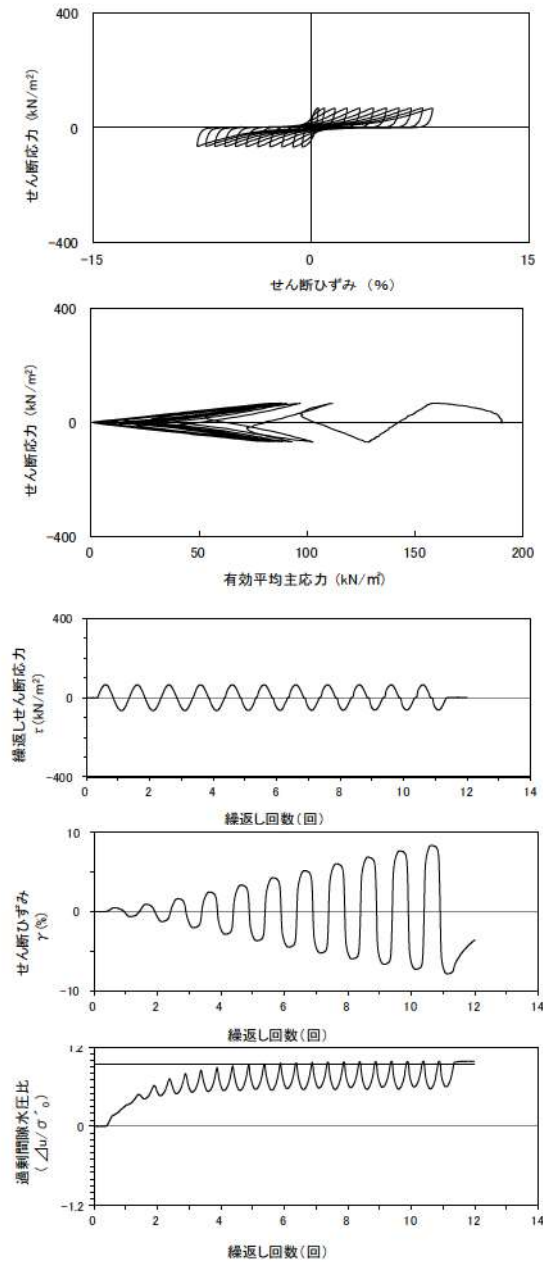
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.3-40	×	非液状化
地表からの深度 (m)	26.85~27.11		
有効上載圧 (kN/m^2)	260		
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	250		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.308		
試験結果		○	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×		
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-195 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 3-40))



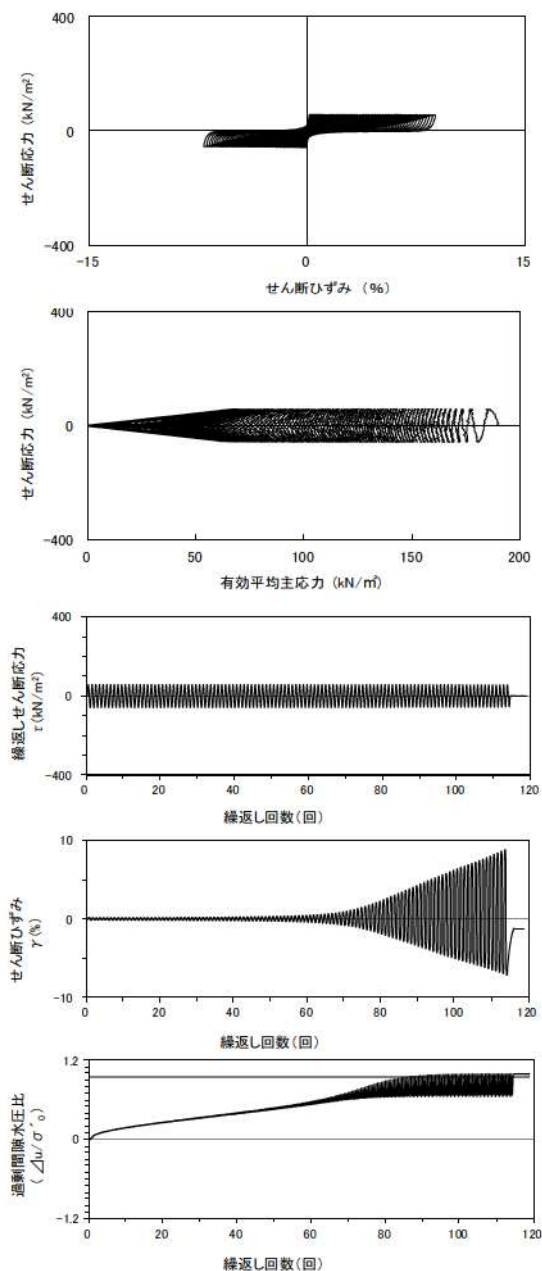
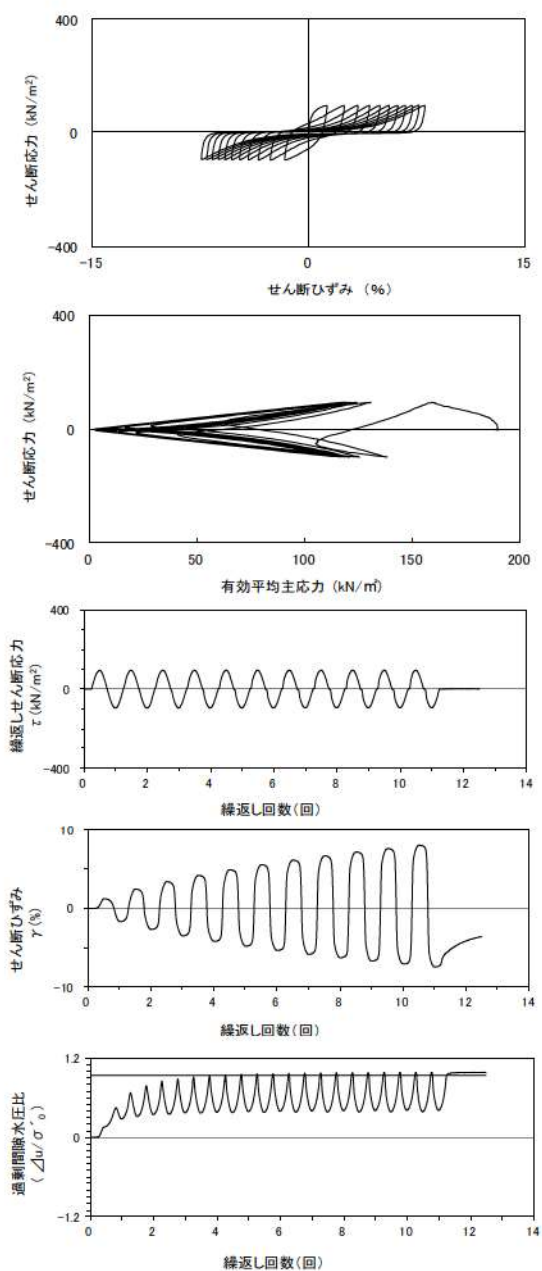
試験条件	
供試体	No.3-40
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.308
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-196 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 2-40)



試験条件	
供試体	No.4-12
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-197 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (1) 中空試料(供試体 No. 4-12)

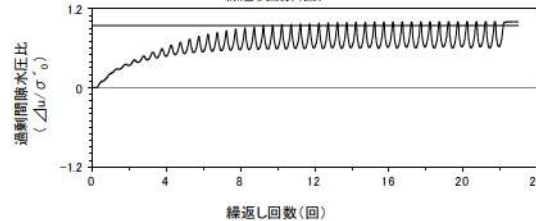
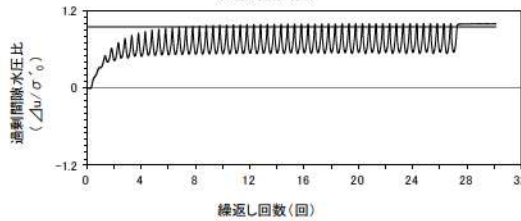
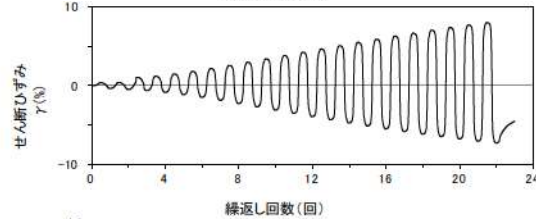
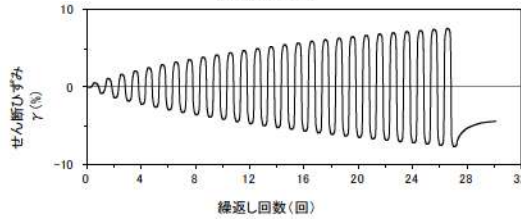
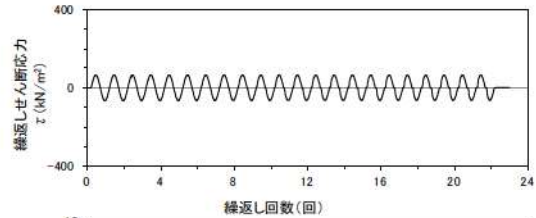
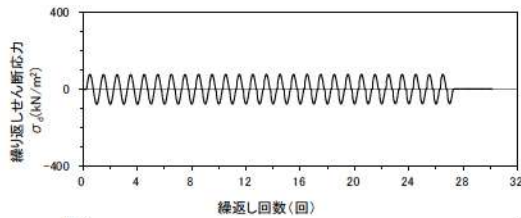
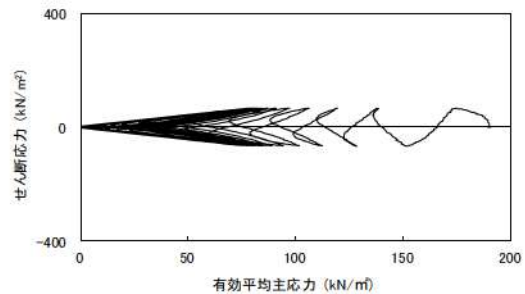
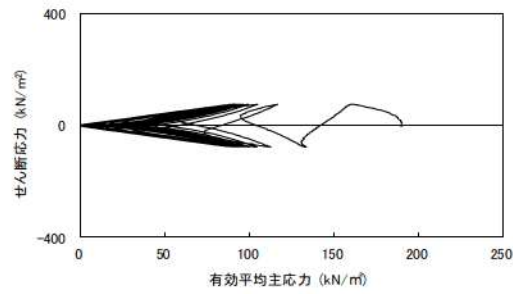
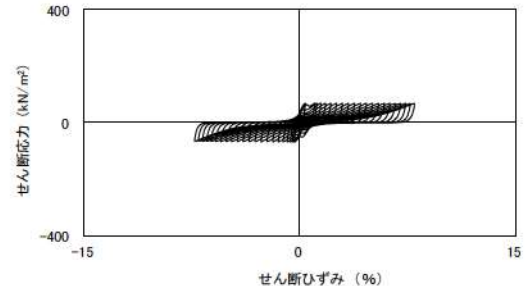
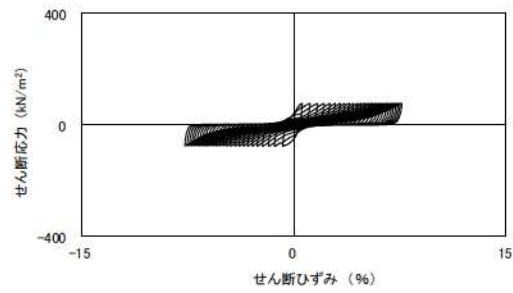


試験条件	
供試体	No.1-10
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.505
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.2-9
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.302
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-198 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1)中空試料(供試体 No. 1-10))

添付 1-199 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1)中空試料(供試体 No. 2-9))

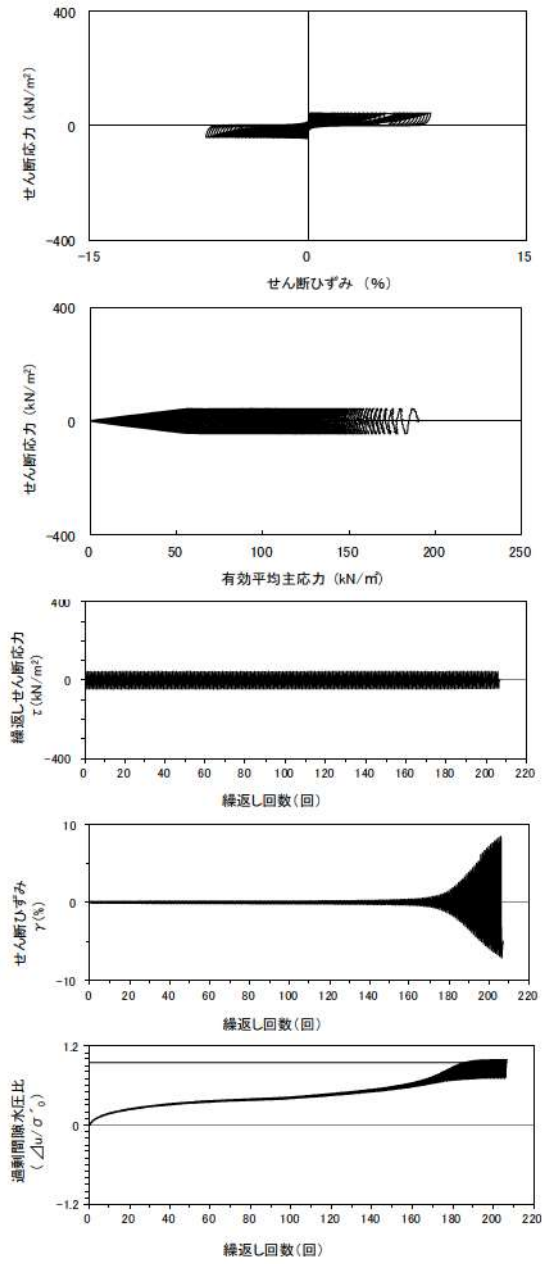
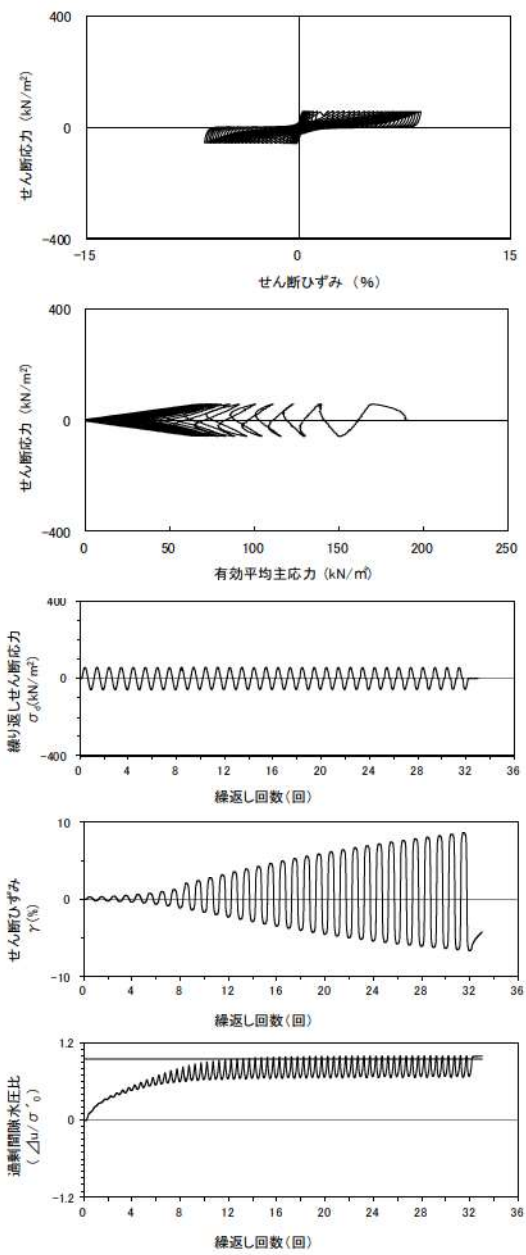


試験条件	
供試体	No.3-9
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.404
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

試験条件	
供試体	No.4-10
地表からの深度 (m)	18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.352
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-200 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 中空試料(供試体 No. 3-9))

添付 1-201 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 中空試料(供試体 No. 4-10))



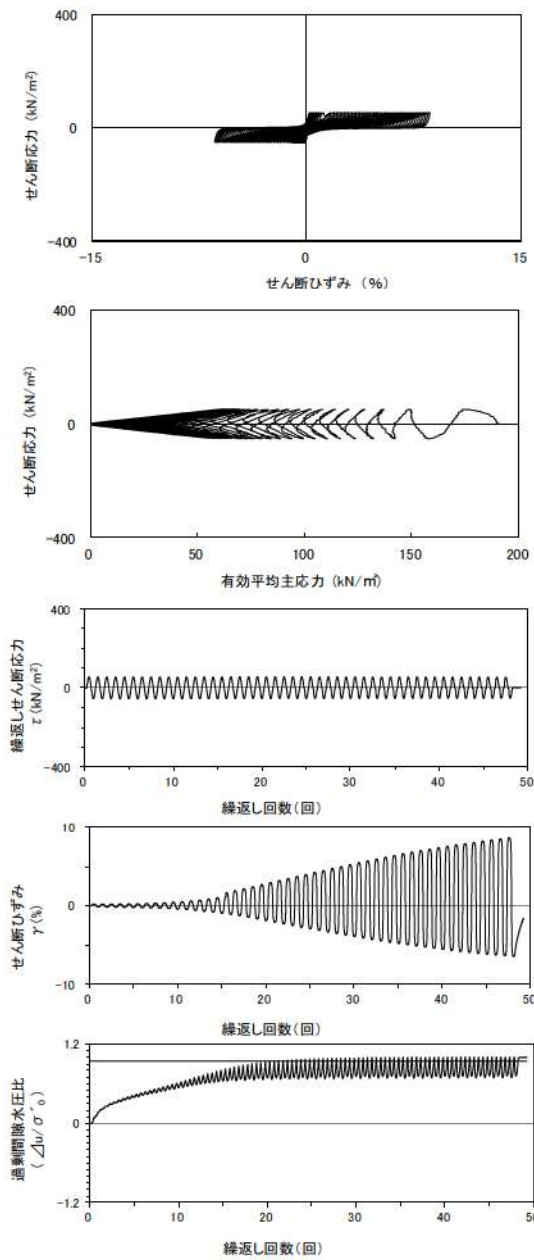
試験条件		
供試体		No.1~11
地表からの深度 (m)		18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)		188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_v$		0.304
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
有効応力がゼロまで低下する。	○	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-202 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 中空試料 (供試体 No. 1-11)

試験条件		
供試体		No.2-10
地表からの深度 (m)		18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)		188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_v$		0.231
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

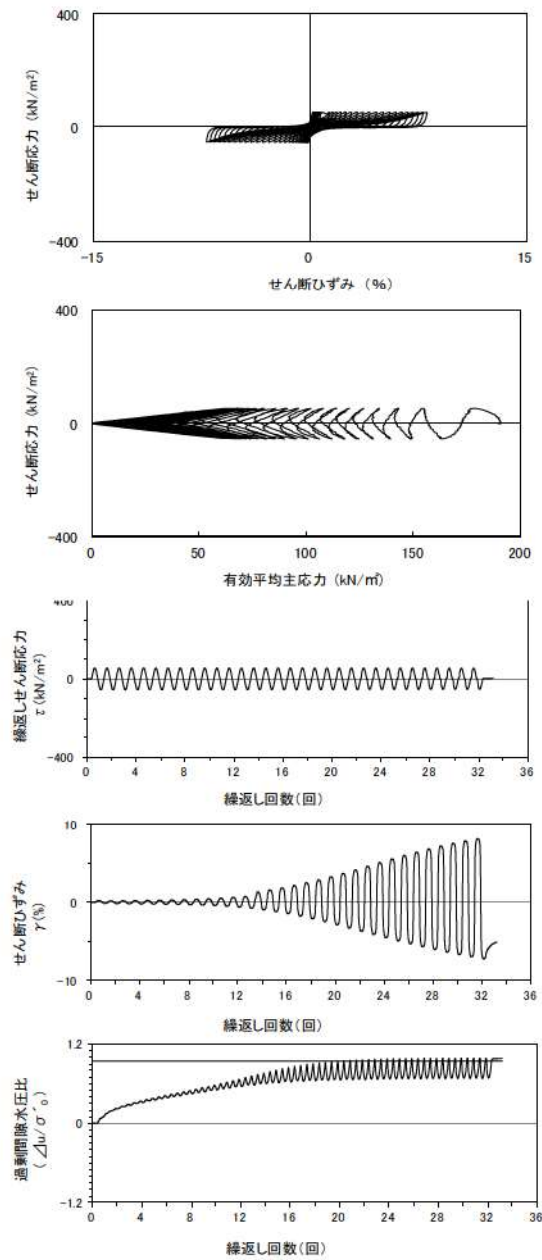
※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-203 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 中空試料 (供試体 No. 2-10)



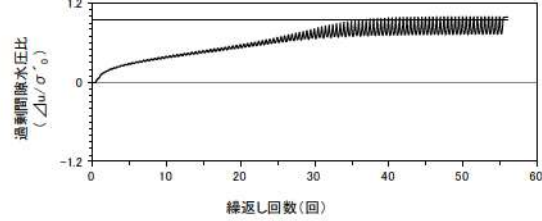
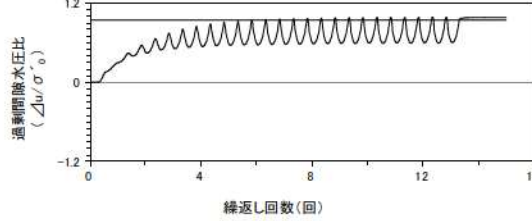
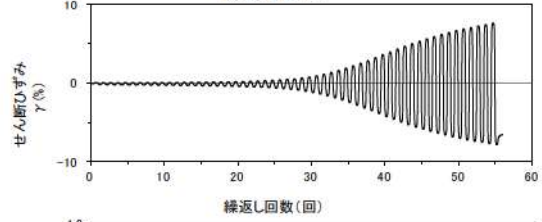
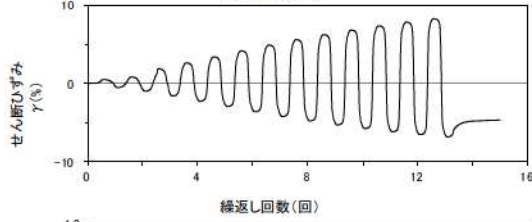
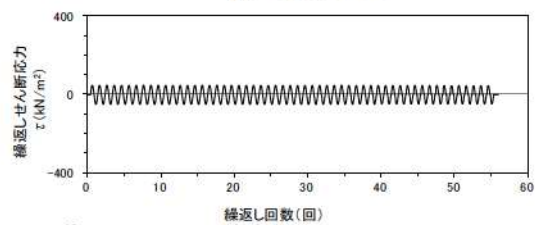
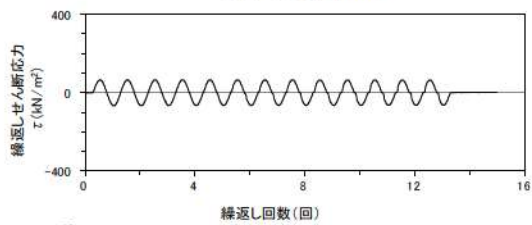
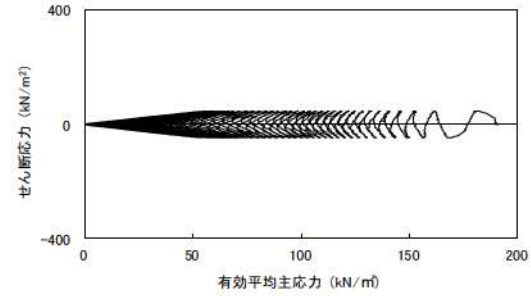
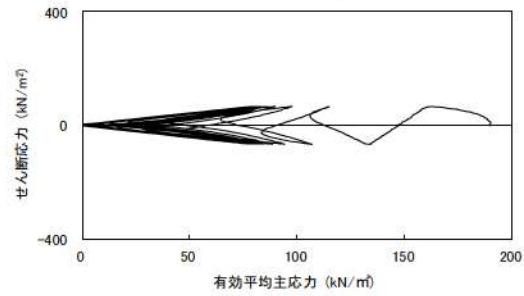
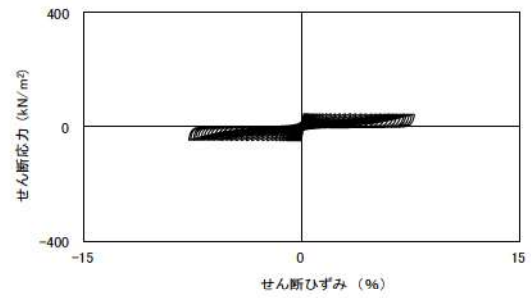
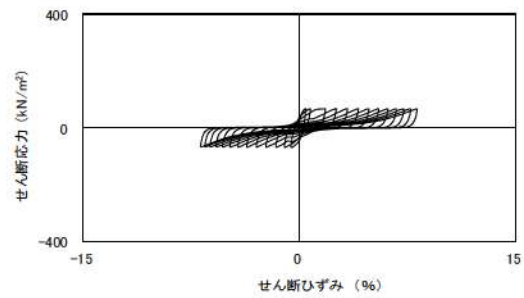
試験条件	
供試体	No.3-10
地表からの深度 (m)	18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

添付 1-204 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2)中空試料(供試体 No. 3-10))



試験条件	
供試体	No.4-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.281
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-205 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 4-11))

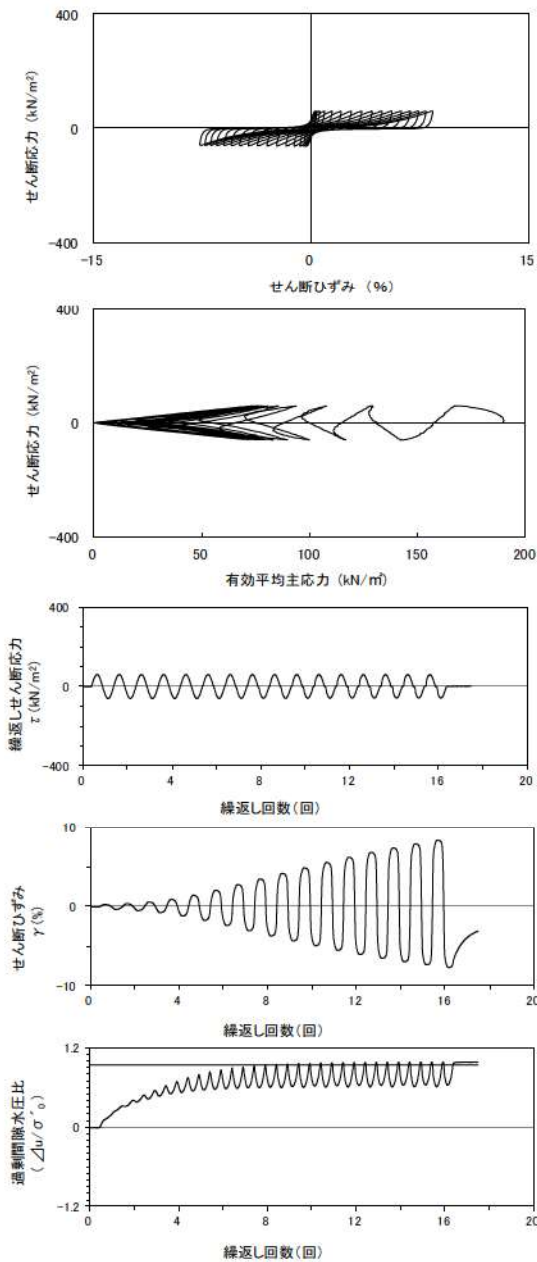


試験条件	
供試体	No.1-12
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.352
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.3-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

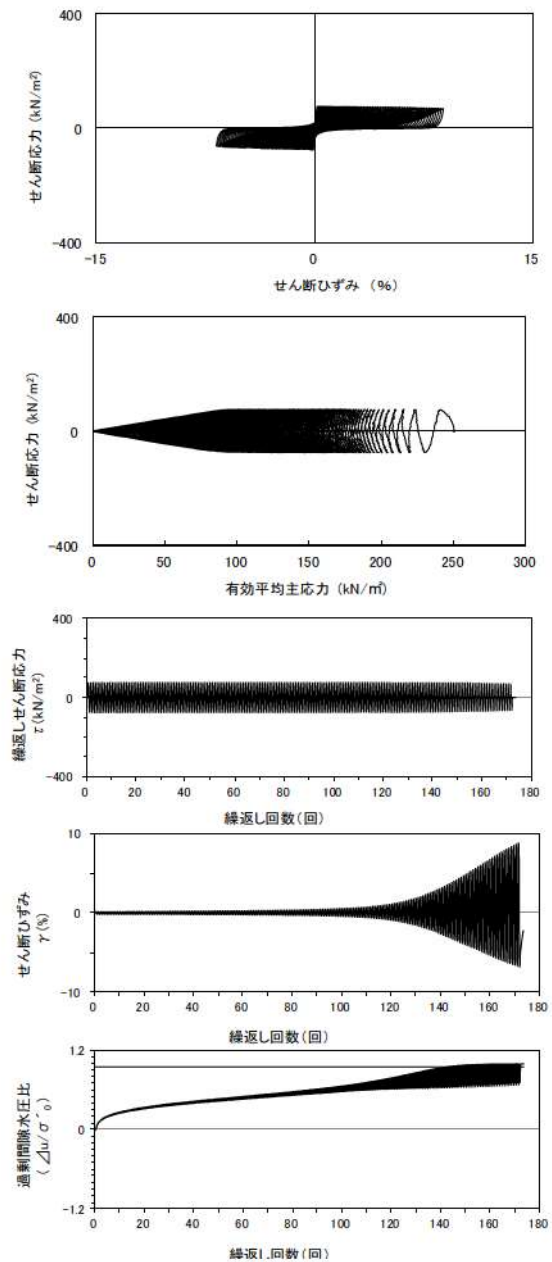
添付 1-206 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 1-12))

添付 1-207 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 3-11))



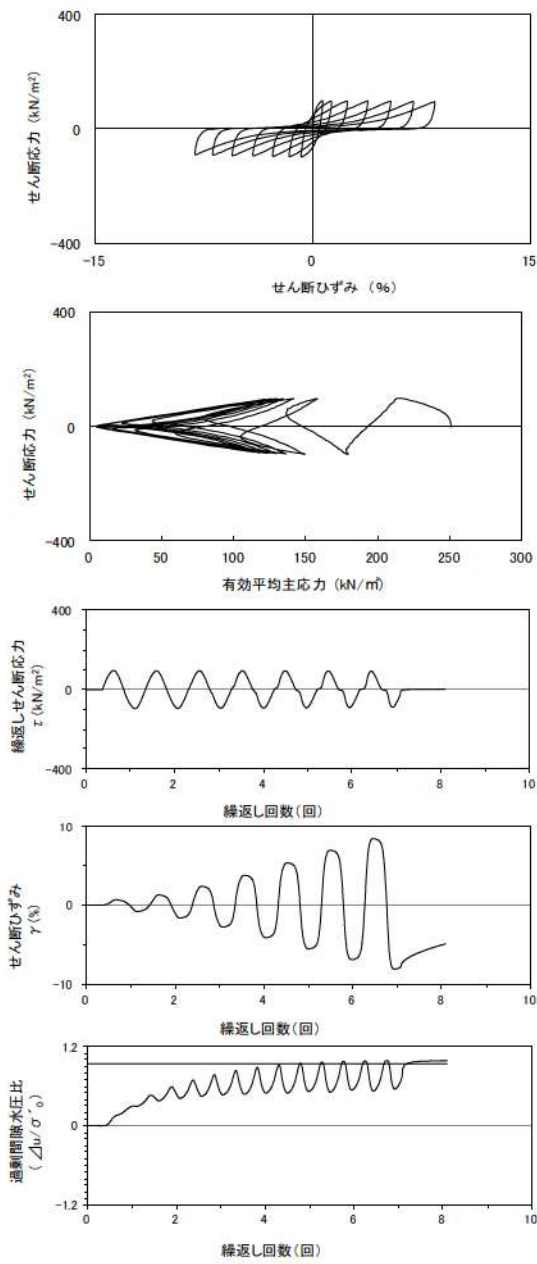
試験条件	
供試体	No.2-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.316
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-208 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 中空試料(供試体 No. 2-11))



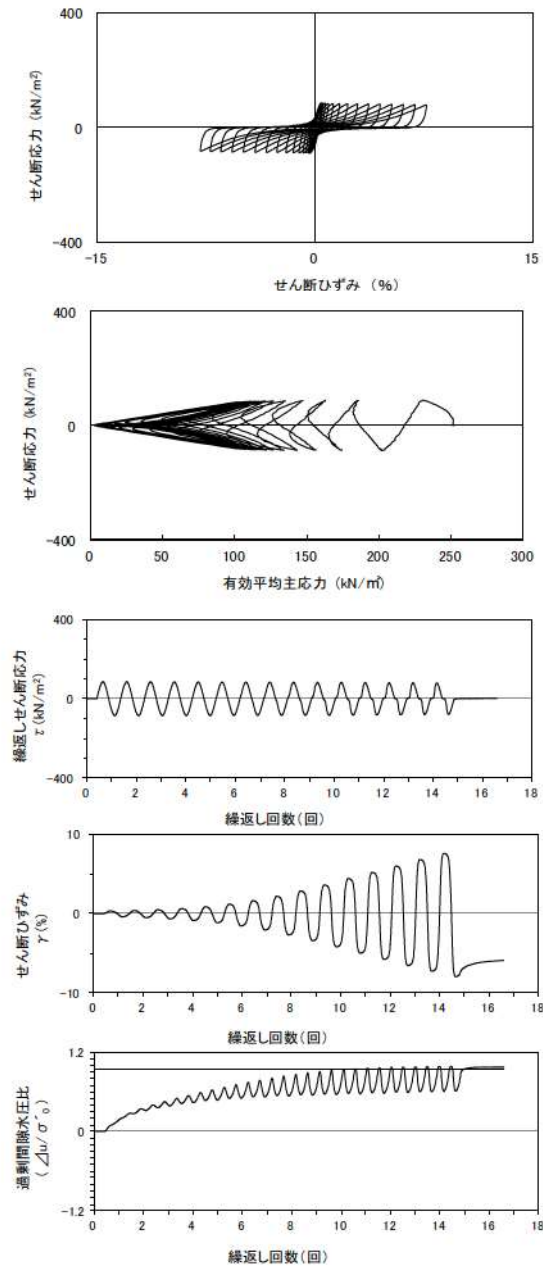
試験条件	
供試体	No.2-36
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-209 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 中空試料(供試体 No. 2-36))



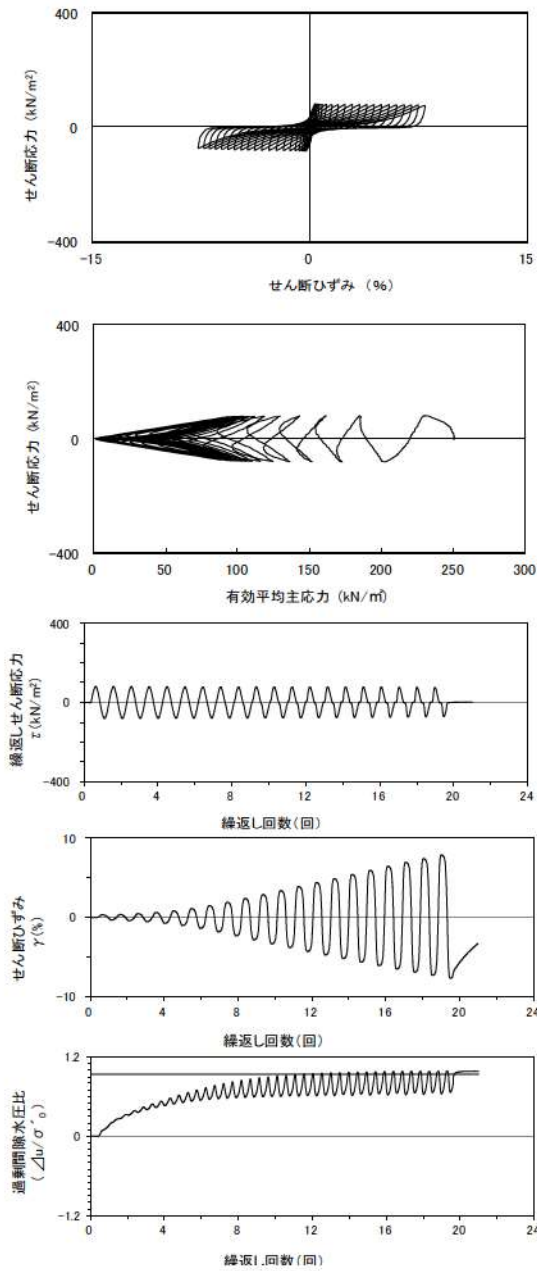
試験条件	
供試体	No.1-34
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.390
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-210 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1)中空試料(供試体 No. 1-34))



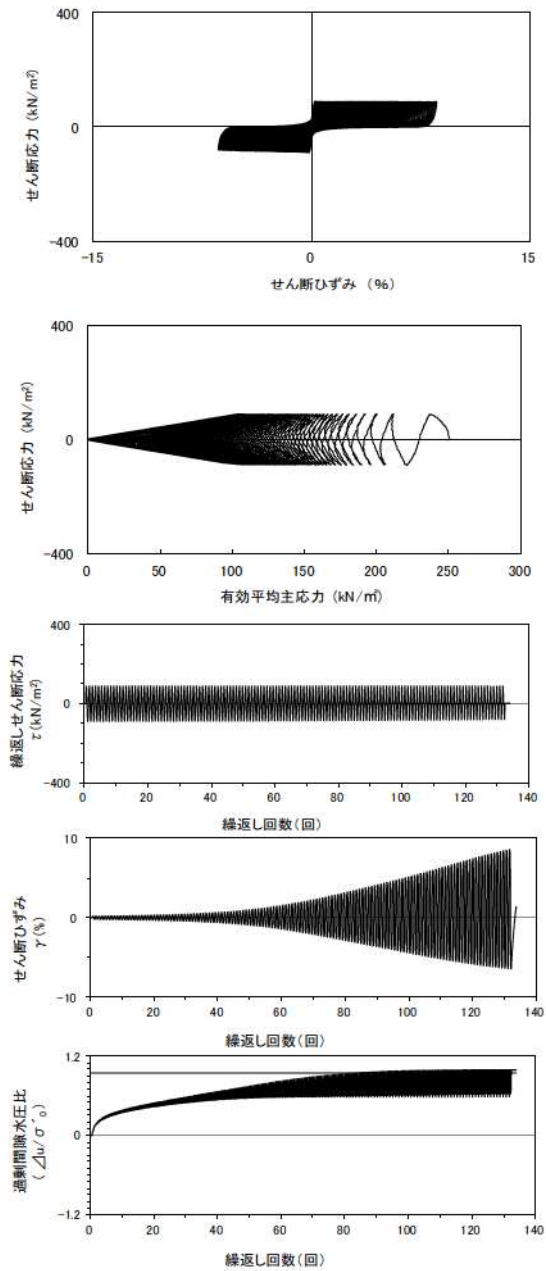
試験条件	
供試体	No.4-37
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.346
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-211 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1)中空試料(供試体 No. 4-37))



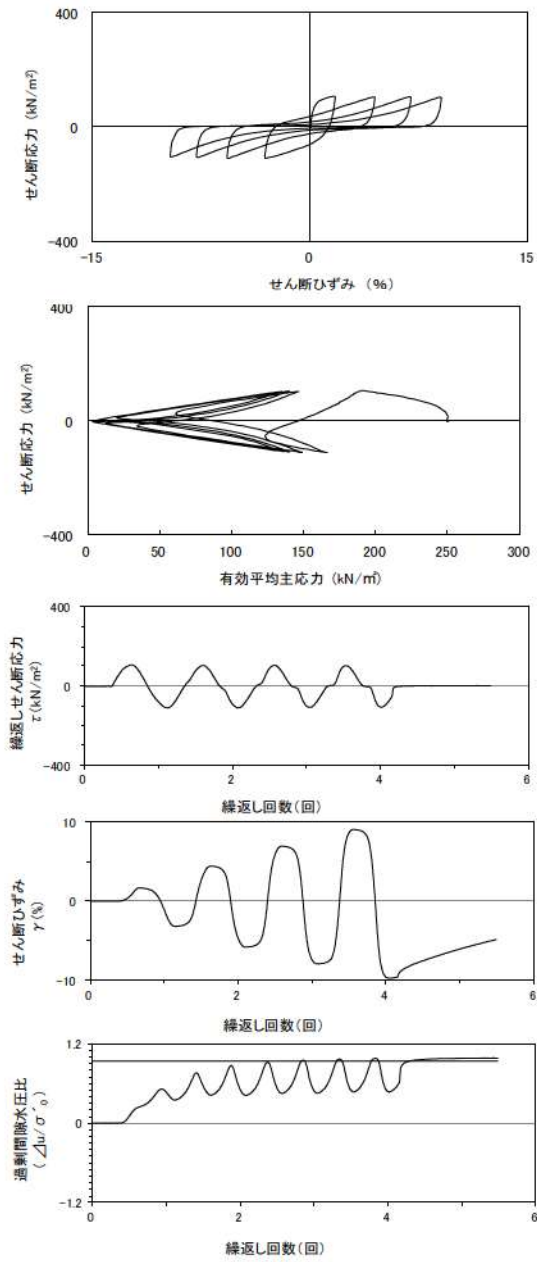
試験条件	
供試体	No.3-36
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.323
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-212 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 中空試料(供試体 No. 3-36))



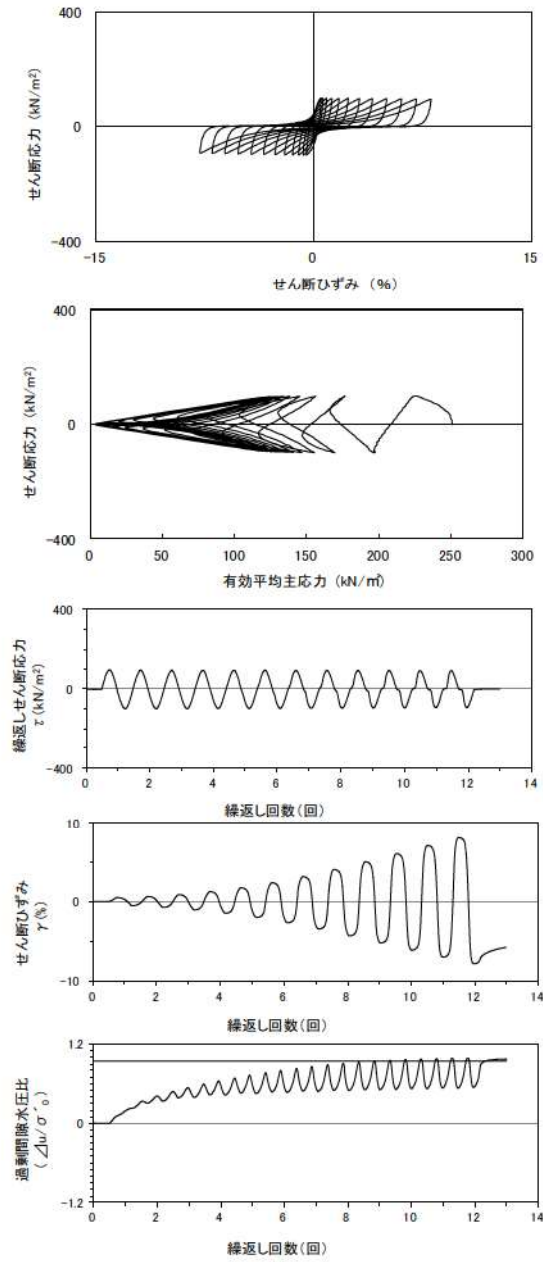
試験条件	
供試体	No.2-37
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-213 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 中空試料(供試体 No. 2-37))



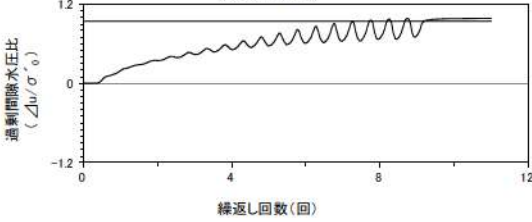
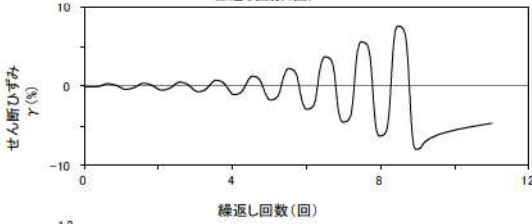
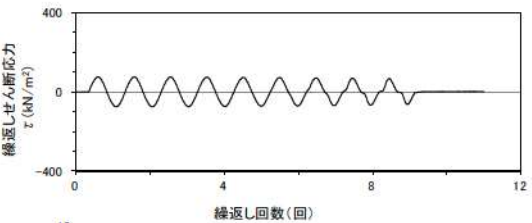
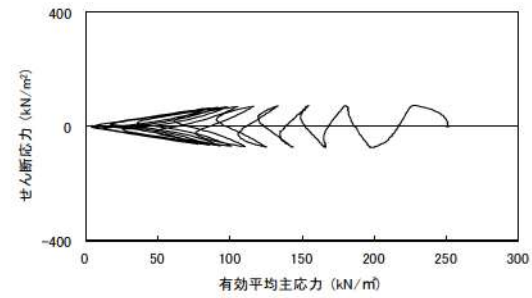
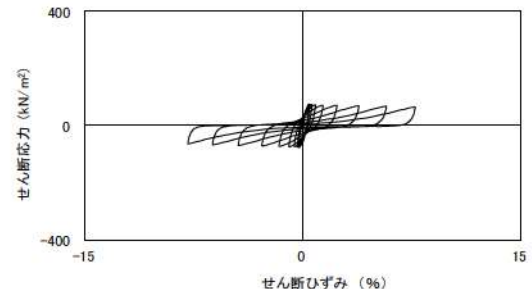
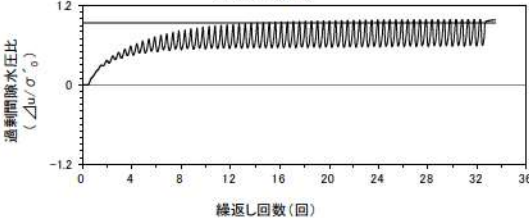
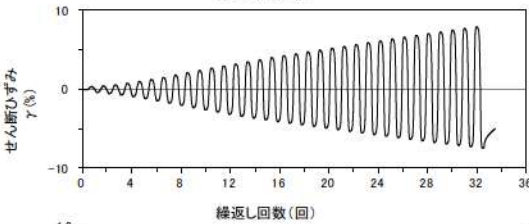
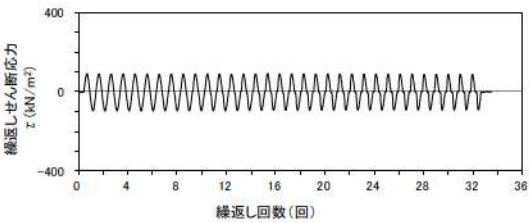
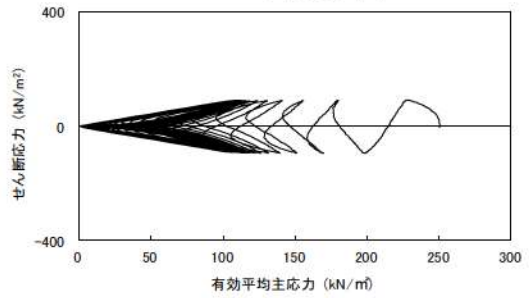
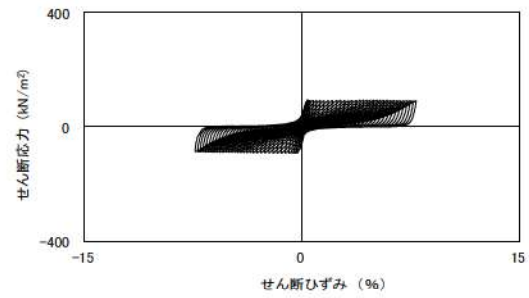
試験条件	
供試体	No.1-35
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.428
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-214 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2)中空試料(供試体 No. 1-35))



試験条件	
供試体	No.4-38
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.392
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-215 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2)中空試料(供試体 No. 4-38))

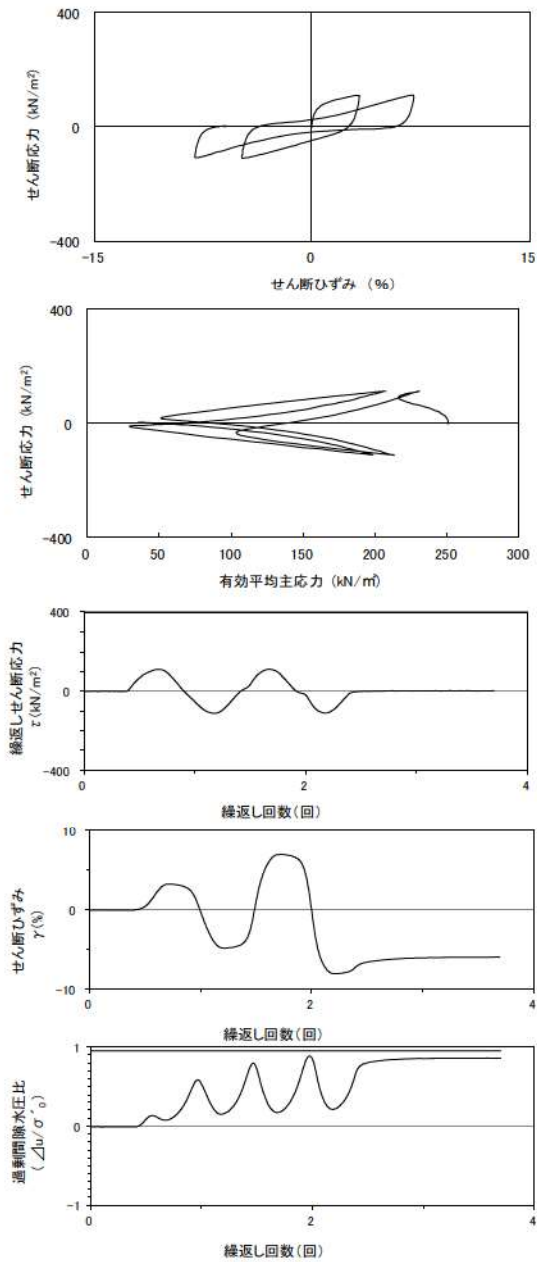


試験条件	
供試体	No.4-38
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.392
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-216 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2)中空試料(供試体 No. 3-37))

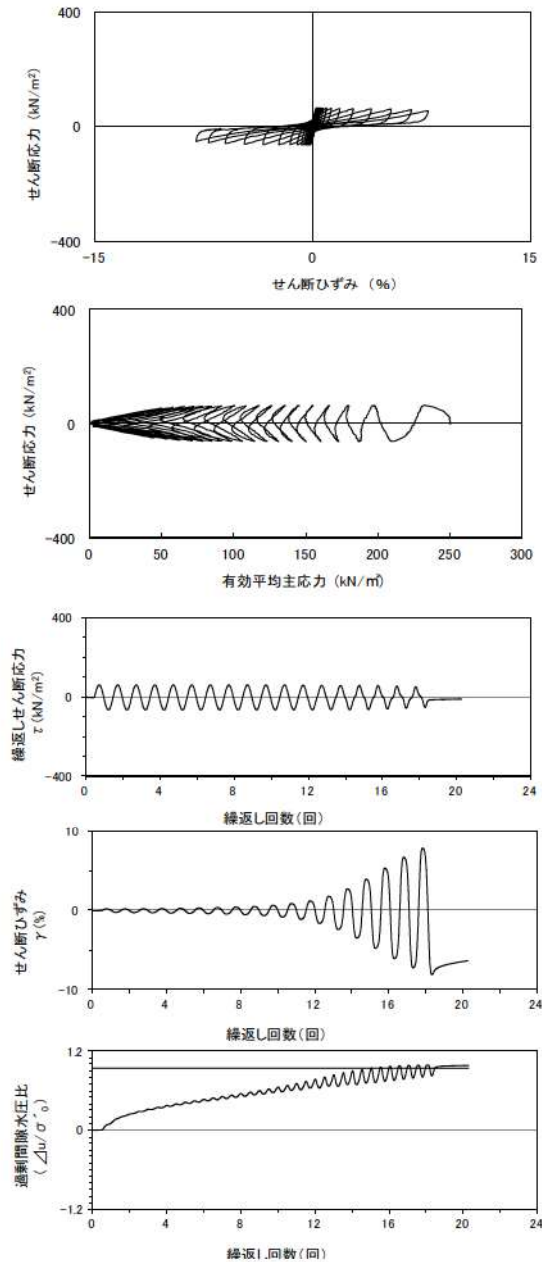
試験条件	
供試体	No.1-36
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.296
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-217 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3)中空試料(供試体 No. 1-36))



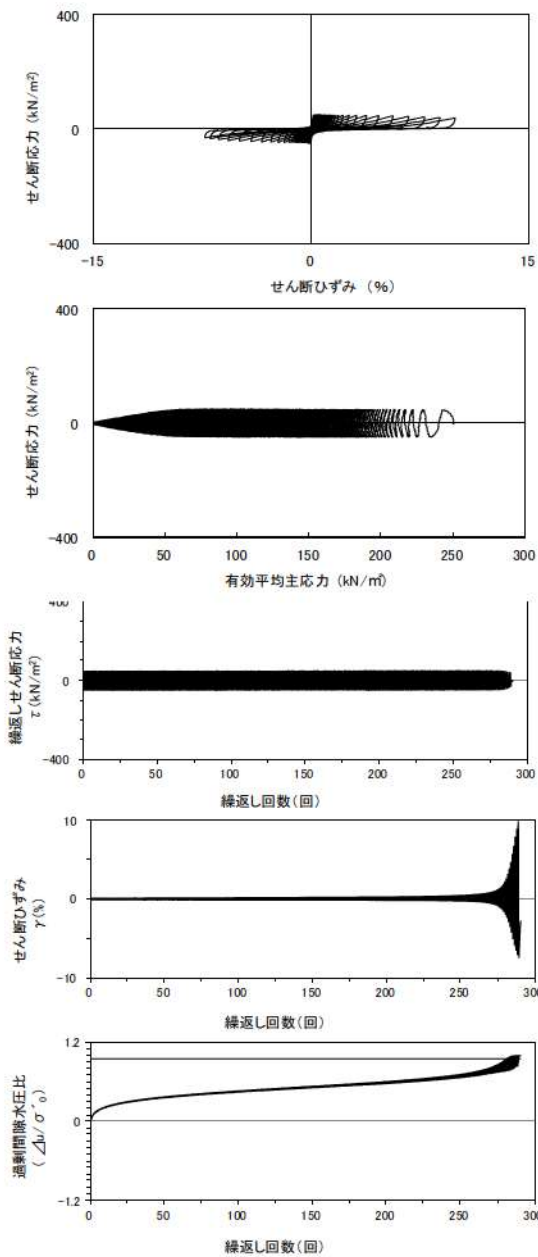
試験条件	
供試体	No.4-39
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.445
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
非液状化	

添付 1-218 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3) 中空試料(供試体 No. 4-39))



試験条件	
供試体	No.3-38
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.252
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

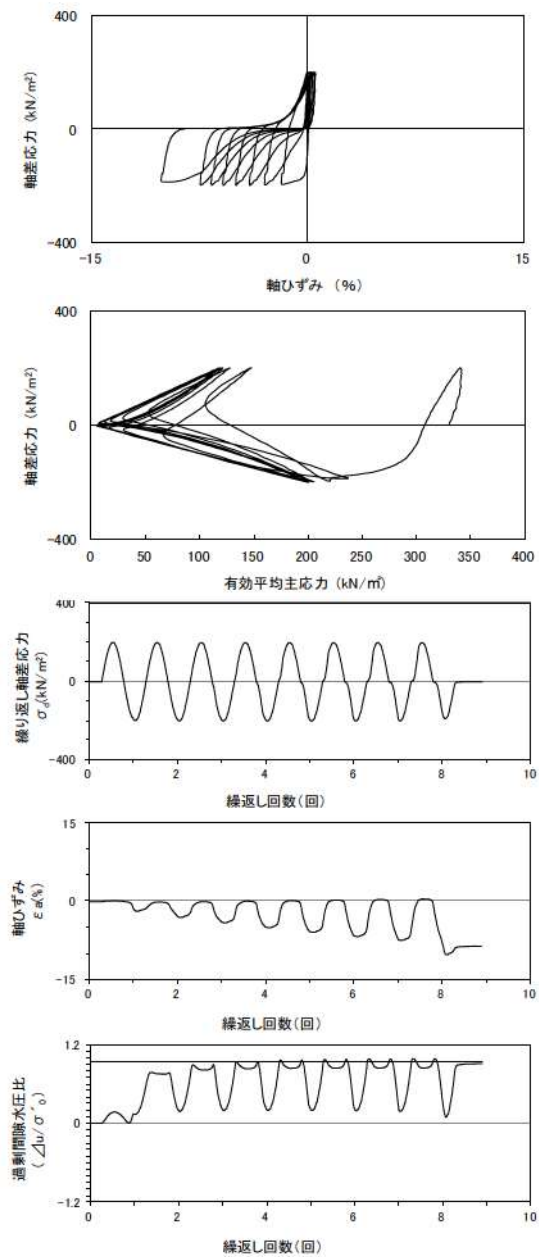
添付 1-219 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3) 中空試料(供試体 No. 3-38))



試験条件		
供試体	No.2-38	
地表からの深度 (m)	26.44~26.68	
有効上載圧 (kN/m ²)	255	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.191	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

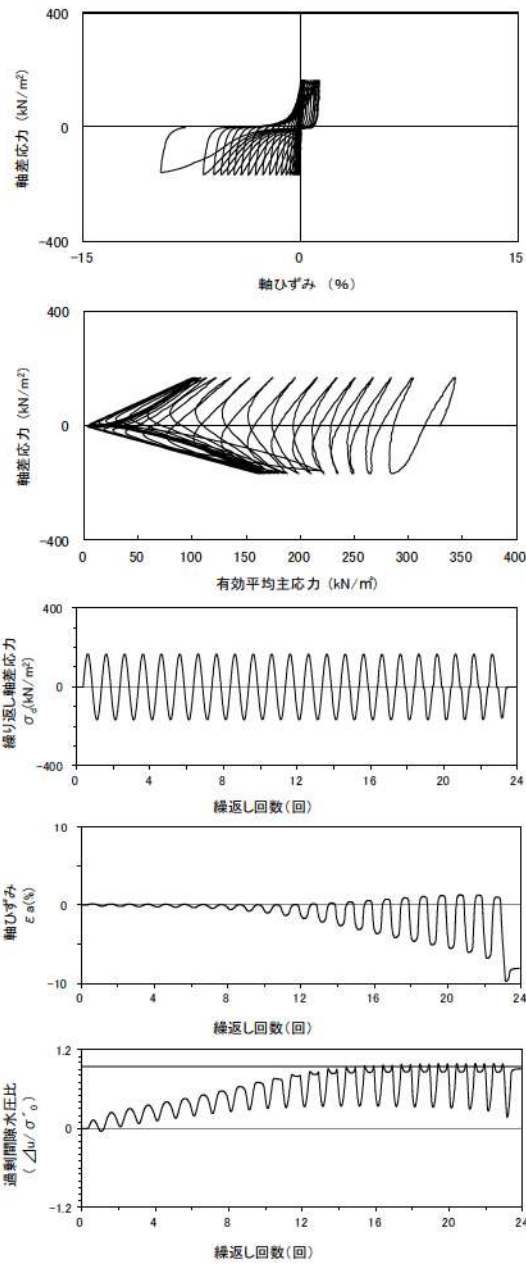
※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-220 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④)(3) 中空試料(供試体 No. 2-38))



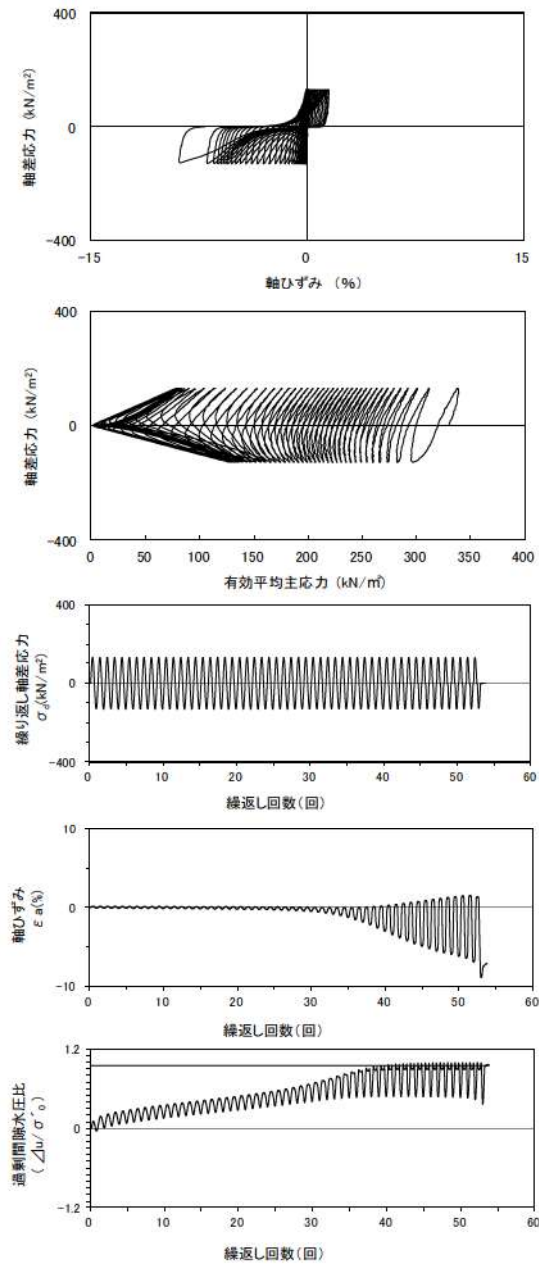
試験条件		
供試体	No.1-7	
地表からの深度 (m)	22.19~22.46	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-221 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③)(1) 三軸試料(供試体 No. 1-7))



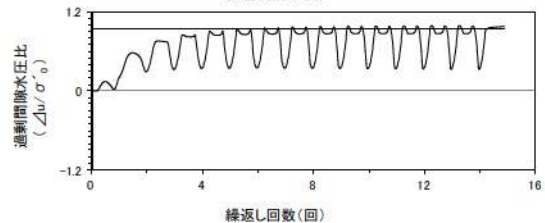
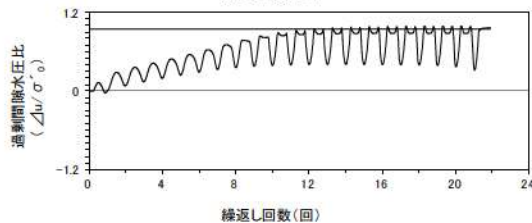
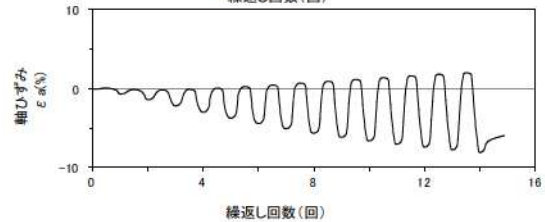
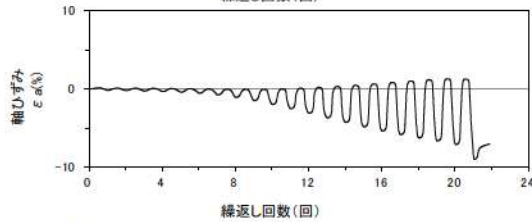
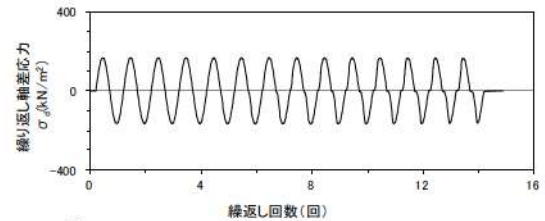
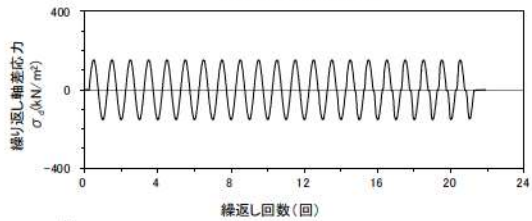
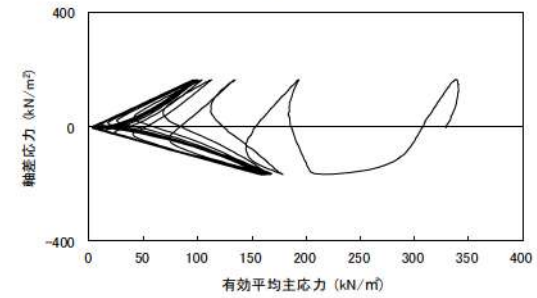
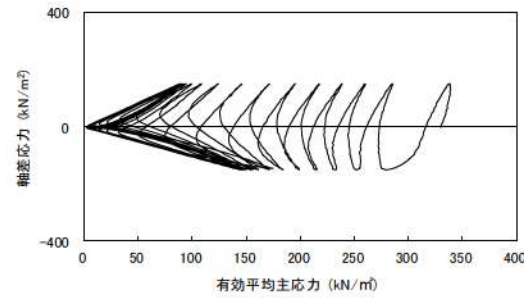
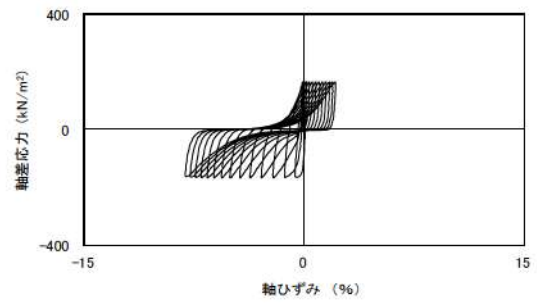
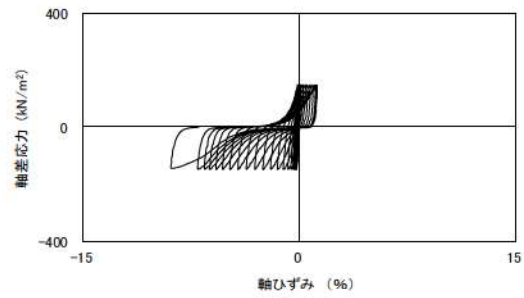
試験条件	
供試体	No.2-5
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.252
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-222 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 2-5))



試験条件	
供試体	No.3-5
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.197
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-223 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 3-5))

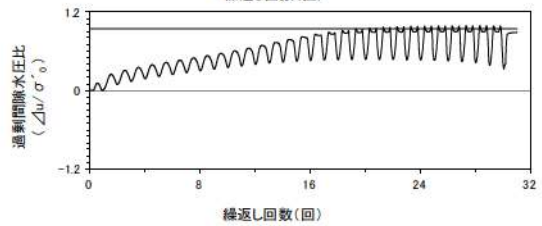
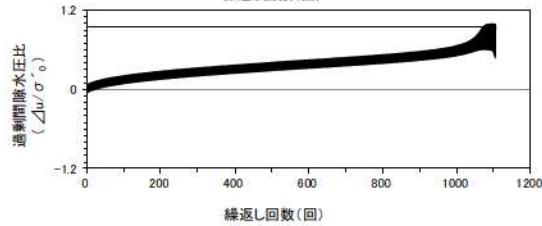
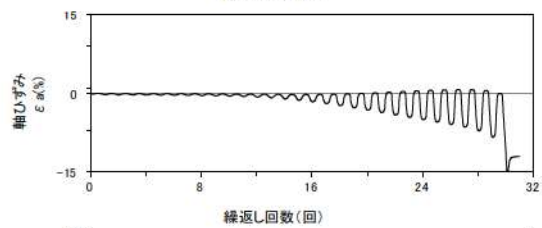
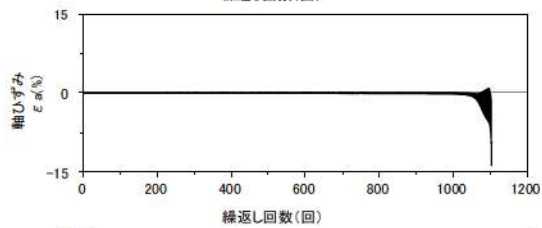
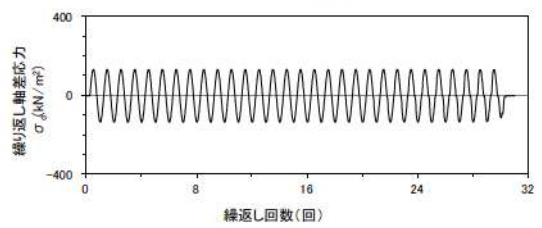
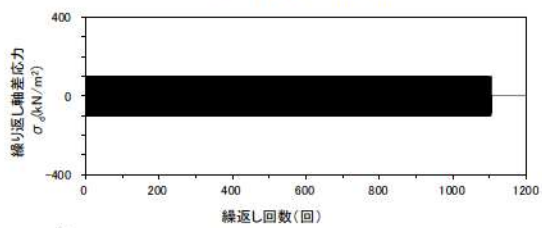
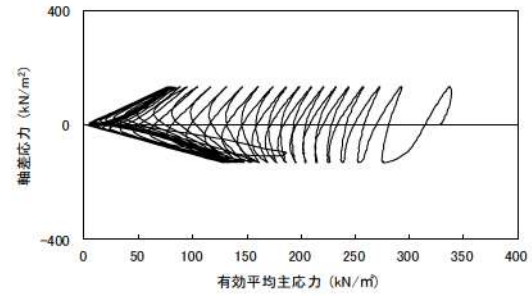
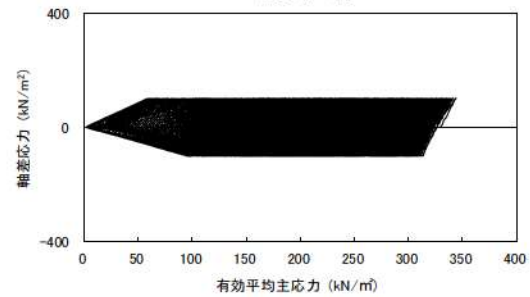
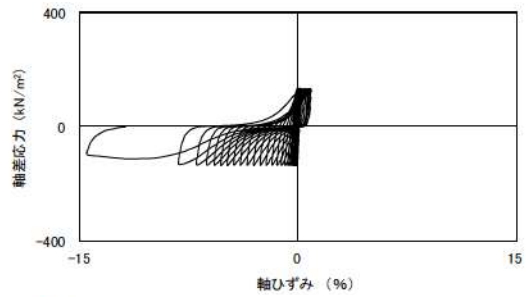
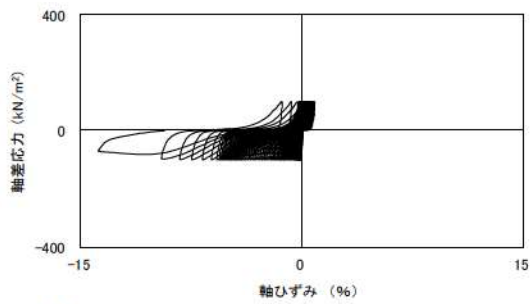


試験条件	
供試体	No.4-8
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.227
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.1-8
地表からの深度 (m)	22.39~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-224 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 4-8))

添付 1-225 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 1-8))



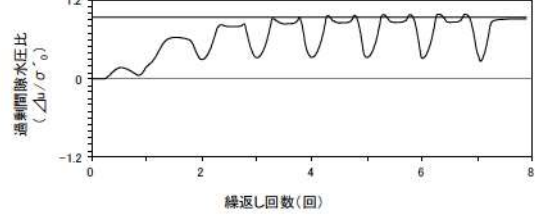
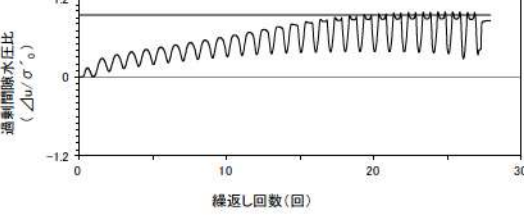
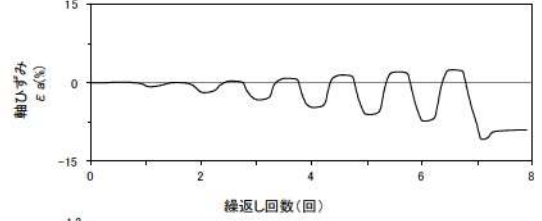
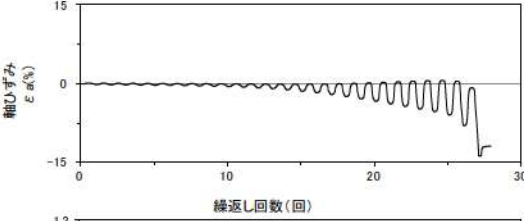
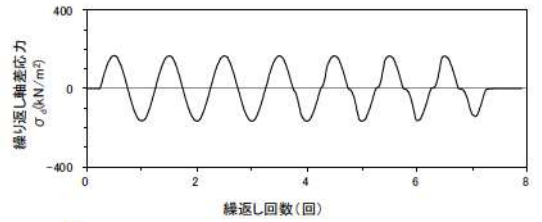
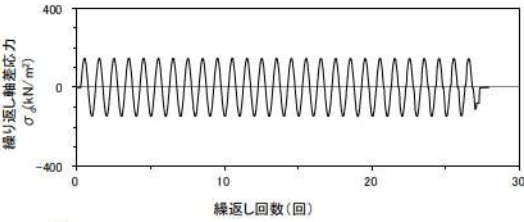
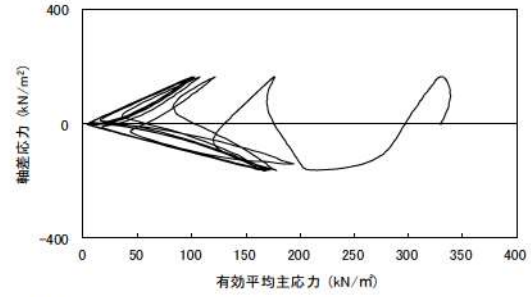
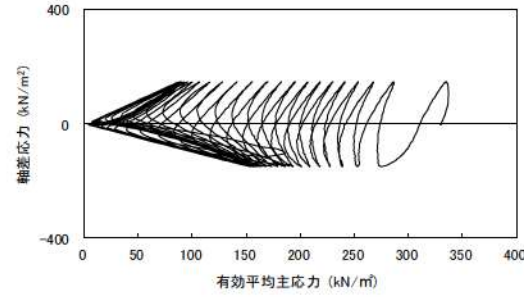
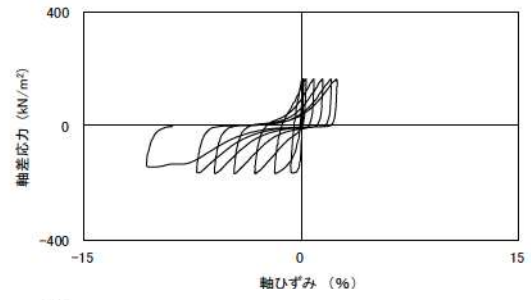
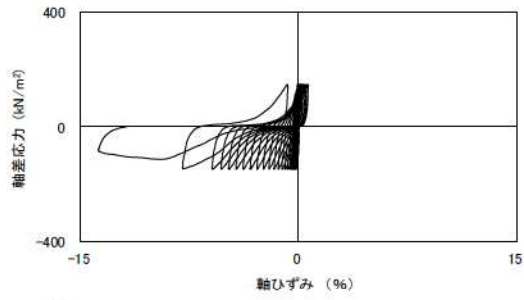
試験条件		
供試体	No.2-6	
地表からの深度 (m)	22.39~22.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.153	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-226 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 2-6))

試験条件		
供試体	No.4-9	
地表からの深度 (m)	22.39~22.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.202	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-227 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 4-9))

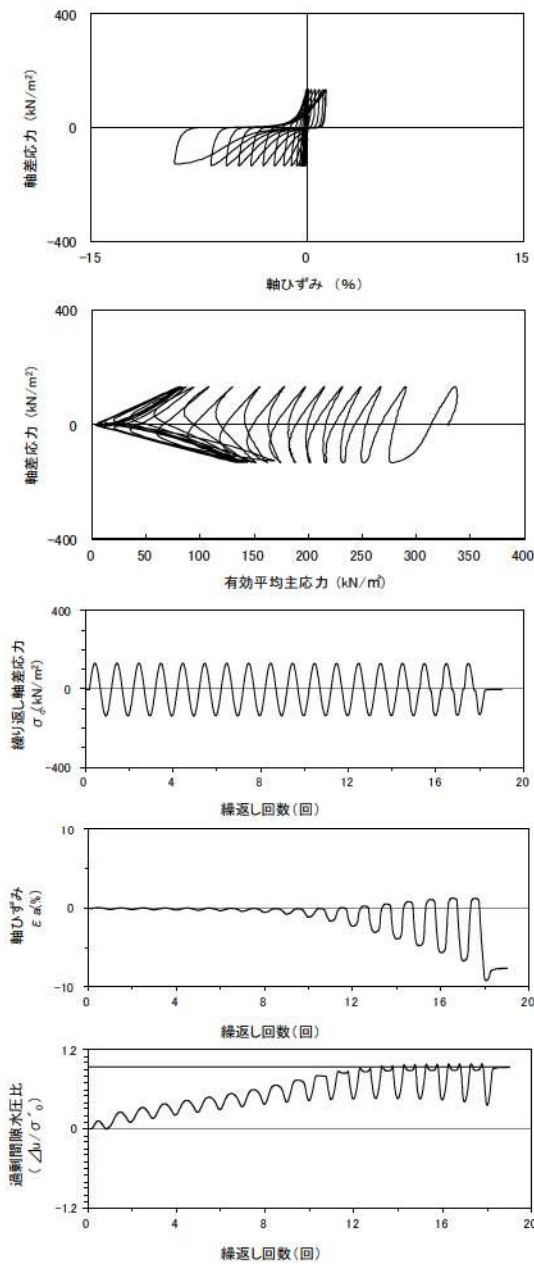


試験条件		
供試体		No.3-6
地表からの深度 (m)		22.39~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)		326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.223
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-228 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 3-6))

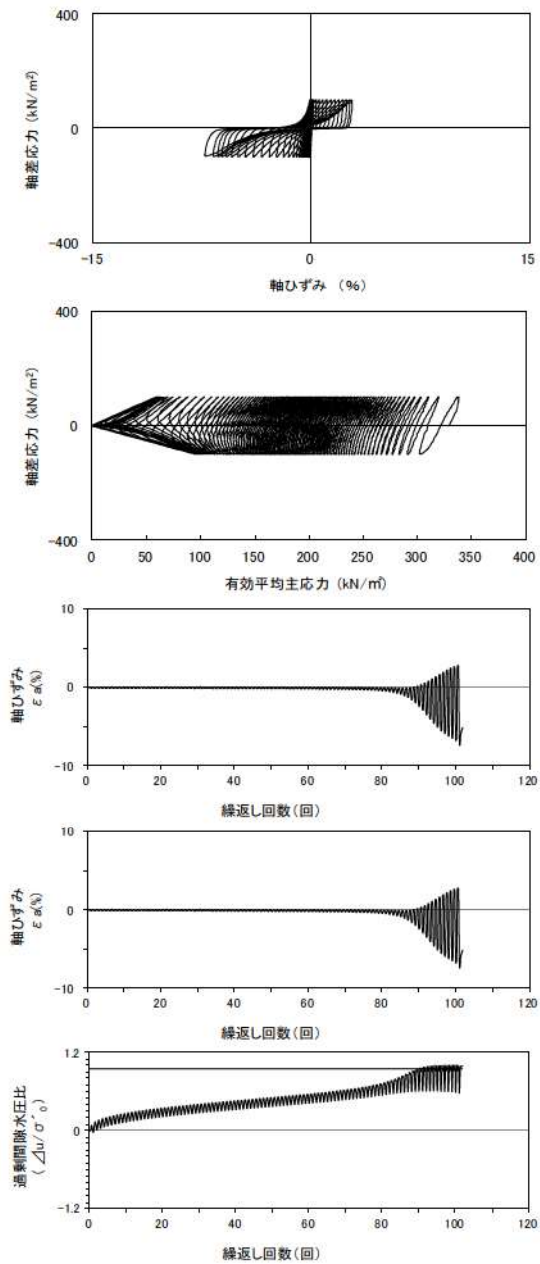
試験条件		
供試体		No.1-9
地表からの深度 (m)		22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)		326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.250
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-229 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 1-9))



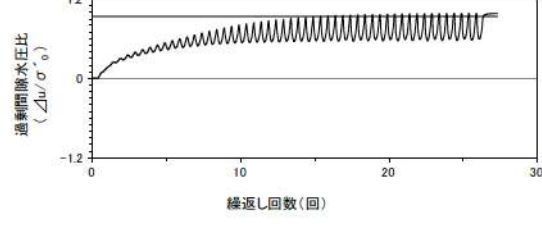
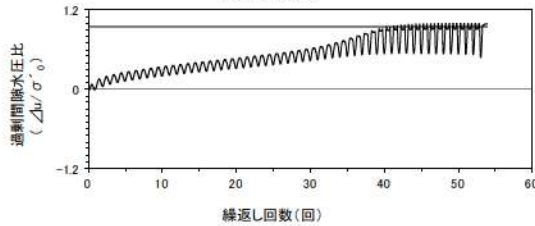
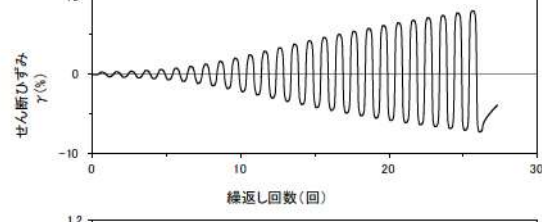
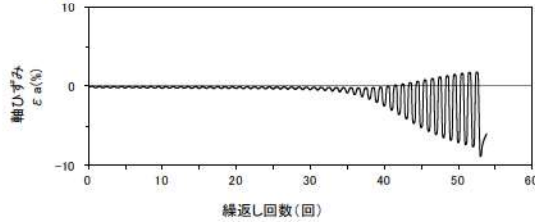
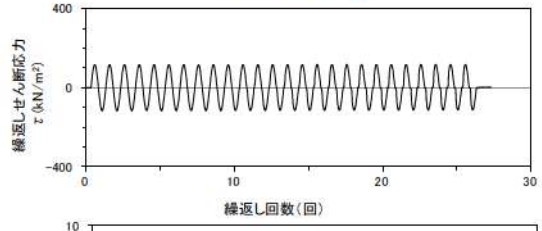
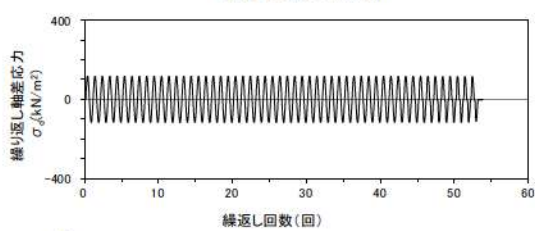
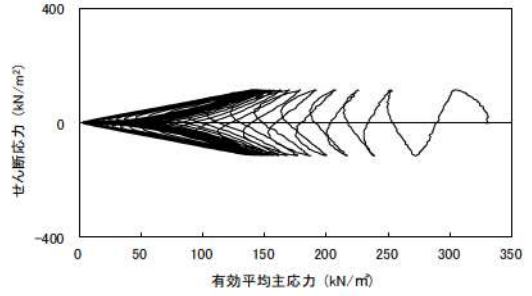
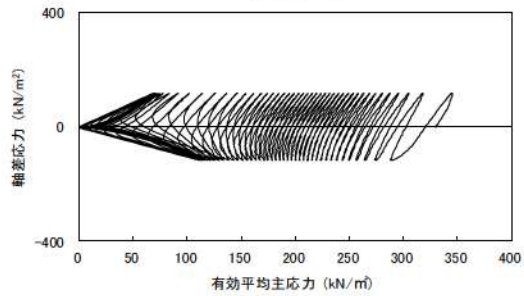
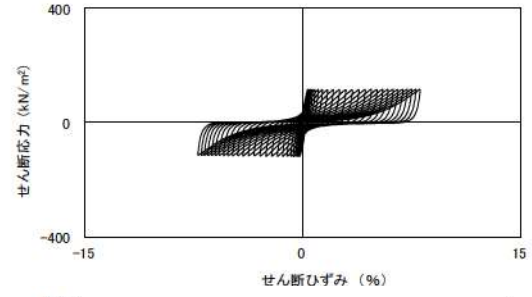
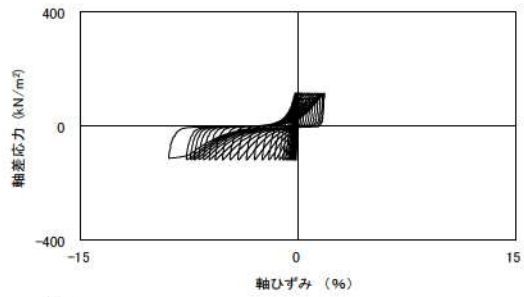
試験条件	
供試体	No.2-7
地表からの深度 (m)	22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.202
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-230 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 2-7))



試験条件	
供試体	No.4-10
地表からの深度 (m)	22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.152
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-231 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 4-10))

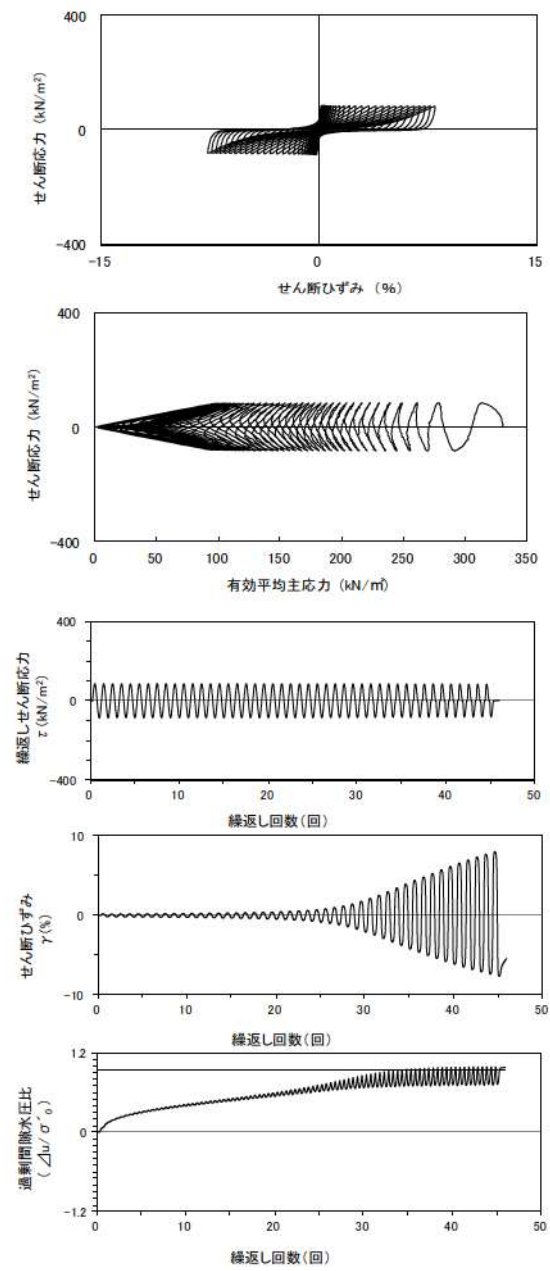
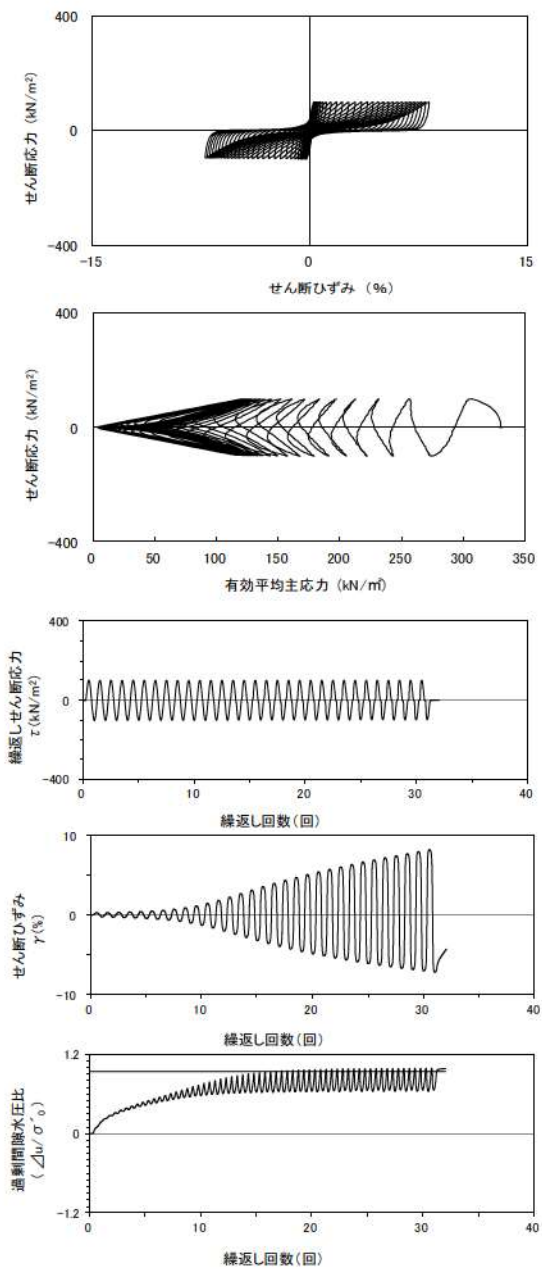


試験条件		液状化の判断	
供試体	No.3-7	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
地表からの深度 (m)	22.59~22.90		
有効上載圧 (kN/m ²)	326		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.177		
試験結果			
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	○		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

試験条件		液状化の判断	
供試体	No.1-16	○	繰返し軟化
地表からの深度 (m)	24.42~24.95		
有効上載圧 (kN/m ²)	345		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.351		
試験結果			
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-232 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 3-7))

添付 1-233 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 1-16))

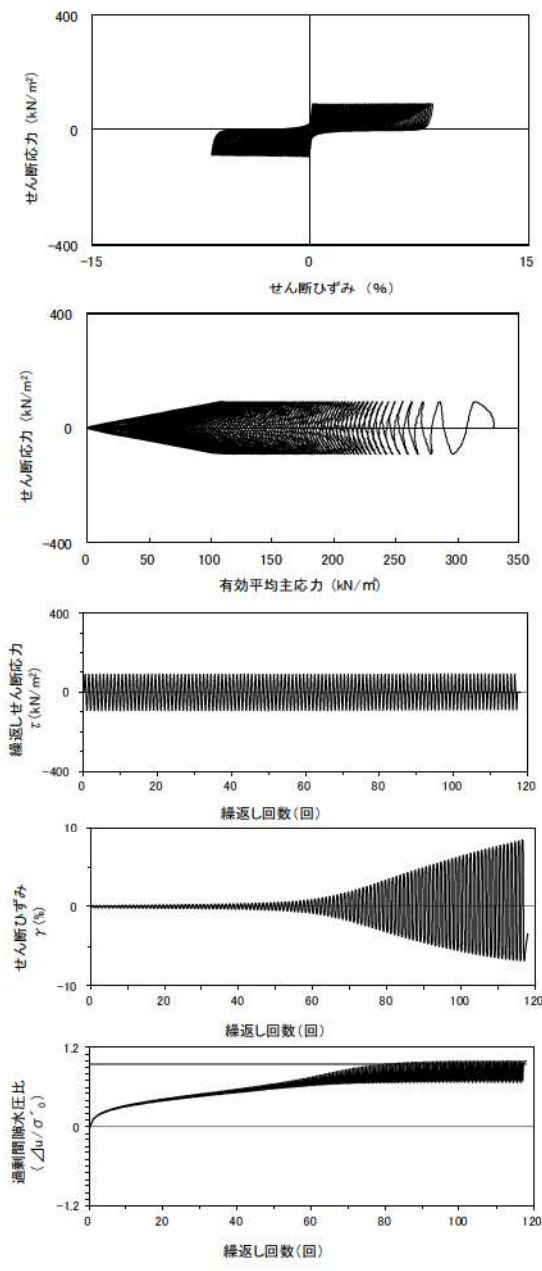


試験条件	
供試体	No.1-15
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.4-16
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

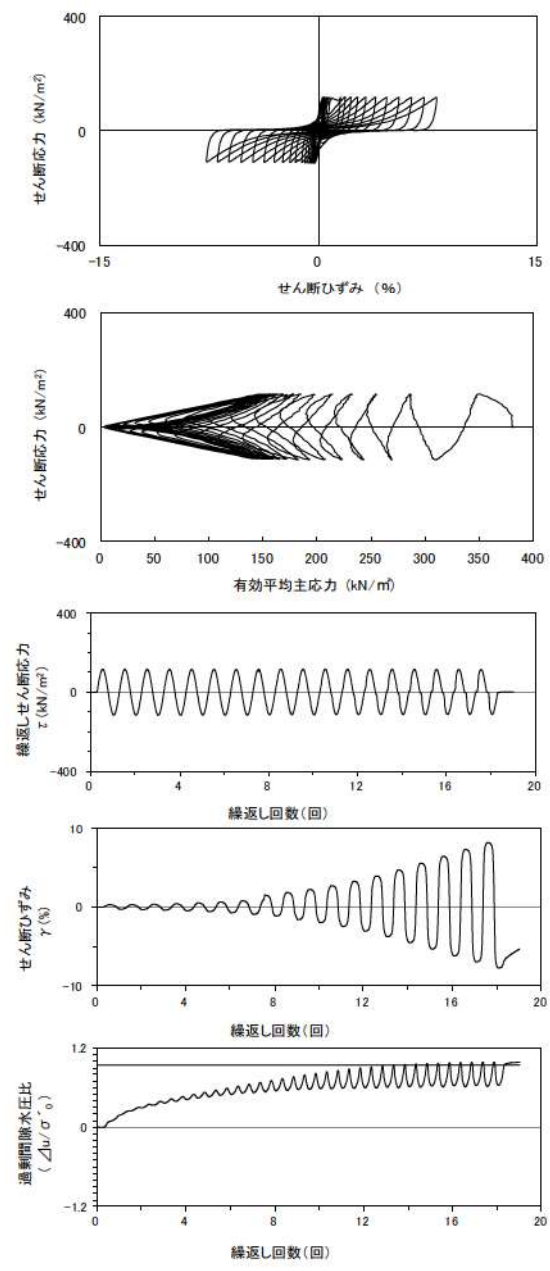
添付 1-234 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1)中空試料(供試体 No. 1-15))

添付 1-235 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1)中空試料(供試体 No. 4-16))



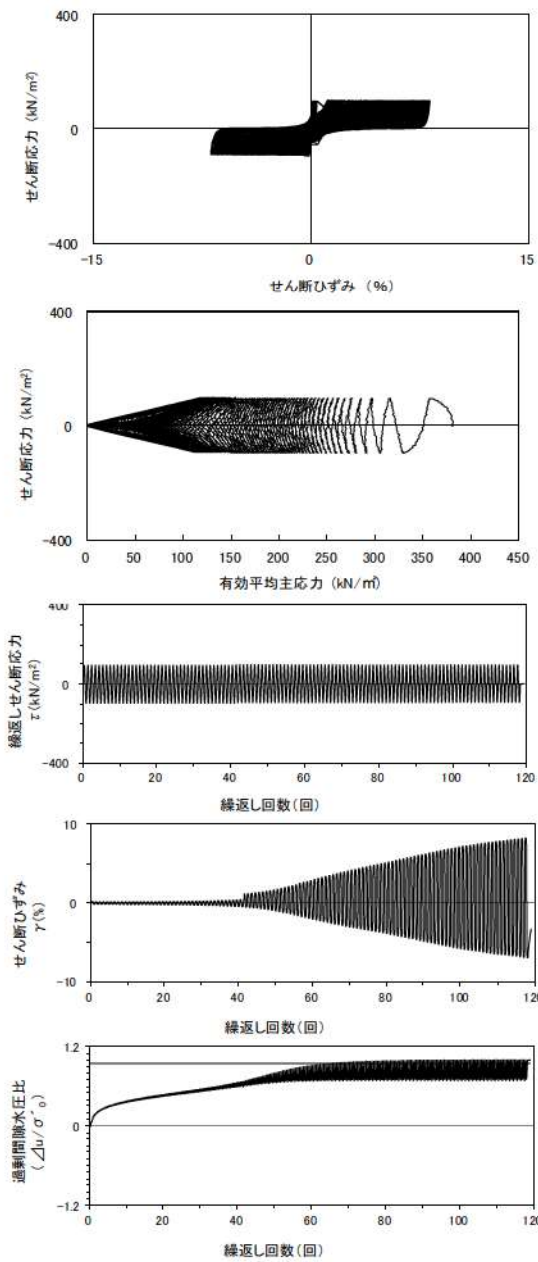
試験条件		
供試体	No.3-13	
地表からの深度 (m)	24.42~24.95	
有効上載圧 (kN/m ²)	345	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
有効応力がゼロまで低下する。	○	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-236 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 3-13))



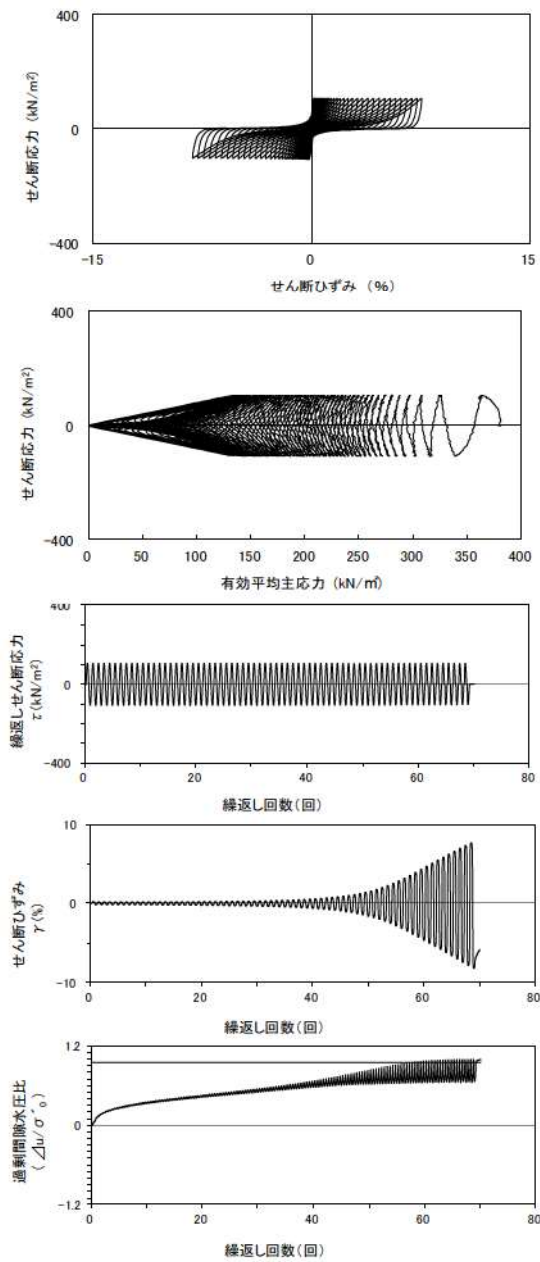
試験条件		
供試体	No.4-32	
地表からの深度 (m)	27.98~28.23	
有効上載圧 (kN/m ²)	379	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.300	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-237 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 4-32))



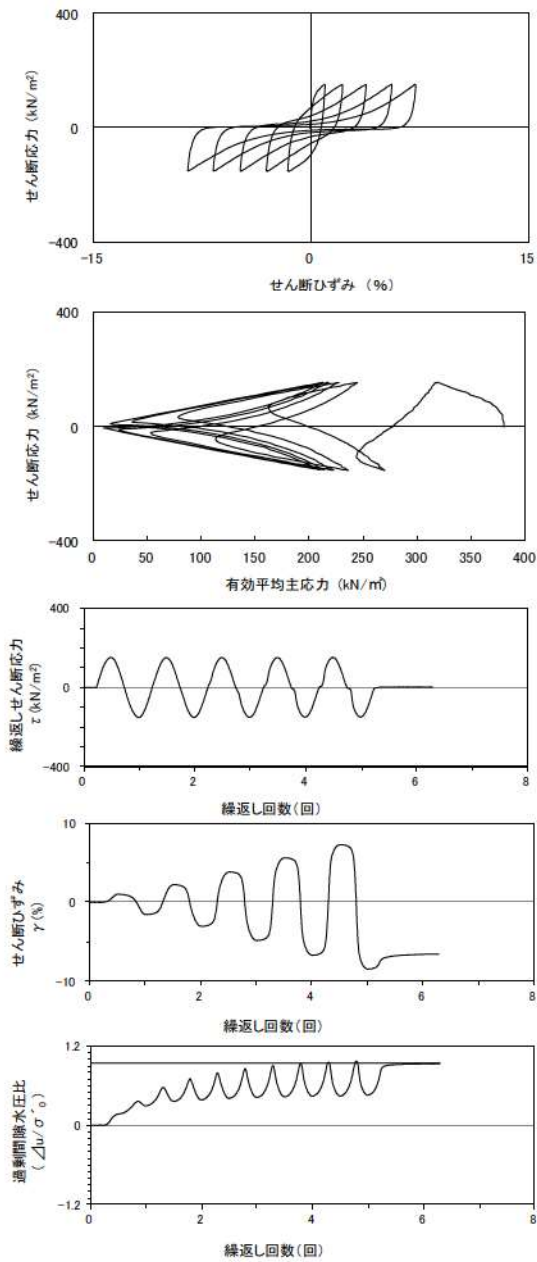
試験条件	
供試体	No.3-30
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

添付 1-238 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 3-30))



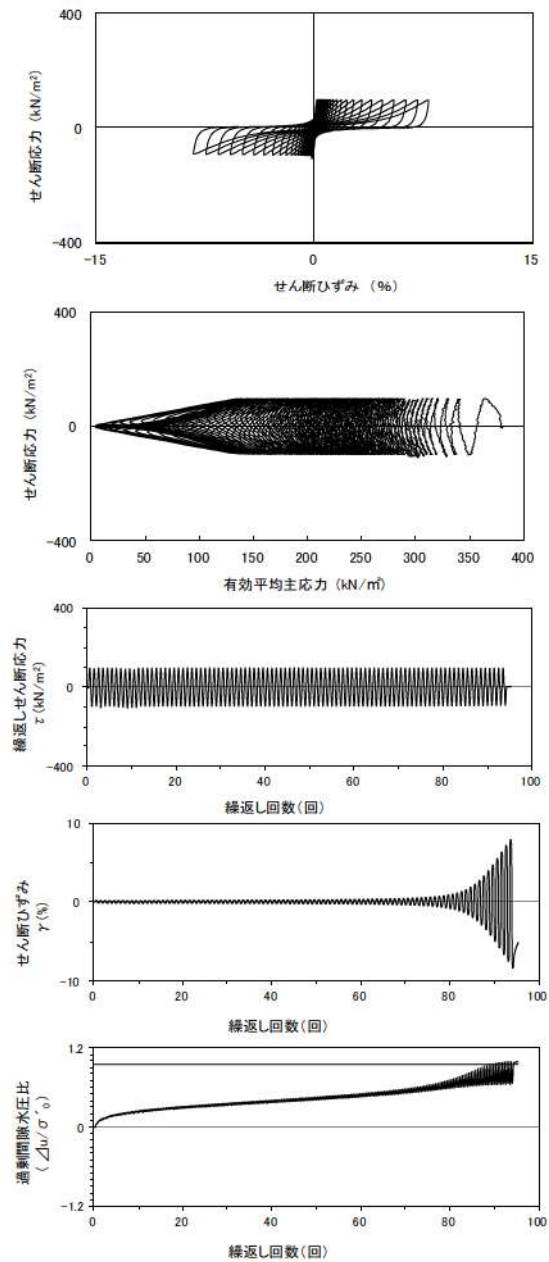
試験条件	
供試体	No.2-31
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.278
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-239 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 2-31))



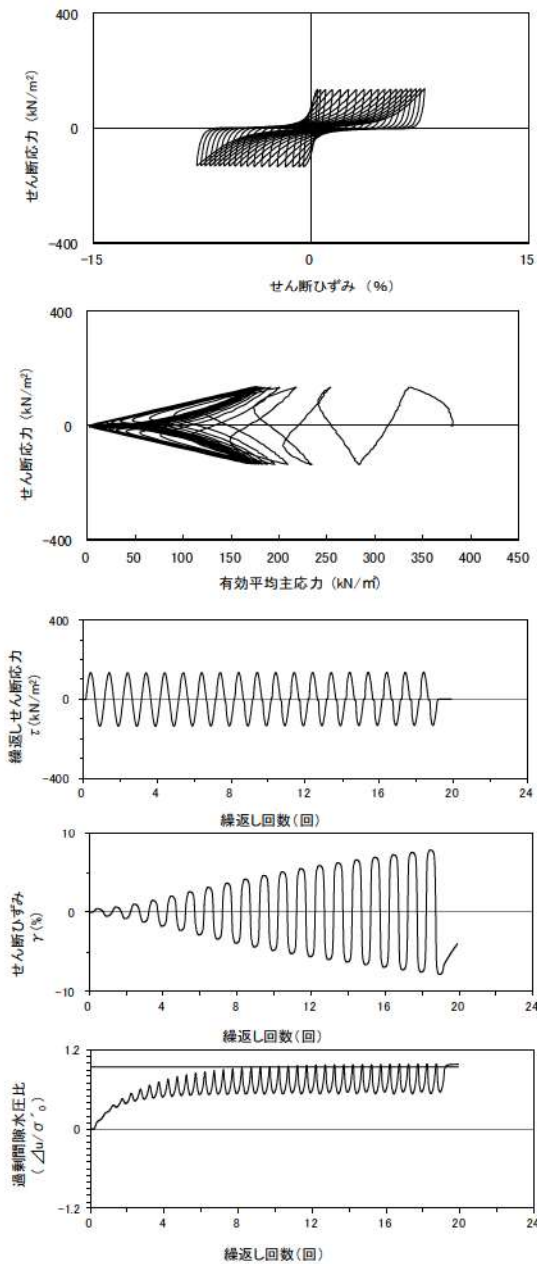
試験条件	
供試体	No.2-31
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.278
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-240 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1)中空試料(供試体 No. 1-32))



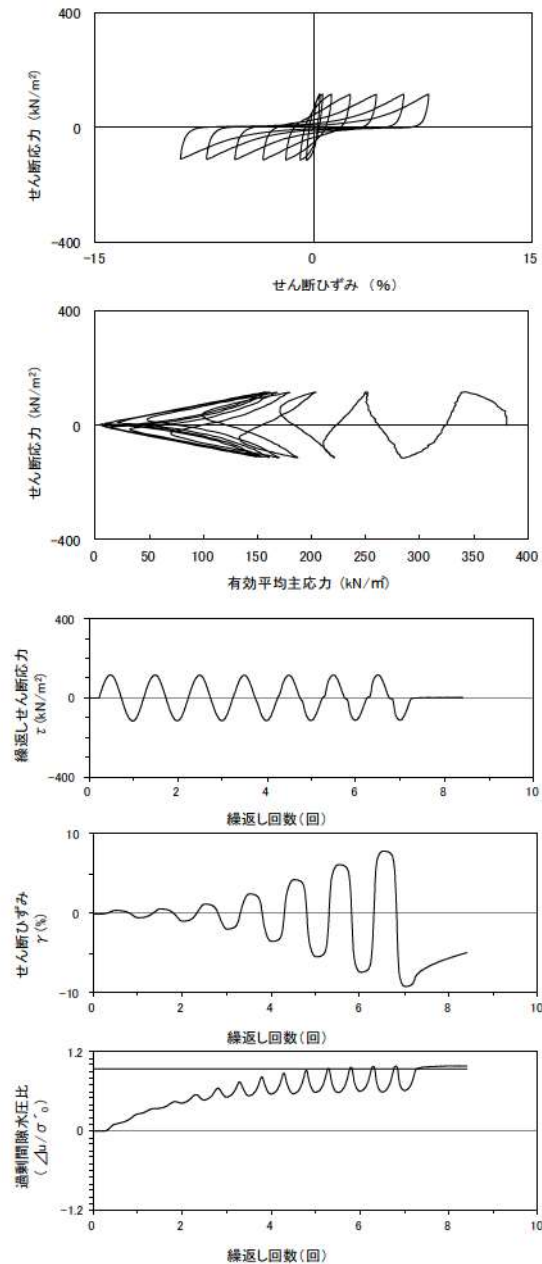
試験条件	
供試体	No.4-33
地表からの深度 (m)	28.13~28.48
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.257
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-241 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2)中空試料(供試体 No. 4-33))



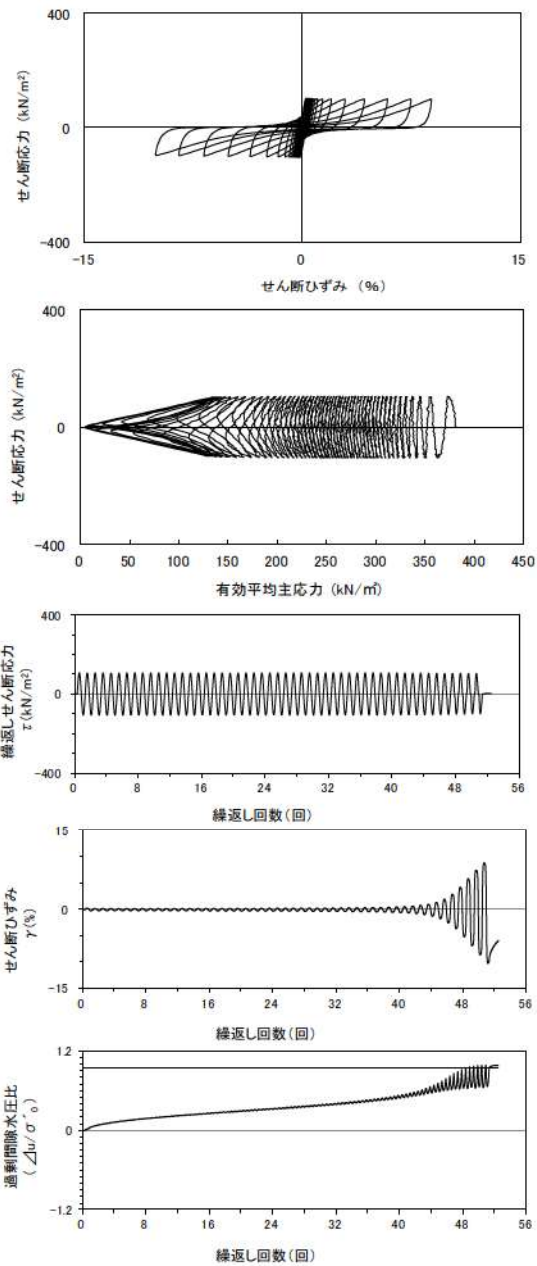
試験条件		
供試体	No.3-31	
地表からの深度 (m)	28.13~28.48	
有効上載圧 (kN/m ²)	379	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-242 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2)中空試料(供試体 No. 3-31))



試験条件		
供試体	No.1-33	
地表からの深度 (m)	28.13~28.48	
有効上載圧 (kN/m ²)	379	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.303	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

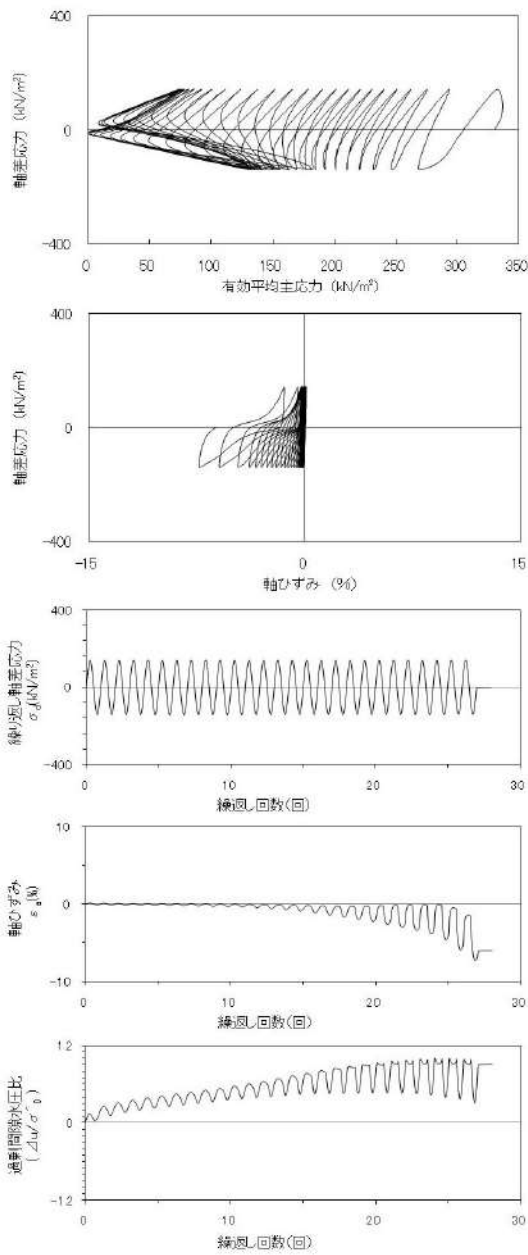
添付 1-243 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2)中空試料(供試体 No. 1-33))



試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	28.13~28.48
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.274
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

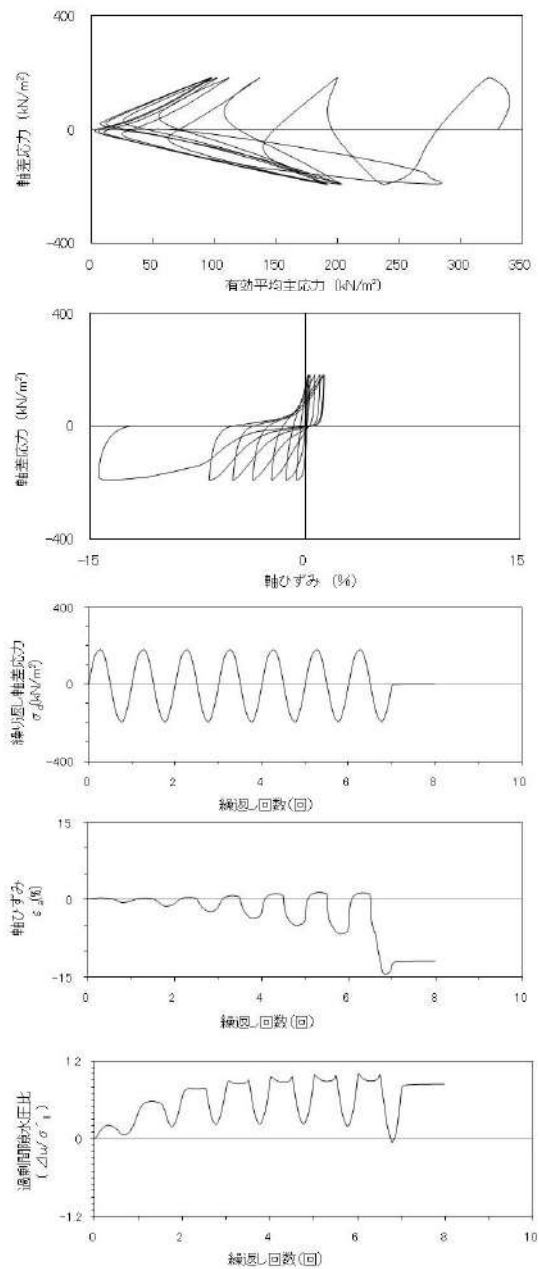
添付 1-244 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2)中空試料(供試体 No. 2-33))

2. 液状化強度試験結果
(4) As2層の試験データ



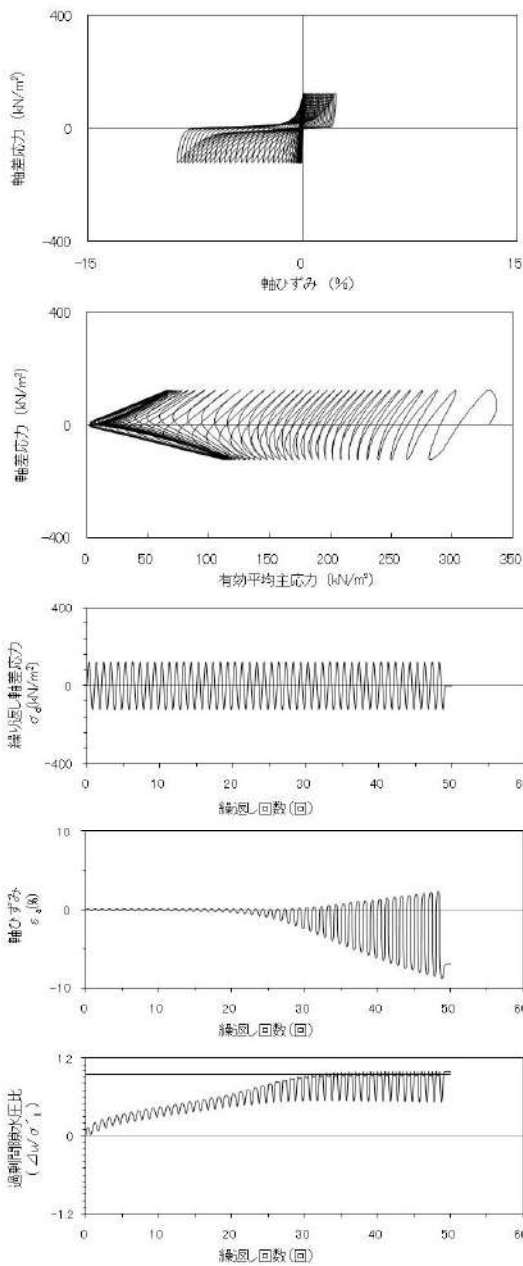
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.214
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-245 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 2))



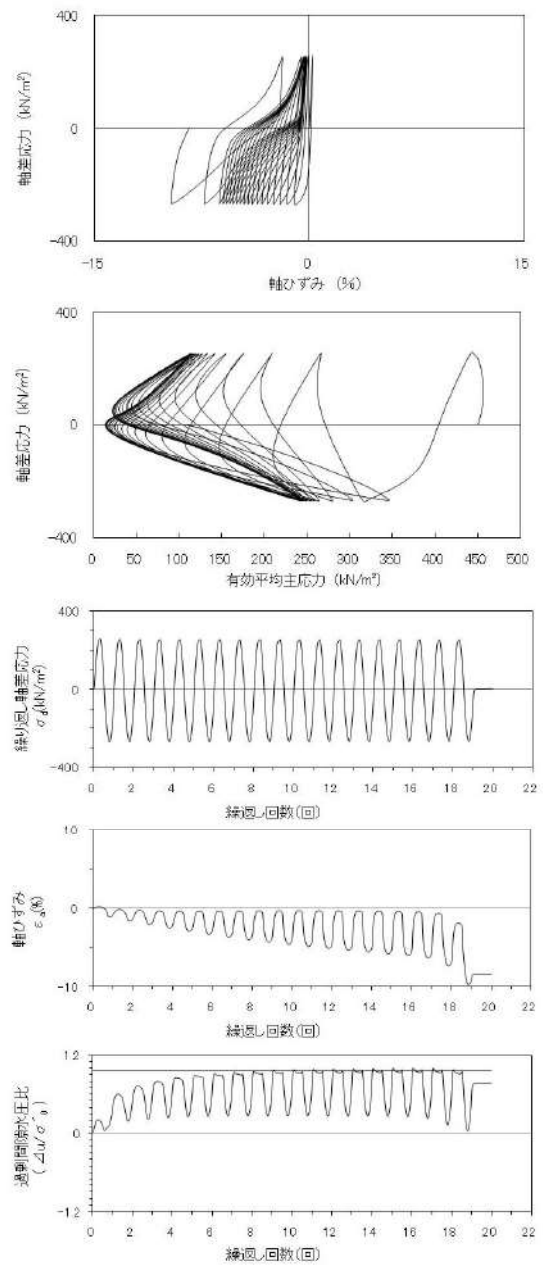
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.285
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-246 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 3))



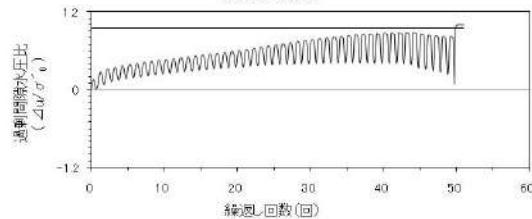
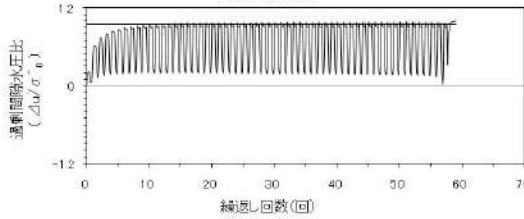
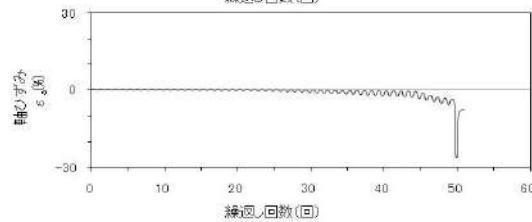
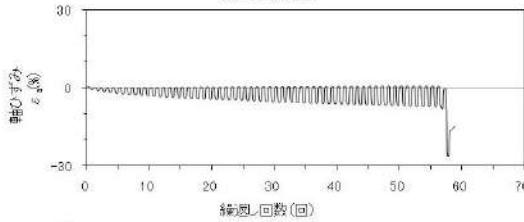
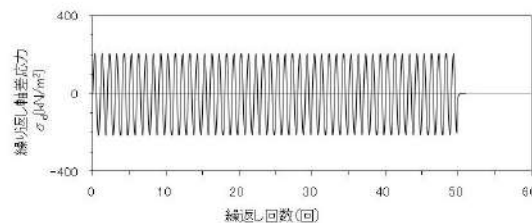
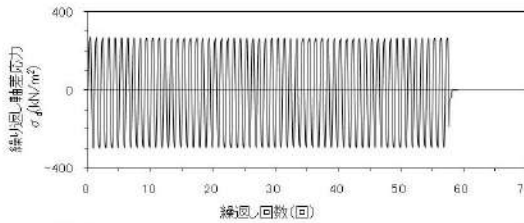
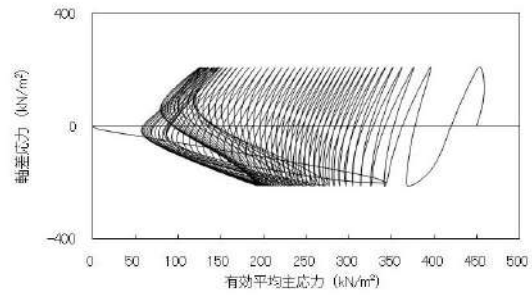
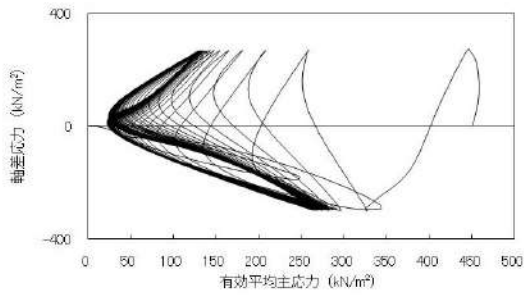
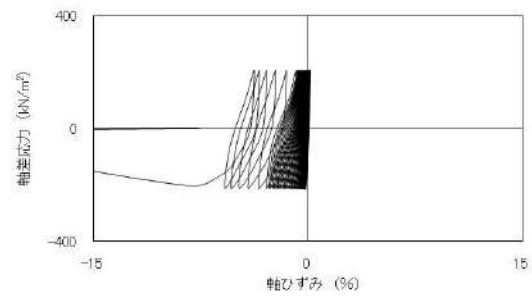
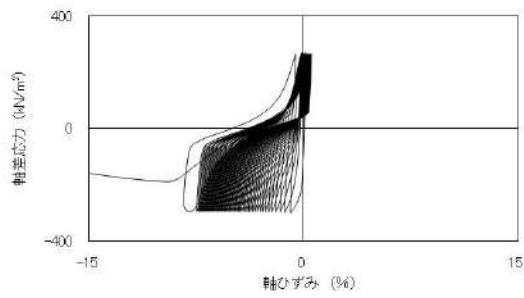
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.186
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-247 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 4))



試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)	448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.294
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-248 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 1))

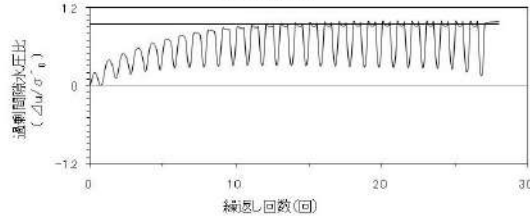
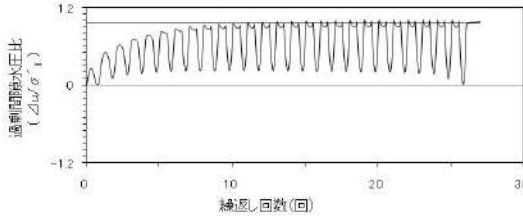
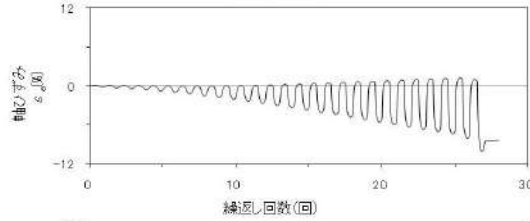
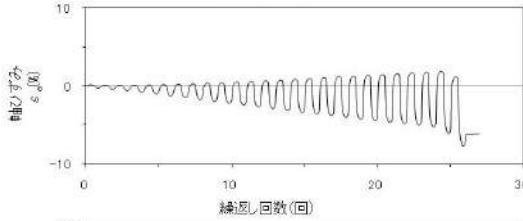
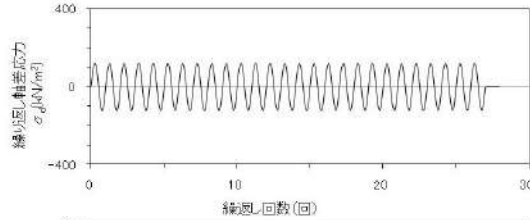
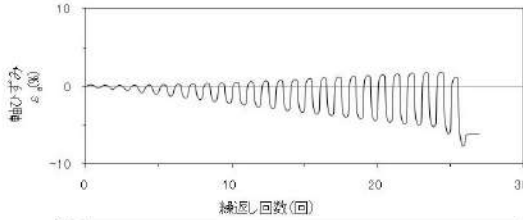
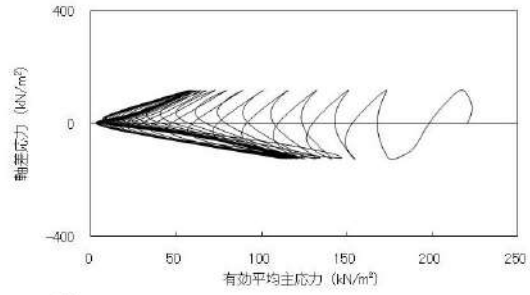
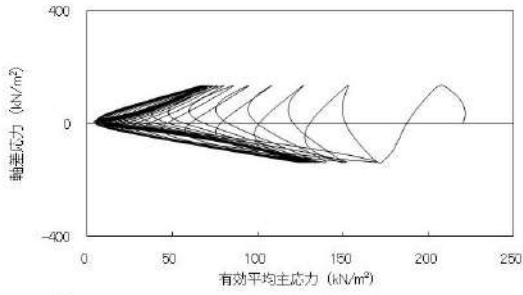
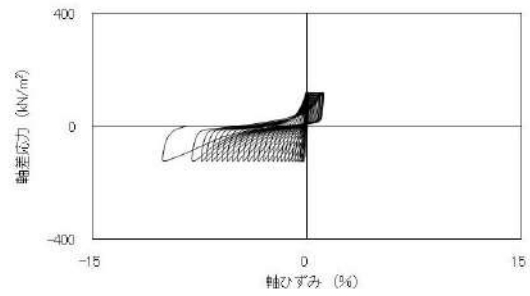
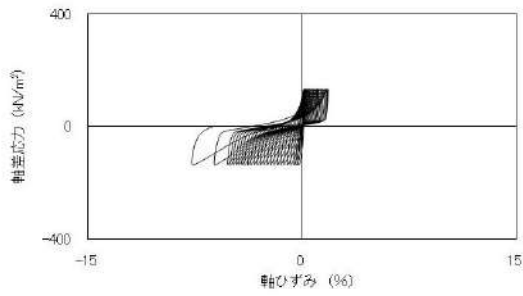


試験条件		
供試体		No.2
地表からの深度 (m)		36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)		448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.318
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)		448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.234
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-249 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 2))

添付 1-250 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 3))

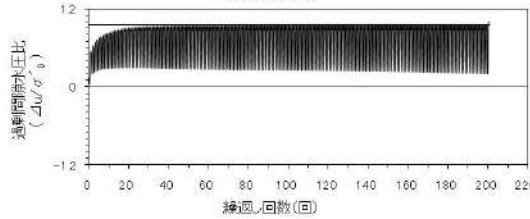
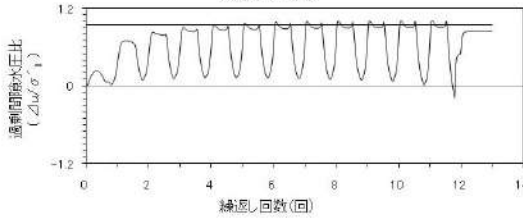
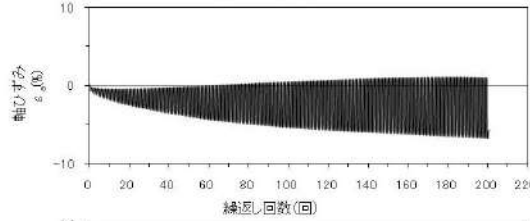
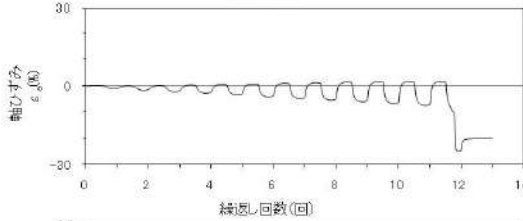
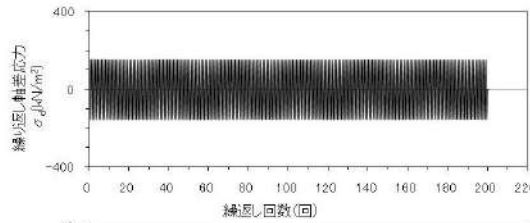
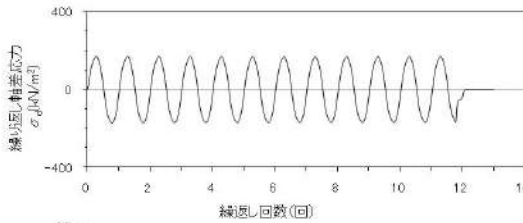
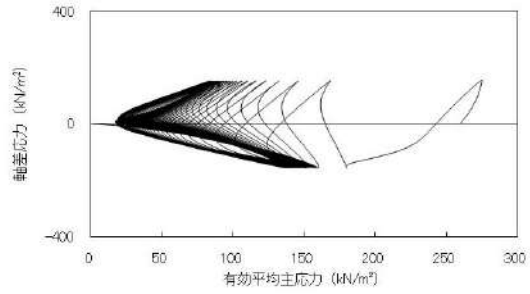
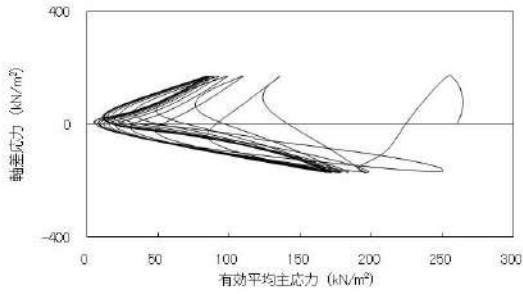
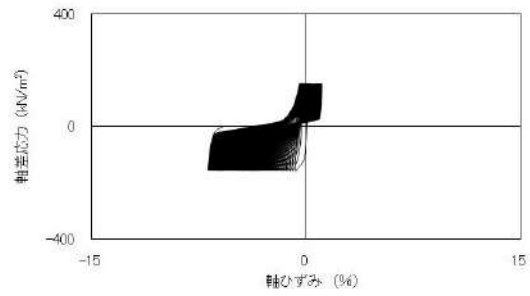
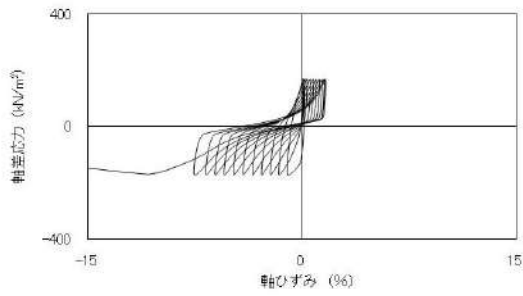


試験条件		
供試体		No.20
地表からの深度 (m)		18.15~18.35
有効上載圧 (kN/m ²)		223
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		220
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.309
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.21
地表からの深度 (m)		18.15~18.35
有効上載圧 (kN/m ²)		223
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		220
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.277
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-251 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(1) 試料(供試体 No. 20))

添付 1-252 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(1) 試料(供試体 No. 21))

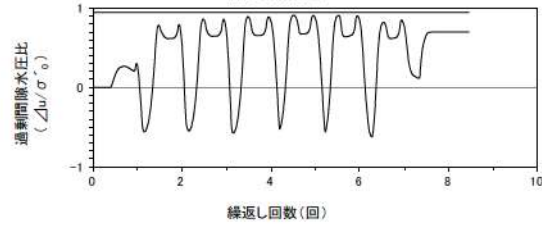
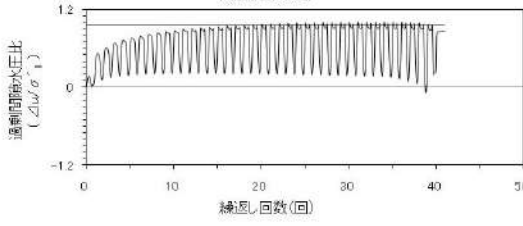
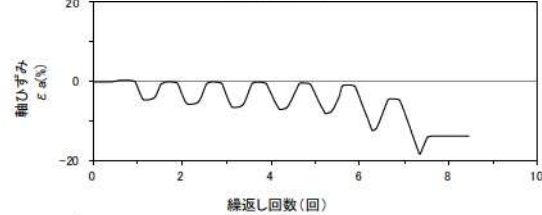
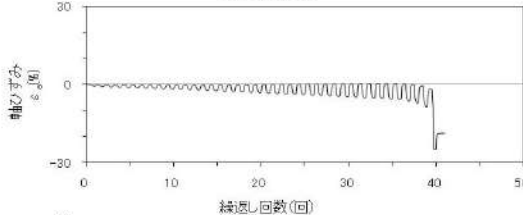
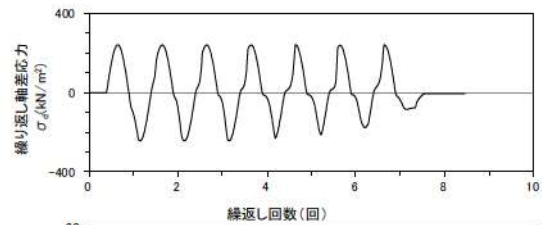
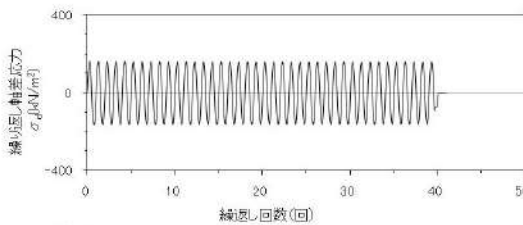
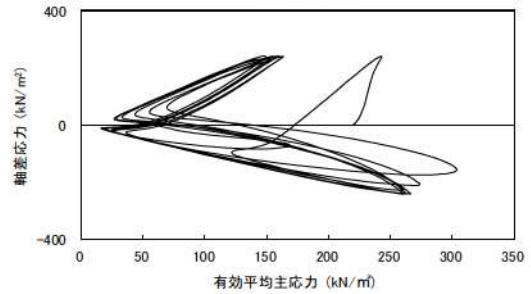
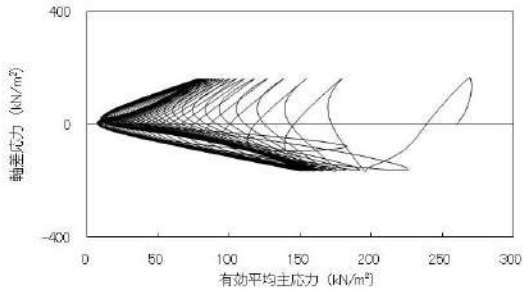
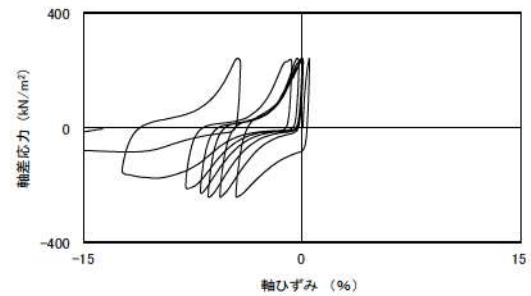
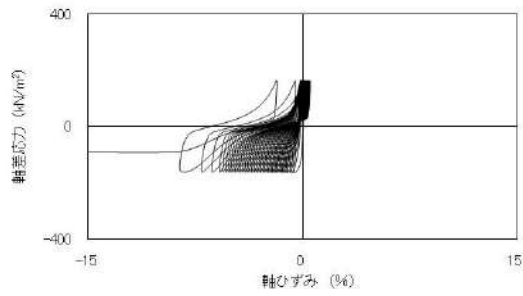


試験条件		
供試体		No.42
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.332
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.43
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.297
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-253 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 42))

添付 1-254 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 43))

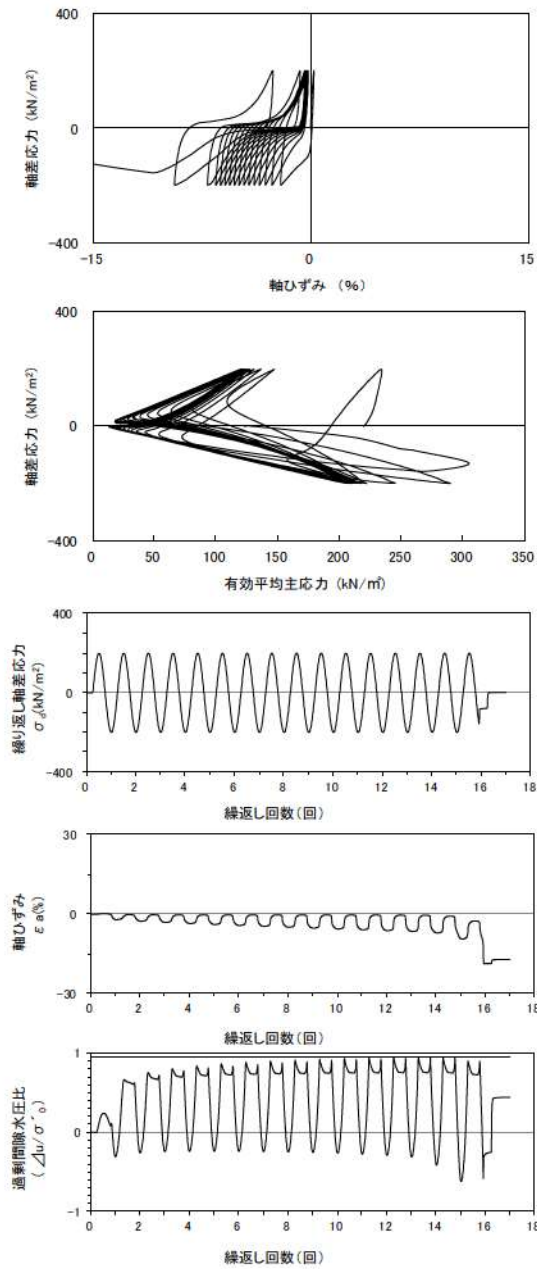


試験条件		
供試体		No.44
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.316
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.44
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.316
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

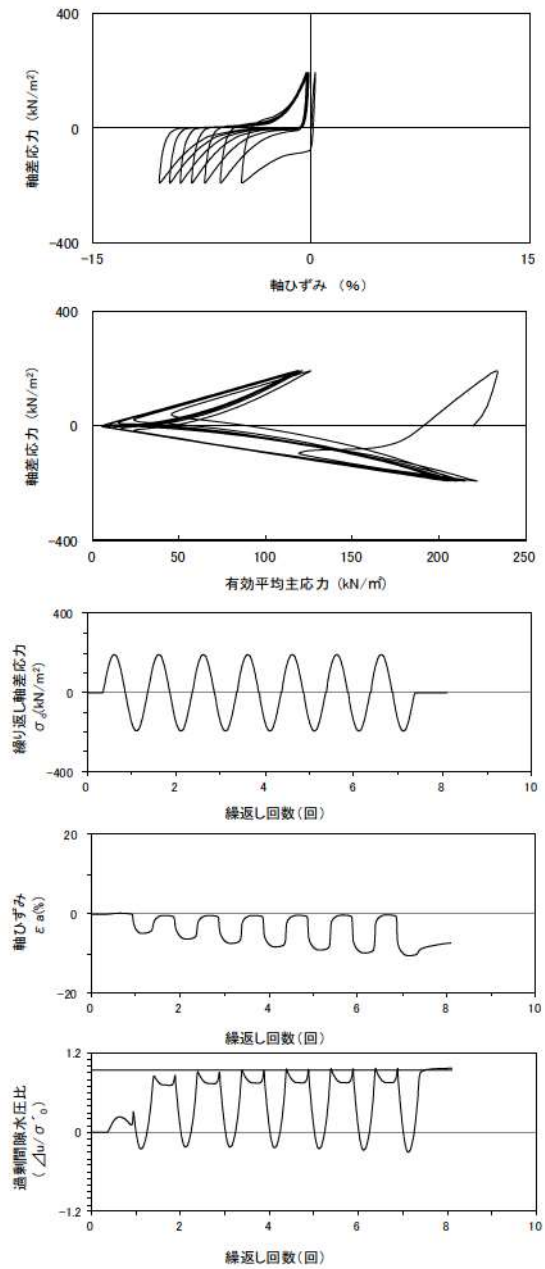
添付 1-255 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 44))

添付 1-256 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(1) 三軸試料(供試体 No. 1-18))



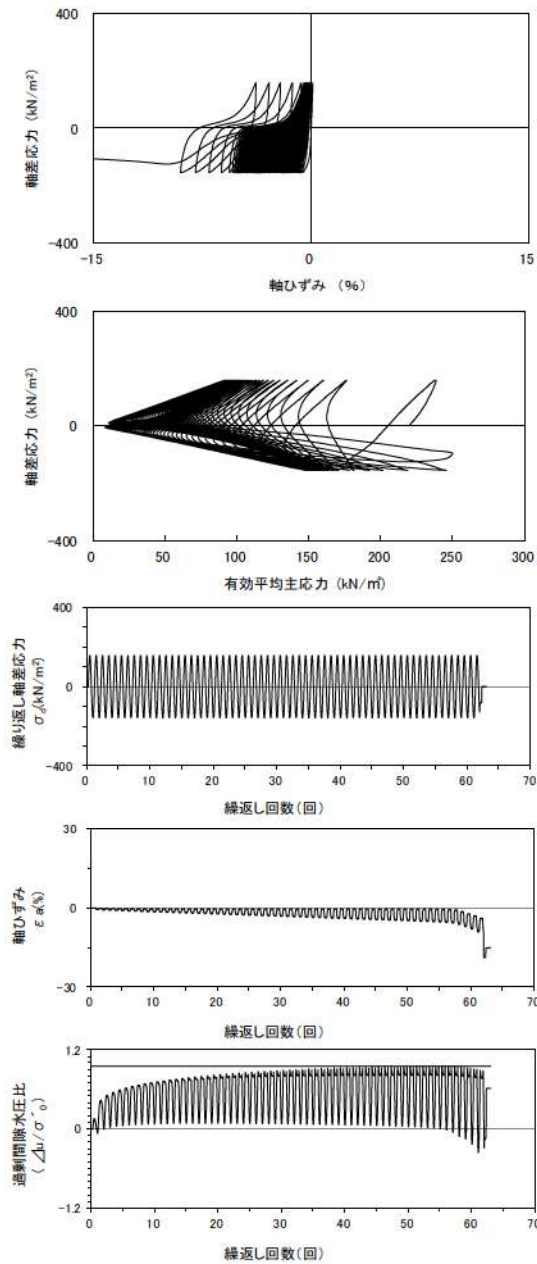
試験条件	
供試体	No.3-17
地表からの深度 (m)	21.99~22.44
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.453
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-257 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(1) 三軸試料(供試体 No. 3-17))



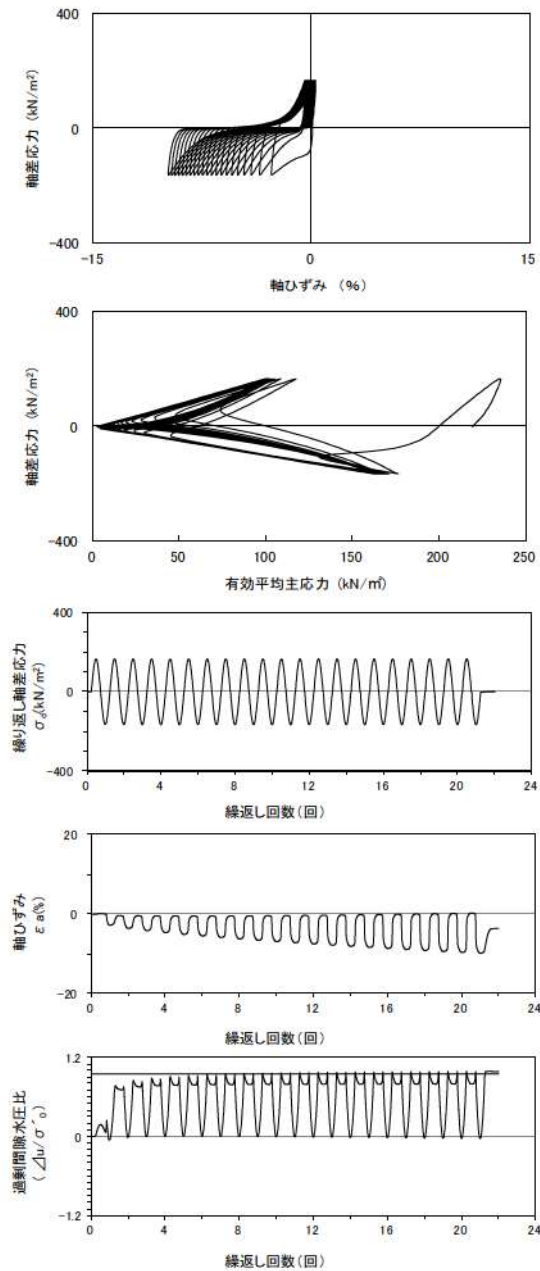
試験条件	
供試体	No.1-19
地表からの深度 (m)	22.47~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.437
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-258 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(2) 三軸試料(供試体 No. 1-19))



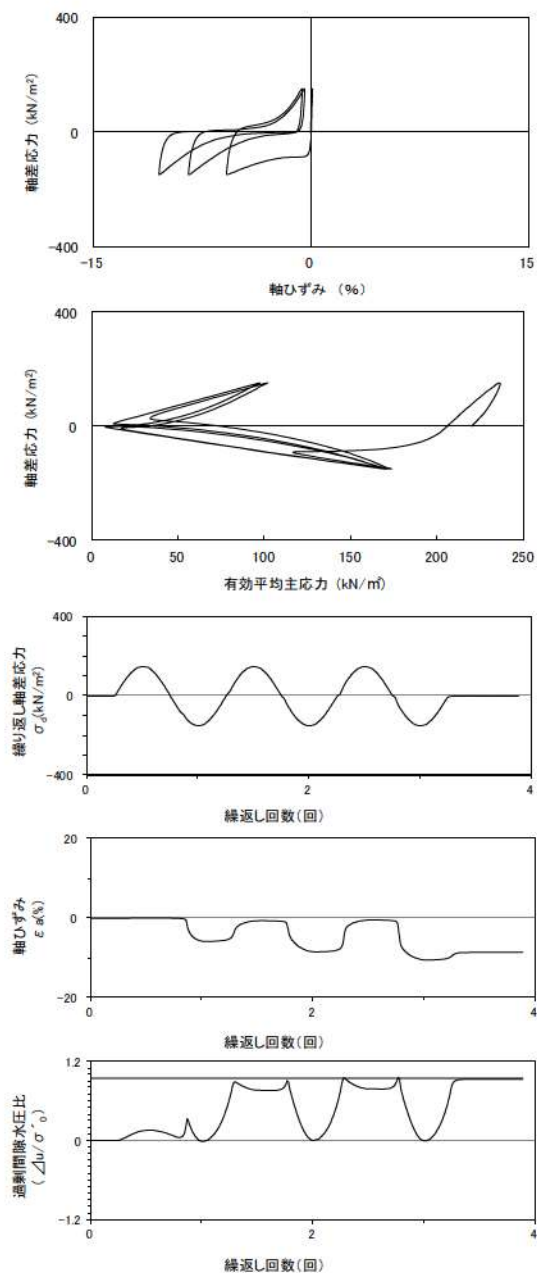
試験条件	
供試体	No.2-18
地表からの深度 (m)	22.47~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.356
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-259 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(2) 三軸試料(供試体 No. 2-18))



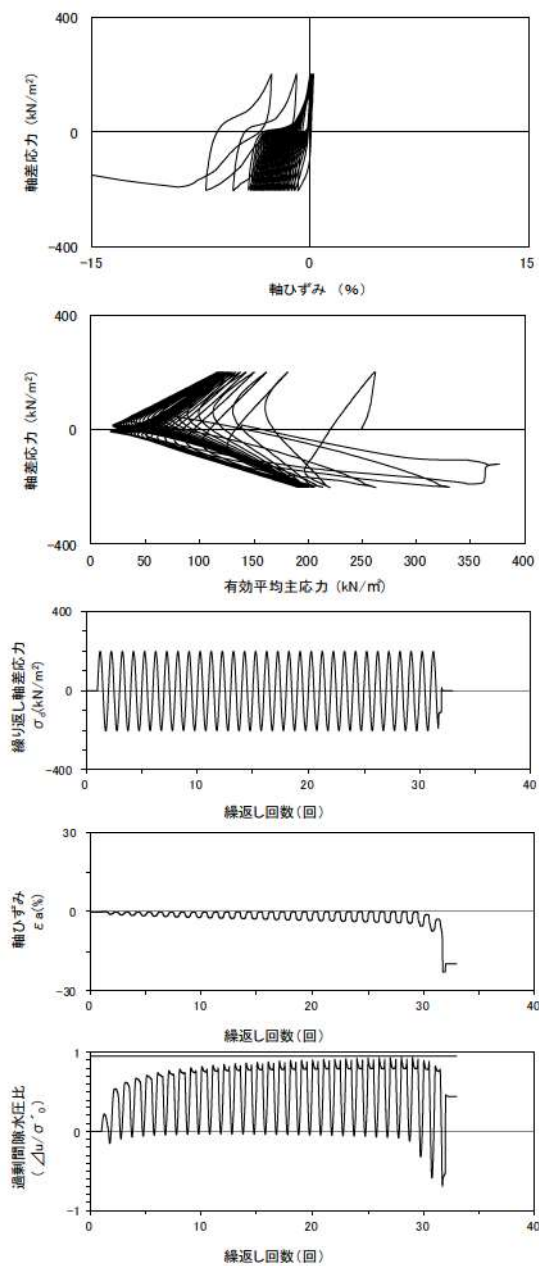
試験条件	
供試体	No.1-20
地表からの深度 (m)	22.62~22.85
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-260 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(3) 三軸試料(供試体 No. 1-20))



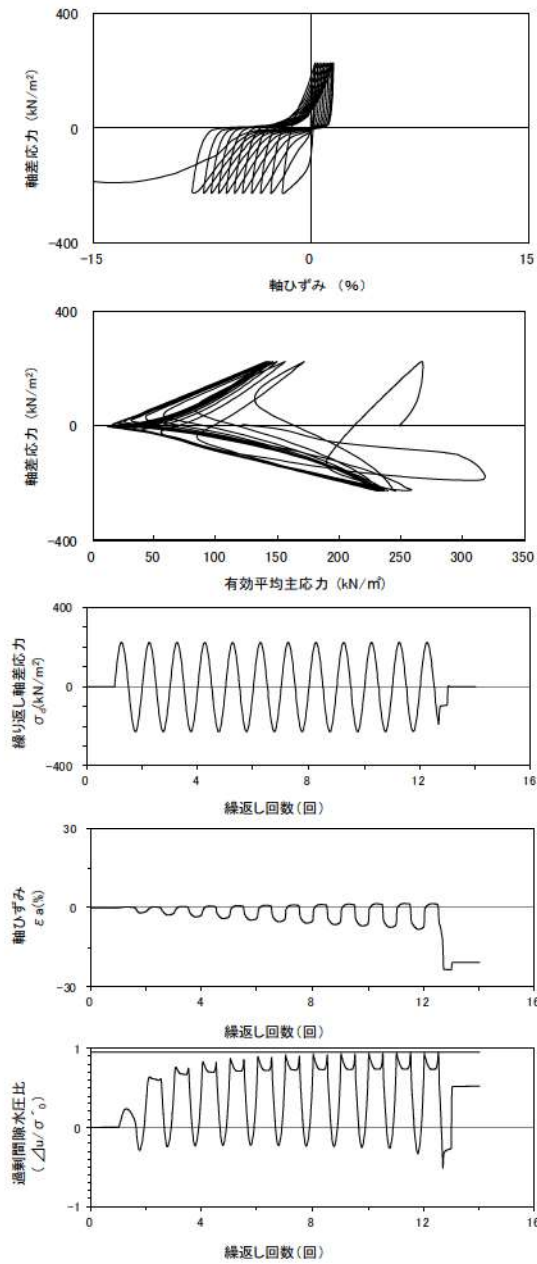
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.1-20		
地表からの深度 (m)	22.62~22.85		
有効上載圧 (kN/m ²)	221		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376		
試験結果		液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-261 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(3) 三軸試料(供試体 No. 2-19))



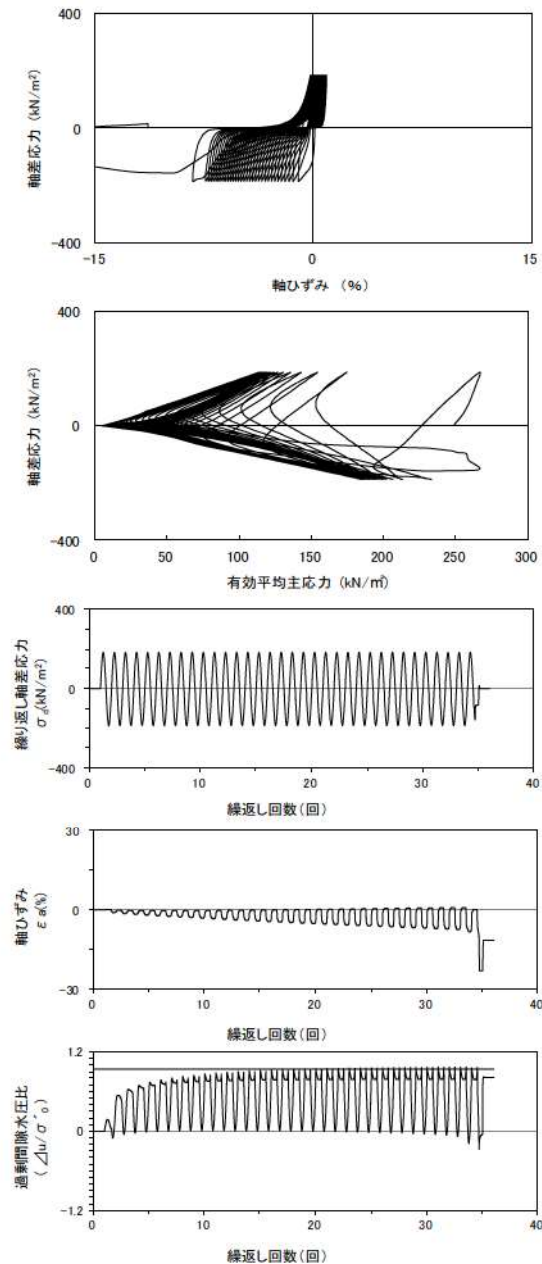
試験条件		液状化の判断	
供試体	No.1-20		
地表からの深度 (m)	22.62~22.85		
有効上載圧 (kN/m ²)	221		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376		
試験結果		液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-262 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 1-30))



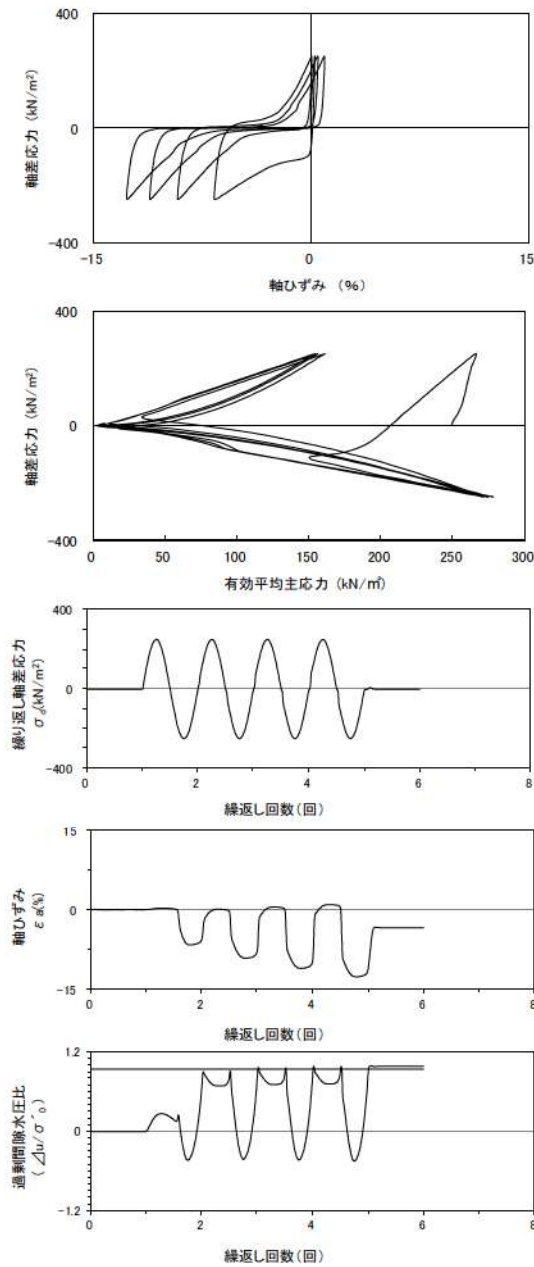
試験条件	
供試体	No.2-32
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.454
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	非液状化

添付 1-263 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 2-32))



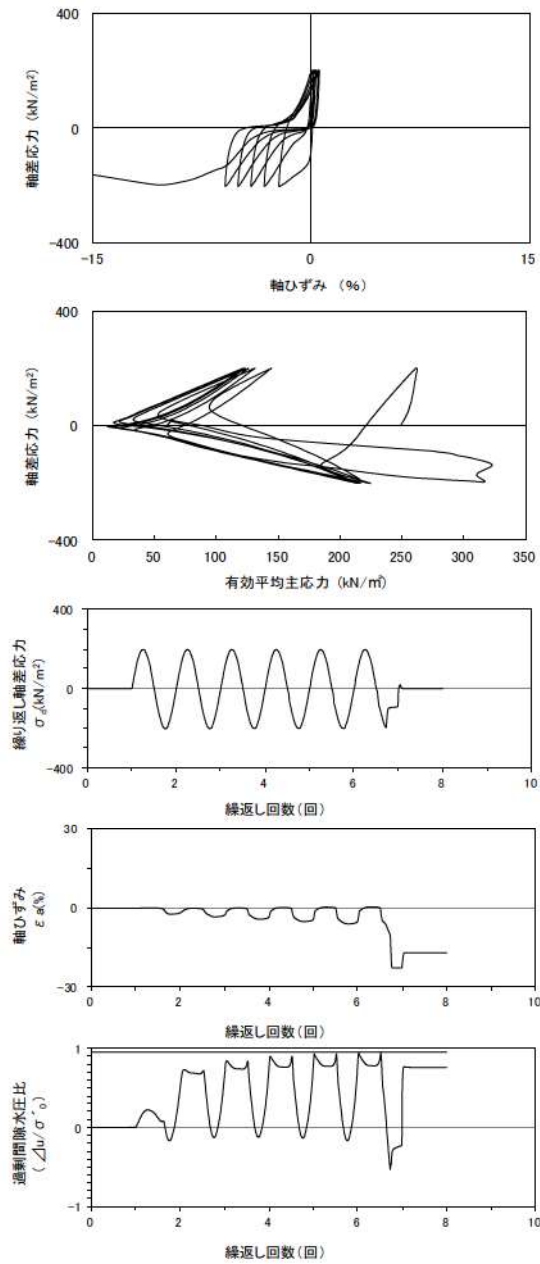
試験条件	
供試体	No.3-31
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-264 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 3-31))



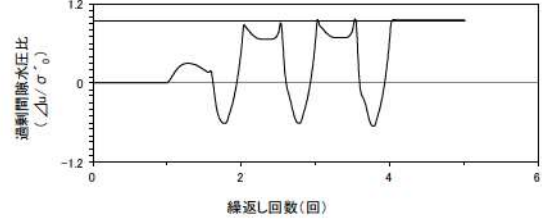
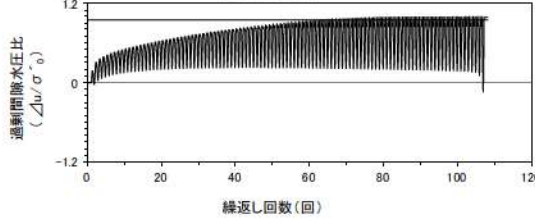
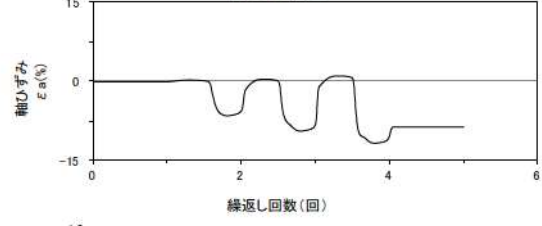
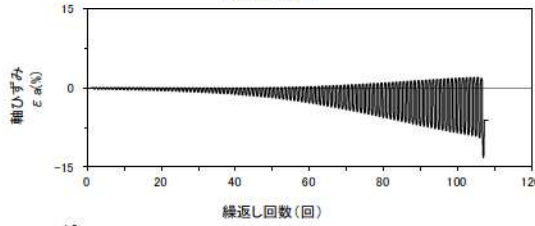
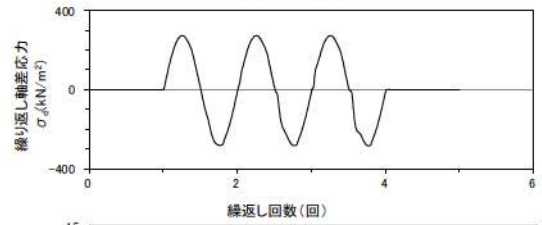
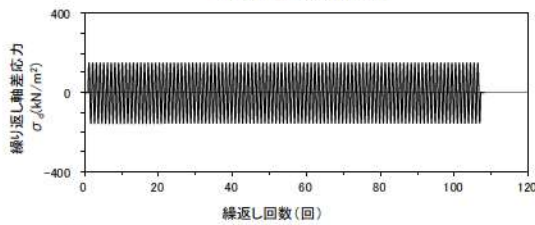
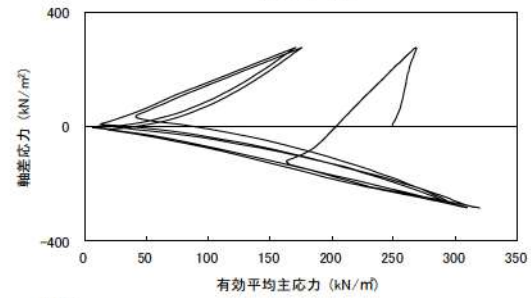
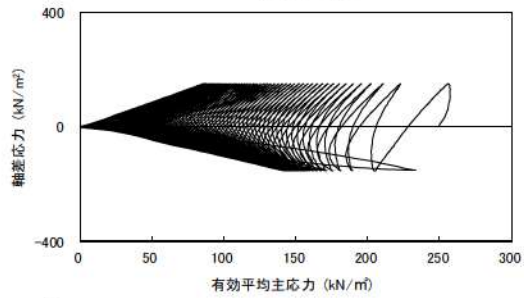
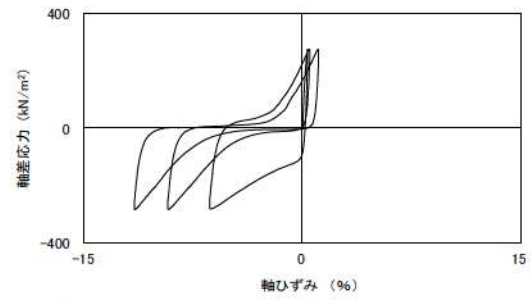
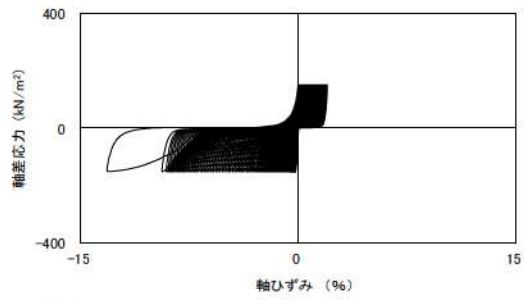
試験条件	
供試体	No.4-32
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-265 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 4-32))



試験条件	
供試体	No.1-31
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.409
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-266 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 1-31))

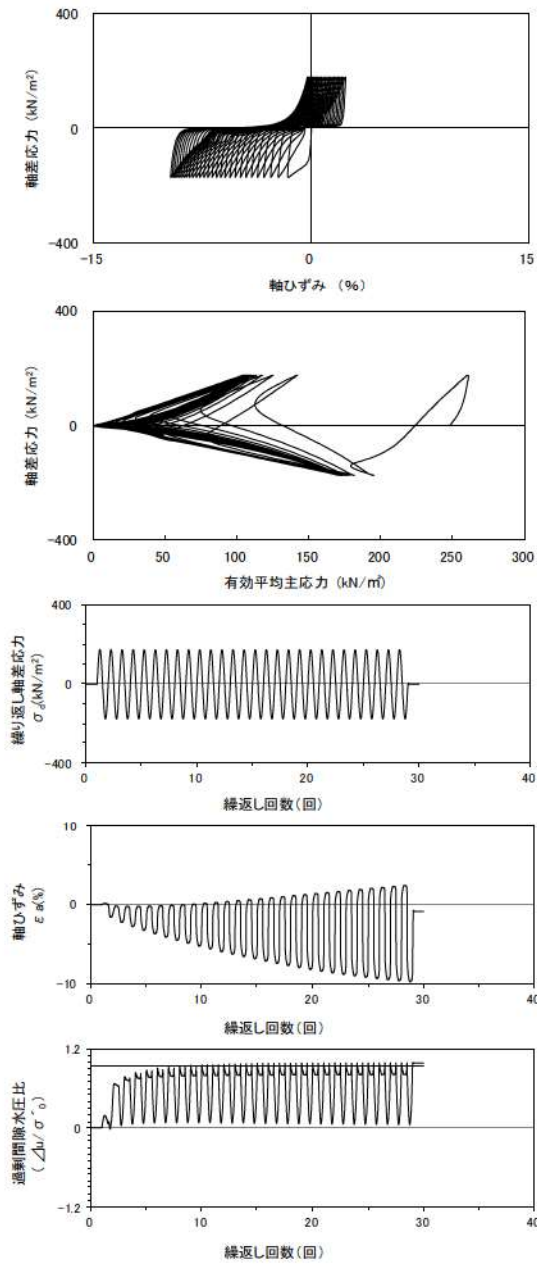


試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.306
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.306
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

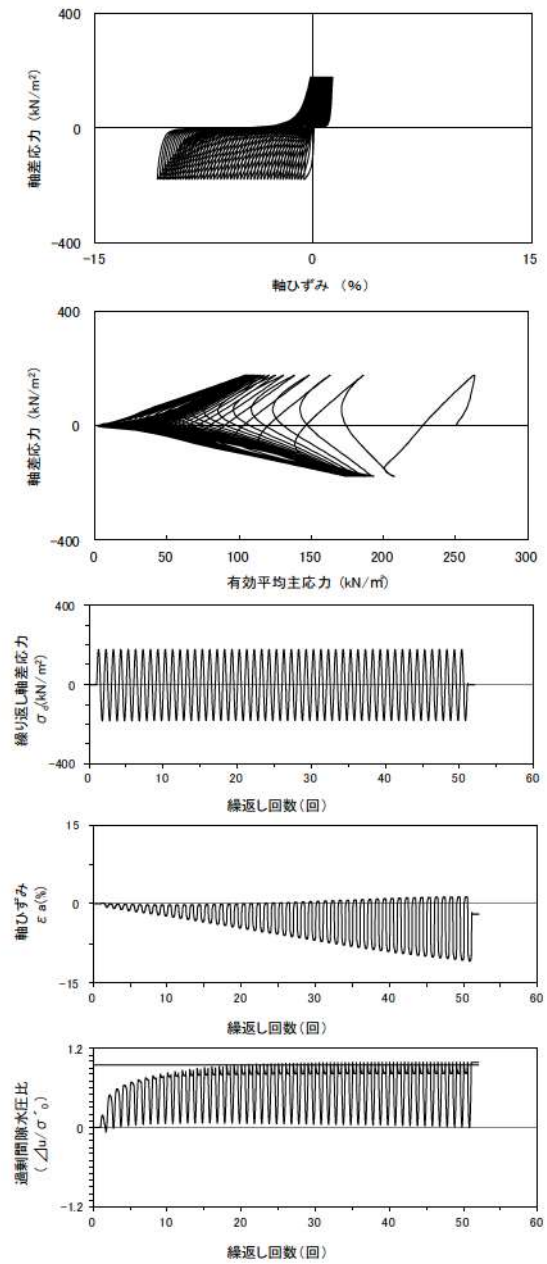
添付 1-267 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 2-33))

添付 1-268 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 3-32))



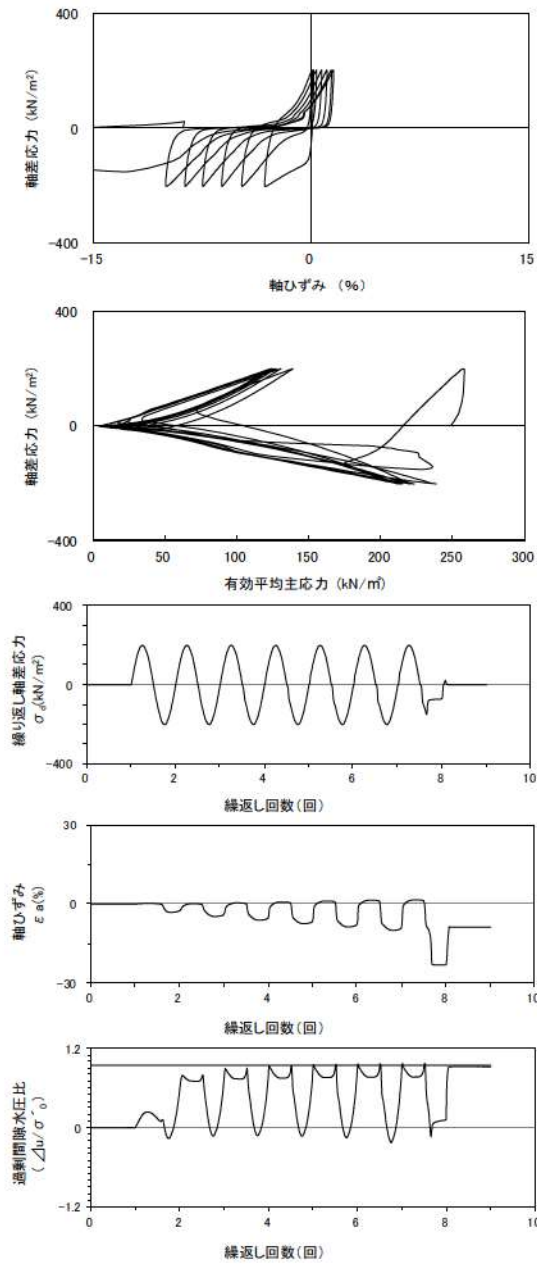
試験条件	
供試体	No.4-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.351
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-269 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 4-33))



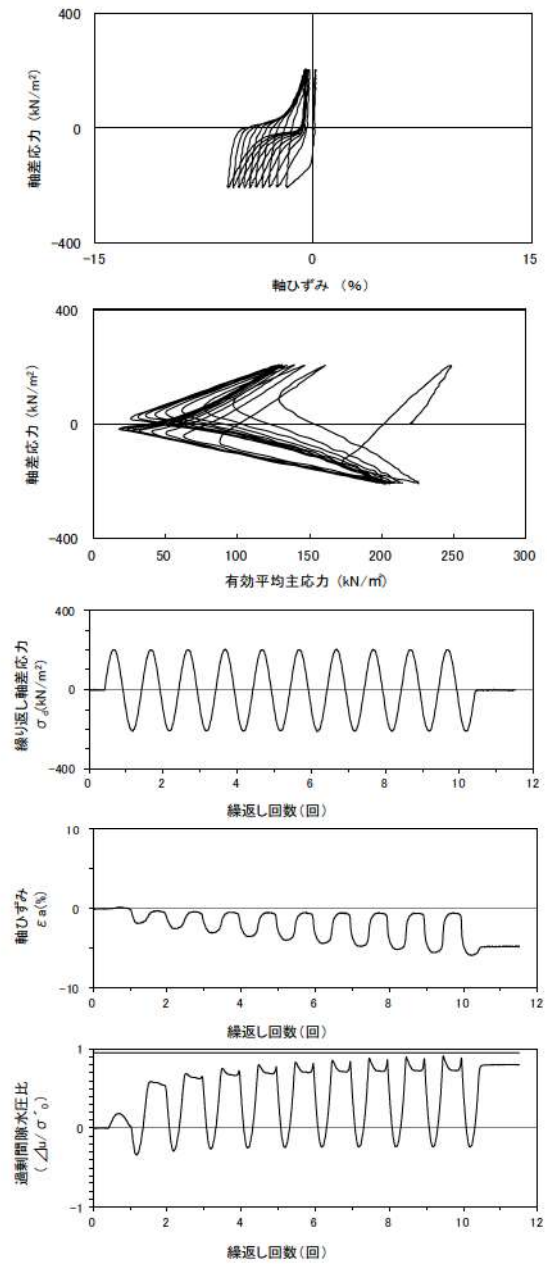
試験条件	
供試体	No.1-32
地表からの深度 (m)	25.42~25.79
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.353
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-270 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3) 三軸試料(供試体 No. 1-32))



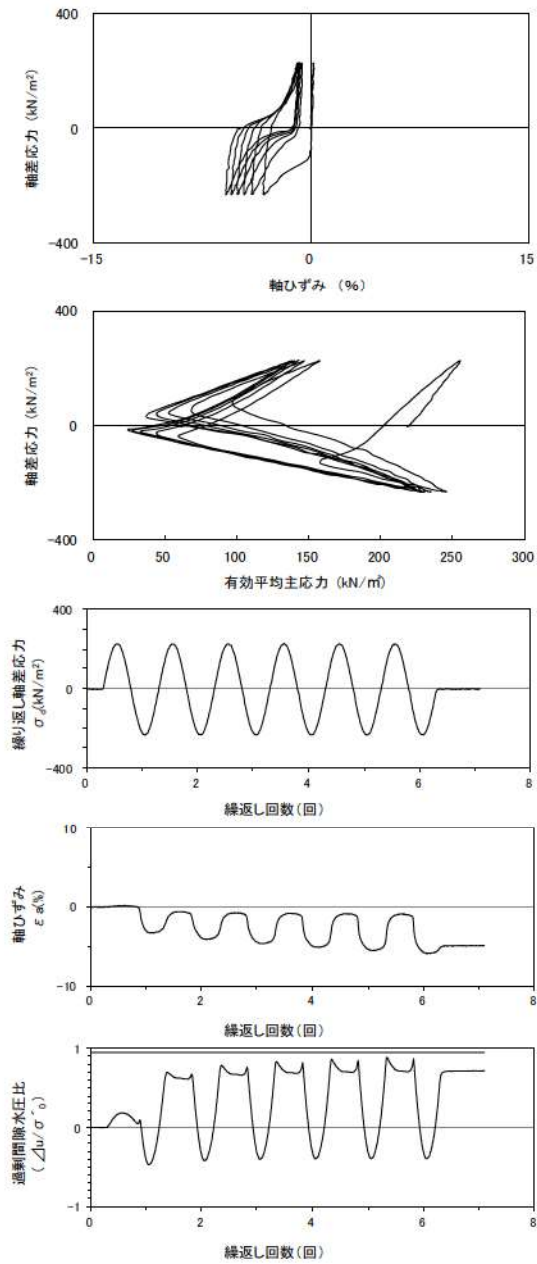
試験条件	
供試体	No.3-33
地表からの深度 (m)	25.42~25.79
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.402
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-271 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④ (3) 三軸試料(供試体 No. 3-33))



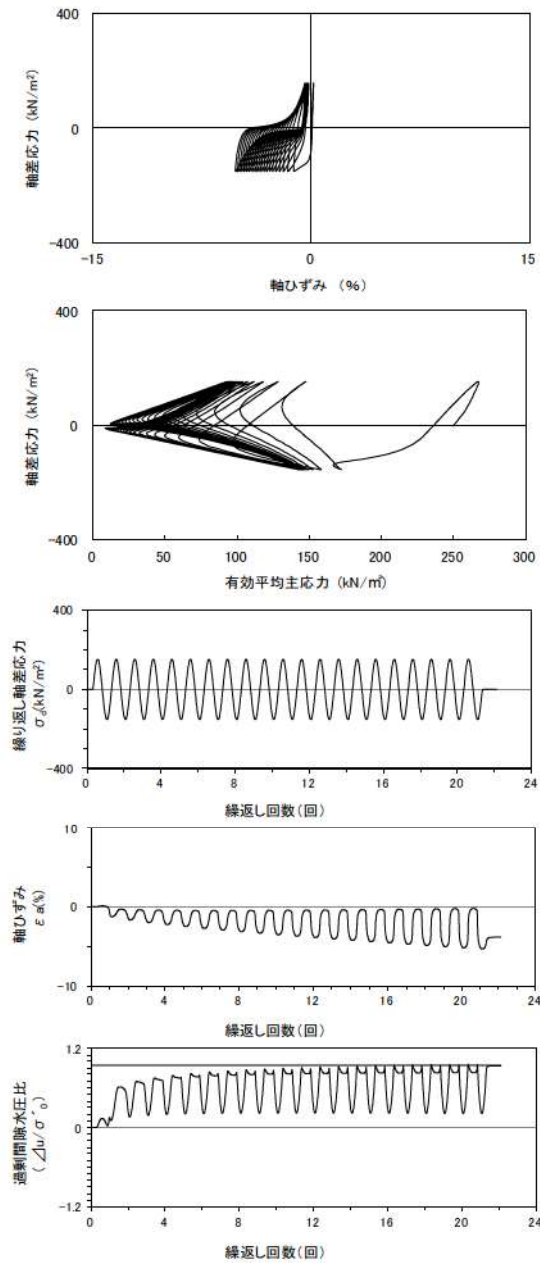
試験条件	
供試体	No.2-17
地表からの深度 (m)	22.06~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	215
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d / 2\sigma'_0$	0.467
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-272 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③ A-1 三軸試料(供試体 No. 2-17))



試験条件	
供試体	No.1-17
地表からの深度 (m)	22.06~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	215
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.522
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-273 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③ A-1 三軸試料(供試体 No. 1-17))



試験条件	
供試体	No.3-28
地表からの深度 (m)	24.34~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	238
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.307
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-274 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④ A-1 三軸試料(供試体 No. 3-28))